2014年度放送大学大学院開設予定授業科目講義内容

2013年11月発行

第 13 版

放送大学学園 学務部教務課

1. 生活健康科学プログラム

		頁	メディア	単位
番号				
1	生活健康研究('09)環	1	R	2
2	家族生活研究('09)文	5	R	2
3	食健康科学('09) 🙀	8	TV	2
4	居住環境整備論('12) 環)	12	TV	2
5	生活リスクマネジメント (' 11) 文	15	R	2
6	精神医学特論('10)(環)(臨)	18	R	2
7	ヘルスリサーチの方法論 ('13) 文	21	R	2
8	スポーツ・健康科学 (' <u>0</u> 9) <u></u>	24	R	2
9	発達運動論('11) (教)	27	R	2
10	福祉政策の課題('14)-人権保障への道- 政(2014年度開設科目)	30	R	2
11	生活支援の社会福祉('14) 👿(2014年度開設科目)	33	R	2
	_			

- (文) 旧カリキュラム「総合文化プログラム(文化情報学群)」の科目です。
- (環) 旧カリキュラム「総合文化プログラム(環境システム科学群)」の科目です。
- (政) 旧カリキュラム「政策経営プログラム」の科目です。
- (教) 旧カリキュラム「教育開発プログラム」の科目です。
- (E) 旧カリキュラム「臨床心理プログラム」の科目です。

2. 人間発達科学プログラム

		頁	メディア	単位
12	人間発達論('09) 教	36	R	2
13	教育行政と学校経営('12) 教	40	R	2
14	生涯学習の理論と実践('10) 教	43	TV	2
15	カリキュラム編成論 ('13) 🏽	46	R	2
16	教育文化論特論 ('11) 数	49	TV	2
17	現代教育改革論('11)一世界の動向と日本のゆくえー 教	52	R	2
18	道徳性形成・徳育論('11) 🔬	55	R	2
19	生涯発達心理学研究('11) (教)	58	R	2
20	現代社会心理学特論('11) (教) (臨)	61	R	2
21	教育心理学特論('12) (数) 臨)【臨床心理学プログラムと共通】-	64	R	2
22	学校臨床心理学特論 ('09) 数 臨【臨床心理学プログラムと共通】-	67	TV	2
23	心理・教育統計法特論 ('09) (教) (臨)【臨床心理学プログラムと共通】-	70	R	2
24	発達心理学特論('11)(数)(臨) 【臨床心理学プログラムと共通】	73	TV	2

- (教) 旧カリキュラム「教育開発プログラム」の科目です。
- (臨) 旧カリキュラム「臨床心理プログラム」の科目です。

3. 臨床心理学プログラム

		頁	メディア	単位
25	臨床心理学特論('11) (臨)	76	R	4
26	臨床心理面接特論('13)-心理療法の世界- 臨)	81	R	4
27	臨床心理学研究法特論('12) 臨	87	R	2
28	心理・教育統計法特論 ('09) <u>(教)(臨)</u> 【人間発達科学プログラムと共通】··(7	70)	R	2
29	発達心理学特論 ('11) 教 臨【人間発達科学プログラムと共通】… (7	73)	TV	2
30	教育心理学特論 ('12) 教臨【人間発達科学プログラムと共通】・・(6	54)	R	2
31	現代社会心理学特論('11) 数 臨【人間発達科学プログラムと共通】 (6	51)	R	2
32	家族心理学特論('14) 臨(2014年度開設科目)	90	TV	2
33	精神医学特論('10) 環(臨)【生活健康科学プログラムと共通】(1	(8)	R	2
34	障害児・障害者心理学特論 ('13) 臨	93	R	2
35	臨床心理地域援助特論('11) 臨	96	R	2
36	学校臨床心理学特論('09) (教)(臨)【人間発達科学プログラムと共通】- (6	57)	TV	2

- (環) 旧カリキュラム「総合文化プログラム (環境システム科学群)」の科目です。
- 教 旧カリキュラム「教育開発プログラム」の科目です。
- (臨) 旧カリキュラム「臨床心理プログラム」の科目です。

4. 社会経営科学プログラム

		頁	メディア	単位
37	公共哲学 (' 10) 👿	99	R	2
38	日本の技術・政策・経営 (' 13) 🔯	102	R	2
39	行政裁量論('11) 政	105	R	2
40	20世紀中国政治史研究('11)政	108	R	2
41	地域の発展と産業('11) 🙀 💮	112	R	2
42	産業立地と地域経済('12) (政)	115	TV	2
43	自治体ガバナンス ('13) 政	118	TV	2
44	パーソナル・ネットワーク論 ('12) 政	121	R	2
45	環境工学('13) 環()	124	TV	2
46	人的資源管理('14) 政(2014年度開設科目)…	127	TV	2
47	社会的協力論('14) 🕸(2014年度開設科目)	130	R	2
	-協力はいかに生成され、どこに限界があるか-			

- (環) 旧カリキュラム「総合文化プログラム (環境システム科学群)」の科目です。
- (政) 旧カリキュラム「政策経営プログラム」の科目です。

5. 人文学プログラム(※旧文化情報学プログラム)

		頁	メディア	単位
48	国語国文学研究の成立('11) (文)	134	R	2
49	人類学研究('10)-環境問題の文化人類学-(文)	137	TV	2
50	哲学史における生命概念 ('1_0) 文	140	R	2
51	美学・芸術学研究 (' 1 3) 文	143	TV	2
52	日本の歴史と社会('09) 文	146	R	2
53	東アジアの歴史と社会 ('10) 文	150	TV	2
54	アフリカ世界の歴史と文化(' 13) $-$ ヨーロッパ世界との関わり $ (x)$	153	R	2
55	中世・ルネサンス文学 ('14) 文(2014年度開設科目)	156	R	2
56	ことばとメディア ('13) -情報伝達の系譜- 文	159	R	2

(文) 旧カリキュラム「総合文化プログラム(文化情報科学群)」の科目です。

6. 情報学プログラム

		頁	メディア	単位
57	21世紀メディア論('14)(2014年度開設科目)-	162	TV	2
58	音楽・情報・脳('13)	165	TV	2
59	ソフトウェア工学 ('13)	168	R	2
60	研究のためのICT活用 ('13)	171	R	2
61	情報学の新展開('12)	174	R	2
62	データベースと情報管理 ('12)	177	TV	2
63	e ラーニングの理論と実践 ('12)	180	TV	2
64	基礎情報科学('09)(環)【自然環境科学プログラムと共通】-	183	R	2
65	知的創造サイクルの法システム ('14)(2014年度開設科目)	186	R	2
				1

(環) 旧カリキュラム「総合文化プログラム(環境システム科学群)」の科目です。

7. 自然環境科学プログラム

	日常を発行すプログラム		
	頁	メディア	単位
66	現代生物科学('14)-生物多様性の理解-環(2014年度開設科目)- 189	TV	2
67	現代物理科学の論理と方法('13) 🛱 192	R	2
68	物質環境科学('14) 👼	TV	2
69	宇宙・自然システムと人類('14) 環(2014年度開設科目) 198	TV	2
70	現代地球科学('11) 環	TV	2
71	数理科学の方法('0_9)(環)	R	2
72	計算論('10) 環	R	2
73	基礎情報科学('09) 環	R	2
74	食健康科学('09) 環	TV	2
75	環境工学('13) 環(政)	TV	2

- (環) 旧カリキュラム「総合文化プログラム(環境システム科学群)」の科目です。
- 政 旧カリキュラム「政策経営プログラム」の科目です。

科目名 (メディア) = 生活健康研究 ('09) = (R)

〔主任講師(現職名):本間 博文(放送大学名誉教授) 〕

[主任講師(現職名):藤原 康晴(放送大学客員教授)

講義概要

豊かな生活といえば、物質的な豊かさと解釈しがちであるが、精神的な豊かさ、心の豊かさが大きな比重を占めている。物質的に、そして精神的に豊かな生活が真に豊かな生活であり、質の高い生活といえよう。この科目では、生活者の家族や地域の人々等の「人的環境」、住居や生活用製品などの「物的環境」、「保健医療環境、「社会福祉環境」そして「生活者個人の状態」を対象に、生活の質にかかわる「主体性」、「創造性」、「関係性」、「相互扶助性」、「快適性」、「安心・安全性」、「持続可能性」等の観点からアプローチすることによって自己の生活の質の向上および他者の生活の質の向上につなげる方策や課題を追究する。

授業の目標

生活,保健医療,看護,社会福祉の各分野における生活者の自立と共生の観点から生活の質の向上を追究し,家庭,地域,企業,非営利組織,行政等において,生活や健康,福祉に関する課題を主体となって解決していく力量形成を目標としている。

履修上の留意点

この科目は、生活健康科学のキーワード「生活の質の向上」の基本的事項を概説したものであり、「生活の質の向上」にかかわる各分野の内容は、それぞれの専門科目の学習によって理解を深めてほしい。

□	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	今, なぜ「生活の質」 が問われるのか	生活の場における財・サービが,生活に対する満足度は低ざまな場面の満足度の総合さすことができ,生活の各分野にかせない。「生活者個人の状態活者の物的環境」「保健医療球に,生活の質にかかわる観点、つなげる枠組みを提案する。	下の傾向にある。生活のさまれたものを「生活の質」とみないおける質的アプローチが欠点」「生活者の人的環境」「生環境」「社会福祉環境」を対象	藤原 康晴 (放送大学客 員教授)	藤原 康晴 (放送大学客 員教授)
2	個人と家族の生活経営	非婚化、晩婚化、離婚と再構流動化する個人と家族の生活と方法が確立しにくく、生活のる。第一に、生活経営の背景。境の状況の全体像示す。第二て、生活経営の主体形成が稀の利用と配置に格差があるこ様な生活形態における生活経生活を促すような経済的、社会族の生活経営を総合的に支援を強調したい。	質の確保が困難になっていたしての経済、社会、家族環に、生活経営の問題点とし、薄化していること、生活手段と等を取り上げる。第三に、多名営の主体形成と家族の共同会的環境を展望し、個人と家	松村 祥子 (放送大学教 授)	松村 祥子 (放送大学教 授) ゲスト: 宮本 みち子 (放送大学教 授)
3	居住環境整備におけ る住居の質	につれて住まいもそれに対応 ないということを意味している。	生活の質を問題にするときに きえる必要がある。本章では, らり方の変化と住まいの対応 式が大量住宅供給に果たし	本間 博文 (放送大学名 誉教授)	本間 博文 (放送大学名 誉教授) ゲスト: 亀田 紀子 (放送大学大 学院修了者)

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	居住環境整備における自立と共生	戦後の住宅供給を担った旧「の第一線から退いたことに示さ」よる大量供給はすでに時代のリスタイル、ライフステージの居住していくかが問われている。そのいるスケルトン・インフィル方式のジェクトを通じて紹介し、さらに、ルトン定借マンション方式を介し生のあり方を探る。	れるように、標準設計方式に 要請から外れ、多様なライフ :者に対してどのように対応 ひような観点から注目されて の考え方を、NEXT21のプロ この考え方を取り入れたスケ	本間 博文 (放送大学名 誉教授)	本間 博文 (放送大学名 誉教授)
5	21世紀の住まいづく りに求められるもの	21世紀の居住環境整備にお 朽化したマンションの建て替え 住者主体の集合住宅づくりその をトレースし、円滑に事業を進ぬ 果、有能な事業コーディネータ 宅についての客観的であり、国 能表示制度の確立が必要であ が整備されて初めて自立と共生 る。	である。この事業はまさに居 されのである。この事業過程 さるための条件を検証した結 (専門家)の存在と、集合住 民が容易に理解可能な性 ること、そしてこのような条件	本間 博文 (放送大学名 誉教授)	本間 博文 (放送大学名 誉教授)
6	安全で安心できる消費生活 その1 商品・サービスの安全性確保と情報伝達	自然災害,犯罪,交通事故, 悪質商法,振り込め詐欺など生 て,安全を脅かす事件や事故だ あるいは過小に報道するマスコ るにもかかわらず多くの人々が その逆の事例もある。商品・サー おいても,危険の程度と人々の がある。とりわけ商品・サービス 故が繰り返し起きており,この事 によって再発防止を推進する行 を探る。	活のさまざまな場におい が続発している。それを過大 ミの影響もあって、危険であ 安心している事例あるいは ービス消費にかかわる事故に 不安が対応していないもの 消費においては同じような事 手故情報の収集とその伝達	藤原 康晴 (放送大学客 員教授)	藤原康晴 (放送大学客 員教授) ゲスト: 中谷 送大学 中放送授)
7	費生活 その2 生活	生活用製品の事故が多発して以上が使用者の不注意や誤使使い方には、取扱説明書に記録会通念に反した無謀な「非常界に「予見可能な誤使用」があ所在について紛争処理の実態に、生活用製品による事故の未て、行政、製造者の取り組みととに、使用者が自分の安全のためめに取り組まねばならないことに	用によるものである。製品の 載されている「正常使用」, 流識な誤使用」およびその境 り,これらの使用方法と責任 を取り上げて考察する。さら 会然防止,再発予防に向け ともに実際の事故事例をもと かに,そして他者の安全のた	藤原 康晴 (放送大学客 員教授)	藤原 康晴 (放送大学客 員教授)
8	低炭素社会に向けた 生活スタイル	地球温暖化が急速に進行して温室効果ガスの排出削減が緊のエネルギー消費は増大を続け現に向けた生活スタイルの創出は、家庭から排出されるCO2をのリデュースを推進する市民、また先進的な取組みを紹介する。排出しているCO2の量を認識すとりのエネルギー消費削減の実	要である。しかし,家庭部門けており,低炭素社会の実計が求められている。ここで削減するため,生活系ごみ環境研究者,行政の協働しさらに,日常生活のなかでよことによる生活者一人ひ	藤原 康晴 (放送大学客 員教授)	藤原 康晴 (放送大学客 員教授) ゲスト: 奈良 由美子 (放送大学教 授)

□	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
9	健康生活とケアニーズ	医学の進歩、保健医療福祉の充実、また経済的発展は日本に世界一の長寿社会をもたらしたが、一方では、急速な高齢化や高度医療技術の進歩を背景に、必ずしも皆が「健康」でいるわけではない。慢性疾患の増加、健康生活に対する欲求の高まりは、常に人々を健康不安に陥らせおり、むしろ「病い」や「障がい」とともに健やかに生きるという考え方が求められつつある。本章では、健康や保健医療の領域で20世紀後半に起こった考え方の変遷にはどのよなものがあるのか、またそれに応じて登場した「クオリティ・オブ・ライフ」という概念の導入を歴史的に理解することで人々の生活の自立・自律と「クオリティ・オブ・ライフ」を高めるケアニーズとはどのようなものかを考察する。	并上 洋士 (放送大学教 授)	井上 洋士 (放送大学教 授)
10	チームケアと看護活 動の拡大	医療技術など治療医学の発展は、さまざまな疾病の原因の究明と治療に貢献し、平均寿命を飛躍的に延ばした。最新の治療も加わり、これまで治せなかった多くの患者の命救っている。しかし、長期にわたるケアが重要な社会的課題になっており、それに対応する形でチームケアの必要性が出てきている。本章ではまず、チームケアとは何か、その一端を理解したうえで、チームケアの中心的な担い手である看護師は、チームの調整者としてどのように活動し役割果たしているのか、具体的な事例を見ながら理解する。患者・家族や市民のチームケアへの参加とそれに向けてのほディネスについても考察を深める。	井上 洋士 (放送大学教授)	井上 洋士 (放送大学教 授) ゲスト: 高﨑 絹子 (放送大学客 員教授)
	健康づくりに向けたプライマリケア体制の構築	人々のプライマリケアは、わが国では、疾病の治療は保料を財源とした保険制度、そして疾病の予防は税金を財治とした自治体の保健事業という、ふたつの体制によって担われてきた。そして、充実したプライマリケア体制が確保され、平均寿命の大きな伸びがあり、結果として生活習慣病の増加が人々の健康づくりの深刻な課題になっている。そのような中で、平成18年6月に高齢者医療確保法が制定され、わが国のプライマリケア体制は、新たな段階を迎えているといえる。本章では、西洋医学のあゆみとそれを支えてるといえる。本章では、西洋医学のあゆみとそれを支えてた体制、わが国のプライマリケア体制の特性と課題、また人々の健康づくりに向けた、今後のプライマリケア体制の特集をどのように展望するのか、それらのことを中心に学ぶ。	多田羅 浩三(日本公衆衛生協会会長)	多田羅 浩三 (日本公衆衛 生協会会長)
12	史的展開	わが国では、昭和12年に保健所法が制定され、医療施設の強立して、衛生思想、衛生体制の充実、疾病予防に発化した事業を担う機関として保健所が生まれた。昭和57年に老人保健法が制定され、市町村の保健事業が、人々の健康づくりの基盤として大きな役割を果たしてきた。その実績の上に、平成12年3月に健康日本21が発表され、平成1年には健康増進法が制定された。そして平成20年4月には、高齢者医療確保法が施行され、メタボリック・シンドロームを対象とした特定健診・保健指導が、医療保険制度の保険者によって実施されることになった。本章では、わが国における保健事業体制の特徴、推進されてきた主な保健事業の内容、その概容、特徴について学び、特定健診・保健指導が実施されることになったことの歴史的意義について考える。	等 4 多田羅 浩三 (日本公衆衛 生協会会長)	多田羅 浩三 (日本公衆衛 生協会会長)

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
13	利用者主体の社会福 祉	2000年以降の社会福祉制度政処分による福祉サービス)かり契約選択)への移行が目指されいるのは、個人の選択を尊重しの拡充、個人の自立生活を総合充実である。しかし、社会福祉の人を対象にするものではなくために利用されるものに移行すいる。特に自立支援の理念と方にある。特に自立支援の理念と方にあり過重になされたり、る等、実質化には程遠い状況がみらば会福祉の現状と課題を整理しために必要な福祉環境についている。	ら利用制度(利用者主体の いている。そこで推進されて た制度、質の高いサービス た制度、質の高いサービス が特別なニーズをもった一部 、広範な人々の自立支援の る中で多く問題も発生して が法の揺らぎの中で雇用への ビスの質量が不足して家族 利用者主体の社会福祉の いる。新たな理念と枠組みの し、有効な生活支援策になる	松村 祥子 (放送大学教 授)	松村 祥子 (放送大学教 授) ゲスト: 育根 (放送大 授)
14	社会福祉の担い手	社会福祉の政策・制度を立案会福祉制度の運営に係わる者る者、サービス提供に直接従事の担い手によって社会福祉は3代、情報化、国際化等の社会3化の中で、社会福祉は大きな東ズと制限される社会資源の狭間の生活の質向上に資するためい手が必要であろうか。社会福ている問題と課題を明らかにしい手のあり方について検討した	、相談・コーディネイトに携わまする者等、多くの種類と数 実施されている。少子高齢 変化と個人や家族の生活変 云換期にある。拡大するニー 引にあって、社会福祉が人々 にはどのような社会福祉の担 祉の担い手が現在、直面し 、これからの社会福祉の担		松村 祥子 (放送大学教 授) ゲスト: 大曽根 寛 (放送大学教 授)
15	つながりがもたらす 「生活の質の向上」	家族,地域,職場等における 足度,充実感,安心感を与えて かし,経済社会の変化やライフ て人々のつながりが希薄化し, まな影響を与えている。この科 生活者とその人的,物的,保健 生を考えるとともに,社会福祉分 境保全分野,交通安全,防犯・ 看護分野,地域活性化分野な ながりの構築に向けた活動を取 のために何が必要であるかを考	いることが知られている。し スタイルの多様化等によっ 「生活の質」や社会にさまざ 目の最後となるこの回では, 性医療,社会福祉環境との共 分野,次世代育成分野,環 防災分野,保健医療分野, ど生活の各分野におけるつ 対り上げ,つながりの再構築	(日本公衆衛 生協会会長) 井上 洋士 (放送大学教 授) 松村 祥子 (放送大学教	藤原 (放送授) 海爾 (放送授) 多田本会会 (日 大学) 海羅 公会会 (日 大学) 大学 (大学) 大学 (大学) 大学 (大学) (大学) (大学)

科目名 (メディア) = 家族生活研究 ('09) = (R)

〔主任講師(現職名): 宮本みち子(放送大学教授) 〕

〔主任講師(現職名):清水新二(奈良女子大学名誉教授) 〕

講義概要

現代の家族変動は激しく、21世紀のゆくえは家族のあり方を抜きにしては論じられないといわれるほど、その動向は重要テーマとなっている。講義では、家族の歴史的推移を整理し、そのなかに現代家族を位置付ける。また、制度、集団、家族生活としての家族の実態と理論的アプローチの方法を述べる。各章は家族理論と家族の実態を、研究の具体例を紹介しながら整理する。

授業の目標

家族現象に関して、生活者として、また、地域、行政、企業で家族や人間生活にかかわる仕事をしている担当者が、動きつつある家族の実態を多角的視点から柔軟に認識し、科学的知識や理論を修得し、家族をミクロ・マクロの両レベルから理解できることをねらいとする。また、個人・地域・公共の場で必要とされる家族をめぐる問題理解を深め、その対応についても社会的サービスや行政政策の観点から視野を広げる。

履修上の留意点

学部開講科目の「リスク社会のライフデザイン('14)」「臨床家族社会学('14)」を合わせて学習すると理解が深まる。

旦	テーマ	内容		講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	家族をいかに観察す るか	家族のありようは、社会構造の影響を受けるとと 族のありようが社会構造に変化をもたらす。また、 りようは個人のライフコースを規定すると同時に、 も影響を受ける。本章では、家族のありようを社会 の関係から、歴史的に概観する。多元的に家族を ことで、われわれがかつての家族について抱いて レオタイプな理解から脱却することが可能になる。 【キーワード】 世帯、親族、直系家族制度、夫婦家族制度、家族 サラリーマンと専業主婦からなる世帯	家族のあ 後者から と個人と とらえる	嶋崎尚子 (早稲田大学 教授)	嶋崎尚子 (早稲田大学 教授)
2	集団としての家族	生活主体としての個人、生活システムとしての家構造の関連性から明らかになった実態は、どのよし、説明できるのか。その理論的枠組みを、制度、規範、関係性、人間行為力をキーワードに整理すフコース理論による家族研究を学習する。 【キーワード】 核家族、核家族の機能、家族の非社会性、家族、ル、家族発達モデル	うに理解 、文化、 つる。ライ	嶋崎尚子 (早稲田大学 教授)	嶋崎尚子 (早稲田大学 教授)
3	ライフコースと家族	個人の発達過程と家族のライフコースを実証研察する。家族は時間の経過のなかで、発達的に変ことを理解する。そのさい、現代日本社会の家族るだけでなく、欧米社会の家族を比較対象としてる。 【キーワード】 ライフコース、ライフイベント、ライフコースの(脱)材ライフコースの(脱)材ライフコースの(脱)制度化、ライフコースの個人化	変化する をとりあげ とりあげ	嶋崎尚子 (早稲田大学 教授)	嶋崎尚子 (早稲田大学 教授)

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
4	社会システムとしての 家族	現代社会における生活システムと関について解説したうえで、子どどもの育ちを支える子育ちシステける家族(親)の役割について問題 【キーワード】 生活システム、家族システム、子	もを生活主体と捉えて、子 ムと子育ちシステムにお 題提起をおこなう。	神原文子 (神戸学院大 学教授)	神原文子 (神戸学院大 学教授)
5	相互作用としての家族	家族の相互作用研究を概説するBC-Xモデル、二重ABC-Xモデル、二重ABC-Xモの理論的進展)、「病」や「問題」を究、そして演技や感情から家族の座などを説明する。 【キーワード】 家族ストレス論、演技としての相互作用	。特に家族ストレス論(A ・デル、FAARモデルへ ・生み出す相互作用研)相互作用をみていく視	上野加代子 (徳島大学教 授)	上野加代子 (徳島大学教 授)
6	ネットワークのなかの 家族	個人をとりまくネットワークの一部。 人のアイデンティティが固定化されまする「重要な他者」が不可欠で装置としての家族の意義を概説での国際移動と携帯やパソコンを利たちのアイデンティティの変容によーリード】	れるにはネットワークが供あり、重要な他者の供給する。そしてアジアの女性 別用したネットワーク、彼女 ついてもみていく。	上野加代子 (徳島大学教 授)	上野加代子 (徳島大学教 授)
7	家族の個人化	家族の個人化という観点から動き態とその背景を説明する。「家族ると共に、近代家族から現代家族化、個別化、私事化などの傾向と 【キーワード】 家族の個人化、個別化、私事化、	の個人化」研究を紹介す そへの推移を、家族の個人 関連させつつ述べる。	清水新二 (奈良女子大 学名誉教授)	清水新二 (奈良女子大 学名誉教授)
8	生活者にとっての 家族ライフスタイル	生活者にとっての家族ライフスタと、家族ライフスタイルが多様化でとともに、家族ライフスタイルの多チャンスについて問題提起する。ず、子どもも障がい者も、だれもかためのライフチャンスの条件整備【キーワード】	けることの意味を解説する 様化を左右するライフ とりわけ、健常者のみなら ド生きる権利を尊重される を喚起したい。	神原文子 (神戸学院大 学教授)	神原文子 (神戸学院大 学教授)
9	職業と家族	家族は職業・労働を通して所得をしている。この回では家族と職業けて捉えるかを整理する。さらに、業と労働とがどのように発展し、そな影響を及ぼしてきたかをみてい 【キーワード】 職業分類・職業・家族経営・雇用性労働	・労働をどのように結びつ 、時代の推移とともに、職 たのことが家族にどのよう へ、。	宮本みち子 (放送大学教 授)	宮本みち子 (放送大学教 授)

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
10	ジェンダーと家族	近代化にともなう「近代家族」の誕生 どのような影響を及ぼしたかをみる。 どのケア・ワークに焦点を当てて、ジ る。最後に、家族の仕事・時間・お金 口で整理する。 【キーワード】 ジェンダー・性役割分業・家父長制・ ワーク	また、子育てや介護なエンダーの視点からみを、ジェンダーの切り	宮本みち子 (放送大学教 授)	宮本みち子 (放送大学教 授)
11	現代社会と家族ストレス	家族が体験する家族ストレスに焦点の整理をしながら家族がどのようにス処をしていくのかを学ぶ。あわせて、やすい家族ストレスの社会的背景にの枠組みを使いつつ説明し、理解を 【キーワード】 家族システム、家族ストレス、ストレス機、家族生活の二面性	トレスに向き合い、対現代の家族が直面しついてABCXモデル深める。	清水新二 (奈良女子大 学名誉教授)	清水新二 (奈良女子大 学名誉教授)
12	家族と病い	病いが決して個人的事柄ではなく周な事柄、とりわけ家族にとってしばし来事となって影響をおよぼすことを解者本人と周囲の相互作用について活活に当てはめて考えるとどうなるかを 【キーワード】 欲求充足の相互規定性、分配正義、割、共依存、アダルト・チルドレン	ば大きな生活上の出 館認する。そのうえで病 学び、これを家族の生 検討する。	清水新二 (奈良女子大 学名誉教授)	清水新二 (奈良女子大 学名誉教授)
13	別れと遺族支援	家族生活に焦点をあわせながら、別からの回復について、自死(自殺)遣その実態、直面する苦悩、課題を理した家族問題への社会的対応一般は会とする。 【キーワード】 喪失と悲嘆、曖昧な別れ、封印される対策基本法	は族の場合を取り上げ、解する。その上でそう こついて学び考える機	清水新二 (奈良女子大 学名誉教授)	清水新二 (奈良女子大 学名誉教授)
14	人口構造と家族	わが国の人口構造は、少産少死とい 最終段階にあるが、「超少子化」とい 状態が続いている。このような少子高 大きく変えつつある。その実態をおさ クロレベルとミクロレベルでどのような ていうのかを整理する。 【キーワード】 人口高齢化・人口転換・合計特殊出 換・少子化対策	われる低い出生率の 所齢化は社会の様相を らえ、少子高齢化がマ 世代間関係と関わっ	宮本みち子 (放送大学教 授)	宮本みち子 (放送大学教 授)
15	社会政策と家族	家族にかかわる社会政策の構成と、な関連性を有しているのか、近年のでいる。また、現代家族が生活保障等がわりながら変容を遂げ、そこにどのを検討する。 【キーワード】 社会政策・家族政策・福祉国家・脱済ぎ手モデル・個人モデル・ジェンダー	社会政策の特徴をみ ノステムとどのようにか りような課題があるのか 商品化・脱家族化・稼	宮本みち子 (放送大学教 授)	宮本みち子 (放送大学教 授)

事務局 記載欄	月講 2009年度	科目 大学院科目	科目 3910510	履修 無		2
------------	--------------	----------	------------	------	--	---

科目名(メディア) =

食健康科学

('09) = (TV)

[主任講師(現職名):小城 勝相 (放送大学教授)

〔主任講師(現職名): 中谷 延二 (放送大学客員教授)

講義概要

高齢化した日本の社会において「健康」は最も関心の高い課題のひとつである。食生活は人間の生命と活動、健康を支えるもっとも基本的で重要な生活行為である。本科目では上の健康の基盤となる重要な食品成分を解説し、生活の質"QOL"の向上に寄与することを目指した食の科学を論ずる。具体的には食品の機能(栄養機能、嗜好機能、生体調節機能)を概説し、食品素材に含まれる各機能を有する成分について解説し、動脈硬化、糖尿病、がんなどいわゆる生活習慣病の予防、食習慣の改善、機能性を発揮する食品(特定保健用食品、機能性食品など)について論究する。あわせて大きな社会的脅威と不安を与えた食品の安全性に関する問題と食環境の重要性を論ずる。

授業の目標

健康を目指した食生活を構築するためには食物(食品)に含まれる成分の基本的機能を理解する。栄養素の化学と機能をを習得し、さらに多種類の食材に含まれる微量な非栄養素の生体に有効にはたらく機能成分の理解を目標とする。あわせて嗜好性を豊かにする食品成分を知る。

履修上の留意点

化学と生物学の基礎を学んでおくこと、さらに栄養学、生化学関連の科目を履修していることが望ましい。

旦	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
1	食品の機能と健康	人間生活のなかで「食」はヒトの健置を占める。生命の維持、活動エ(食品)を摂取する。食品には3つ機能、生体調節機能)があり、食品を発現する。これら機能成分につばキーワード】食品の機能、栄養機能、嗜好機能保健用食品	ネルギーの補給に食物 の機能(栄養機能、嗜好品に含まれる成分が機能 いて概説する。	中谷延二 (放送大学客 員教授)	中谷延二 (放送大学客 員教授)
2	糖質の科学	糖質(炭水化物)は主としてエネル常的に摂取する穀類、イモ類、豆ンが主なエネルギー源である。糖ゴ糖)、多糖類に分類され、それでする。消化、吸収、代謝機構を述を解説する。 【キーワード】 糖質、単糖類、少糖類、多糖類、リゴ糖、食物繊維、エネルギー産生	類に多く含まれるデンプ質は単糖類、少糖類(オリ質は単糖類、少糖類(オリボれの有効な機能を紹介で、エネルギー産生機構で、エネルギーアと機構で、カース、デンプン、オ	中谷延二 (放送大学客 員教授)	中谷延二 (放送大学客 員教授)
3	脂質の科学	脂質は水に不溶で、有機溶媒に浴である。高エネルギー栄養素であ酸類の化学的特性を述べ、脂質の経路を解説する。脂質の消化、吸述べる。 【キーワード】 脂質、脂肪酸、不飽和脂肪酸、ゴ質	る。脂質を構成する脂肪 D酸化反応および生合成 収機構、機能についても	中谷延二 (放送大学客 員教授)	中谷延二 (放送大学客 員教授)

口	テーマ	内容	講師名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	タンパク質の科学	タンパク質は生命を維持する上で重要な機能を担う。タンパク質を構成するのは20種類のアミノ酸であり、グリシンを除くとすべてL型と呼ばれる立体構造を持つ。地球生命におけるL-アミノ酸の起源からタンパク質の構造、酵素反応機能について解説する。 【キーワード】 L-アミノ酸、必須アミノ酸、タンパク質、酵素、ヘモグロビン	小城勝相 、(放送大学教 授)	小城勝相 (放送大学教 授)
5	ビタミンとミネラルの 科学	これらは体内では合成できず、食物から摂取する必要のある栄養素である。ビタミンは、化学的性質はそれぞれ異なが、すべて微量成分で、生命の維持・調節に不可欠な役を持っている。ミネラルは1日あたり100 mg以上摂取すべきマクロミネラルと必要量がそれ以下のミクロミネラルに分類できる。体の中で1 kgも存在するカルシウムから、極微量しか存在しないセレンやコバルトまで多彩である。これらの化学と機能を解説する。特にカルシウムの機能と骨の健康について解説する。 【キーワード】	る 引 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	小城勝相 (放送大学教 授)
6	嗜好成分の科学 香り成分の科学	「おいしさ」は食品、ヒト、環境などの因子によって決定される。それらの相互関係を概説するとともに、食品由来因子ひとつである「香り成分」を取り上げ、ヒトが香りを感知するくみ、食品由来の香り成分、調理過程で生成する香り成分の化学的特性および機能性について論じる。 【キーワード】 おいしさを決定する因子、香り成分、香り成分の生成	の	菊﨑泰枝 (奈良女子大 学大学院教 授)
7	呈味成分の科学	食品に含まれる呈味成分は、食品のおいしさを決定する も重要な食品由来因子である。ヒトが味を感知するしくみを 概説し、呈味成分(甘味、塩味、酸味、苦味、うま味の5基 本味、および辛味、渋味)の化学的特性と機能性について 論じる。 【キーワード】 甘味、塩味、酸味、苦味、うま味、辛味、渋味	菊﨑泰枝	菊﨑泰枝 (奈良女子大 学大学院教 授)
8	食品色素の科学	食品に含まれる色素は構造上、ポルフィリン系、カロテノイ系、フラボノイド系などに分類できる。それぞれについて化学的特性、機能性について論じるとともに、褐変など食品保存、加工、調理過程で生じる色素についても解説する。 【キーワード】 ポルフィリン系色素、カロテノイド、フラボノイド、褐変	菊﨑泰枝	菊﨑泰枝 (奈良女子大 学大学院教 授)
9	生体内酸化ストレスと疾病	地球上のほとんどの生命は酸素を使ってエネルギーを得いる。エネルギーを使って生命は高い秩序を維持することができる。さらに環境汚染物質や医薬品などは肝臓で酸素を使った酸化反応によって解毒している。一方、酸素は般肉で活性酸素になって、老化、癌、動脈硬化などいわると活習慣病を引き起こすと考えられている。あとで述べれる生活習慣病との関連において、望ましい酸化と望ましない酸化、両方について化学的に解説する。 【キーワード】 酸化ストレス、ATP、恒常性、ラジカル反応、活性酸素、生活習慣病	表 	小城勝相 (放送大学教 授)

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
10	活性酸素による生活 習慣病と食による予 防	第9章でのべた、望ましくない酸化て起こると考えられる生活習慣病の解説する。 【キーワード】 活性酸素、動脈硬化、メタボリック病、抗酸化系食品、特定保健用食血圧	の食による予防について シンドローム、生活習慣	小城勝相 (放送大学教 授)	小城勝相 (放送大学教 授)
11	糖尿病の食による予 防と是正	糖尿病は戦後急速に増加し、その以上の国民3人に1人に達する。他と身体活動量の低下である。糖疾患であるが、自覚症状がないま経の障害、動脈硬化疾患などの合の生命と生活の質を脅かす。食事ぶ糖尿病治療の三本柱であり、量糖尿病の食事療法は、すべての生の基本となる。 【キーワード】 肥満、インスリン、HbA1C、食事療	急増の主因は、食の欧米 尿病は血糖が上昇する ま進行し、網膜、腎臓、神 計併症を発生させ、患者 は、運動・薬物療法と並 とバランスが考慮された 生活習慣病の予防・治療	曽根博仁 (新潟大学大 学院教授)	曽根博仁 (新潟大学大 学院教授)
12	動脈硬化の食による予防と是正	表、管理栄養士 食は健康の源であり、その量とバ 生活習慣病に結びつく。特に動脈病は日本人の死因の三分の1を占 この動脈硬化を強く促進する脂質 血圧の進行においても、身体運動 している。現代に生きる我々は、こ 応するために、その食生活を根本 れる。 【キーワード】 LDLコレステロール、HDLコレステ 圧、生活習慣病	(硬化による脳卒中と心臓 があるが、糖尿病と共に、 異常症(高脂血症)と高 と並び食習慣が深く関与 れらの生活習慣病に対 的に見直すことが求めら	曽根博仁 (新潟大学大 学院教授)	曽根博仁 (新潟大学大 学院教授)
13	メタボリックシンドロー ムとその他の生活習 慣病の食による予防 と是正	メタボリックシンドロームとは、放置糖・高血圧・脂質異常症(高脂血紅人に重なり、動脈硬化疾患が多発本的原因は、過食と運動不足によ乱れであり、解決には生活習慣のもアルコール性肝疾患、痛風、一生活との関連が指摘されている。健康食品の氾濫も問題になっておビデンスに基づく適切な判断が必【キーワード】	定)が、肥満を背景に同一 する状態である。その根 るエネルギーバランスの 是正が必須である。他に 部の癌などについても食 一方、科学的根拠が薄い うり、消費者側も科学的工 要である。	曽根博仁 (新潟大学大 学院教授)	曽根博仁 (新潟大学大 学院教授)
14	わが国で頻発する食 品由来疾患	食の安全について、刹那的な情報 じる者が非常に多い。本講義では き食品由来疾患を患者数に基づいの原因と対策について概要を説明 【キーワード】 ノロウイルス、カンピロバクター、サ 下痢原性大腸菌	、消費者として注意すべ いてランク付けし、各疾患 引する。	西川禎一(大 阪市立大学 大学院生活 科学研究科 教授)	西川禎一(大 阪市立大学 大学院生活 科学研究科 教授)

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
15	健康な食生活	摂食の意義、食物の生体へのにについて把握する。「何をどのよし、食生活指針、食事摂取基準ランスガイドを概説する。これからを取り入れたニュートリゲノミック 【キーワード】 食品機能、食事摂取基準、食事ニュートリゲノミックス	うに食べたらよいか」に関、食事のバランス、食事バ、食事のバランス、食事がらの栄養学として遺伝子学ス(栄養遺伝子学)を語る。	中谷延二 (放送大学客 員教授)	菊宗女 《奈大》 《宗大》 《宗大》 《宗大》 《宗大》 《宗大》 《宗大》 《宗大》 《宗

事務局 記載欄	開講 年度	2012年度	科目 区分	大学院科目	科目コード	8910618	履修 制限	有	単位 数	2
------------	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---

科目名 (メディア) = 居住環境整備論 ('12) = (TV)

[主任講師(現職名):藤本信義(宇都宮大学名誉教授)

[主任講師(現職名):小林秀樹(千葉大学大学院教授)

【本学担当専任教員:川原靖弘(放送大学准教授)】

講義概要

居住環境整備は、21世紀の日本社会が取り組むべき重要な社会課題の一つである。新規開発から既存の居住環境やコミュニティの再生に重点がシフトする中で、従来のように行政や民間ディベロッパーなどの供給側に依存した整備手法は様々な限界を示しており、そこに暮らす人々を主体とした居住者参加型の活動やプロジェクトが増えつつある。本講義では、このような住まい・まちづくりに関心をもつ住民の一人一人、あるいは、それを支援する専門家を目指す学生を対象として、住民主体の意義を考察するともに、活動推進に必要な知識や様々な手法を提示することを狙いとする。2章から8章までが住まいづくり、9章から15章までがまちづくりと2部構成になっている。

授業の目標

本講義の目標は、第一に、様々な場面で取り組まれている居住環境の再生・整備の諸相を知ること、第二に、その背景にある 社会情勢や住民主体の考え方を理解すること、第三に、プロジェクト推進に必要な事業手法や法制度、及び住民と専門家等の 協働のあり方を学ぶこと、第四に、居住環境整備の今後の展開について自分なりの考えを育むこと、である。これらを通じて、一 人一人の住民として、あるいは活動を支える専門家として必要な知識を習得する。

口	テーマ	内	容		放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	住民主体の居住環境 整備	全体の総論として、居住環境の 体の意義を講義するとともに、各た、新規開発が少なくなり既存現なるとともに、そこに暮らす住民は組むことの重要さを示す。 【キーワード】 総論、住民主体、再生型の居住くり	回の概要を紹介する。ま 環境の再生・整備が主題に 自らが主体的に活動に取り	小林秀樹(千 葉大学大学 院教授)	小林秀樹(千葉大学大学院教授) 藤本信義(宇都宮大学名誉教授)
2	協同を支える住まい の所有形態	欧米を中心に住民主体の住宅所るコープ住宅(組合所有)を紹介しい試みであるスケルトン定借、コープ住宅について実例を交え 【キーワード】 所有制度、コープ住宅、組合所有	するとともに、日本での新 居住者法人所有、賃貸型 て考察する。	小林秀樹(千 葉大学大学 院教授)	小林秀樹(千 葉大学大学 院教授)
3	居住者参加による住 まいづくり	住み手が自分たちの住まいづくするライフスタイルを実現し、安原ニティを形成している日本のコー宅とも呼ぶ)の先進事例を通してや、住民が主体的に居住環境のて解説する。 【キーワード】 コープ住宅、居住者参加、コミュ	ひして住み続けられるコミュープ住宅(コーポラティブ住 、これからの集住のあり方)形成に関わる意義につい	森永良丙(千 葉大学大学 院准教授)	森永良丙(千 葉大学大学 院准教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	新しいシェア居住の 可能性	単身化、少子高齢化が進む中で、集まって暮らす良さを求めた新しいシェア居住が登場し、一定の支持を得ている。 それらを概観するとともに、共同の食事室等をもつコレクティブハウス、若者を中心に広がりをみせるルームシェア等に焦点をあてて解説する。 【キーワード】 シェア居住、コレクティブハウス、ルームシェア、シェアハウス	小林秀樹(千 葉大学大学 院教授)	小林秀樹(千 葉大学大学 院教授)
5	住民主体の福祉の住 まいづくり	住民があたり前に生活し、障がいを有したり、老いを迎えても安心が保障される住まいのあり方を描くとともに、市民やユーザーが参加する福祉の住まいづくりの最新事例の動向と、それらが内包する問題・課題と可能性について解題する。 【キーワード】 居住福祉、グループリビング、ケア付き高齢者住宅、障がい者コープ	園田眞理子 (明治大学教 授)	園田眞理子 (明治大学教 授)
6	住民による地域の福 祉拠点づくり	住民が参加して生み出す福祉拠点・居場所づくりに着目する。我が国の郊外住宅地において住民主体に取り組んできた子育て、高齢者居住支援等の様々な福祉拠点・居場所づくりの現状と将来の展開可能性について、事例を踏まえつつ解説する 【キーワード】 福祉拠点、居場所づくり、子育て支援、NPO、中間支援組織	園田眞理子 (明治大学教 授)	園田眞理子 (明治大学教 授)
7	既存建築を生かした 住まいづくり	既存建築に新しい価値を与えながら空間再生を果たす事例が増えている。ストックを活用した住まいづくりも多くみられるようになった現在、ハードとソフトの提案にどのようなものがあるのか、その可能性と課題について、最新事例やプロジェクトを通して解説する。 【キーワード】 既存建築、ストック活用、リノベーション、コンバージョン	森永良丙(千 葉大学大学 院准教授)	森永良丙(千 葉大学大学 院准教授)
8	団地型マンションの 再生	マンションの老朽化が問題になるとともに、マンション建替えはもちろんのこと、複数棟からなる団地型マンションの再生が注目されている。修繕、改修、建替えをどのように選択し、住民の合意形成をはかるのかについて考察する。 【キーワード】 マンション建替え、団地再生、棟別再生、生活サービス	小林秀樹(千 葉大学大学 院教授)	小林秀樹(千 葉大学大学 院教授)
9	地域コミュニティの再生	「地域コミュニティの崩壊」が言われるようになって久しいが、人々をつなぐ「絆」を何に求めるかが今日改めて模索されている。輸入概念であるコミュニティが、我が国の居住環境整備においてどのように扱われてきたのかをトレースする。 【キーワード】 コミュニティ、地域の絆、居住環境整備、ソーシャルキャピタル	藤本信義(宇 都宮大学名 誉教授)	藤本信義(宇 都宮大学名 誉教授)
10	地域コミュニティと NPOの協働	我が国では、身近なコミュニティの最小単位として自治会・町内会が位置づけられる。人々のコミュニティ関係が希薄化するなかで、この地縁組織と、活動のテーマ性、専門性、機動性等を有するNPOとの連携・協働のありかたを、事例を通して考察する。 【キーワード】 地域コミュニテイ、自治会、町内会、NPO、協働	藤本信義(宇 都宮大学名 誉教授)	藤本信義(宇 都宮大学名 誉教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	コミュニティ・ワーク ショップの手法	高度成長期に開発への抵抗から始まった住民運動は、全日、「守る」運動から「創る」運動へと展開している。このよな経緯をふまえて、コミュニティを住民参加で守り育てるこの意義とその具体的手法を学ぶ。とくに、コミュニティ・ワークショップの手法に着目する。 【キーワード】 住民参加、ワークショップ、行政の広域化、コミュニティ・カルテ	う と - 藤本信義(宇 都宮大学名 誉教授)	藤本信義(宇 都宮大学名 誉教授)
12	地域資源の活用とコ ミュニティ参加	我が国における人口減少社会の到来は、都市・農村を問ずコミュニティの活力に影を投げかけている。その中で、対域資源に改めて目を向け、その活用を図ることによってコミュニティの活性化をはかる住民参加のあり方を、具体的事例を通して探る。 【キーワード】 地域資源、少子高齢化、定住環境整備	藤木信義(字	藤本信義(宇 都宮大学名 誉教授)
13	経済基盤と居住環境 の一体的整備	少子高齢化の進行が著しい農山村の居住環境をどのように維持していくかは、いわゆる「限界集落」の増加に伴った緊要の課題となっている。経済基盤の強化を図りつつ、特適な居住環境を守り育てることの必要性を、都市農村交流等の事例を踏まえて解説する。 【キーワード】 農山村、田園都市、経済基盤、都市農村交流、コミュニティとジネス	(京) (京) (京) (京) (本) (京) (本) (京) (本) (京) (本) (方) ()) ()) ()) ()) ()) ()) ()	藤本信義(宇 都宮大学名 誉教授)
14	コミュニティ・NPOと 連携した学校教育活 動	小中学校の学習支援活動や交流活動など、地域のコミュティやNPO、企業が学校と連携して地域性のある教育活を実践し、教育効果を高めるとともに地域活力を得ている例は全国に数多い。こうした関係が成立する背景、経緯と継続の条件などについて習志野市、大阪市および横浜での事例をもとに考察する。 【キーワード】 小学校、学習支援、学社連携、学社融合	動 事 三橋伸夫(宇	三橋伸夫(宇 都宮大学教 授)
15	中山間地域の地域経 営と住民主体形成	過疎化・高齢化などの長期的社会変動、自然災害や市町村合併など突発的な社会変動を経て、地域経営が困難さを増しつつあるわが国農山村の地域経営の持続性を確保すべく、住民と行政が協働して「新たな公」の一翼を担いつある状況を報告し、今後の住民主体のあり方について察する。 【キーワード】 中山間地域、地域経営、新たな公、住民主体	三橋伸夫(字	三橋伸夫(宇 都宮大学教 授)

事務局 記載欄	開講 年度	2011年度	科目 区分	大学院科目	科目コード	8910600	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = 生活リスクマネジメント ('11) = (R)

〔主任講師(現職名): 奈良由美子(放送大学教授)

講義概要

生活の質を高めるうえで生活リスクを理解し低減することは不可欠である。このことは生活者自身はもちろん、地域、企業、行政といったリスク管理主体を含めた社会全体の課題といえる。本科目では、リスクの様相の局面、リスクの認識の局面、そしてリスクへの対処の局面から、生活リスクマネジメントの理論と実践についての講義を行う。

授業の目標

リスクの増大化・複雑化する現代において、生活上のリスクを把握し管理することが社会的にも求められている。本科目では、喫緊の課題ともいえる生活リスクマネジメントについて、知識の提供と実践能力の育成を行うことを目的とする。その際、生活者自身はもちろん、地域、企業、行政といった立場の異なるリスク管理主体の協働までを射程に入れた検討を行いたい。

履修上の留意点

生活の総合性や現代的課題をまず理解するためにも「生活健康研究('09)」を履修していただきたい。また、複数の主体の協働、そのなかでの生活者の課題については「生活知と科学知('09)」(学部科目)も履修しておくことが望ましい。

回	テーマ	内	容		放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	リスク研究へのいざな い	科目全体の導入回として、この回でスクを理解しこれを管理することの 起を行う。その際に、生活あるいはをとらえる本書の立場を示しておき ついての関連学問領域におけるア	意義についての問題提 生活者の視点からリスク たい。また、リスク研究に プローチを紹介する。	(放送大学教	奈良由美子 (放送大学教 授)
		リスク、生活、生活者、リスク研究、リ	スク社会、安全と安心		
2	リスク概念	リスクの本質は不確実性にある。リス解するためには、リスクの特性と不能を不確実性から生じる評価の問題、対応の問題を理解することが必要と心に、リスクの定義、リスクの成分といていく。 【キーワード】 不確実性、確率、望ましくない結果ド、ペリル、ダメージ	確実性とのかかわり、ま 認識の問題、さらには なる。これらの内容を中 いった項目についても見	奈良由美子 (放送大学教 授)	奈良由美子 (放送大学教 授)
3	リスクの実際	この回のねらいは、わたしたちの生の程度の大きさで存在しているのかて、リスクの様相の局面を理解するは、人間の死亡についての統計デかのリスクの大きさをとらえる。また、人間の生活に発生するリスクについ【キーワード】 平均寿命、年間死亡リスク、生涯死	を把握することによっ ことである。具体的に ータをみることで、レヾつ 現代社会および一人の ゝての分類を提示する。	奈良由美子 (放送大学教 授)	奈良由美子 (放送大学教 授)

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	リスク認知とバイアス	リスクの本質は不確実性にあり、これ 制約が関わることで、リスク情報のタ アスが生じる。この認知のゆがみが との乖離をうむ。この回では、リスク について、具体的ないくつかの認め ら説明する。 【キーワード】 リスク認知、客観リスク、主観リスク、 スティック、リスク情報、正常性バイ	処理の過程には認知バイ 、主観リスクと客観リスク 認知のバイアスとは何か 知バイアスをとりあげなが 認知バイアス、ヒューリ	奈良由美子 (放送大学教 授)	奈良由美子 (放送大学教 授)
5	リスクイメージとリスク の受容	わたしたちはリスクについてのイメージによってリスクを判断している。ひリスク認知について見ていく。また、の実態とその要因について、もっと受容すなわちゼロリスク要求にも言 【キーワード】 リスクイメージ、リスクの認知地図、! 性、ゼロリスク	トとびとのリスクイメージと ひとびとのリスクの受容 も低いレベルでのリスク 及しながら考える。	奈良由美子 (放送大学教 授)	奈良由美子 (放送大学教 授)
6	社会のなかのリスク	リスクについての認識はひとによっがおかれている社会的コンテクストの回では、リスクに対する見方や考に構成されるのかについて考える。特徴やその背景にも触れる。 【キーワード】 社会的コンテクスト、個体的要因、際比較、日本人のリスク観	が異なるためである。こ え方がどのように社会的 日本におけるリスク観の	奈良由美子 (放送大学教 授)	奈良由美子 (放送大学教 授)
7	リスクマネジメントの 基本	リスクを低減するための管理手法で関して、その意義と基本を提示するリスク処理の手法を含む具体的なりについて述べる。また、生活者が自メントを導入する際の留意点や積極る。 【キーワード】 コスト、PDCAサイクル(PDSサイクプロセス、リスク分析、リスク評価、リ	5。リスクの分析や評価、 リスクマネジメントプロセス ISの生活にリスクマネジ 駆性についても言及す フル)、リスクマネジメント	奈良由美子 (放送大学教 授)	奈良由美子 (放送大学教 授)
8	リスクコミュニケーショ ン	あるリスクについて立場の異なる複き、リスクについての問題解決が困 クに対する考え方や意見の違いが ケーションが必要となる。この回でレ ンについて、その意義と基本的なフ 【キーワード】 リスクコミュニケーション、生活者、『 ス、欠如モデル、相互作用プロセス	難になることが多い。リス あるとき、リスクコミュニ は、リスクコミュニケーショ 方法を考える。 専門家、専門家バイア	奈良由美子 (放送大学教 授)	奈良由美子 (放送大学教 授)
9	自然災害	わが国は世界有数の自然災害国で に大きな損害をもたらす。この回で その様相、認識、対処の局面を考え 焦点をすえながら、社会と生活者に 課題を検討する。 【キーワード】 自然災害、地震、公助、自助、共助	は自然災害について、 える。とくに地震災害に ことっての対処の方法と	奈良由美子 (放送大学教 授)	奈良由美子 (放送大学教 授)

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
10	犯罪	わが国の安全神話の崩壊が指摘されてかは、生活の安全・安心を脅かす犯罪につ相、認識、対処の局面からアプローチする犯罪の認知件数や被害状況等から犯罪でとともに、生活者の体感治安と犯罪不安ので、犯罪に対する安全と安心の阻害状況うえで、犯罪への対処の方策について考【キーワード】 犯罪、認知件数、犯罪被害、体感治安、者、ターゲット、環境、地域	いて、リスクの様 る。 具体的には、 の実際をおさえる の様子を見ること を理解する。 その えていきたい。	奈良由美子 (放送大学教 授)	奈良由美子 (放送大学教 授)
11	製品安全	科学技術が進展し消費者のニーズも多様にあって、さまざまな製品が開発・販売される。かている。同時に、その使用による被る。この回では、日常生活で使用する製品や被害実態を見たうえで、製品安全に対識をおさえ、さらにこれへの対処を行政、費者の立場から考えていく。 【キーワード】 消費者、製品事故、製品評価技術基盤模表示、消費生活用製品安全法、製造物責任、誤使用と正常使用、製品の不確実性	n、生活の利便性 とりあげ、事故 まをとりあげ、事故 する生活者の認 事業者、そして消 後構(NITE)、警告 責任法(PL法)、責	奈良由美子 (放送大学教 授)	奈良由美子 (放送大学教 授)
12	食品安全	食の安全・安心に対するひとびとの関心には食品の安全性について、客観的な様材タによっておさえ、これとひとびとの主観的どうであるか、さらにはその差の要因は何じて、現代社会にあってわたしたちが食らっための手がかりを考えていきたい。 【キーワード】 食の安全・安心、食中毒、食品添加物、食BSE問題、遺伝子組換え食品、中国製冷マスコミ報道	目を具体的なデー 力な認識との差が かを考察する。総 別スクに向かい合 食品安全委員会、	奈良由美子 (放送大学教 授)	奈良由美子 (放送大学教 授)
13	信頼とリスク	現代社会においてリスクを考えるとき、重要などのとなるのが「信頼」である。この回で味ならびに生活の安全・安心と信頼との関をのうえで、リスクをめぐる複数の主体のは築することの意義と可能性について、主要事例を示しながら考えていく。 【キーワード】 信頼、生活の外部依存、安全の外部依有モデル、主要価値類似性モデル、専門的さ、参加の重要性、第三者	は、まず信頼の意見わりをおさえる。らいだで信頼を構要モデルや具体的で、伝統的な信頼	奈良由美子 (放送大学教 授)	奈良由美子 (放送大学教 授)
14	生活者の主体性とり スクガバナンス	この回では、生活者がリスク社会に主体的義と可能性を検討する。具体的には、ソールの醸成とリスクガバナンスの展開をとりま者が能動的に参加することでもたらされる資源や問題解決手法について検討してい【キーワード】 主体性、参加、ソーシャル・キャピタル、信互酬性の規範、リスクガバナンス、フレージ	ーシャル・キャピタ あげ、そこに生活 新たなリスク対処 、く。 「頼、ネットワーク、	奈良由美子 (放送大学教 授)	奈良由美子 (放送大学教 授)
15	安全と安心、そして信 頼の構築にむけて	これまでに現代社会における生活リスクに相、認識、対処の局面から述べてきた。最の内容を①ゼロリスクを前提としない実際ントの導入、②安全に裏付けられた安心のリスク管理の主体としての復権の観点がで、本書全体のまとめを行う。 【キーワード】 リスクマネジメントのクライテリア、ゼロリスク安、生活全体への満足、主体性、セルフ・頼	始回では、それら 的なリスクマネジメ の実現、③生活者 ら総括すること ケ、安全と安心、不		奈良由美子 (放送大学教 授)

事務局 記載欄	開講 年度 2010年度	科目 大学院科目	科目コード	8910553	履修 制限	有	単位 数	2	
------------	-----------------	----------	-------	---------	-------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = 精神医学特論 ('10) = (R)

〔主任講師(現職名):石丸 昌彦(放送大学教授)

〔主任講師 (現職名): 仙波 純一(さいたま市立病院精神科部長) 〕

講義概要

精神医学は、頭や心の働きの変調や障害に関する知識の集大成であり、精神疾患の診断や治療のあり方を検討する深くて広い学問である。本科目は臨床心理士養成コース大学院の科目であるので、専門的な医学的な知識がなくとも理解できるよう工夫がなされている。今日見られる代表的な疾患を広くとりあげて事例をあげつつ紹介し、診断ばかりでなく治療の基本的な流れを解説することに力点が置かれている。

授業の目標

主な精神疾患について、症状・経過・診断・治療など基本的なことがらを正しく理解習得する。そのことを通じ、精神障害をもつ人々がどんな困難を抱えているかを知るとともに、適切な援助を行うにはどうすればよいか具体的に工夫できる力を養う。また、医学・医療において精神医学が担っている役割を理解し、今日の社会において精神障害者福祉が抱えている課題や将来展望を自ら考える姿勢を身につける。

履修上の留意点

あらかじめ学んでおく科目として特に指定するものはないが、日頃から健康や医学の問題に関心を持ち、家庭医学書や新聞・書籍などを通じて心身の健康についての基礎知識を養っておくことが望ましい。

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
1	精神医学とは何か	医学において精神医学の占める位置を確認 医学の歴史と現状を展望する。精神症状を の面接法、臨床検査法、診断法についての 方を学ぶ。 【キーワード】 精神医学、従来診断、DSM-IV、ICD-10	把握するため	石丸 昌彦 (放送大学教 授)	石丸 昌彦 (放送大学教 授)
2	気分障害(1)	従来の診断名では躁うつ病と呼ばれる気分げ、その疫学、症状、推定されている成因なぶ。今日の精神医療において最も重要なテである。 【キーワード】 気分障害、躁うつ病、うつ病	どについて学	仙波 純一 (さいたま市 立病院精神 科部長)	仙波 純一 (さいたま市 立病院精神 科部長)
3	気分障害(2)	気分障害の治療法を構成する薬物療法と精割を述べる。抗うつ薬・気分安定薬など主なと注意点、精神療法の基本原則のほか、電療法などにも言及する。 【キーワード】 抗うつ薬、気分安定薬、認知療法	治療薬の特徴	仙波 純一 (さいたま市 立病院精神 科部長)	仙波 純一 (さいたま市 立病院精神 科部長)

□	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	統合失調症(1)	かつて精神分裂病と呼ばれていた統合失調症は、現在でも精神医療の大きな課題である。その概念、疫学、症状、診断基準、成因仮説、最近の動向などについて学ぶ。 【キーワード】 統合失調症、精神分裂病、ドーパミン仮説	石丸 昌彦	石丸 昌彦 (放送大学教 授)
5	統合失調症(2)	統合失調症の治療法すなわち、薬物療法、精神療法、作業療法、SSTなどについて述べる。抗精神病薬の作用・副作用と使用の意義を理解するとともに、疾患の特徴を踏まえた援助のあり方について考える。 【キーワード】 抗精神病薬、作業療法、SST		石丸 昌彦 (放送大学教 授)
6	(1)	従来の診断名では神経症と呼ばれる疾患群を不安障害としてとりあげ、その主なものについて、疫学、症状、治療法などを述べる。本章ではパニック障害、強迫性障害、恐怖症などを扱う。 【キーワード】 神経症、不安障害、パニック障害、強迫性障害、恐怖症		石丸 昌彦 (放送大学教 授)
7	不安障害と関連事項 (2)	第6章に続き、不安障害と関連事項について学ぶ。本章ではヒステリー、適応障害、心的外傷後ストレス障害(PTSD)などに焦点を合わせ、ストレスと心の健康の関係についても考える。 【キーワード】 ヒステリー、転換性障害、解離性障害、適応障害、心的外傷後ストレス障害(PTSD)		石丸 昌彦 (放送大学教 授)
8	身体疾患による精神 障害	身体疾患にともなって生じる精神障害は、精神医学においてはきわめて重要なテーマである。代表例を通じてその特徴を学び、現代における意義を考える。てんかんについても簡単に言及する。 【キーワード】 症状性精神病、器質性精神病、てんかん		石丸 昌彦 (放送大学教 授)
9	小児期の精神障害	小児期に明らかとなる広汎性発達障害、学習障害、注意 欠陥多動性障害などについて述べる。これらの障害は今 日注目を集めており、正しく理解することが必要である。 【キーワード】 発達障害、広汎性発達障害、自閉性障害、学習障害、注 意欠陥多動性障害(ADHD)	(東京都立	市川 宏伸 (東京都立 梅ヶ丘病院院 長)
10		思春期・青年期にはさまざまな精神障害が発症・顕在化する。その中で特にこの時期に特徴的な疾患としてパーソナリティ障害と摂食障害をとりあげ、概念、症状、診断、治療などについて学ぶ。 【キーワード】 パーソナリティ障害、摂食障害、神経性無食欲症、神経性 大食症	石丸 昌彦 (放送大学教 授)	石丸 昌彦 (放送大学教 授)

□	テーマ	内 容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	壮年期の精神障害	壮年期の精神障害は、職場や家庭での社会的責任やストレスと関連するものが多い。本章では心身症とアルコール依存症をとりあげ、その概念や症状について学びつつ今日の現状を展望する。 【キーワード】 心身症、アルコール依存症、物質関連障害	石丸 昌彦 (放送大学教 授)	石丸 昌彦 (放送大学教 授)
12	老年期の精神障害	わが国が直面している超高齢化社会では、高齢者の心の 健康はきわめて重要な課題である。本章では老年期認知 症を中心に、老年期の精神疾患の特徴や注意点を学ぶ。 【キーワード】 老年期認知症、アルツハイマー型認知症、血管性認知 症、うつ病	石丸 昌彦 (放送大学教 授)	石丸 昌彦 (放送大学教 授)
13	精神科治療(1)	精神科治療薬の種類とその推定される作用機序について述べる。個々の治療薬の特徴を知るとともに、精神科の薬物療法において注意すべき点を学ぶ。 【キーワード】 向精神薬、臨床試験、EBM	石丸 昌彦 (放送大学教 授)	石丸 昌彦 (放送大学教 授)
14	精神科治療(2)	精神科面接の基本的な進め方について学び、面接そのものが持つ治療効果について理解する。また、精神疾患の特徴に応じた精神療法のあり方について、いくつかの例を通して理解する。 【キーワード】 精神科面接、心理教育、疾患に応じた精神療法的配慮	石丸 昌彦 (放送大学教 授)	石丸 昌彦 (放送大学教 授)
15	日本の精神医療の 現状	日本の精神医療の歴史と現状を行政・法律や社会意識の面から検討する。本人の同意なしに治療を行う場合の人権保護の問題や、精神障害者の社会復帰を支える援助のあり方を含む。 【キーワード】 精神保健福祉法、強制入院、患者の人権、社会復帰	石丸 昌彦 (放送大学教 授)	石丸 昌彦 (放送大学教 授)

事務局 記載欄	開講 年度	2013年度	科目 区分	大学院科目	科目コート	8910626	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = $^{\sim}$ $^{\sim}$

[主任講師(現職名): 井上洋士(放送大学教授)

〔主任講師(現職名):

【本学担当専任教員:

講義概要

健康や保健医療に関する研究には、基盤となるアプローチがあるのと同時に、多様な研究方法が存在する。調査研究について大別すれば、量的研究や質的研究があり、またそれらを組み合わせた方法論的トライアンギュレーションも存在する。また、たとえば量的研究においても、介入的研究や質問紙による調査、WEB調査なども存在する。本科目では、研究遂行のためのガイドとなるべく、健康や保健医療の研究のアプローチの基礎について概略を紹介し、一部の方法については具体的に言及する。保健・医療・看護・健康に関連する学生をコアターゲットとして考えているものの、福祉、生活、心理、教育、社会など、幅広い領域の学生も受講できるよう、また内容的にも各自の研究に十分役立つよう、工夫してある。

授業の目標

健康や保健医療に関する基本的な研究アプローチのうち、主要なものについての基本的理解を深めること、及び大学院における 実査や論文作成等の研究を実施するにあたり、本科目で学んだ事項を発展的に応用し、研究テーマの焦点を絞って、そのテーマ に合った方法を選択する実践的な力を培っていことを目標とする。

履修上の留意点

他の生活健康科学プログラム関係の科目と並行して学ぶことが望ましい。

□	テーマ	内	7	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	ヘルスリサーチと方 法論	本科目での学び方について解説をする。特に何か」を改めておさえたうえで、ヘルスリサーラ健・医療・福祉分野での調査研究について、や方法論、流れについて概説をする。また、「リサーチ・クエスチョンにし、さらに洗練させて具体化させる過程についても紹介する。 【キーワード】 ヘルスリサーチ、研究、リサーチ・クエスチョン性、外的妥当性	チないしは保 その位置づけ 私の疑問」を 研究課題へと		井上洋士·放送 大学教授
2	健康関連の理論・モ デルと研究への適 用	健康という現象を研究としてどのようにとらえるやモデルと、それらの研究への適用について者各自が研究を実施するにあたり「どのようにか」を模索する契機とする。また、健康行動やかかわる研究について頻繁に用いられる理論くつかについても紹介する。 【キーワード】 健康、健康行動、理論、モデル、概念、健康付計画的行動理論、自己効力感	紹介し、受講 光を当てるの 健康教育に ・モデルのい	井上洋士·放送 大学教授	井上洋士·放送 大学教授
3	健康分野での文献 検索とクリティーク	ヘルスリサーチを進めていく上で、健康や医療での文献や論文を探してレビューすることはでる。ここでは、文献の種類や探し方を紹介する集した文献を概観するにあたっては、たえず持つ必要があると言われるが、その意味や、こクの視点について紹介する。 【キーワード】 文献の種類、文献検索、検索エンジン、クリテ	下可欠であ る。さらに、収 比判的な目を 文献クリティー		伊藤美樹子·大 阪大学准教授

回	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	健康や病い・障害の 研究デザイン	健康や病いの研究のうち、「人」を対象とするものにおいては、患者など、その当事者そのものを念頭におくことが多い。しかし実際には、家族や地域の人々などを対象とする研究も含まれる。ここでは、研究対象をどうとらえるのかを考えていく。調査研究におけるサンプリングなど、研究デザインの構築の仕方についても言及する。 【キーワード】 研究デザイン、研究計画(どう立てていくか)、量的方法、質的方法	/n 恭子 #Lラ - L.	伊藤美樹子·大阪大学准教授
5	ヘルスリサーチにお ける質的研究	ヘルスリサーチにおいて質的研究にはどのような役割があるのか、どのような場合に質的研究を選択するとよいのか、質的研究により厚みが出る研究テーマはどういうものなのかについて説明する、また、研究テーマなどにより、どの方法を選択したらよいかを考える。 【キーワード】 質的データ、実践科学、専門性への問い直し		木下康仁·立教 大学教授
6	グラウンデッド・セオ リー・アプローチと健 康・看護領域での活 用	看護研究などでよく用いられるグラウンデッド・セオリー・アプローチ(GTA)の概説と、この手法を選択する場合の注意点、実践研究例を紹介する。また、グラウンデッド・セオリー・アプローチ(GTA)を実践するにあたり、学ぶべきこと、姿勢などについても考える。 【キーワード】 グラウンデッド・セオリー・アプローチ、概念、カテゴリー、切片化	森真喜子·北里 大学准教授	森真喜子·北里 大学准教授
7	修正版グラウンデッド・セオリー・アプロー チと健康領域での活 用	修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ(M-GTA)は、GTAとどこが違うのか、どういった場合にM-GTAが適しているのかについて紹介する。また、M-GTAを実施する際の心構えと学ぶべきことについても考えていく。 【キーワード】 多重的同時比較、理論生成、実践的活用、一般化可能性	大学教授	木下康仁·立教 大学教授
8	ヘルスリサーチにお ける量的研究:質問 紙調査を中心に	質問紙調査、いわゆるアンケート調査を主軸とする量的研究について、その役割・意義について概要を説明する。また、質問紙調査遂行のプロセスについて概観していく。 【キーワード】 量的調査、配表、質問紙、質問文、回収率、統計ソフト		井上洋士·放送 大学教授
9	ヘルスリサーチにお ける介入研究	健康領域での介入的な研究は、準実験的研究とも呼ばれるものが多い。ここでは実験研究についてまず述べるが、実験研究の限界と、それゆえ行われる準実験的研究について、紹介する。具体的には、実施の仕方や留意点、限界などを紹介しつつ、その意義を検討していく。 【キーワード】 実験研究、介入研究、準実験的研究、介入、対照群、無作為割付、バイアス、交絡因子		井上洋士・放送 大学教授 ゲストスピーカー 東京都町田市南つくし野小学 東京主任養 を 主任養 教諭 三浦佐 智子
10	統計を使って研究を 進め「考える」とは	量的な実験や研究の結果はデータ化されている。研究計画の段階で研究目的にあがっている変数を測定するため、調査票を作成したり、測定機器を用いた。調査や実験が終わって、各対象者と変数のデータセットを作成して、さあ何をしようか、というところからこの回では扱っていく。全体を通して統計を使って「考える」とは何かについて説明をしていく。 【キーワード】 統計、分析、有意差、関連性、相関、尺度開発	戸ヶ里泰典・放	戸ヶ里泰典・放 送大学准教授

□	テーマ	内容		執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
11	質の高い研究を目指 すための諸アプロー チ	ヘルスリサーチにおいて質の高いものを目指す。アプローチについて扱う。具体的には、近年注目る、量的研究と質的研究との組み合わせ、すなれ的トライアンギュレーション、紙ベースではなくイントを通じたWeb調査の実施、既存の調査データをの研究目的を設定して研究を進める2次分析、イテマティック・レビューについてである。それぞれデメリットについても紹介する。 【キーワード】 方法論的トライアンギュレーション、Web調査、22次的研究、システマティック・レビュー	目されてい っち方法論 ンターネッ と用いて別 そしてシス のメリット・	井上洋士·放送 大学教授	井上洋士・放送 大学教授 ゲス トスピーカー: 東京地下鉄株 式会社 産業 保健師 島忍
12	研究における倫理的 配慮	倫理、尊厳、人権という研究理論で使われる言葉た上で、研究理論の基本的ルールであるインフェンセントと個人情報保護について、さらに安全性への配慮について考察する。また、こうした考察なす倫理原則を検討する。 【キーワード】 倫理、尊厳、人権、インフォームド・コンセント、個護	ォームド・コ :や科学性 の基礎を	樽井正義·慶応 義塾大学教授	
13	当事者参加型リサーチ	ヘルスリサーチでは近年、調査研究を研究者がではなく、調査研究の計画立案からまとめと成果るまで、研究者と当事者が協働で行う方式で進る参加型リサーチが注目されている。この回では、的な考え方と具体的な実践方法について、日本ラリアでの例をもとに紹介する。 【キーワード】 当事者参加型リサーチ、アクション・リサーチ、エント、協働、コンフリクト	発表に至 める当事者 その基本 とオースト	井上洋士·放送 大学教授	井上洋士・放送 大学教授 ゲ ストスピーカー: NPO日本HIV 陽性者ネット ワークジャンプ プラス 事務局 長 高久陽介
14	ソーシャルマーケティ ングと研究への導入	健康領域の研究において、ソーシャルマーケテス 念が導入されることが増えてきている。そこで、ソ マーケティングの基本的な考え方を紹介するとと シャルマーケティングに基づき保健医療領域では ていくことの意義について考える。実際の研究例 も触れていく。 【キーワード】 ソーシャルマーケティング、形成調査、プロセス記 トカム評価	ーシャル もに、ソー の研究をし 川について	木原雅子·京都 大学准教授	木原雅子·京都 大学准教授
15	ヘルスリサーチの成 果の還元	ヘルスリサーチについて、実践をしていく上での チをここまで紹介したが、この回では、研究成果 にまとめて世に還元したらいいのかについて触れ に、まとめと今後の取り組み方について述べる。 【キーワード】 研究成果、発表、論文、査読、学会	をどのよう		井上洋士·放送 大学教授

尹伤何 記載機 /	開講 年度 2009年度	大学院科目		科目コート	8910545	履修 制限	無	単位 数	2
------------------------	-----------------	-------	--	-------	---------	----------	---	---------	---

科目名 (メディア) = スポーツ・健康科学 ('09) = (R)

〔主任講師(現職名):樋口 満 (早稲田大学教授)

[主任講師(現職名):福永 哲夫(鹿屋体育大学長)

【担当専任教員:臼井 永男(放送大学教授)

講義概要

はじめに、今日、私たちがスポーツを日常生活のなかに積極的に取り入れることの意義を歴史的視点から概説する。次に、運動・スポーツの生理学的基礎、及び健康の保持・増進という視点から運動・スポーツの理論について解説する。さらに、運動・スポーツが子どもや女性の健康の保持増進、中高年者の生活習慣病の予防に及ぼす効果を解説する。また、生活習慣病の運動療法、老化防止・介護予防に及ぼす運動・スポーツの有効性について、社会経済的視点とも関連させて解説する。

授業の目標

我々が生活する現代社会は、日常生活において身体活動が著しく不足する傾向があり、さまざまな生活習慣病の発症を助長している。そのため、子どもから高齢者に至るすべての年齢階層において、意識的に運動・スポーツを組み込んだライフスタイルの構築が必要である。そこで、全15回の講義を通して、運動・スポーツの生理学的基礎理論の理解を踏まえて、全生涯にわたっての運動・スポーツを取り入れた生活が、健康の保持・増進にとっていかに重要であるかを理解し、自発的、積極的な運動・スポーツ実践や運動・スポーツ指導につながることを目標とする。

履修上の留意点

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
	はじめに ー健康の保持・増進 という視点から運動・ スポーツを科学する ー	現代社会において、運動・スポーツ 生活習慣病予防のために重要であ に、人間の生活史について解説す 沿革について解説する。 【キーワード】 運動不足病、生活習慣病、メタボリ 基準2006、運動指針2006	っることを理解するため る。日本の健康づくりの	樋口 満 (早稲田大学 スポーツ科学 学術院・教 授)	樋口 満 (早稲田大学 スポーツ科学 学術院・教 授)
	運動・スポーツの生理 学(1) 呼吸・循環器系機能 と運動・スポーツ	呼吸・循環器系の構造と機能の理 動時の喚気応答、心拍数、心拍出 を理解する。そして、持久性トレー、 取量の増加と持久性運動能力の向 【キーワード】 呼吸器系、循環器系、最大酸素摂	量、酸素摂取量の変化 ニングによる最大酸素摂 引上について説明する。	宮地元彦 ((独)国立健 康·栄養研究 所·健康増進 研究部長)	宮地元彦 ((独)国立健 康·栄養研究 所·健康増進 研究部長)
	運動・スポーツの生理学(2) 神経・骨格筋系機能 と運動・スポーツ	神経系の構造と機能、脳の運動中制御、運動が脳・神経系に及ぼするの構造と機能、骨格筋の力学的特運動トレーニングが骨格筋の構造るついて解説する。 【キーワード】 脳・神経系、運動の発現と制御、骨	効果を解説する。 骨格筋性(筋線維特性)、及び 性(筋線維特性)、及び と機能に及ぼす影響に	福永哲夫 (鹿屋体育大 学•学長)	福永哲夫 (鹿屋体育大 学•学長)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	運動・スポーツの生 理学(3) エネルギー代謝機能 と運動・スポーツ	エアロビック、及びアネロビックな一過性運動時のエネルギー代謝と関連する栄養素の機能、及び運動時の各種ホルモン動態、さらに疲労の発現について解説する。また、トレーニングによるエネルギー基質の代謝的変化について解説する。 【キーワード】 エネルギー代謝、エネルギー源栄養素、運動時のホルモン動態	樋口 満 (早稲田大学 スポーツ科学 学術院・教 授)	樋口 満 (早稲田大学 スポーツ科学 学術院・教 授)
5	健康の保持・増進の ための運動・スポーツ の理論(1) トレーニング概論	トレーニングの理論とトレーニング条件(強度・頻度・期間) について概説するとともに、暑熱環境下におけるトレーニン グ時の水分補給の重要性について健康管理という視点から解説する。 【キーワード】 トレーニングの法則、トレーニング強度、トレーニング頻度、トレーニング期間、暑熱環境	福永哲夫 (鹿屋体育大 学·学長)	福永哲夫 (鹿屋体育大 学·学長)
6	健康の保持・増進の ための運動・スポーツ の理論(2) エアロビックトレーニ ング	持久性運動(エアロビックエクササイズ)の各種強度指標について解説する。各種エアロビックトレーニングによる最大酸素摂取量の変化とその要因について健康の保持・増進という視点から解説する。 【キーワード】 エアロビック運動、最大酸素摂取量、%V02max、METS(メッツ)	(国際武道大学·教授)	谷口有子 (国際武道大 学·教授)
7	健康の保持・増進のための運動・スポーツの理論(3) レジスタンストレーニング	筋力と筋量増強に及ぼすレジスタンストレーニングの効果について、健康の保持・増進という視点から解説する。 【キーワード】 レジスタンス運動、筋パワー、筋持久力	福永哲夫 (鹿屋体育大 学·学長)	福永哲夫 (鹿屋体育大 学·学長)
8	運動プログラムの管 理と運動負荷試験	運動プログラムを実施するに当たって必要なメデイカルチェック、及び運動負荷試験と心電図モニタリングについて解説する。また、服薬者における運動プログラムについても解説する。 【キーワード】 運動プログラム、メデイカルチェック、運動負荷試験、心電図モニタリング		坂本静男 (早稲田大学 スポーツ科学 学術院・教 授)
9	健康の保持・増進と 運動・スポーツ(1) 子どもの発育・発達と 健康	少年期から思春期を経て青年期に至る身体の形態発育、 及び機能発達と、それらに影響を及ぼす運動習慣と各種追動・スポーツの効果について、健全発達と健康管理というも 点から解説する。 【キーワード】 発育、発達、暦年齢、生理学的年齢		谷口有子 (国際武道大 学·教授)
10	健康の保持・増進と 運動・スポーツ(2) 女性の健康と性ホル モンの影響	女性の身体的特徴とその加齢変化について、女性ホルモンの役割と関連させて概説する。そして、女性の健康・体力と、それに影響を及ぼす運動・スポーツの効果について、食習慣とも関連させて解説する。 【キーワード】 女性の身体的特徴、女性の体力、性ホルモン	谷口有子 (国際武道大 学·教授)	谷口有子 (国際武道大 学·教授)

口	テーマ	内容	講師名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
11	生活習慣病予防と運動・スポーツ(1) 肥満・高脂血症	メタボリックシンドロームの概念と定義を概説し、その基礎 患としての内臓脂肪型肥満、肥満判定について解説する また、肥満、高脂血症の予防や運動療法について減量と 連づけて解説する。 【キーワード】 メタボリックシンドローム、内臓脂肪型肥満、高脂血症、減 量	坂本静男 (早稲田大学 スポーツ科学 学術院・教 授)	坂本静男 (早稲田大学 スポーツ科学 学術院・教 授)
12	生活習慣病予防と運動・スポーツ(2) 高血圧症・動脈硬化	高血圧症、動脈硬化の発症メカニズムとそれらの運動による予防と運動療法について解説する。 【キーワード】 高血圧症、動脈硬化	宮地元彦 ((独)国立健 康•栄養研究 所•健康増進 研究部長)	宮地元彦 ((独)国立健 康·栄養研究 所·健康増進 研究部長)
13	生活習慣病予防と運動・スポーツ(3) 糖尿病	糖尿病の定義と分類、および2型糖尿病の発症メカニズムについて概説する。一過性運動時の糖代謝の変化、及び持久性トレーニングによる糖代謝機能改善効果について説する。 【キーワード】 糖尿病、血糖値、インスリン、GLUT4	樋口 満	樋口 満 (早稲田大学 スポーツ科学 学術院・教 授)
14	生活習慣病に対する適切な運動療法	生活習慣病に対する適切な運動療法について、各種有態患者に対する注意点と運動処方の実際について解説する。 【キーワード】 生活習慣病の有疾患者、運動処方、運動療法	を 坂本静男 (早稲田大学 スポーツ科学 学術院・教 授)	坂本静男 (早稲田大学 スポーツ科学 学術院・教 授)
15	老化防止・介護予防と運動・スポーツ	高齢社会における介護予防、QOL向上という視点から、高齢者に対する運動・スポーツの有効性について解説する。また、その社会・経済的効果について解説する。 【キーワード】 高齢社会、老化防止、介護予防、QOL		宮地元彦 ((独)国立健 康·栄養研究 所·健康増進 研究部長)

事務局 記載欄	開講 年度	2011年度	科目 区分	大学院科目	科目コート	8910596	履修 制限	無	単位 数	2
------------	----------	--------	----------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---

科目名 (メディア) = 発達運動論 ('11) = (R)

[主任講師(現職名): 臼井永男(放送大学教授)

〔主任講師(現職名):岡田修一(神戸大学教授)

【本学担当専任教員:

講義概要

健全な成人になるためには、発達期のそれぞれの時期に必要で十分な身体活動が求められる。一方、身体機能の各要素によって、発達の時期ならびに速度が異なることから、当該要素の発達に即した運動の選択が重要になってくる。これらのことはまた、運動機能の低下様相がみられる加齢期についても同様である。さらに、この運動機能の発達・加齢変化をふまえると、各人生の段階において運動実施の目的・ねらいも異なってくる。 そこで、誕生から生涯にわたって発達し、変化する運動機能の特徴を概説するとともに、各年齢期における運動実施の重要性について論じる。

授業の目標

生涯を通じて健康でアクティブな生活を送るためには、発達の各段階において運動実施の重要な適時が存在する。すなわち、20歳までの成長期、それ以降の加齢期において、最も適切な時期に科学的根拠に裏付けられた運動を実施することが求められる。ここでは、それらの運動をどのように実施すべきか、その考え方と科学的な知識を教授したい。

履修上の留意点

人間発達プログラムで開講されている、心理学、教育学関連の科目と合わせて受講されると、さらに理解が深まり、人間の発達を総合的に理解できるものと期待される。

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	個体発生と系統発生	個体発生は系統発生を繰返す、といわれることがある。 本章では、人類誕生の歴史とともに、動物としてのヒトのからだの特徴について概説し、生涯を通じて健康に過ごすたの身体活動の重要性について概説する。 【キーワード】 ヒト化、二足歩行		臼井永男(放 送大学教授)
2	形態の発育	子どもは大人のミニチュア版ではないといわれるように、反 長の過程で長育、量育、幅育のそれぞれが同じ割合で発育していくものではない。 本章では、身体各部の発育の過程を提示するとともに、それらと身体能力の発達との関係について概説する。 【キーワード】 身長、体重、年間発育量		臼井永男(放 送大学教授)
3	手指動作の習得	手指は脳の出先器官ともいわれ、その機能は幼児期に急速に発達する。これはヒトの局所の神経・感覚機能の発達に依存する。 本章では、手指の発達時期、ならびに動作習得の意義について概説する。 【キーワード】	~ !! > !! /!/	臼井永男(放 送大学教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	足の形態と機能の向上	この世に生を受けて間もなく、ヒトは臥位から立位へと大な姿勢の転換を強いられる。この時期、神経系の発達ととに、身体の土台としての足の機能も急速に発達する。本章では、直立・二足歩行というヒト特有の移動様式に活目し、幼児期の足の形態と機能の発達について概説する 【キーワード】 直立・二足歩行	も 主 臼井永男(放	臼井永男(放 送大学教授)
5	全身動作の習得	立つ、歩く、走る、跳ぶなどの基礎的能力を習得した後に、全身動作が急速に発達する。これは全身を制御する脳・神経系の機能が発達する時期と一致する。本章では、このような機能がこの時期に発達する要因について、またこの時期に全身動作を習得することの意義について概説する。 【キーワード】 脳・神経系、巧みさ		臼井永男(放 送大学教授)
6	ねばり強さの習得	身体のねばり強さは、全身持久力で評価され、その能力は身長の年間発育量がピークに達するあたりで急速に向する。 本章では、全身持久力が呼吸循環機能の発達に大きな影響を受ける要因について、またこの時期にねばり強さを習得することの意義について概説する。 【キーワード】 呼吸・循環系	上 臼 井永男(故	臼井永男(放 送大学教授)
7	力強さの習得	身体の力強さは、筋力で評価され、その能力は骨格の 長が完成に向かう頃に急速に向上する。 本章では、筋力が筋の特性に影響を受ける要因について、またこに時期に力強さを習得することの意義について 概説する。 【キーワード】 筋・骨格系		臼井永男(放 送大学教授)
8	加齢による身体の変 化(1)	青年期以降、加齢に伴って身体は変化する。すなわち、中年期から身体の老化現象が始まり、高齢期には身体の老化がいっそう進行する。 本章では、加齢に伴う形態・身体組成、神経一筋系及で呼吸循環系機能の変化について概説する。 【キーワード】 形態・身体組成、神経一筋系機能、呼吸循環系機能		岡田修一(神 戸大学教授)
9	加齢による身体の変 化(2)	老化期にみられる身体の生理的機能の低下は、体力の低下や日常動作の変容を引き起こす。 本章では、加齢に伴う体力・運動機能の変化、ならびに起立動作、歩行動作などの日常生活動作の変容につい概説する。 【キーワード】 体力、運動機能、日常生活動作		岡田修一(神 戸大学教授)
10	加齢による立位バラ ンス能力の低下	体力のなかでも加齢による低下が最も大きい体力要素は、立位バランス能力である。 本章では、加齢に伴う立位バランス能力の低下のメカニムを解説し、高齢者の転倒問題について概説する。 【キーワード】 立位バランス能力、転倒	ズ 岡田修一(神 戸大学教授)	岡田修一(神 戸大学教授)

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
11	中高齢期の身体活動と健康との関係	加齢に伴って身体活動量は減少する。こ減少を起点とした悪循環から健康問題が生いる。 本章では、中高年の身体活動と生活習慣題との関係について概説する。 【キーワード】 身体活動、生活習慣病	Eずるといわれて	岡田修一(神 戸大学教授)	岡田修一(神 戸大学教授)
12	中高齢期における運動の効果	中高齢者に対する運動の効果は、生活で転倒の予防だけでなく、精神心理的効果もいる。 本章では、筋力、バランス能力などの体力満足感などの心理的側面に及ぼす運動の説する。 【キーワード】 運動効果、生活習慣病予防、転倒予防、料	あるといわれて け的側面、及び 影響について概	岡田修一(神 戸大学教授)	岡田修一(神 戸大学教授)
13	生活体力を高める方 策(1)	高齢になってもアクティブな日常生活を送活機能を高める運動を実施することが必要本章では、生活機能の基礎となる体力・近にその能力の維持・向上を目指した体力科いて概説する。 【キーワード】 生活機能、体力科学的方策	である。 重動機能、ならび	岡田修一(神 戸大学教授)	岡田修一(神 戸大学教授)
14	生活体力を高める方策(2)	運動の効果を得るためには、運動の習慣なる。誰もが運動は身体に良いと思ってい続できないのが実情である。 本章では、運動の習慣化に向けた方策とローチについて概説する。 【キーワード】 運動の習慣化	るが、運動を継	岡田修一(神 戸大学教授)	岡田修一(神 戸大学教授)
15	アクティブ・エイジン グを目指して	生涯における人間の身体や健康の発達を人個人を取り巻く環境(人間環境、社会文化環境)との関係をふまえることが肝要である本章では、高齢期において活動的な生活延伸を具現化した例を紹介し、アクティブ・現に向け、個々人が運動をどのように活用て提案する。 【キーワード】 健康寿命の延伸、アクティブ・エイジング	化的環境、自然 。 氏や健康寿命の エイジングの実	岡田修一(神 戸大学教授)	岡田修一(神 戸大学教授)

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2014年度 大学院科目 無 2 8910634 記載欄 年度 区分 コート 制限 数

A 日名 (メディア) = 福祉政策の課題 ('14) = (R)

-人権保障への道-

英文名 = [Challenges on Welfare Policy ('14): Approaches to the Attainment of Human Rights]

〔主任講師(現職名): 大曽根 寛(放送大学教授) 〕

〔主任講師(現職名):

【本学担当専任教員:

講義概要

社会福祉の政策は、近代社会とともに展開し、定着してきたと言っても良いが、実は、21世紀に入るころから大きな曲がり角にあった。この講義では、20世紀に形成された近代的な福祉政策の歴史的な発展過程を追いつつ、人権理念を背景に政策の範囲と内容を豊かにしてきたことを理解する。また、21世紀の福祉政策の特徴を明らかにするとともに、今後の制度のあり方を立案するための、人権論的な基礎と歴史的背景から見えてくる政策課題を考察することとする。少子高齢化、国際化の進展の中で、今後の福祉政策にも大きな変革が求められてくることとなるからである。

授業の目標

この授業では、21世紀の社会福祉政策の理念と理論を確立し、政策の歴史性と人権論的な基礎を明らかにし、市民と共有するための政策理論の形成に資するものとする。また、この領域の今後の具体的な政策展開について検討することを目標とする。

履修上の留意点

社会福祉についての基礎知識を有し、教育・研究や実践にかかわっている方たちへの更なる前進の手がかりを提供しようとするものである。したがって、学部における社会福祉関係科目の履修を前提として作成されている。また、生活リスクマネジメント('11)、居住環境整備論('12)、ヘルスリサーチの方法論('13)など生活健康科学プログラムにおかれている科目はもちろん、人間発達科学プログラムの科目、社会経営科学プログラムの科目も、密接に関連しているので、合わせて履修されたい。

回 • 章	テーマ	内容	講師名(所	放送担当 講師名(所属・職名)
1	福祉政策と人権保障	本講義の目的、対象、議論の方法などを確認しながら、20世紀から21世紀の福祉政策を鳥瞰し、福祉政策における人権保障への道を描き、本教材の目標を明らかにする。 【キーワード】 福祉政策、歴史、人権	(放送大学教	大曽根 寛 (放送大学教 授)
2	人権理念の歴史的発 展	福祉政策の原理としての人権理念の歴史的発展と理論的基盤を検証する。このために、国際連合の障害者権利条約および日本の「障害者基本法」の改正をめぐる論点を軸に政策形成の問題点を考える。 【キーワード】 人権の基礎、人権類型、国際条約	大曽根 寛 (放送大学教 授)	大曽根 寛 (放送大学教 授)
3	家族・ジェンダーと福祉政策	近代社会の成立が家族関係とジェンダー、ひいては福祉政策に与えた影響を検証する。理論的把握として、社会福祉政策における「家族」を法的視点から検討するとともに、福祉国家論におけるジェンダーの視点を確認する。 【キーワード】 家族、ジェンダー、福祉国家	(和歌山大学	金川めぐみ (和歌山大学 准教授)

□	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	地域社会と福祉法制	地域社会で生きる人々と福祉制度はどのような力学関係を経て、かかわってきたのかを検討する。さらに「地域で生きる(自律して暮らす)」ということをメインにおいた障害者の運動、そして最近の裁判を例に、人権の視点から再考する。 【キーワード】 地方自治体、協働、地域で生きる		金川めぐみ (和歌山大学 准教授)
5	資本主義の成立・展 開と企業	企業が、資本主義の歴史と経済学説のなかで、どのような役割を果たし、どう位置づけられてきたか。5人の代表的経済学者の企業観を整理したうえで、特に大きな国家(ケインズ・ベヴァリッジ型)と小さな国家(フリードマン型)の相克を検証する。 【キーワード】 自由主義、社会主義、混合経済、新自由主義	森田慎二郎 (東北文化学 園大学教授)	森田慎二郎 (東北文化学 園大学教授)
6	企業をめぐる福祉政 策	日本における企業福祉と社会保障立法の発展過程を概観し、ティトマス理論における企業と市場の関係を整理した上で、企業をめぐる福祉政策の法的構造を検討し、さらに現代的課題の代表例として健康管理を取り上げる。 【キーワード】 企業福祉の社会化、保障の相互補完性、健康経営	森田慎二郎 (東北文化学 園大学教授)	森田慎二郎 (東北文化学 園大学教授)
7	企業と人権保障	グローバリゼーションの影響下において、企業の社会的責任としての人権保障の現代的展開を、ILOディーセントワーク論や、国連のグローバル・コンパクト、民間認証機関の動向などを踏まえて、検証する。 【キーワード】 企業の社会的責任(CSR)、グローバル・コンパクト、ISO26000	森田慎二郎 (東北文化学 園大学教授)	森田慎二郎 (東北文化学 園大学教授)
8	反貧困と福祉政策	戦前・戦後の日本の貧困問題に対する政府・市場・国 民の機能を考える。具体的には「貧困」というものが国家 によってどのように対処され、いま、どのような様相にあろ うとするのかを検討する。最終的には、「公正」な社会を めざすための理論的到達点と課題を整理する。 【キーワード】 社会的排除、潜在能力、反貧困	金川めぐみ (和歌山大学 准教授)	金川めぐみ (和歌山大学 准教授)
9	生命と政策、自己決 定	日本においては生命への権利がどのように規定されており、生命に関する政策が人々にどのような影響を与えるのかを、脳死と臓器移植、安楽死・尊厳死、自殺予防をテーマとしてとりあげ、検討する。 【キーワード】 生命権、自己決定、死への権利	永井 順子 (旭川大学准 教授)	永井 順子 (旭川大学准 教授)
10	精神保健福祉政策と 人権	日本において精神の病をめぐる政策が、「精神病院」政策から医療・保健・福祉施策へと変化してきた経緯を整理し、それぞれの段階で精神障害者の人権がどのように考えられてきたか、現在の課題は何かを検討する。 【キーワード】 精神衛生法、自由権規約、障害者権利条約	永井 順子 (旭川大学准 教授)	永井 順子 (旭川大学准 教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	障害の医療化と健康 権保障	医療化とは従前医療の対象ではなかったものを医療の対象とし、医学的管理下のもとにおくことである。この回では、身体障害と発達障害の医療化を取り上げ、そのメリットとデメリットを主に医療保障の観点から整理し、障害から健康権を考察する。 【キーワード】 医療化、障害への医療保障、健康権	永井 順子 (旭川大学准 教授)	永井 順子 (旭川大学准 教授)
12	刑事政策と福祉政策	高齢者や障害者、未成年の場合、司法プロセスの中で 人権を侵害される可能性が高く、人権擁護の観点から福祉的アプローチが求められる。罪を犯した者に対して具体的にどのような福祉政策がとられているのかを整理し、刑事政策と福祉政策の結節点における課題を検討する。 【キーワード】 社会的養護、地域生活定着支援センター、医療観察法		深谷 裕(北 九州市立大学 准教授)
13	刑事政策と福祉的実 践	罪を犯した者が再び地域社会に戻り、一市民として生活を送るためには、さまざまな支えが必要となる。支えの鍵は「継続性」であるが、罪を犯した者に対し必要な支援を継続的に提供することは、必ずしも容易ではない。彼らの社会復帰に必要な支援とその課題について検討する。 【キーワード】 社会復帰促進センター、保護観察、連携		深谷 裕(北 九州市立大学 准教授)
14	人権のための連帯	人権をめぐっての国内・国外動向を概観する。題材としては、子どもの福祉をめぐっての、条約と国内法の関係と目指すべき理念を明らかにする。また、ソーシャルワーク、ケアマネジメントと人権の関係について考えるとともに、連帯の大切さを検討する。 【キーワード】 子どもの権利、連帯、親の責任	大曽根 寛 (放送大学教 授) 金川めぐみ (和歌山大学 准教授)	大曽根 寛 (放送大学教 授) 金川めぐみ (和歌山大学 准教授)
15	総合福祉政策の形成	人権の制約原理として用いられてきた「公共の福祉」を、 人権保障の原理へと転換できないかを検討する。そのために、障害者権利条約を参照しながら、今後の総合福祉政策の形成のための方向性を考える。 【キーワード】 公共の福祉、平等、総合性	大曽根 寛 (放送大学教 授)	大曽根 寛 (放送大学教 授)

事務局 記載欄		2014年度	科目 区分	大学院科目	科目コート	8910642	履修制 限	無	単位 数	2	
------------	--	--------	----------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

A 目名 (メディア) = 生活支援の社会福祉 ('14) = (R)

英文名 = 〔 Social Welfare for Livelihood Support ('14) 〕

[主任講師(現職名): 松村祥子 (放送大学 教授)

〔主任講師(現職名): 山田知子 (放送大学 教授)

【本学担当専任教員:

講義概要

この講義は、社会福祉の本質と現代的意義が浮き彫りになるような構成と内容になっている。特に、経済・社会・家族環境の変化の下で進行している福祉改革の問題点を明らかにし、人々の生活改善と生活の質の向上に資する社会福祉の方向とそのための研究の課題と方法を示す。

授業の目標

この講義では、社会福祉の対象である政策と実践の双方を取り扱う。さらに歴史や思想的側面からの研究課題と研究方法を示す。履修者は各自の抱える研究テーマに関する多角的なアプローチを学ぶことができる。

履修上の留意点

この科目は大学院科目であるが、並行して学部の福祉領域の科目を学ぶと効果的である。

□	テーマ	内 容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
Ι	近年の生活変化と社	社会福祉		
1	生活支援の社会福祉とは何か	社会福祉が人々の抱える生活問題にどのように対応しているかについて検討する。特に近年の社会福祉の対象と方法の変化とそこから生じている課題を明らかにする。そして生活支援の社会福祉(生活者の真のニーズに対応し、生活者を育てる社会福祉)への転換の必要性と方向を示す。 【キーワード】 ライフサイクル、総合的生活支援、生活力	松村 祥子 (放送大学 教 授)	松村 祥子 (放送大学 教授)
2	生活の不安定性の創 出-生活支柱のゆら ぎと波動-	世界的経済変動のなかで生活問題は多様化、複雑化している。生活問題は経済的貧困の度合いで推し測ることがある程度可能であるが、十分ではない。一歩手前、あるいは、周辺にある生活の不安定性に着目することで問題の本質が見えてくる。経済的貧困、および生活の不安定性、その発現過程と特徴についてみることを通して、生活がどのようにして動揺し生活問題として発現するのか考える。 【キーワード】 貧困、生活問題、社会的排除、生活の不安定性	山田 知子 (放送大学 教 授)	山田 知子 (放送大学 教 授)
Π	社会福祉の特色(他	也の領域との違い等)	L.	
3	生活支援のあゆみー 公私関係の視点から -	イギリスと日本で、19世紀から20世紀前半にかけて行われた公的部門の生活を支援するための施策(ここでは「生活支援施策」とする)と民間部門の生活を支援するための活動(ここでは「生活支援活動」とする)の形成過程と展開を明らかにする。また、生活支援施策と生活支援活動の相互関係を両国の特質を踏まえて検討する。 【キーワード】	金子 光一 (東洋大学 教 授)	金子 光一(東洋大学 教授)

旦	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	日本におけるセーフ ティネットの特徴	日本のセーフティネットは国際比較という鏡を通して見た場合、どのような特徴をもち、どんな姿をしているのであろうか。最初に、1980年代末までうまく機能していた日本の社会保障システムの特徴とその背景を概観し、その上で、OECDの資料を用いて、日本のセーフティネットの構成要素のそれぞれの特徴を明らかにし、最後に、日本のセーフティネット全体としての特徴をまとめる。 【キーワード】 セーフティネット、ワークフェア体制、国際比較、ワーキングプア、社会扶助(公的扶助)制度、税額控除制度	埋橋 孝文 (同志社大学 教授)	埋橋 孝文 (同志社大学 教授)
5	現代社会における位置づけ(実践的方法)	社会福祉の支援方法である現代ソーシャルワーク理論について検討する。まず、ソーシャルワークの国際定義から目標や特徴を理解する。そして、約100年のソーシャルワーク理論史を概観したうえで、代表的な理論をとりあげて比較検討していく。 近年、社会福祉の対象となる生活問題は、広範化、、多様化し、それに対応する福祉サービスも多元化しているなかで、ソーシャルワークはどうあるべきかを考えたい。 【キーワード】 ソーシャルワーク、人ー環境の交互作用、パートナーシップ		横山 登志子 (札幌学院大学 教授)
Ш	社会福祉の対象分析 		1	<u> </u>
6	生活問題を中心として	貧困や生活上の問題に着目する生活問題論と利用者のニーズ(必要)を中心にすえる福祉ニーズ論の双方から、社会福祉の対象分析の視座と方法について述べる。 【キーワード】 一番ヶ瀬理論、三浦理論、非貨幣的ニーズ、ソーシャルニーズ	山田 知子 (放送大学 教 授)	山田 知子 (放送大学 教 授)
7	コミュニティの変化と 市場化	福祉改革の焦点である地方分権化(市町村主体)と市場化(民間営利企業の参入を含めた規制緩和)は、社会福祉をどう変化させ、社会福祉の利用者の生活に影響をもたらしたのだろうか。政府の政策の変遷を辿り、家族、地域社会の変貌、女性の社会進出などと関連させながら、社会福祉の基礎構造の変化とはなにかを考える。 【キーワード】 日本型福祉社会論、家庭基盤充実、福祉改革、社会福祉基礎構造改革	山田 知子 (放送大学 教 授)	山田 知子 (放送大学 教 授)
IV	社会福祉研究の課題			
8	福祉政策の新しい動向と日本の課題	本章では、まず、ワークフェア、メイキング・ワーク・ペイ、タックス・クレジット、ディーセントワークなど新しい国際動向を取り上げ、その特徴を指摘する。次に、新たな課題として浮上してきているワーキングプア問題にどのように対応すべきかを論じる。最後に、近年影響力を増しているメイキング・ワーク・ペイの動きを「援商品化」「助商品化」と捉え、現代資本主義との関係について述べる。 【キーワード】 ワークフェア、メイキング・ワーク・ペイ、ディーセントワーク、ワーキングプア、「脱商品化」、「援商品化」、「助商品化」、「助商品化」	埋橋 孝文 (同志社大学 教授)	埋橋 孝文 (同志社大学 教授)
9	社会福祉の組織研究	社会福祉の供給主体の多様化によって、公的組織と民間組織のあり方への関心が高まっている。国から、市町村への任務の移行(地方分権化)や民間による社会福祉供給体制の拡大(民営化)の現状と問題点を明らかにする。行政主導型社会福祉から公民協働型社会福祉への円滑な移行のための組織に関する研究課題について検討したい。 【キーワード】 地方分権化、民営化、新しい公共	松村 祥子 (放送大学 教 授)	松村 祥子 (放送大学 教 授)

□	テーマ	内	容	執 筆 講 ⁶ (所属	币名	講	師	名
10	方法論的研究 -ソーシャルワークの 実践研究-	ソーシャルワークの実践研究についてれルワークの実践的・理論的向上のためにるが、そもそも実践研究とは何か、またと的があるのかを確認する。そして、実践たって確認すべき問いを提示したうえて法、特に近年のソーシャルワーク研究で究の方法を概観する。研究は、研究者だけのものではない。特者にとって大きな意義があり、近年ではにも実践研究を遂行する力が求められる。利用者の「福利の増進」に貢献するできる生きた研究とはどのようなものかる【キーワード】	こ研究は不可欠であどのような意義や目研究をはじめるにあず、実践研究の方で増えている質的研 等に実践研究は支援 がはまないな質的研 は実践研究は支援 リーシャルワーカー るようになってきていような、実践に還元	横山 登			登志 - 建学院;)	
11	社会福祉史研究の現 状と課題 ー「生活支援史研 究」の視点からー	社会福祉史研究の現状と課題を、生活らかにするために、海外史研究に焦点の視点と枠組みを中心に検証する。また史研究の方向性として、生活者と社会のて、その構造と機能を分析し、一定の社の過程を探究することの重要性を提起・【キーワード】 研究方法、生活支援史研究、相互昴進	を当てながら、研究 を、今後の社会福祉 のありようを前提とし 意則や相互昂進関係 する。	金子 光 (東洋大 授)			光一 生大学	教
	福祉政策における国 際比較研究	1980年代後半から海外では福祉国家のしく進展し、わが国でもそうした影響のも以降、多くの研究が現れることになった本章では、まず、この間の研究によってと、ひとつの大きな「曲がり角」にあるとい研究の現時点での特徴を確認し、それ後の方向と展望を明らかにしていく。 【キーワード】 福祉レジーム、類型論と動態論、東アシ義、ワーキングプア、比較研究と政策研	らと、1990年代半ば。 。明らかになった点いってよい国際比較らを踏まえつつ、今	埋橋 孝 (同志社 教授)			孝文 [社大 ^章)	学
V	生活支援の社会福祉							
13	ソーシャルワークの向 上にむけて	生活問題を抱えた利用者の問題解決。 すソーシャルワークにおいて、理論と実 つき向上していくことが求められている。 に焦点をあてて、理論と実践がどのよう のか、あるいは理論と実践を媒介する「 者の経験」という要素はどのように関与する。 そして、ソーシャルワークの向上にも 者に何が求められているのかについて 【キーワード】 理論と実践の循環、領域密着型の理論	践が有機的に結び 理論と実践の循環 に循環するといえる 現場における実践 するのかを検討す いけて実践者や研究 考える。	横山 登 (札幌学 教授)			登志 建学院 ;)	
14	戦略としての当事者 主権	生活上の困難やニーズ(必要)を最もよ者を中心にすえて、社会システムや社会を組み立ててみることの重要性について よっしていることの重要性について 【キーワード】 当事者、市場化、ナラティブ・アプローラ	会サービスのあり方 て考える。	山田 知 (放送大 授)			知子 ^送 大学	教
15	生活支援の社会福祉を推進するために	生活支援の社会福祉は生活の外側にたを高めるだけでなく、社会福祉という仕が内側の力を引き出しながら生活問題をいく。少子高齢化、経済停滞、グローバで拡大し変容する生活問題に対して、2祉が有効な力を発揮するために必要なする。 【キーワード】 創造型生活モデル、生活問題、福祉教	組みの中で、生活の 予防・緩和・解決して リゼーションによっ 生活支援の社会福 ・方策と方向を検討	松村 祥 (放送大 授)			祥子	教

事務局 開講 科目 履修 単位 科目 大学院科目 2009年度 8920508 無 2 記載欄 年度 区分 コート" 制限 数

科目名 (メディア) = 人間発達論 ('09) = (R)

[主任講師(現職名):住田 正樹(放送大学教授)

〔主任講師(現職名):田中 理絵(山口大学准教授)

講義概要

発達を人間の生涯にわたる変化の過程として捉え、その生涯過程を発達社会学の視点から考察していく。発達社会学の視点から人間の生涯過程を見ると、社会的役割の移行過程として捉えることができる。そしてその移行過程は、社会的役割の学習過程、社会的役割の遂行過程、社会的役割を喪失する喪失過程という3つの過程の段階に区分できる。社会的役割のなかでも特に主要な役割は職業的役割と家庭的役割であり、この2つの社会的役割を中心に考察を進めていく。

人間の発達過程のなかでも学習過程の段階がもっともドラスティックな変化を示す。そのため人間発達研究は学習過程の段階を中心に取り上げるのが、これまでの一般的な考察方法であった。しかし本講義では、遂行過程および喪失過程にも比重をおいて考察していく。

授業の目標

人間の発達過程が社会的・文化的条件によって規定されることはいうまでもない。人間の発達は、生物学的現象や心理学的現象だけではなく、社会学的現象でもある。本講義は、人間の発達過程を分析していくための発達社会学の基礎的概念と方法を学び、人間の発達現象が生起していく過程を考察していくための社会的視点を得ることを目的とする。

履修上の留意点

発達社会学は、人間の発達過程に対して社会的・文化的な文脈や環境がどのような影響を与えているのかを解明していく学問である。これに類似した学問に発達心理学(または生涯発達心理学)がある。 発達心理学は年齢に伴う行動や心的機能の変化を研究する学問である。同じ人間の発達過程を対象にしても発達社会学と発達心理学ではアプローチも異なり、分析方法も異なり、分析の方向も異なる。だが、だからこそ多産的な学問的成果を産む。発達社会学と発達心理学とのアプローチの相違、分析方法や分析の方向の相違に留意しつつ人間の発達過程についての考察を深めていただきたい。

□	テーマ	内	容		放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
第	. I 部 人間発達と社	上会的役割			
1	割移行過程	発達とは誕生から死に至る全年 涯にわたる人間の変化の過程を ていく。発達社会学の視点から、 役割の移行過程、すなわち社会 準備期、役割学習期、役割猶予 (役割遂行期)、社会的役割の要程として捉えることができる。社会 役割と家庭的役割はその中核で 【キーワード】 発達、社会化 社会的役割、役的 的役割、家庭的役割	発達社会学の視点から見 人間の生涯をみると社会的 決的役割の学習(役割学習 期)、社会的役割の遂行 要失(役割喪失期)という過 会的役割のなかでも職業的 である。	住田 正樹 (放送大学教 授)	住田 正樹 (放送大学教 授) 田中 理絵 (山口大学准 教授)
j	第Ⅱ部 社会的役割	の学習過程			
2	言語の獲得と自我形成 一役割学習準備期 -	言語の獲得と自我形成は人間達にとって最も重要な側面である生まれてきた子どもは家族との自他の区別を意識するようになりき始める。それが言語を獲得するとうになり、他者の観点で認識し、自我を形成していく。 【キーワード】 言語の獲得、シンボル、自我形分ーション	る。意識の未分化な状態で ミュニケーションを通して り、次第に自分自身に気づ るようになると明確に自他を から自分自身を対象化し	住田 正樹 (放送大学教授)	住田 正樹 (放送大学教 授) 田中 理絵 (山口大学准 教授)

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
3	社会的ネットワークの 形成と拡大 -役割学習期(I) -	子どもは児童期にさしかかる。間関係は拡大し、新たなネットの大人や、同年代の遊び仲間係である。この新たなネットワーマル、インフォーマルに社会化は強い社会化の影響力をもつ。クを通して子どもは自己を相対思考から脱却していく。 【キーワード】 社会化 仲間集団、役割取得、	フークを形成していく。近隣、教師や同級生などとの関ウを通して、子どもはフォーされていくが、特に遊び仲間、こうした人々とのネットワー化していき、自己中心的な	田中 理絵 (山口大学准 教授)	住田 正樹 (放送大学教授) 田中 理絵 (山口大学准教授)
4	性役割の分化 -役割学習期(Ⅱ) -	性別は、それぞれの社会の文いずれの社会にあっても最も基性役割を学習し、性別にしたがいくことは子どもの社会化にとっる。性役割の学習は両親、仲間て、またメディアを通してなされついた性的行動の意味を学ん【キーワード】	を本的な区分である。だからいた行動をとるようになっていた行動をとるようになっていて基本的で重要なこととない、他の大人との関係を通していく。そして性役割に結びでいく。	田中 理絵(山口大学准教授)	住田 正樹 (放送大学教授) 田中 理絵 (山口大学准教授)
5	自我覚醒と自己探索 一役割猶予期(I) 一	青年期に人は自分自身の将って自分とは何か」を問い、自省すして、自己を見つめるようになるれまで安定的だった自我は揺った陥ることもあるが、しかしこうしに気づき、自己を再構築していの確立の問題である。 【キーワード】 自我覚醒、自己探索、役割混乱	つるようになる。自己を対象化らわけである。そのためにそれ動き、深刻な葛藤や不安た過程を経て、新たな自己く。 いわゆるアイデンティティ	田中 理絵(山口大学准教授)	住田 正樹 (放送大学教授) 田中 理絵 (山口大学准教授)
6	職業と配偶者の選択 過程 一役割猶予期(II) 一	職業的役割と家庭的役割はれが、学校教育を修了すると青年を得て新たな家族を形成して、ための職業的役割の選択と配が、この段階である。分業が進た私的交際の自由な現代におはどのような社会的要因に規定決められていくだろうか。 【キーワード】 職業的役割、家庭的役割、職業ション、配偶者選択	は職業に就き、また配偶者 自立した生活を営む。その 禺者の選択の試行の時期 み職業が多様化し、そしてま いて、職業と配偶者の選択 され、どのような過程を経て	住田 正樹 (放送大学教 授)	住田 正樹 (放送大学教 授) 田中 理絵 (山口大学准 教授)
第	§Ⅲ部 社会的役割 <i>0</i>)遂行過程			
7	職業キャリアの形成 -役割遂行期(I) -	職業的役割を選択・決定し、 しても直ちに職業的役割を遂行 役割を遂行していくためには、 術、価値観や行動様式を習得 めの準備と試行、初歩的職務の 形成の期間が必要である。と同 が自分の適性に合っているかと 的役割遂行の試行期間でもある 【キーワード】 能力開発、職業的役割、職業的 業文化	できるわけではない。職業 その遂行に必要な知識や技 しなければならない。そのた り遂行といった職業キャリア は時に、この期間はその職業 ごうかを判定するための職業 る。	住田 正樹 (放送大学教 授)	住田 正樹 (放送大学教 授) 田中 理絵 (山口大学准 教授)

П	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
8	家族の形成と親役割 - 役割遂行期(II) -	配偶者を得て結婚し、新たな家と、それまでの習慣的行動(定位調整して、夫婦間で新たな行動なる。夫婦間での役割配分である。	家族における役割行動)をパターンを形成することにパターンを形成することにる(新婚期)。その後、出ことを自覚し、親としての性の価値について学び、第一子の誕生から就学ま	田中 理絵 (山口大学准 教授)	住田 正樹 (放送大学教授) 田中 理絵 (山口大学准教授)
9	職業キャリア・パター ンの確立と安定 -役割遂行期(Ⅲ) -	一定の職業に継続的に従事す割を遂行していくための動機づけなり、職業キャリア・パターンは確用・年功序列という日本型雇用情くの人たちは「会社人間」として債にいろいろな問題も生じてきた。変化して、人々の働き方も変化し【キーワード】職務満足度、集団帰属意識、日間、役割葛藤、職務ストレス	けと行動パターンは明瞭に 立し、安定化する。終身雇 賃行のもとで、これまでは多 動いてきた。しかしそのため そして今職場環境が大きく 」できている。	住田 正樹 (放送大学教 授)	住田 正樹 (放送大学教授) 田中 理絵 (山口授)
10	家族の拡大と子ども の教育 ー役割遂行期(IV) ー	第一子の就学、第二子の誕生 親役割は育児から子どもの教育 巡ってさまざまな問題が生じ、親 陥る時期である。また、子どもの 担が増す時期でもあり、育児負担 まれた母親の再就職も増える。 多忙化する時期で、父親不在と 【キーワード】 親役割、青少年問題、父親不在	に移る。子どもの教育をは何かと気を揉み、不安には何かと気を揉み、不安に教育費をはじめ経済的負担が減って時間的余裕が生一方、父親の仕事は充実・なることも多い。	田中 理絵(山口大学准教授)	住田 正樹 (放送大学教授) 田中 理絵 (山口大学准教授)
11	多様な女性の生き方 -役割遂行期(V) -	かつての女性の生き方は、伝統えられ、固定的・画一的だった。 識は次第に薄れ、女性の生き方た。しかしその一方で、性役割はおも存在し、女性のライフスタイルなどの問題とも関連が指摘されるはどういう事態なのだろうか。 【キーワード】 女性のライフサイクルの変容、性綜	現在、こうした性別役割意の選択肢は大幅に増加しま明確な社会規範としてないは錯綜している。少子化ら女性の生き方の多様化と	田中 理絵(山口大学准教授)	住田 正樹 (放送大学教授) 田中 理絵 (山口大学准教授)
第	IV部 社会的役割0)喪失過程			
12	職業役割の喪失 -役割喪失期(I) -	仕事から引退し、職業役割を整働時間は短くなり、経済的報酬にびつく人間関係は希薄となる。ま割期(post-parental period)でもないっても夫婦関係に限れら、したが強まっていく。しかし定年に対ジはこれまでとは異なり、アクティきている。 【キーワード】 定年制、引退過程2段階説、代格ジング、伴侶性	は減少し、職業的役割に結 た子どもも独立し、脱親役 あるから、家庭的役割と がって夫婦関係の繋がり する多くの高齢者のイメー でなイメージへと変わって	住田 正樹 (放送大学教 授)	住田 正樹 (放送大学教授) 田中 理絵 (山口大学准教授)

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
13	高齢者の社会参加と 生きがい 一役割喪失期(II) 一	全ての仕事から引退して職業業は社会的地位を決定する主要代替的役割が不在であれば、那が、多くの高齢者は職業的役割社会活動に参加し、その活動をな生活を送っている。社会的責大して自分の望むことが可能なような生活を望み、どのように生ま・フード】 離脱理論と活動理論、第二の人	要な要因であるだけに、その 瓜独感を感じるようになる。だ の代替的役割として地域の 生きがいとして、アクティブ 任が減り、個人的自由が増 時代である。高齢者はどの 活しているか。	住田 正樹 (放送大学教 授)	住田 正樹 (放送大学 教 授) 田中 理絵 (山口大学准 教授)
14	老齢化と病気・死 −役割喪失期(Ⅲ) −	人間も生物有機体である限り、を辿る。罹患率も高くなる。老齢を迎えることを意味する。それま離脱せざるを得ず、また配偶者に密な関係にあった夫婦関係も消がりの喪失は孤独をもたらすことのできない死に向かう。高齢者にのか。 【キーワード】 老化、孤立、孤独感、不安感、特程	化による罹患はそのまま死で所属していた集団からはで所属していた集団からはの病気・死によって最も親続する。こうした社会的繋にもなる。やがて避けることは死をどのように受け入れる	住田 正樹 (放送大学教 授)	住田 正樹 (放送大学 教 授) 田中 理絵 (山口 教授)
第	KV部 人間発達研究	この課題			
15	人間発達研究の課題	これまでの発達研究は、人間のでの時期を中心に進められてきティクに変化する期間だからでは涯にわたる継続的な過程であるで形成された特性が成人期以降限らない。発達概念および発達なければならない。 【キーワード】 生涯発達、発達社会学、社会的断的方法	た。この時期が最もドラスある。だが、発達は人間の生ある。だが、発達は人間の生め。成人期に至るまでの過程をもそのまま保持されるとは、研究の方法が再検討され	住田 正樹 (放送大学教授)	住田 正樹 (放送大学 教 授) 田中 理絵 (山口大学准 教授)

事務何 月	開講 年度 2012年度	科目 大学院科目	科目 3円) 8920621	履修 無制限	単位 数	2
---------	-----------------	----------	----------------	--------	---------	---

科目名 (メディア) = 教育行政と学校経営 ('12) = (R)

〔主任講師(現職名): 小川正人(放送大学教授)

〔主任講師(現職名): 勝野正章(東京大学大学院准教授)

【本学担当専任教員:

講義概要

今日、「教育の構造改革」と呼ばれる教育改革が進行している。今日の教育改革が従来と大きく異なるのは、既存の教育行財政制度のしくみを大きく改編する中で、従来の政策決定と行政運営の諸権限を基礎単位に移譲することを指向しつつ、国から学校までのあらゆるレベルの改革が同時進行的に取り組まれていることである。そうした今日の教育改革とその下での教育・学校の問題を考える。既存の教育行財政制度の改編が進んでいる中で、国と地方の教育政策や教育行政の実情と課題、教育の中核的担い手である教職員の問題、学校を巡る新たな環境と学校経営の課題など、教育行政と学校経営が直面する現代の問題と政策課題を学ぶ科目としたい。

授業の目標

全15回の講義を通して、大きく変動している国、自治体、学校の教育システムの実情と問題、政策課題を理解することができることを目標とする。受講生としては、現職教職員、学校管理職、教育行政職員などを想定し、教育に強い関心をもつ市民等にとっても関心を持てるように、最新の動向と具体的事例を学べるものにしたい。

履修上の留意点

今日の日本における教育改革を国際的動向から理解するために、「現代教育改革論('11)」を受講することが望ましい。

□	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
	戦後教育行政と学校 経営の展開	本科目の序論として、戦後の教育学び、近年の教育行政と学校経後の基本的課題を考える。 【キーワード】 教育行政、学校経営、教育行政係、学校管理規則、地教行法、1管理型教育行政、学校の自主・	営をめぐる政策動向から今 (教育委員会)と学校の関 971年中教審答申、出口	小川正人 (放送大学教 授)	小川正人 (放送大学教 授)
	国の教育行政機関と 教育政策過程	国の教育政決定過程や行政運営府(内閣、文部科学省)や政党等に、戦後長期間に亘った旧自民策決定のしくみと過程の特徴を相年以降の中央省庁再編等と2009に改革され変化したのかを確認しのあり方について考える。 【キーワード】 内閣、内閣府、文部科学省、政权政府(教育業界)、中央省庁再編	がの活動を通して学ぶ。特党政権下における教育政 党政権下における教育政 既観した後、それらが2001 9年の政権交代でどのよう しながら国の教育政策決定 権与党、文教族、教育下位	小川正人 (放送大学教 授)	小川正人 (放送大学教 授)
	教育財政のしくみと 特徴	日本の教育財政制度の特質をよび予算過程を中心に考える。 他の行政分野とのバランスを視野び決算による統制もまた重要なもその枠内で実施されていること後の予算制度改革により教育へについても言及する。 【キーワード】 予算編成,決算,補助金,概算例	予算という資源をめぐって 所に入れつつ,予算執行及 予算過程であり,教育行政 を理解する。また政権交代 の予算配分に生じた変化	本多正人 (国立教育政 策研究所総 括研究官)	本多正人 (国立教育政 策研究所総 括研究官)

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
4	地方自治体の教育行 政機関と教育政策過 程	地方自治体レベルの教育行政はる教育委員会によって担われる。単行政制度に倣って導入された教育た役割と実際の機能を中心に、地方教育行政の独立性とのバランスを国本型教育委員会の特徴についてを踏まえて考察する。 【キーワード】 執行機関、行政委員会、補助機関会法	後、アメリカの地方教育委員会制度に期待され 方自治体の総合行政と 直視することで現われた 、近年の改革の方向性	本多正人 (国立教育政 策研究所総 括研究官)	本多正人 (国立教育政 策研究所総 括研究官)
5	学力問題と教育課程 行政	児童生徒の学びと成長・発達に必化と計画である教育課程は多岐にが、本章では、主に、その編成や管行政の側面を取り上げる。教育課程関する法制やその中心にある学習・や課題、教育課程行政の手法変化力保障の動向を学びながら教育課る。 【キーワード】 教育課程、学習指導要領、履修主義(課程主義)、学力「格差」、「効果程マネジメント	わたる課題を含んでいる 理運営等の教育課程 記の編成、管理運営等に 指導要領をめぐる論議 、そして、学力論議と学 程行政の課題を考え 義(年齢主義)、修得主	小川正人 (放送大学教 授)	小川正人 (放送大学教 授)
6	教育公務員法制と教 員政策	教員の地位・身分、服務など公務員 法制度を学ぶ。地方公務員であるい 方公務員と異なる公立学校教員に 教育公務員法制をめぐる基本的課 【キーワード】 教育公務員特例法、教員の政治的 治的中立性、教員の労働基本権	こも拘らず他の一般地 関する法制等を学び、 題を考える。	小川正人 (放送大学教 授)	小川正人 (放送大学教 授)
7	教員の給与と勤務	教員の人事管理や教員個々の職関わる教員給与の政策と法制度をめぐる今日的な課題を考える。また一体的な関係にある教員の勤務形た課題を検討する。 【キーワード】 年功給、職務給、職能・資格給、能法」、義務教育等教員特別手当、「超過勤務、時間外勤務手当	学びながら、教員給与を、教員給与の法制度と 、教員給与の法制度と 態の問題と改善に向け 力・業績給、「人材確保		小川正人 (放送大学教 授)
8	教育費と教育の機会 均等	教育は、社会的身分、経済的地位: ように機会均等が保障されなくては 本では子育てや教育に多額の家計である。教育費負担と小・中・高校町への修学支援制度の実情や問題を 課題を考える。 【キーワード】 教育の機会均等、義務教育無償、教育扶助、就学援助、国民負担率	ならないが、今日の日 ・負担を要するのが実態 と階の経済的困窮家庭 ・学び、それらを巡る諸	小川正人 (放送大学教 授)	小川正人 (放送大学教 授)
9	学校経営をめぐる政 策動向	学校経営と直接的に関わる教育政 (学校選択制)、学校の自主性・自行 ビリティ、教育の質の保障について も貧困社会化、格差社会化の進展 で、そのなかで学校にできることを記 【キーワード】 経済のグローバル化、知識社会、教 主性・自律性、アカウンタビリティ、木	単性の確立、アカウンタ 検討する。また、日本で が問題となっているなか 考える。 女育の市場化、学校の自	勝野正章 (東京大学准 教授)	勝野正章 (東京大学准 教授)

回	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
10	学校の組織と文化	学校は効率性を追求する官僚制が、必ずしもその組織構造が予定育活動が行われているわけでは育活動は組織構造だけでなく、終を受けていることが知られている論として、学校の組織構造と文化【キーワード】システム論、官僚制、効率性、緩正統性、組織文化	定するとおりに運営され、教ない。さらに、学校運営・教 はい。さらに、学校運営・教 組織文化からも大きな影響 。学校経営研究の基礎理 とについて考察する。	勝野正章 (東京大学准 教授)	勝野正章 (東京大学准 教授)
11	学校におけるリー ダーシップ	アメリカでは1980年頃からスクーおいて果たす役割や効果に注目的リーダーシップ」、「変革的リーダーシップ」などが論じられるようも、経営責任の明確化や機動的という観点から、校長の権限や資高まっており、これらの学校におについて学ぶことには大きな意見キーワード】効果のある学校、教授的リーダーシップ、分散的リーダーシップ、分散的リーダーシップ、分散的リーダーシップ	目が集まるようになり、「教授・ダーシップ」、「分散型リーターシップ」、「分散型リートになった。今日の日本でいな学校運営を可能にする資質・能力に対する関心がいけるリーダーシップの研究といる。	勝野正章 (東京大学准 教授)	勝野正章 (東京大学准 教授)
12	学校評価と学校改善	近年における学校評価の政策重また学校改善の理論動向を概衡標の設定と標準化されたテストに向上を図ろうとするアメリカのNCれている弊害を知り、日本の学を善につなげるための示唆を得る。 【キーワード】 自己評価、関係者評価、第三者改善、NCLB法	記した後、限定的な教育目 こよって教育の水準や質の LB法体制について指摘さ 交評価が自律的な学校改	勝野正章 (東京大学准 教授)	勝野正章 (東京大学准 教授)
13	学校の財務管理	これからの学校管理運営におい 在り方について学校の自主性・「 て考える。公立学校を介した公園 や、学校における財務運営上の いった観点からの学校管理運営 て考察する。 【キーワード】 支出負担行為、支出命令、会計 管理	自律性確立の視点を踏まえ 費及び私費の資金の流れ 効率性,有効性,合規性と に係る現状と課題につい	本多正人 (国立教育政 策研究所総 括研究官)	本多正人 (国立教育政 策研究所総 括研究官)
14	教員の評価と専門職 としての成長	勤務評定に代わる「新しい教員」 れてきた背景やその目的を概観 いて検討を加える。成果主義を教 教師の仕事の性質ゆえに困難を の職能成長モデルについては、 育実践の目的や価値により深い となるかが重要である。 【キーワード】 新しい教員評価、人的資源管理 理、職能成長モデル(教員評価	し、教員評価の理論につ 教員評価に適用することは もたらす。一方、教員評価 そこでの教師の学びが教 レベルで関わるような学び	勝野正章 (東京大学准 教授)	勝野正章 (東京大学准 教授)
15	学校のガバナンスと 経営	近年、学校と保護者、地域住民が推進されている。学校のガバラうした日本と外国の教育政策・施うな教育政策・施策に影響を与え論について学ぶ。また、NPM型学で検討を加え、望ましい学校経営る。 【キーワード】 学校のガバナンス、学校と保護を 評議員、学校運営協議会、社会義、NPM	ナンス改革とも称される、こ 第について検討し、このよ えている社会関係資本の理 学校経営組織改革につい 営組織改革の在り方を考え 者・地域の連携・協力、学校	勝野正章 (東京大学准 教授)	勝野正章 (東京大学准 教授)

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2010年度 大学院科目 8920559 無 2 記載欄 年度 区分 コート 制限 数

科目名 (メディア) = 生涯学習の理論と実践 ('10) = (TV)

〔主任講師(現職名): 三輪 建二(お茶の水女子大学教授)

【本学担当専任教員: 岩永 雅也(放送大学教授)

講義概要

生涯教育や生涯学習が主張されるようになって40年もの年月が経過している。生涯学習の施策化や制度化が国、都道府県、市町村レベルで進みつつある反面、知識基盤社会を迎えている今日、生涯学習の果たすべき役割はいっそう増している。本講義では、以上のような今日的状況をふまえ、一方では社会全体が生涯学習に求める諸課題について、地域、学校教育、大学からのアプローチをふまえて整理する作業を行う。他方で、海外の生涯学習政策との比較、および学び手である学習者(成人学習者)あるいは成人教育者(学習支援者)にとっての生涯学習の意義と課題についても言及する。

授業の目標

生涯学習の基本理念については、現在進行形である多様な生涯学習政策、生涯学習事業、学習活動を読み解くことのできる 基本的な視座を身につけることを目標とする。また、生涯学習活動や実践についての幅広い理解を得ることも目標とする。さら に、放送大学における本講座の受講が、受講生にとっての生涯学習であることに示されるように、生涯学習の意味を、単に研究 対象として考察するだけではなく、自らの学習に引き付けて考える思考法を身につけ、自らの学習を省察する習慣を習得することも本授業の目標となる。

履修上の留意点

専攻科目である岩永雅也『生涯学習論』(閉講科目)履修者も受講可能である。

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
1	生涯学習の理念(1)	日本における生涯学習の理念に年に至るまでの流れを概観する。習社会、知識基盤社会などの類にすると同時に、生涯学習の理念な学習やインフォーマルな学習形を含めて変遷かつ拡大しつつある【キーワード】 社会教育、生涯教育、学習社会、	社会教育、生涯教育、学以の概念との関係を明らかな自体が、ノンフォーマル 必能、学校教育の包摂など ることを明らかにする。	三輪 建二	三輪 建二
2	生涯学習の理念(2)	フォーマルな生涯学習 平成20(2008)年に、中央教育: 切り拓く生涯学習の振興方策について、知識基盤社会、知の循環型の要請とのバランス、持続可能な ワークの構築などの観点から明らがもつ課題についても言及する。 【キーワード】 知識基盤社会、知の循環型社会の評価、連携・ネットワーク	ついて〜知の循環型社会 (理学習についての新しいで、この答申の特徴につ 型社会、個人の要望と社会 社会の発展、連携・ネット かにすると同時に、答申	三輪 建二	三輪 建二
3	生涯学習の学習論 (1)	生涯学習は広範囲な概念であるう考え方を「学習論」として整理しろうか。ここでは、生涯学習の主な者の特性を活かした「アンドラゴシM・ノールズのアンドラゴジーを中ジーのアイディアを拡大した成人ジー)についても言及する。 【キーワード】 アンドラゴジー、ノールズ、ポスト・	てみると、どのようになるだな担い手である成人学習 が一」について検討する。 1心とするが、アンドラゴ 学習論(ポスト・アンドラゴ	三輪 建二	三輪 建二

口	テーマ	内容		講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	生涯学習の学習論 (2)	生涯学習の概念はフォーマルな学習活動から、ノンマル、インフォーマルな学習活動へと領域的、形態は大を含んでおり、それにともなって新しい学習論が登いる。ここでは「省察的実践」(ショーン)「状況的学習践コミュニティ」(ウェンガー)などについて検討し、そ学習論が生涯学習にとってもつ意義について考察【キーワード】	的な拡 登場して 習」「実 れらの	三輪 建二	三輪 建二 (ゲスト: 倉持 伸江 東京学 芸大学講師)
5	学校・家庭・地域の連 携	第2章で述べた答申は、社会全体の教育力の向上にめ「学校・家庭・地域が連携するための仕組みついて言及している。学校・家庭・地域との連携がする社会的背景、連携の仕組みづくりについて考察す時に、「放課後子どもプラン」や「学校支援地域本部支援ボランティア」などの施策を取り上げ具体的に核る。 【キーワード】 学校・家庭・地域との連携、放課後子どもプラン、学地域本部、学校支援ボランティア	づくり」に さめられ つると同 り」「学校 食計す	三輪 建二	三輪 建二 (ゲスト: 佐藤 晴雄 日本大 学教授)
6	NPO・ボランティア	1990年代から生涯学習分野においても非営利団(O)の役割が注目されるようになった。社会教育事業するNPOや指定管理者となるNPOの存在の他、N活動自体がNPO内外の関係者にとって(ノンフォーインフォーマルな)生涯学習になっていることが背景る。NPOやボランティアと生涯学習との関係につい上の観点から検討する。 【キーワード】 NPO、NPO法、指定管理者、NPOと生涯学習	を担当 IPOの マル、 はにあ	三輪 建二	三輪 建二 (ゲスト: 田中 雅文 日本女 子大学教授)
7	学習する組織	日本の社員教育や官公庁の研修等はOJTを中心にてきたが、知識・技能の急速な発展は終身雇用を前るOJT中心の教育・訓練の転換をせまっている。キャ発、エンプロィアビリティなどに言及し、組織全体が「る組織」として発展してく可能性と課題について考察【キーワード】 OJT、終身雇用、キャリア開発、エンプロィアビリティする組織、P. センゲ	「提とす ャリア開 「学習す ミする。	三輪 建二	三輪 建二 (ゲスト: 中村 香 玉川大学 准教授)
8	高等教育機関の役 割	大学は生涯学習に冷淡と言われてきたが、少子高齢中で、社会人に門戸を開放するようになっている。そへの受け入れシステムの発展、大学・短大・専門学学開放センターの役割について考察する。放送大学及する。 【キーワード】 大学開放、社会人学生、大学開放センター、放送大学	士会人 校、大 学にも言	三輪 建二	三輪 建二 (ゲスト: 山本 健慈 和歌山 大学長)
9	行政の生涯学習支援 とネットワーク	学習者が地域における学習資源を有効に活用してめには、生涯学習機関や施設、団体の連携とネットが求められる。生涯学習を担当する行政の役割は、講座の提供から学習情報の提供へ、さらには連携・ワークの構築へと転換しつつあることについて検討【キーワード】 学習情報の提供、連携・協働、ネットワーク型行政	ワーク 学級・ ネット	三輪 建二	三輪 建二 (ゲスト: 倉持 伸江 東京学 芸大学講師)

口	テーマ	内容	講師名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
10	生涯学習の評価	これまでの生涯学習では、学習の成果としてのアウトプットが語られないことが多かった。第2回で述べた中央教育審議会は、生涯学習において学んだ成果を地域などで活かすことを軸に据えた「学習成果の評価」に言及している。評価の理論をふまえつつ、履修証明制度等の活用にも触れながら、学校教育モデルとは異なる生涯学習の評価のあり方について考察を深める。 【キーワード】 学習成果、教育評価、学習評価、履修証明制度	三輪 建一	三輪 建二
11	海外の生涯学習(1) 韓国	日本の生涯学習の動向を考える上で、他の諸国の生涯学習の理念と現状を理解することは、比較的考察を進める意味で重要である。3回にわたって世界各国の生涯学習のま念と現状、特色や課題について紹介する。まず、アジアの隣国である韓国の平生教育を取り上げることとし、平生教の実務者の養成・研修についても言及する。 【キーワード】 韓国、社会教育、平生教育、平生教育士	里	三輪 建二 (ゲスト:イ・ ビョンジュン 釜山大学教 授)
12	海外の生涯学習(2) ドイツ・フィンランド	2回めは、生涯学習の先進国ともいうべきヨーロッパ諸国が ら、特にドイツおよびフィンランドの生涯学習を取り上げる。 1990年代以降のEU統合の中での生涯学習政策(例えば グルントヴィ計画など)をはじめ、社会文化センターでの事 業(ドイツ)、成人教育理念をふまえた活動理論の展開(フ ンランド)に言及する。 【キーワード】 成人教育、継続教育、グルントヴィ計画		三輪 建二
13	海外の生涯学習(3) 発展途上国	アジアをはじめとする発展途上国における成人教育(生涯学習)は、識字教育を意味することが多い。3回目は、発展途上国の成人基礎教育、成人識字教育の現状と課題にいて言及する。また日本のNPO・NGOが途上国の識字教育に果たしている役割についても検討する。 【キーワード】 成人基礎教育、成人識字教育、NGO、バングラデシュ	: : :	三輪 建二 (ゲスト: 座波 圭美 ユネス コ・アジア文 化センター)
14	生涯学習と格差	いつでも、誰でも、どこでもという生涯学習の理念の実現に困難に直面している。一つは生涯学習の入口段階における学歴社会の存在であり、他方では、生涯学習によりますす経済的・社会的格差が発生しうるという問題である。また、成人の実践知と大学の学問知との相違を大学教育が再生産するという問題もある。生涯学習が格差是正にどの程度貢献しうるものなのかを考察する。 【キーワード】 格差社会、学歴社会、格差是正	ま	三輪 建二 (ゲスト:岩永 雅也 放送大 学教授)
15	生涯学習の展望と課 題	日本のみならず世界各国で、フロント・エンド・モデルからの脱却と、生涯にわたる質の高い学習・教育を保証する教育システムの構築が希求される。生涯学習社会の実現への素が続くものの、多くの克服すべき課題が未解決のまま残されている。前回の格差問題に続き、残された課題について検討すると同時に、講義全体のまとめを行う。 【キーワード】 フロント・エンド・モデル、生涯学習社会、学習観の転換	英	三輪 建二 (ゲスト:岩永 雅也)

事務局 記載欄	開講 年度	2013年度	科目 区分	大学院科目	科目コート	8920648	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	----------	--------	----------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = カリキュラム編成論 ('13) = (R)

[主任講師(現職名):田中博之(早稲田大学教職大学院教授)

〔主任講師(現職名):

【本学担当専任教員: 小川正人(放送大学教授)

講義概要

本科目は、学校におけるカリキュラム編成の理論と方法について解説することをねらいとしている。理論面においては、歴史的考察をふまえながら、カリキュラム統合、編成法の類型、基盤におく学力観、学年発達等の視点について検討する。一方、方法面においては、学校を基盤としたカリキュラム開発に焦点をあてて、今日の学校が課題としているカリキュラム編成の方法について、実践事例を豊富に紹介しながら解説する。具体的には、習得・活用・探究の連携、言語活動の充実、総合的な学習の時間、教科横断的なカリキュラム編成、カリキュラム・マネジメント等の視点から考察する。さらに、海外のカリキュラム編成の最新動向についても実践的な解説を加える。

授業の目標

- ① カリキュラム編成の理論について、歴史的考察をふまえて理解している。
- ② カリキュラム編成の方法について、具体的な実践事例をふまえて理解している。
- ③ カリキュラム編成の理論と方法の特徴について、小論文形式等でわかりやすく論述することができる。

履修上の留意点

教職科目「教育課程の意義及び編成の方法」に対応しているため、学校での実践事例を豊富に紹介して具体的な解説を行うので、理論と実践を関連付けながら理解することが望ましい。各回で紹介する参考文献については、できる限り読むようにすると理解を一層深められる。予備的知識は特に必要としないが、学校のミドルリーダーとしての当事者意識を持って臨むことによって、より実践的な知識を得ることができるようになっている。もちろん、若手教員や学校関係者以外の受講も歓迎する。

□	テーマ	内	容		放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
	カリキュラム編成の特 徴と今日的課題	初回の講義では、カリキュラム。もに、その編成の特徴に関する。に、学校におけるカリキュラム編らえることにより、学校がなぜ、どキュラムを編成すべきなのかといる。 【キーワード】 カリキュラム編成、学習指導要領	基礎的な解説を行う。さら 成の今日的課題を幅広くと でいように、どうやってカリ いう問いに答えるようにす	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)
2	カリキュラム編成の理 論と原理	カリキュラム編成の理論についを歴史的に紹介するとともに、編いて解説する。また、それらの理編成の今日的課題とどのように新理解できるようにする。 【キーワード】 内容構成論、開発方法論、評価力	成に関わる基本原理につ 記論が学校でのカリキュラム 詰びついているかについて	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)
	カリキュラムの基盤を なす学力モデル	学校のカリキュラムは、その時で受けて編成される。そこで、平成なった新学習指導要領の学力領のECDが提唱する国際標準学力シーやPISA型読解力についても 【キーワード】 21世紀型学力、総合学力モデクPISA型読解力	23年度から全面実施と 見を検討するとともに、 」としてのキー・コンピテン か解説を加える。	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
4	カリキュラムの統合	学校カリキュラムの領域を構成する原理として ラム統合」という軸がある。これに沿って、今 学校カリキュラムにおいては、総合的な学習 されている。その歴史的・原理的な解説を行 日的課題から見た総合的な学習の時間のた のあり方を検討する。 【キーワード】 総合的な学習の時間、単元モデル、カリキュ	日のわが国の の時間が設置 うとともに、今 カリキュラム編成	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)
5		学校カリキュラムの編成の中でも最も大規のが、新教科の設立である。文部科学省指定学校での様々な取り組みを紹介しながら、そ科設置のねらいや特徴について幅広く検討【キーワード】カリキュラム開発、新教科、生活科、ドラマ科校	定の研究開発 されぞれの新教 する。	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)
6	教科横断的な課題 (1)言語活動の充実	今日のカリキュラム編成においては、学校:全体に関わる教科横断的な教育課題の解診いる。その一つ目として、「言語活動の充実、取り上げ、そのねらいと特徴、カリキュラム編について、事例を紹介しながら検討する。 【キーワード】 言語活動の充実、言葉の力、話型、文型、サム	央が求められて 」という課題を 成上の工夫点	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)
7	教科横断的な課題 (2)活用を図る学習 活動	学校カリキュラムの全体に関わる教科横断の二つ目として、「活用を図る学習活動」を取ねらいと特徴、カリキュラム編成上の工夫点のを紹介しながら検討する。 【キーワード】 活用学習、型の活用、フィンランド・メソッド、	対上げ、その について、事	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)
8	教科横断的な課題 (3)学習スキルの育 成	学校カリキュラムの全体に関わる教科横断の二つ目として、「学習スキルの育成」を取りらいと特徴、カリキュラム編成上の工夫点に紹介しながら検討する。 【キーワード】 学習スキル、実践スキル、キー・スキル	上げ、そのね	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)
9	人間関係スキルを育 てるカリキュラムの編 成	子どもの人間関係スキルを育てることが、名おいて喫緊の課題になっている。そこで、先みを行っている小学校と中学校のカリキュラがら、人間関係スキルの計画的かつ系統的ついて検討する。 【キーワード】 人間関係スキル、社会的スキル	進的な取り組 ムを紹介しな	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)
10	クロス・カリキュラムの 編成	教科横断的な課題をカリキュラム編成に生法に加えて、さらにカリキュラム統合の方法と断的なカリキュラム編成がある。これは、いく領域・時間を組み合わせて大単元を構成すその意義と方法について事例を交えて具体る。 【キーワード】 クロス・カリキュラム、習得・活用・探究の連携	さして、教科横つかの教科・ るものである。 的に解説す	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
11	学級経営カリキュラム の編成	今日の学校教育で大きな課題である学級経営のあり方改善し、子どもの集団づくりに効果を上げるために、学級経営カリキュラムを作成・実施することを提案する。ここで学級カモデルを検討し、学級経営の新手法を具体的に説する。 【キーワード】 学級経営、学級力、学級力向上プロジェクト	、 田山埔 →	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)
12	カリキュラム開発 のケース・スタ ディー	第5章で検討した研究開発学校におけるカリキュラム開発の事例について、新教科「市民科」と「ドラマ科」を取り、げて、その具体像とカリキュラム開発の特徴について具体的に解説する。 【キーワード】 市民科、ドラマ科、研究開発学校	上	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)
13	海外のカリキュラムに 学ぶ	わが国の学校カリキュラムのあり方は、少なからず海外影響を受けている。そこで、日本の学校カリキュラムに影を与えているイギリスやアメリカの動向を紹介しながら、こからのカリキュラム編成について考える。 【キーワード】 21世紀型スキル、市民科、ドラマ科、トピック・ウェブ	響	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)
14	R-PDCAサイクル に基づくカリキュラ ム・マネジメント	各学校で編成したカリキュラムを組織的・計画的に実施改善するためには、R-PDCAサイクルによる学校を基盤とた編成手法、つまりカリキュラム・マネジメントが必要となるその意義と方法について具体的に解説する。 【キーワード】 SBCD、R-PDCAサイクル、カリキュラム・マネジメント、カリキュラム評価	に 田中博之 (早稲田大学 大学院教授)	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)
15	漸進的カリキュラム編 成法の意義と特徴	教科横断的なカリキュラムや総合的な学習の時間におるカリキュラムは、年度当初に編成された詳細案を実施するのではなく、入手可能な教材や実施可能な学習活動、らには子どもの実態や反応に基づいて、実践を伴いなが漸進的に編成されることが必要である。そのような漸進的リキュラム編成の意義と方法について、実践事例に基づて解説する。 【キーワード】 漸進的カリキュラム編成法、授業の再設計技法、食といるちの教育	- さら 田中博之 (早稲田大学 大学院教授)	田中博之 (早稲田大学 大学院教授)

科目名 (メディア) = 教育文化論特論 ('11) = (TV)

[主任講師(現職名):鈴木晶子(京都大学大学院教授)

【本学担当専任教員:住田正樹(放送大学教授)

講義概要

人は経験なしに教育について語ることはできない。と同時に、経験だけで教育を語ることもできない。人と人との邂逅と対峙を通して、人は生成や変容を遂げる。そうした人間の生成変容を支えている文化 —教育文化の働きは広く、そして深い。この授業では、教育文化について、哲学的人間学、文化人類学、歴史学、詩学など教育学の隣接諸科学に基づく思考様式を用いて分析や解明を進めていくための基礎を学ぶことを目的としている。場がつくる教育文化、メディアとしての教育文化、伝承のなかの教育文化について、様々なフィールドワークの事例を通して、論究する。

授業の目標

教育文化を分析・解明するための観点や基本概念、分析枠組などを学ぶことを通して、自らがこれまで受けてきた教育を通して 得た体験や経験や、日常の様々な場面をフィールドとして分析的に捉えることができる力の養成を目標としている。

履修上の留意点

広く教育に関係するものとしては、「人間発達論('09)」の印刷教材を学んでおくことが望ましい。また、教育的日常をフィールドとして捉えたり、広く文化の観点から教育という営みを考える思考を鍛えるために、「文化人類学('14)」も参照されることをおすすめする。

□	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	教育文化とは	科目全体の導入回として、教育文化の 題提起と科目(学習)の到達点を提示 の定義や方法論を示す。 【キーワード】 教育文化、人間学、人類学、歴史人類	する。また、主要概念	都大学大学	鈴木晶子(京 都大学大学 院·教授)
		I 場と教育文	化		
2	1 場がつくる教育文 化	教育文化は場においてつくられる。古ゴラから現代の学校教育現場まで、人かす場の力の働きについて、事例を交【キーワード】 環境世界、場の働き、経験、徒弟制度	間相互の関わりを生 ごえて紹介する。		鈴木晶子(京 都大学大学 院·教授)
3	2 リテラシー(智)へ の誘い	教育文化の基盤には、読み書き(リテラた。だがリテラシーは単に識字能力に、それぞれの状況や社会的文脈におい智)も広義のリテラシーである。リテラシとともに、現代における科学リテラシーのを交えて紹介する。 【キーワード】 読み書き、リテラシー、知恵、叡智	とどまらない。知識を て活かす知恵(叡 一思想の系譜を追う	都大学大学	鈴木晶子(京 都大学大学 院·教授)

□	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	3 場と人間の変容	人の才を育てていくには、教育する側にも教育の才が求められる。人と人とが出会い、相互にその才を伸ばしていくには、人をみる目、事柄を見極める目が必要である。こうした才としての目(心眼)は、タクトとも呼ばれる。人育ての知恵や才、判断力としてのタクトの働きについて、その思想の系譜を追いながら論究する。 【キーワード】 オ、タクト、ものを見る目、判断力	鈴木晶子(京 都大学大学 院·教授)	鈴木晶子(京 都大学大学 院·教授)
5	4 場・言葉・身体	人育ての知恵や才は、人生の極限において自己自身を超え出ていく力を必要とする。直観や勘の働きに関する思想の系譜を紹介するほか、仏教やキリスト教の修練の場を事例として取り上げながら、場における人間変容について考える。 【キーワード】 直観、勘、瞑想、言葉、身体、感情	鈴木晶子(京 都大学大学 院·教授)	鈴木晶子(京 都大学大学 院·教授)
		II メディアと教育文化		
6	1 展覧の教育文化	近代的な教育文化の特質は、世界を展覧できるメディアを開発することであった。ヨーロッパの驚異博物館(ヴンダー・カンマー)をはじめ、博物館、美術館、博覧会、動物園など展覧のメディアが果たした役割について、事例を紹介しながら示す。 【キーワード】 展覧、博物館、美術館、博覧会、一望のまなざし	鈴木晶子(京 都大学大学 院·教授)	鈴木晶子(京都大学大学院·教授)
7	2 文化・歴史・メディ ア	新聞や映像はもちろん身近なメディアとしてすぐに思い浮かぶが、歴史的記録と想起の場として、記念塔や慰霊碑も教育文化にとってメディアと捉えることができる。教育文化のメディアとしての展覧のもつ功罪について、事例を手掛かりにしながら考える。 【キーワード】 イデオロギー、記念塔、慰霊碑、歴史モニュメント	和ハナハナ	鈴木晶子(京都大学大学院·教授)
8	3 メディアとしての 「もの」	玩具、絵本、童話、童謡などは、教育文化を構成している 重要なメディアである。子どもの日常に深く関わる「もの」 は、時代の価値観を反映しつつ、これまでも子どもたちをそ の時代の子へとつくりあげてきた。「もの」を通して形成され てきた教育文化の仕組みについて、事例を交えて紹介す る。 【キーワード】 玩具、絵本、童話、童謡、教育的配慮	鈴木晶子(京 都大学大学 院·教授)	鈴木晶子(京都大学大学院·教授)
9	4 メディアとしての儀 礼	儀礼は教育文化のひとつである。儀礼には、宗教的な儀礼や成人に至るまでの通過儀礼、年中行事や祭事の儀礼、さらに、学校での入学式や卒業式、運動会といった行事での儀礼、誕生祝や結婚、出産の儀礼まで様々ある。こうした儀礼を通して人は何をどのように学んでいるのだろうか。事例を紹介しながら考える。 【キーワード】 儀礼、通過儀礼、反復、演出、ミメーシス		鈴木晶子(京 都大学大学 院·教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
10	5 ミメーシス・学習・ 伝承	儀式や儀礼は伝統の様式をなぞりながらも、それぞれの時代の文化的・社会的条件に合うように、改変されながら伝えされてきた。儀礼の伝承メカニズムは、パフォーマンスを通した模倣的な反復(ミメーシス)である。儀礼のこの特質にいて事例を交えて紹介する。 【キーワード】 儀礼、パフォーマンス、模倣、学習、伝承	给木品子(克	鈴木晶子(京 都大学大学 院·教授)
		III 伝承のなかの教育文化		
11	1 生存と伝承	人が生存のために伝承しているものは様々ある。親から子への伝承は古代より、もののやり方に関する伝承のうちにあることができる。また、家庭料理を通して伝わる家庭の味に代表されるように、感覚を通した伝承もある。伝承の様々な側面について事例を紹介しつつ、考える。 【キーワード】 もののやり方、感覚、日常実践のわざ、伝承の知恵	タ 会 大 品子(京	鈴木晶子(京 都大学大学 院·教授)
12	2 伝承とわざ	伝統的な技芸やものづくりの場においては、どんな伝承の知恵が働いているのだろうか。 わざを極める場で起きてい事象を、フィールドとして研究する試みを紹介しながら、伝承とわざの関係について考える。 【キーワード】 技芸、芸道、ものづくり、修行、フロネシス	5	鈴木晶子(京都大学大学院·教授)
13	3 伝承の新しい地平	教育文化の伝承という広い観点から捉えるとき、学校教育を含めた学習・伝習・伝承は、今後どのような展開の可能性があるのだろうか。学校教育における学習だけに限定せずに、伝承というものを捉える観点から、異文化理解や異文への寛容さを育むといった新たな課題について考える。 【キーワード】 練習、稽古、比較、異文化理解、寛容さ	: M D J J J	鈴木晶子(京 都大学大学 院•教授)
14	4 死と再生の教育文 化	古来より、親はその死に際の姿を通して最も大切な事柄を子に伝えるものだといわれる。死生の文化は教育文化にとって重要な意義をもつ。個人の死、近親者の死、同胞の死、人類の死、その死をいかに受けとめ、いかに生きていか 一死と再生の循環としての教育文化の特質について動例を交えながら考える。 【キーワード】 死の習俗、死の舞踏、死生の文化、グリーフィング・ケア	(鈴木晶子(京	鈴木晶子(京都大学大学院·教授)
			•	•
15	教育文化論の可能性	教育文化論は、人類学や詩学の思考方法を通して、人間の生成変容の歴史的、文化的な違いを明らかにするという学際的・国際的な研究領野である。これまでの回を振り返っつ、教育文化論の意義や今後の可能性について考える。 【キーワード】 人類学的思考、学際、国際、領域横断	n	鈴木晶子(京 都大学大学 院·教授)

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2011年度 大学院科目 8920605 無 2 記載欄 年度 区分 コート 制限 数

現代教育改革論 -世界の動向と日本のゆく \hat{z} - ('11) = (R)

[主任講師(現職名):江原武一(立命館大学教授)

[主任講師(現職名):南部広孝(京都大学大学院准教授)

【本学担当専任教員: 岡崎友典(放送大学准教授)

講義概要

現在、日本も含めて各国の教育は、経済協力開発機構(OECD)やユネスコなどの国際機関が示す提案や国際的な改革動向の 影響を受けながら改革されている。しかし、各国の改革はそうした国際的な動向と必ずしも同調しているわけではない。なぜなら、 それぞれがもつ伝統やそれを支える社会のあり方、教育観の違いなどによって多様な取り組みが進められるからである。この授業 では、幼児教育から生涯学習(生涯教育)までを対象として、国際的な改革動向を整理し、欧米諸国やアジア諸国における対応 について分析・考察を行うとともに、日本の教育改革のあり方を探ろうとするものである。

授業の目標

日本の教育改革には、国際機関から示される提案や国際的な改革動向を参考にして進められる側面と、これまでの歴史的経緯や日本社会の現状をふまえて進められる側面とがある。この授業では、主として前者に注目して、世界的な改革動向や各国の対応を理解し、それらをふまえて日本の教育改革のあり方を考える手がかりを得ることを目的とする。

履修上の留意点

現代日本の教育が直面する諸課題について、性急に処方箋を求めるのではなく、国際的な動向や各国の対応をふまえてそれを 相対化しつつ解決策を考えることが望まれる。履修生は、日本の教育改革の状況とともに、諸外国の社会や教育に対して幅広い 興味・関心を有していることが望ましい。

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
1	教育改革の国際比較	現在、世界の多くの国ぐにで大規でいる。そこには共通の動向が身への対応が国によって異なること教育改革の共通性と個別性が生日本の教育改革のあり方を国際義について明らかにする。 【キーワード】 教育改革 共通性 個別性 グロ	見られる一方で、個別課題 も珍しくない。そうした現代 じる背景について考察し、 比較の視点から考える意	南部広孝(京 都大学大学 院准教授)	南部広孝(京 都大学大学 院准教授)
2	ユニバーサル化する 幼児教育・保育	幼児教育・保育は、教育を重視な保育所の二元的なシステムとし育・保育の需要が拡大する中で動きが世界各国で進められておることへの関心も高まってきていて、日本の幼児教育・保育のあり【キーワード】	て発展してきたが、幼児教、システムの一元化を図るり、アクセス性や質を高める。これらの動向を整理したについて考察する。	深堀聰子(国 立教育政策 研究所総括 研究官)	深堀聰子(国 立教育政策 研究所総括 研究官)
3	教育システムの変容	今日、様々な教育問題の発生やり、先進国のみならず発展途上間ムの弾力化・多様化が進んでいて同時進行する教育改革の国際質をとらえることを通じて、現代日会的役割と公教育の意味を問い【キーワード】	国においても公教育システる。多様な社会的文脈の中 るの事態の動向を整理し、その特はにおける学校教育の社直す。	服部美奈(名 古屋大学大 学院准教授)	服部美奈(名 古屋大学大 学院准教授)

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
4	才能児の教育ニーズへの対応	才能教育は、学習スタイルが標準とは異な習権を保障するための教育上の例外措置キュラムを高速で履修する早修、より発展を履修する拡充などの方法で、多様な組織供されている。その特徴を整理して、日本り方について検討する。 【キーワード】 早修 拡充 飛び級・飛び入学 高大接続	である。標準カリ的なカリキュラム 戦形態をもって提の才能教育のあ	立教育政策 研究所総括	深堀聰子(国 立教育政策 研究所総括 研究官)
5	いじめ問題への対応	現在の学校教育は様々な問題を抱えてい対応や解決が求められている。そうした問いじめ問題を取り上げ、諸外国における問を分析することを通じて、いじめ問題の日はするとともに、その解決の方策について【キーワード】 教育病理 bullying ゼロ・トレランス方式バーいじめ	題の一つである 題状況や対応策 本的特質を明らか 考える。	都大学大学	南部広孝(京 都大学大学 院准教授)
6	公教育と価値教育	今日の学校教育では、基礎的な教科の学徒が多文化社会にふさわしい知識や考え ぶ価値教育を充実することも求められてい 育について市民性教育や宗教教育などを その意義や課題を考える。 【キーワード】 公教育 価値教育 多文化社会 市民性	方、態度などを学 る。この価値教 中心に考察し、		江原武一(立 命館大学教 授)
7	教師教育の高度化	教員の質を高めることはどの国でも教育改な課題となっており、教員養成と教員研修のあり方の再検討が進められている。教員成・研修システムの高度化という視点から一つを整理し、日本における改革のあり方を 【キーワード】 教員養成 高度化 専門職化 教職大学	を含む教師教育 の専門職化や養 その国際的な動 考察する。	南部広孝(京都大学大学院准教授)	南部広孝(京都大学大学院准教授)
8	知識基盤社会における高等教育	知識基盤社会への移行に伴って、高等教質の維持向上は多くの国でますます重視でいる。量的拡大と高等教育の多様化、大や質保証システムの導入といった改革事例を通じて検討し、日本における改革の考察する。 【キーワード】 知識基盤社会 高等教育 量的拡大 多相性 質保証	されるようになっ 、学の自律性の拡 動向を具体的な)方向性と課題を	都大学大学	南部広孝(京都大学大学院准教授)
9	生涯学習理念の展開	1960年代に登場した生涯学習(生涯教育世界の多くの国ぐにで教育改革を進める)なっている。生涯学習の理念と、それが諸を含む教育のあり方に対して与えたインパし、日本での改革の現状と課題を考察する【キーワード】	こりどころの一つと 外国の学校教育 クトを明らかに ろ。	都大学大学	南部広孝(京 都大学大学 院准教授)
10	国際学力調査の拡大	グローバル化が進展する中で、諸外国の 心が世界的に高まっている。日本では、国 価学会 (IEA)によるTIMSSや経済協力開系 よるPISAなどの国際学力調査が、教育政策 を及ぼしてきた。それらが測定しようとする 義と課題について考察する。 【キーワード】 TIMSS PISA 到達度 リテラシー	際教育到達度評 機構(OECD)に 策に重要な影響	立教育政策	深堀聰子(国 立教育政策 研究所総括 研究官)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	ジェンダーと教育	ジェンダーと教育は、個々の社会の文化的特質や経済発展と密接にかかわっており、是正に向けた改革も多様である。ジェンダーと教育にかかわる理論的な動向、ジェンダー問題解決に向けての国際的な改革動向、発展途上国によける課題を整理し、日本におけるジェンダーと教育問題を再考する。 【キーワード】 ジェンダー・バイアス 開発の中の女性 ジェンダーと開発		服部美奈(名 古屋大学大 学院准教授)
12	国際教育協力の課題	今日の国際教育協力は、教育格差の是正と共通する教育問題の解決のため、「万人のための教育(Education for All)」の普及とともに、教育の地方分権化や参加型学校運営など新たな支援の方向性を模索している。各国及び国際機関による国際教育協力の課題と発展途上国の教育改革動向を整理し、これからの国際教育協力に果たす日本の行割を考える。 【キーワード】 教育格差 万人のための教育 教育の地方分権化 発展途上国への教育支援	加部夫余(名	服部美奈(名 古屋大学大 学院准教授)
13	教育の国際化	現行の教育制度を前提として、日本の教育をどのように国際化すればよいのか。この問題を、国際化のための教育(国際理解教育、外国語教育など)と教育システムの国際化(教育システムの標準化、在日外国人教育など)を中心に分析し、国際化時代における日本の教育のあり方を考える。 【キーワード】 教育の国際化 国際理解教育 外国語教育 日本語教育在日外国人教育	江原武一(立 命館大学教 授)	江原武一(立 命館大学教 授)
14	国際的な教育流動	教育に関する国境を越える人や教育プログラム、教育機関などの移動は近年ますます盛んになってきている。そうした国際的な教育流動をめぐる改革課題を、海外留学や教育プログラムの国際移動などに焦点を絞って考察し、国境を越えて展開するトランスナショナル教育のあり方を探る。 【キーワード】 社会のグローバル化トランスナショナル教育 海外留学外国大学分校		江原武一(立 命館大学教 授)
15	日本の教育改革のゆくえ	世界の多くの国ぐにでは現在、教育改革が同時進行の形で進められている。この最終回では、これまでの講義の内容をふまえて、幼児教育から高等教育までの教育システム、女性と教育、教育の国際化などをめぐる改革課題を国際比較の観点から明らかにし、今後の日本の教育改革のり方を展望する。 【キーワード】 国際比較 教育改革 教育システム ジェンダーと教育 教育流動	授)	江原武一(立 命館大学教 授)

事務局 記載欄	開講 2011年度 再度 (第2学期)	目 大学院科目	牛皮	科目コート	8920613	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	------------------------	---------	----	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = 道徳性形成・徳育論 ('11) = (R)

〔主任講師(現職名): 押谷由夫(昭和女子大学大学院教授)

【本学担当専任教員:住田正樹(放送大学教授)

講義概要

現代の家庭、学校、地域社会がかかえる大きな教育課題に道徳教育がある。道徳教育は「人間としていかに生きるべきか」を正面から取り上げ、「人間として自分はどう生きるか」を主体的に考え「具体的に追い求めていけるようにすること」を主とするために、きわめて広い視野と、深い人間的洞察力が必要になる。本講義では、道徳性の形成と徳育という視点から、我が国の道徳教育が大きな影響を受けている中国の道徳思想(徳育論)、江戸時代及び明治期から戦前にかけての我が国の道徳思想(徳育論)を押さえて、今日の道徳教育(徳育)の在り方を、欧米や中国、韓国の動向、そして戦後の我が国の道徳教育の動向をもとに探っていこうとするものである。

授業の目標

道徳教育の基本的問いである「人間としていかに生きるべきか」は、人間としての自覚にかかわって常に問われ続けるものである。それを「どのように追い求めていくか」は個人的な課題であると同時に、社会的課題でもある。本講義では、「人間としていかに生きるべきか」と、それを個人的課題及び社会的課題として「どのように追い求めていくか」という視点から、歴史的・国際的視野のなかで、我が国の道徳教育の特徴と課題を理解し、これからの道徳教育について、自らの生き方とかかわらせて、具体的展望をもてるようにすることを目標とする。

履修上の留意点

学部科目「道徳教育論」を履修していることが望ましい。

					1
□	テーマ	内	容		放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
1	「私にとっての道徳教 育」とは何かを考えて みよう	本科目の概要と基本的コンセフンセプトとしては、「私にとってのの講義が聴けるようにしたい。その道徳性形成を講義の内容を込むでもあるかと思う。その導入とし育成を振り返ることから始めてい【キーワード】 私にとっての道徳教育 人格と	が道徳教育」という視点からこれは、各講師がそれぞれ 通して受講者に伝えていくこして、「私」自身の道徳性のいきたい。	押谷由夫(昭 和女子大学 大学院教授)	押谷由夫(昭 和女子大学 大学院教授)
2	「心ということばの一般的用法」から道徳 教育を考えてみよう	「私にとっての道徳教育」というなからみた道徳教育」について、「法」から探っていきたい。大きく、ての心」「社会的性格としての心ての心」の3つについて説明しての講義へとつなげていけるように【キーワード】 心の一般的用法 道徳的価値の識的・感覚的存在	心ということばの一般的用 「道徳的価値の総合体とし 」「意識的・感覚的存在とし ていく。それらを次の回から こしたい。	押谷由夫(昭 和女子大学 大学院教授)	押谷由夫(昭 和女子大学 大学院教授)
3	中国における道徳思想(徳育論)について考えてみよう(1)-『論語』に見える道徳の問題-	孔子の言行録である『論語』にめ、家族、職場、国家など、現代多く取り上げられている。その中か」「どう社会と関わっていくべきる。また、それが広く東アジア文でいる点についても解説する。 【キーワード】 孔子、論語、孝、	社会にも通ずる諸問題がいから、特に「人はどう生きるなか」という課題を取り上げ 化圏に共通する思想となっ	湯浅邦弘(大 阪大学大学 院教授)	湯浅邦弘(大 阪大学大学 院教授)

□	テーマ	内 容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	中国における道徳思 想(徳育論)について 考えてみよう(2) - 諸 子百家の道徳論 -	近年中国で発見された戦国時代の儒家系の新資料(竹簡)には、すでに道徳論を明確に説く文献が複数含まれていた。そうした新資料を紹介しながら、古代中国において、「夫・婦・父・子・君・臣」という人倫関係がどのように考えられていたのかを明らかにする。また、儒家以外の諸子百家がこうした問題をどう考えていたのかについても解説する。 【キーワード】儒家、人倫、諸子百家	湯浅邦弘(大 阪大学大学 院教授)	湯浅邦弘(大 阪大学大学 院教授)
5	江戸時代における道 徳思想(徳育論)につ いて考えてみよう(1) -経済活動と町人倫 理-	江戸時代は、活発な経済活動で繁栄した時代であった。それゆえ経済を支える町人には、倫理的な行為が求められた。その徳目の中核は、倹約と正直である。また経済活動と並行して教育に対する関心も盛んになり、藩校・寺子屋などの教育施設がつぎつぎとつくられ、生活習慣を中心に指導がなされた。 【キーワード】 町人倫理、倹約、正直、藩校、寺子屋	高島元洋(お 茶の水女子 大学大学院 教授)	高島元洋(お 茶の水女子 大学大学院 教授)
6	江戸時代における道 徳思想(徳育論)につ いて考えてみよう(2) ー儒教倫理と人倫ー	町人倫理から子どもの生活習慣まで、また士農工商のそれぞれ生き方について、原理的に説明するものが儒教であった。江戸時代の儒教は、たんなる前近代の封建思想ではない。日本儒教の多様な機能を考え、ここにはたらく「人倫」という観念、また人間を理解する普遍な思索方法について考えてみたい。 【キーワード】 儒教、生生、人倫、仁、愛	高島元洋(お 茶の水女子 大学大学院 教授)	高島元洋(お 茶の水女子 大学大学院 教授)
7	近代日本における道 徳教育(徳育論)につ いて考えてみよう(1) 一修身科の歴史と教 育勅語の渙発―	近代教育では道徳教育を担う教科として修身科が設置された。本章では、近代教育の出発にあたって、修身科を中心とした道徳教育の理念と目的がどのように模索され形成されたのかを歴史的に辿りながら、特に1890(明治23)年の「教育ニ関スル勅語」(教育勅語)渙発が道徳教育(徳育論)に果たした役割と意義について考えていきたい。 【キーワード】 修身科、徳育論争、教育ニ関スル勅語(教育勅語)、徳目主義、人物主義	貝塚茂樹(武 蔵野大学大 学院教授)	貝塚茂樹(武 蔵野大学大 学院教授)
8	近代日本における道 徳教育(徳育論)につ いて考えてみよう(2) 一国定修身教科書の 特徴と修身教授の改 革論—	1903 (明治36) 年に国定教科書制度が確立し、1949 (昭和24) 年の学校教育法の制定までに全5期にわたる国定修身教科書が使用された。本章では、各期の国定修身教科書の特徴を整理しながら、特に大正新教育運動期における修身教授改革論についても検討することで、近代教育に果たした修身科の役割と修身科研究の今後の課題について考えていきたい。 【キーワード】 国定修身教科書、大正新教育運動、国民学校、天野貞祐	貝塚茂樹(武 蔵野大学大 学院教授)	貝塚茂樹(武 蔵野大学大 学院教授)
9	戦後の道徳教育の動 向を探ってみよう(1) 一「道徳の時間」が特 設されるまで―	戦後の道徳教育について、1958(昭和33)年に道徳の時間が特設されるまでを概観し、その基本的な流れを押さえる。特に「公民教育構想」「社会科を中心とする道徳教育」「天野貞祐の提案」「道徳の時間の設置」に絞って、戦後の道徳教育の動向の実際を明らかにしたい。 【キーワード】 公民教育構想 社会科 天野貞祐 道徳の時間	押谷由夫(昭 和女子大学 大学院教授)	押谷由夫(昭 和女子大学 大学院教授)
10	向を探ってみよう(2)	「道徳の時間」設置以降の動向について、特に「道徳の時間設置から1989(平成元)年の学習指導要領改訂まで」「1989(平成元)年の学習指導要領の改訂」「2002(平成14)年の心のノート配付事業」の3つをポイントにして探っていく。その中で、今日の道徳教育の課題も明らかにしたい。 【キーワード】 学習指導要領 幼・小・中・高一貫の道徳教育 心のノート	押谷由夫(昭 和女子大学 大学院教授)	押谷由夫(昭 和女子大学 大学院教授)

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	アメリカにおける道徳 教育の動向を探って みよう―大統領が主 導するアメリカの徳育 ―	アメリカにおける道徳教育を特徴づけ主義の理念と道徳的価値の教育、②性、③地域社会との連携、を中心に、び各学校での具体的な取り組みを紹 【キーワード】 キャラクターエデュケーション、サービ	実践性と科学的実証 各州、各学校区およ 介する。	伴 恒信(鳴 門教育大学 大学院教授)	伴 恒信(鳴 門教育大学 大学院教授)
12	ヨーロッパにおける道 徳教育の動向を探っ てみよう―ヨーロッパ の宗教教育とシティ ズンシップ教育―	ヨーロッパでは、第二次世界大戦後の会が民主主義及び人権の教育に係る動を進めてきたが、1992年の欧州連位に、さらに国家枠を超えた民主主義的すシティズンシップ教育が緊要かつ時きた。具体的に英・独・フィンランドなどながら考察していきたい。 【キーワード】	5活発な研究・普及活合(EU)の発足を契機 付人格の涵養を目指 見実的な課題となって ごの教育状況を踏まえ	伴 恒信(鳴 門教育大学 大学院教授)	伴 恒信(鳴 門教育大学 大学院教授)
13	中国、韓国における 道徳教育の動向を 探ってみよう―道徳 教育教科による道徳 教育―	現在の中国では学校における道徳教徳と社会、思想品徳、思想政治というている。韓国においても教科の道徳を的な道徳教育を行っている。その具体徳教育の取組をあわせてみていくことのあり方を探っていきたい。 【キーワード】 品徳と生活、思想社会、思想品徳、教る道徳教育、家庭における道徳教育、	教科を中心として行っ 記設けて計画的・発展 本と、社会における道 によって、道徳教育	押谷由夫(昭 和女子大学 大学院教授)	押谷由夫(昭 和女子大学 大学院教授)
14	我が国の特質を生か した道徳教育をいか に進めるかを考えて みよう	講義の全体を振り返りながら、我が国徳教育をどのように展開していけばいてみたい。また、59年ぶりに改正され8(平成20)年に告示された新学習指教育の重視や推進方策について明らの道徳教育の推進方策について考【キーワード】 改正教育基本法、人格の完成、人格性、新学習指導要領、人間としての生徳」)	いのかについて考え た教育基本法や200 道要領における道徳 かにしながら、これか えていきたい。 の基盤としての道徳	和女子大学	押谷由夫(昭 和女子大学 大学院教授)
15	「これからの私にとっ ての道徳教育」につ いて考えてみよう	最初の講義で考えた「私にとっての道とることによってどのように変わってきたの私にとっての道徳教育」を各自でい。それは、これから自分自身といかいうことでもある。自分の未来に対するの立場に立つことの大切さ、日本国民などを探りながら、考えていく。 【キーワード】 幸福への道しるべ、よさに目を向けるの絶対的信頼、相手の立場に立って	たかを確認し、「これかき考えられるようにしたに向き合っていくかとる意識のもち方や相手 とが大切にしてきた心 、感謝・報恩、自他へ	押谷由夫(昭 和女子大学 大学院教授)	押谷由夫(昭 和女子大学 大学院教授)

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2011年度 大学院科目 8920575 無 2 記載欄 年度 区分 コート 制限 数

科目名 (メディア) = 生涯発達心理学研究 ('11) = (R)

〔主任講師(現職名):星薫(放送大学准教授)

]

講義概要

生涯発達心理学は人の受精から老年期までの個人的発達について研究する学問である。その核となる仮定は、発達が青年期に完了してしまうものではなく、全生涯を通じて続く適応過程であり、そこには心理学的構造や機能の獲得、保持、変容、そして衰退が含まれているとするものである。今回の授業では、アメリカで行われた、複数の個人を、その子ども時代から老年期まで追跡したいくつかの研究の成果を軸に、発達における個人間の共通性、個人差、個人内変化について見ていく。

授業の目標

我々は、高齢者と出会って話をすると、つい、その人がどんな人生を歩んできて、現在の姿に至ったのかを知りたくなる。特に、 我々の心を引きつける、魅力あふれる老人に出会うと、どうやったら、この人のようになれるのだろうかと考える。人が幸福な老年 期(サクセスフル・エイジング)を迎えるために、そこまでの道のりはどのように関係しているのかという、問いへの答えを、追跡研究の成果から探ってみたい。

履修上の留意点

特になし

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
1	生涯発達心理学とは	生涯発達心理学では、人の誕生精)から死までの間に生じる個人から当然ながら、その人がどういる環境で育ち、生活したかが重要なでは、生涯発達心理学(あるいは考え方を紹介していく。 【キーワード】 生涯変化 獲得 喪失 維持 衰	の変化について考える。だ 時代に生まれ、どのような ま要因になっていく。本章 生涯心理学)の基本的な	星薫	星薫
2	ライフコース研究と生 涯発達心理学	ライフコース研究では、ライフコーン・エージェンシー)、社会関係、時代・コーホートの交差という4要人間行為力は、遡及的に観察で観察からその効果やライフコース的効果を捉えることができる。とい自体が、社会的環境、状況に応じである。本講義では、ライフコースうえで、人間行為力に焦点をあて用について考える。 【キーワード】	時空間上の位置、年齢・素から観察する。このうちきるものではなく、追跡的の形成全般にわたる累積らのは、人間行為力それごて発達的に変化するため、研究の枠組みを概観した、生涯発達心理学での活	嶋﨑尚子(早 稲田大学文 学学術院教 授)	嶋﨑尚子
3	生涯発達心理学の先 駆者たち	人の発達を子ども時代に限定せとした研究者が、数は少ないがいとした研究者が、数は少ないがいト・ビューラー、カール・G・ユングバート・ハヴィガースト、エリク・エリる。 【キーワード】 ビューラー、ユング、レビンソン、	る。その中で、シャーロッ 、ダニエル・レビンソン、ロ Jクソンの発達論を紹介す	星薫	星薫

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
4	ある生涯発達-福沢 諭吉を例として―	慶應義塾大学の創設者である福沢諭吉は快活な人物であったという。明治維新前後き、多くの業績を残した彼の生涯を、エリク論との関係で見ていきたい。 【キーワード】エリクソン 心理社会的発達記 基本的信頼、自我同一性獲得、生殖性、紅	の激動期を生 ソンの発達漸成 論 福沢諭吉	星薫	星 薫 、 ゲスト 平山洋・静岡 県立大学助 教
5	身体の生涯変化	人間の身体は、誕生から、発育、成熟、衰つねに加齢変化を経験する。これを広義の体的変化と心理的・精神的な変化は表裏に大きく影響を及ぼし合う。老化の進行するのレベルと生命の維持機構そのものが限化を完全に回避することは不可能である。と、さまざまな疾患がもたらす病的な加齢が的な変化について概観し、いわゆるサクセとは何かについて学習する。 【キーワード】 ライフサイクル、加齢変化、老化、生活習慣代別死因	り老化という。身 一体であり、互い る機序には遺伝 関わっており、老 生理的な加齢 ぶ引き起こす身体 スフルエイジング	三上 洋(大阪大学名誉教授)	三上 洋
6	運動能力の生涯変化	健康な生涯を送るためには、それぞれの時分な身体活動が求められる。本章では、生化する運動機能の特徴を提示するとともにめられる適切な運動実施の重要性やその説する。 【キーワード】 体力、運動能力、運動習慣	涯にわたって変 、各年齢期に求	臼井永男(放 送大学教養 学部教授)	臼井 永男
7	生涯発達心理学研 究法	人の生涯の間に生じる変化を知ると言って 必ずしも簡単ではない。その際に根拠とす うな方法によって得たものが、信頼の置ける のか、どのような記述法が望ましいのかとい る答えを考えておくことも、必要になる。またって行われた縦断研究で採用された方 介する。 【キーワード】 横断法、縦断法、ハーバード縦断研究	る事実は、どのよるデータと言えるいった問いに対す と、50年以上にわ		星薫
8	生活の生涯変化	生活の仕方は、生まれてから老いて死に至大きく変わっていくと考えられる。そして、その総体として我々自身が作られていくと言違いではないだろう。我々が一生の時間のう「遊ぶ」「働く」という活動を、年代の変化のが我々の発達とどう関わっているのかを見う。 【キーワード】 遊び、学校、職業選択、仕事、隠居	での生活の仕方ってもあながち間 の多くを割いて行り中で眺め、それ	星薫	星薫
9	知覚の生涯変化	感覚や知覚あるいは注意の年齢による変体の変化と連動している要素が強いと思れ乳幼児期には身体的成熟に伴って、機能変化が見出され、青年期から成人期を通しベルが保たれ、老年期には、生理学的衰労の低下が見られる。本章では、こうした感覚注意の働きの年齢変化について見ていく、【キーワード】 視覚、乳児の知覚、選択的注意、認知スタ	かれる。すなわち、 の上昇方向への でて比較的高いレ 退に伴って、機能 で、知覚あるいは ことにしよう。	星薫	星薫

口	テーマ	内容	講	師	担 当 名 職名)	講	師	名
10	乳児期から成人期に 到る認知発達	乳児期から青年期までの、ピアジェによる認知発達段階を紹介すると共に、成人期の思考の特徴を、子どもや青年のそれと比較しながら考えてみることで、人の生涯に亘る思考の変化について考えてみたい。 【キーワード】 ピアジェ、感覚運動期、操作、論理、脱形式的操作	星	薫		星	薫	
11	道徳観の生涯発達	道徳観は、生後の学習経験の産物だと考えられる。従って 人によってその強さには、差があると思われるし、生涯の中 でも変化していくものと思われる。本章では、道徳観の生涯 変化について見てみたい。 【キーワード】 コールバーグ、道徳の発達段階、許し	星	薫		星	薫	
12	成人初期から老年期 までの変化―生活ス タイル	一人の人物が時間経過の中で示す生活スタイルの変化あるいは不変化について検討した研究を紹介していく。本章で紹介するのは、その種のものの中では古く、1977年に出版されたものである。これからの4つの章はこうしたデータのいくつかを紹介することに当てる予定である。 【キーワード】 生活スタイル、男女差、成人期	星	薫		星	薫	
13	成人初期から老年期 までの変化―人格の 変化	前章で紹介したマースとキュイパース著「30から70まで」で行われた、同一人物についての40年間に生じた変化に関する調査のうち、本章ではもう一つの調査項目である、人格について、その変化、不変化の様相を紹介する。 【キーワード】 Q分類、ハーン自我機能尺度、成人期、男女差	星	薫		星	薫	
14	健康的な加齢	本章と次章とでは、第7章で紹介したハーバード成人発達研究で得られた知見の一部を紹介してみたい。健康な状態で老年期を生きる人々とそうでない人々との相違を、彼らの若いころの状態に関するデータから探っていき、両者の相違を明確化しようと試みる。 【キーワード】 肯定的な老化、身体的健康、教育歴、適応的コーピング		薫		星	薫	
15	心理学的サクセスフ ル・エイジングを目指 して	人生の最後の10年ないし20年が実り豊かで、幸福であることは、誰にとっても望ましいことである。それは、身体的に健康であるというだけでも、また経済的に安定しているというだけでも達成されるものではないだろう。サクセスフル・エイジングを遂げた高齢者が生きる姿は、後に続く世代の人々にとっての役割モデルであり、人が生きる意味を教えてくれるものでもあるかもしれない。 【キーワード】 成熟、サクセスフル・エイジング、生殖性、意味の守護者、統合		薫		星	薫	

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2011年度 大学院科目 8920583 無 2 記載欄 年度 区分 コート 制限 数

科目名 (メディア) = 現代社会心理学特論 ('11) = (R)

[主任講師(現職名): 森 津太子 放送大学准教授

講義概要

本科目では、社会心理学領域の様々な知見について、2つの"現代的な視点"から解説を試みる。1つは、"現代的な研究アプローチ"を紹介するということである。社会心理学では、認知革命以来、特に情報処理モデルをベースとした社会的認知アプローチが発展したが、それに加え、最近では、さらに進化論や脳神経生理学などの知見を踏まえた新たなアプローチが導入されている。そこで、これらのアプローチを紹介しながら、社会心理学の新しい潮流を探っていくことにする。またもう一つの"現代的視点"として、経済、政治、司法といった"現代的なトピック"にも着目する。これらの領域に関わる問題を取りあげることにより、現代の社会心理学の知見を幅広く見ていきたい。

授業の目標

心理学を構成する分野は数多くあるが、その中でも社会心理学は特に日常生活との接点が多い。本講義で扱う社会心理学は、"現代的なアプローチ"、"現代的なトピック"を採用しているため、「社会心理学」ということばから直感的に連想されるイメージとは若干異なる内容も含まれているかもしれない。しかし、すべてその本質においては日常的な事象と密接に関係している。本講義を受講することで、受講生が自分自身の生活空間(家庭、職場、その他の対人関係)にある問題ついて、社会心理学的に省みることができるようになることが、本講義のねらいである。

履修上の留意点

「教育心理学特論('12)」を併せて履修すると、さらに理解が深まる。

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
1	現代社会心理学の動 向	社会心理学はまだ歴史の浅い学問でをその研究テーマとしてきた。初回であどのような学問であり、またどのような内いるかを概観する。また20世紀後半以即理アプローチと呼ばれる認知心理学的り飛躍的に発展してきた。このような社会究と呼ばれ、現代の社会心理学を特徴社会的認知はそれまでの社会心理学とのか、概説していく。 【キーワード】 心理学的社会心理学、認知革命、情報認知研究	る今回は、社会心理学が容をその研究テーマとして 条、社会心理学は、情報処な手法を導入したことによ 会心理学は社会的認知研づけるものとなっている。 :何が違い、何をもたらした	放送大学 准教授 森 津太子	放送大学 准教授 森 津太子
2	対人認知(1)	私たちは日々、多くの人々と交流を重をどのように知覚、理解するかは、円滑上で極めて重要な問題である。こうした社会心理学研究の中核を担うトピックとされてきた。対人認知過程を説明するイを見ながら、対人認知研究の歩みを概づローチを採用する社会的認知研究が理学全体に何をもたらしたかを考えてい【キーワード】対人認知、印象形成、社会的認知過程動機を持つ戦術家	な社会生活を営んでいく 関心から「対人認知」は、 して、数多くの研究が蓄積 大表的理論・モデルの変遷 観し、同時に、情報処理ア が対人認知研究や社会心 く。	放送大学 准教授 森 津太子	放送大学 准教授 森 津太子
3	対人認知(2)	対人認知は、対象人物の特徴によってく、むしろ対象を認知する側の要因に大知者の既有知識は、他者を認知する際とで対人認知の結果を強く規定すること回は、前回の講義に引き続き対人認知知における既有知識の役割について、題も踏まえながら概観していく。 【キーワード】 スキーマ、ステレオタイプ、ネットワーク・己成就的予言、アクセスビリティ効果	できく影響する。中でも、認 、一種の期待として働くこ とが知られている。そこで今 を取り上げ、特に対人認 偏見やステレオタイプの問	放送大学 准教授 森 津太子	放送大学 准教授 森 津太子

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	社会的推論	対人認知の基盤となっている心的なしくみは、種々の社会的事象を理解する際にも機能している。様々な社会的事象に対し、原因や意味を求める過程のことを「社会的推論」というが、ここでは、その社会的推論の代表である原因帰属を中心に、人が身の回りの事象を理解する際に行っている推論の傾向について概観していく。基本的帰属の誤りなどの認知バイアス(推論の歪み、偏り)についても触れる。 【キーワード】 社会的推論、原因帰属、基本的帰属の誤り、ヒューリスティックス	放送大学 准教授 森 津太子	放送大学 准教授 森 津太子
5	自己	社会心理学には、「自己」の研究も含まれる。我々は、常に他者との関係性の中で自己を定義したり、評価したりしており、社会から完全に孤立した自己というものは存在しえないからである。自己はまたその複雑さゆえに、最も身近でありながら、いまも尚、最も神秘に包まれた存在でもある。現代の社会心理学研究によって、「自己」の何がわかったか。最新の成果を紹介したい。 【キーワード】 自己概念・自己知識、自尊感情・自己評価、自己中心性バイアス	放送大学 准教授 森 津太子	放送大学 准教授 森 津太子
6	態度	私たちは、パブリックなものからプライベートなものまで、身の回りのあらゆる人、事物、事象に対して、良い一悪い、好き一嫌い、といった評価を下している。なぜ私たちはこうした態度をもっているのだろうか。また、態度は、他者からの働きかけによって変容する場合もある。態度変化はいつどのように生じるのか。態度の機能と、態度変化の過程や、行動への影響について考えていく。 【キーワード】 態度の機能、精緻化見込みモデル、態度と行動の一貫性	放送大学 准教授 森 津太子	放送大学 准教授 森 津太子
7	感情	第7回から第9回は、現代社会心理学のトピックの中でも、特に最近、高い関心がもたれるようになったものを取り上げる。感情は合理的な思考を阻害するものとしてとらえられることが多く、人間の心をコンピュータの情報処理になぞらえる社会的認知研究においては、感情は、長らく研究対象として取り上げられなかった。しかし、現実には、感情を抜きにしては説明がつかない社会現象が多く、最近ではむしろ感情の問題を積極的に取り込んだ研究がなされている。代表的な知見を概説する。 【キーワード】 温かい認知、気分一致効果、気分と情報処理方略、情動二要因理論	放送大学 准教授 森 津太子	放送大学 准教授 森 津太子
8	自動性と無意識	科学研究における21世紀最大の課題は意識の解明といわれる中、社会心理学においても、意識・無意識に関する研究がここ最近、爆発的に増えている。20世紀終盤から飛躍的に発展した自動性研究と潜在的認知研究を中心に、私たちの日常生活に無意識的な心理過程と意識的な心理過程がどのように関与しているかを考えていく。 【キーワード】 自動性革命、潜在的認知、潜在連合テスト、二過程モデル		放送大学 准教授 森 津太子
9	身体化された認知	認知革命以降に発展した認知主義的な心理学においては、抽象化された知識とその操作が私たちの知覚や推論、判断、行動を導くと考えられてきた。そこでは心と身体は切り離され、まるで外界の環境とは独立したところで心が働いているかのように扱われてきた。しかし最近の研究ではむしろ人間の心の働きは身体活動と密接な関わりを持つことが示されている。身体化された認知についての社会心理学的知見を概観する。 【キーワード】 身体化された認知、認知主義、心身二元論		放送大学 准教授 森 津太子

口	テーマ	内容		執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
10	進化論的視点の導入	第10回と第11回は、近年、社会心理学の研究に積極的に入れられるようになった2つの視点を紹介する。今回取り上は、進化論的視点である。進化論では、人間の身体的特徴化的適応の産物だと考えるが、最近では、人間の心の働き進化の産物と考える進化心理学という学問が発展でいる。理学とはどのような学問で、社会心理学にどのような影響をいるか、概観する。 【キーワード】	げるの 数が進 もまた 進化心		放送大学 准教授 森 津太子
11	脳神経生理学的視 点の導入	進化論と並び、近年の社会心理学に強く影響を与えていが、脳神経生理学である。特にPETやfMRIといった新たな:開発により、人間の思考・行動時の脳の働きが以前より詳終かるようになってきたことにより、従来的な手法によって明られてきた社会心理学の知見の妥当性を確認したり、脳といドウェアをベースに、これまで蓄積されてきた数々の知見のはかろうとする研究などが増えつつある。現在、まさに進行れらの研究について、主だった成果をまとめる。 【キーワード】 脳神経生理学、PET、fMRI、脳機能画像	技術の 細にわ かにさ うハー う統合を		放送大学 准教授 森 津太子
12	経済・消費行動への応用	本講義で紹介してきた社会心理学の知見は、私たちの日活に重要な意味を持つさまざまな問題に応用的に利用され間行動の幅広い理解に役立っている。第12回から第14回にした応用研究を順に紹介する。今回紹介するのは、経済・動への応用である。この領域の研究は以前より社会心理学て数多くの研究がなされてきたが、特に最近は経済学からによって、「行動経済学」という新たな学問領域にもなって、表的な研究を紹介する。 【キーワード】 行動経済学、プロスペクト理論、フレーミング効果、ヒューリク	1、人 は、こう 消に参う かる。 代	准教授	放送大学 准教授 森 津太子
13	政治・投票行動への応用	現代の政治学において一大潮流を形成している政治行動おいては、社会心理学の理論や方法論が数多く取り入れる。特にマスメディアが一般市民の政治的認知や投票行動る影響については、社会的認知研究の知見が数多く応用でいる。この領域の研究の歩みと代表的な研究を概観する。 【キーワード】 マスメディアの効果論、議題設定効果、プライミング効果、ング効果	られい かに与え されて		放送大学 准教授 森 津太子
14	司法・裁判場面への応用	2009年から始まった裁判員制度により、一般市民に法的 求められるようになった。そこで行われる判断は、一般市民 的な感覚に基づく判断であり、これは私たちが日常生活の 行っている社会的な推論や判断が法廷に持ち込まれること している。裁判の場において、私たちはどのような判断をし ろうか。また、そこで予測されるバイアスにはどのようなもの だろうか、考えていく。 【キーワード】 裁判員制度、責任帰属、公正世界仮説、ヒューリスティック	の日常中できまだがある		放送大学 准教授 森 津太子
15	まとめと今後の展開	社会心理学は、一方では頑なにその拠り所となる考えを付っち、他方では新たな考えや研究手法を常に貪欲に取り力た。最終回の今回は、現代社会心理学の数々の知見に通考え方をまとめながら、社会心理学の来し方、行く末につい論していくことにする。 【キーワード】 社会心理学における人間観、人間の主観性、二過程モデルのと文化	入れてき 底する ヽて議	放送大学 准教授 森 津太子	放送大学 准教授 森 津太子

事務局 開講 記載欄 年度 2012年度 科目 区分	大学院科目 科目コート	8920630 履制		単位 数	2
--	-------------	------------	--	---------	---

科目名 (メディア) = 教育心理学特論 ('12) = (R)

[主任講師(現職名):三宅芳雄(放送大学教授)

〔主任講師(現職名):

【本学担当専任教員:

講義概要

教育心理学研究の中心的な課題は学習の心理過程を解明し、よりよい教育の実現に資することである。この科目では学習過程の深い理解に基づいて、自ら教授学習の研究を行うための実力を養う。特に、学習を広く文化、社会の中で捉え、意識的、無意識的な認知過程が引き起こすさまざまな相互作用の解明を基軸にして、教育心理学の研究が現実社会の中で起きている学習に関わる諸問題の解決にどのように寄与するのかを取り上げる。例えば、学習の困難が協調的な学習活動でどのように乗り越えられるかなど、実際の問題の解決にどのように学習研究の知見が生かされるのかを学んでいく。

授業の目標

学習過程の解明に関するこれまでの研究成果を学ぶことで、現実生活の中での複雑な学習の実態を把握し、適切な教育に繋げる力を養う。また、学習過程の解明とそれに基づく教育の研究を学ぶことで、教育心理学の研究を自ら構築し遂行するための基礎を身につける。

履修上の留意点

心理学、教育学の素養があることが講義を効果的に履修する上で役に立つが、特定の予備知識を前提としない。

口	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
1	学習と認知過程	教育心理学研究の中心的な課題は学習の過程を解明し、よりよい教育の実現に資することである。第一回目の講義では、学習過程を認知過程として捉える際の中心的な概念である表象の概念を取り上げ、認知過程を捉える理論的な枠組みで理解するための準備をする。特に、イメージや音声表象などの表象が認知過程にどのように関わるのかを現実の学習事例で検討する。 【キーワード】 認知過程表象	三宅芳雄 放送大学教 授	三宅芳雄 放送大学教 授 三宅なほみ 東京大学教 授
2	表象と認知過程	学習の諸問題を検討するための基礎として、人の活動を実現している認知過程をどのように捉えて行けばよいのかを論じる。特に、表象の概念を中心にして、多様な認知過程がどのように構成されていくのかを明らかにするための基本的な枠組みの準備をする。 【キーワード】 認知過程 表象 活動	三宅芳雄 放送大学教 授	三宅芳雄 放送大学教 授 宅なほみ 東京大学教 授
3	問題解決	学習は問題解決の積み上げの上に成立していく。ここでは、問題解決の事例を取り上げ、その認知過程を発話記録を基に分析し、学習の過程を明らかにするために、問題解決の過程を認知過程としてどのように捉えて行くのかを検討する。 【キーワード】 問題解決 認知過程	三宅芳雄 放送大学教 授	三宅芳雄 放送大学教 授 三宅なほみ 東京大学教 授

口	テーマ	内	-	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
4	理解	理解とはどのような認知過程なのか、特に学習中で理解がどのような認知過程として成立して解の事例の検討を中心に取り上げ、学習と理実態を捉え、多様な学習の過程がどのようにしのかを検討していく。 【キーワード】 理解	ているのか、理 解の関わりの	三宅芳雄 放送大学教 授	三宅芳雄 放送大学教 授 三宅なほみ 東京大学教 授
5	長期に渡る学習	熟達者の高い能力の特徴を論じ、それがどの 渡る日々の学習の積み重ねによって実現する げる。 【キーワード】		三宅芳雄 放送大学教 授	三宅芳雄 放送大学教 授 三宅なほみ 東京大学教
6	発達の過程	最近の発達研究では、小さな子どもの持つ「オ界の見方、わかり方についての知見、子どもかで「できること」を先行させ、そこから「説明できていることの表出)」を作り出す仕組みなど、示究成果が生まれいてる。その一部を紹介する。 【キーワード】 本質主義、表象書き換え理論	ぶ経験を積ん ること(わかっ 、唆に富む研	三宅なほみ 東京大学教 授	三宅芳雄 放送大学教 授 三宅なほみ 東京大学教 授
7	概念の発達	子どもは小さい頃から、周りの世界に働きかけ 論を作り上げる。素朴理論とはどのようなものが 理論がどのようにして抽象的な科学的理論に を解説する。 【キーワード】 生物学素朴理論、天体の理解に関する概念を 達の枠組み	か、また素朴 変化するのか	三宅なほみ 東京大学教 授	三宅なほみ 東京大学教 授 三宅芳雄 放送大学教 授
8	日常的な概念発達	人は、日常経験の中から、経験則に基づくだに「科学的」概念変化のための考え方を抽象する、動物の飼育を通して生物概念を発達させ、算における有能性の限界と可能性について解 【キーワード】 日常経験による生物概念の発達、日常計算、ス	る。その様子 る例、日常計 解説する。	三宅なほみ 東京大学教 授	三宅なほみ 東京大学教 授 宅芳雄 放送大学教 授
9	文化と制約	文化によって思考の仕方は違うのだろうか?引えようとしたさまざまな研究を振り返り、文化に思考の実態を探ることの難しさを浮き彫りにす 【キーワード】	埋め込まれた	三宅なほみ 東京大学教 授	三宅なほみ 東京大学教 授 三宅芳雄 放送大学教 授
10	状況と学習	人は、置かれた状況の判断によって、できるこの事実を、主に計算能力の状況依存性を扱っよって解説し、状況をうまく使うことによって学ることを示す。 【キーワード】	った研究に	三宅なほみ 東京大学教 授	三宅なほみ 東京大学教 授 三宅芳雄 放送大学教 授

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
11	学習への動機付け	学習がうまく進むための要因として、知的好意動機付けを取り上げ、外発的動機付けの働きで、内発的動機付けが社会的な起源を持つ 【キーワード】	きと対比した上	三宅なほみ 東京大学教 授	三宅なほみ 東京大学教 授 三宅芳雄 放送大学教 授
12	協調的な学習	文化の中での学習過程の形として不可欠なり上げ、その背後にある複雑な認知過程の気協調学習過程がどのように学習を促進するの多様性から検討する。	分析を通して、	三宅なほみ 東京大学教 授	三宅なほみ 東京大学教 授
13	評価	学習評価を、学習者に内在する認知過程を こで観察されたものを解釈する過程と捉える る。このような視点に立つと、学習評価が本質 な特徴を持っていることが明らかになる。 【キーワード】	見方を紹介す	三宅なほみ 東京大学教 授	三宅なほみ 東京大学教 授 宅宅芳雄 放送大学教 授
14	学校と社会の連携- ITの活用	学習者中心型の学びでは、話合いなど学習れやすい。協調的な学習を促進するためには経過の記録を取り、活用する方法を解説する習支援のためには、ITが活用される。このよう教室で起きる学習成果は、日常生活や学校の生活に役立つことが望ましい。そのためのい学習方法とその成果を紹介する。てるためれる。 【キーワード】 学校の情報化、認知過程の記録と分析	このような学習 る。このような学 うな基盤の上で を卒業してから ITを使った新し	三宅なほみ 東京大学教 授	三宅なほみ 東京大学教 授 三宅芳雄 放送大学教 授
15	教育心理学の研究方法-21世紀の教育へ向けて		の組み方につい めるための留意 世紀型スキル 。今回の講義 う立場から21世	三宅芳雄 放送大学教 授宅なほみ 東京大学教	三宅芳雄 放送大学教 授宅なほみ 東京大学教

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2009年度 大学院科目 無 8920524 2 記載欄 年度 区分 コート 制限 数

科目名 (メディア) = 学校臨床心理学特論 ('09) = (TV)

[主任講師(現職名):滝口俊子(放送大学名誉教授)

[主任講師(現職名): 高石浩一(京都文教大学教授)

講義概要

我が国における学校臨床心理学の発展は、1995年の公立中学校に対するスクールカウンセラーの試験的配置に始まり、現在小中高校など約10000校にスクールカウンセラーが配置されていることによって示されている。またその活動内容についても、特別支援教育や適応指導教室、緊急支援などにまで多岐にわたり、ますますその幅を広げつつある。これまでの学校臨床心理学の成果を概観すると同時に、今後のそのあり方を諸外国の例や識者の意見をもとに探っていきたい。

授業の目標

全15回の講義を通して、多岐にわたる学校臨床心理学の活動を概観し、特にスクールカウンセラーが具体的にどのように関わっていけるかを理解すると共に、今後目指すべき方向性を模索する姿勢を学ぶことを目標にする。学校現場で単に受身に起こってくる事態に対処するだけでなく、自ら能動的に動くことができる臨床心理士の養成を最終目標とする。

履修上の留意点

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
1	我が国の学校臨床心 理学	我が国の学校臨床心理学が、どのその推移と、スクールカウンセラーのいて、紹介する。さらに学校臨床考える。 【キーワード】 教育と心理臨床、文部科学省、学校会	のシステム作りの工夫に 心理学の今後について	送大学名誉	滝口俊子(放 送大学名誉 教授)
2	学校臨床心理学の実 践〜小・中学校の場 合	子どもの成長の課題について、小学 今の子どもの傾向などを紹介する。 環境の変化などに伴い、幼児期の 多いので、保育カウンセリングにつ 【キーワード】 スクールカウンセリング、保育カウン 達障害、家庭環境、友人関係	問題の低年齢化、家庭 カウンセリングの要請も いても取り上げる。	送大学名誉	滝口俊子(放 送大学名誉 教授)
3	践~高校・大学の場	義務教育以降の高校・大学におけ学率の高さから、小中学校の義務語を抱えながら、同時に機関の特殊性容易さ、その後のフォローのあり方がある。そうした機関の特殊性を考を論じる。 【キーワード】 休退学、学生相談	教育機関と同様の問題 生に基づいて休退学の など、対応に微妙な違い	都文教大学	高石浩一(京 都文教大学 教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	不登校をめぐる支援	近年、不登校状態の子どもたちの背景となる心理的・社会的な状況が多様化してきている。この現状について整理した上で、学校教育システムの中での多面的な不登校支援の仕組みについて、適応指導教室、別室登校、スクールカウンセラーからの支援の役割について論じる。 【キーワード】 不登校、適応指導教室、別室登校	香川克(京都 文教大学教 授)	香川克(京都 文教大学教 授)
5	いじめ・非行をめぐる 支援	昨今、教育現場で起こる自殺などの、大きな引き金として注目されているいじめ、非行といった問題に対して、どのように考え、具体的に対処していけばよいかを考える。とりわけ、加害者・被害者双方の支援のありかたといった観点から、単なる悪者探しに終わらない支援の方向性を探求していきたい。 【キーワード】 いじめ、加害者・被害者支援	吉田圭吾(神 戸大学大学 院教授)	吉田圭吾(神 戸大学大学 院教授)
6	発達障害をめぐる支 援	落ち着かない子ども・対人関係に問題を抱える子ども・学習に困難を抱える子どもに、LD・ADHD・高機能広汎性発達障害など発達障害の観点から、「特別支援教育」が学校教育の中で始められている。学校臨床心理士は発達障害やその周辺の子どもたちに対して、どのような支援が出来るかについて論じる。 【キーワード】 発達障害、特別支援教育	香川克(京都 文教大学教 授)	香川克(京都 文教大学教 授)
7	危機介入と緊急支援	事件・事故・災害など、学校システム全体が揺らぐような事態が生じる場合、システム全体を視野に入れながら心理的な支援活動を行うことを"緊急支援"と呼ぶ。また、暴力被害や非行など、当該の児童生徒や家族に対して、個別的ではあるが緊急性の高い"危機介入"を求められる場合もある。このような際のスクールカウンセラーの活動について論じる。 【キーワード】	香川克(京都 文教大学教 授)	香川克(京都 文教大学教 授)
8	諸外国の学校心理臨 床	諸外国、とりわけ学校臨床の先進国である欧米の学校臨床 心理学的支援の展開、現状について学習すると同時に、実際の学校臨床心理学的支援について、体験者などのお話 をもとに、我が国でも導入可能な学校現場における心理臨 床の方向性を探る。 【キーワード】 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー	高石浩一(京 都文教大学 教授)	高石浩一(京 都文教大学 教授)
9	教師との連携・支援 体制づくり	スクールカウンセラー制度はかなり定着してきたが、スクールカウンセラーと教師との連携は学校ごとに大変難しい場合もある。教師とスクールカウンセラーがお互い十分納得して連携するために必要な条件や校内教育相談システムについて議論し、合わせて学校の保護者・子どもへの支援体制づくりについて考察する。 【キーワード】 スクールカウンセラー、教育相談、教師との連携	吉田圭吾(神 戸大学大学 院教授)	吉田圭吾(神 戸大学大学 院教授)

口	テーマ	内容		講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
10	保護者への対応	近年学校を揺るがす保護者からの教育現場への過剰な求、それに対応する教師の悩みが数多く報告されている "困った親"にはどのようなタイプがあるのか、タイプごとで 師の対応の仕方、"困った親"に対する基本的な態度な を論じながら、保護者との連携の基本原則について多可 に考察していく。 【キーワード】 "困った親"、保護者の罪悪感、保護者との連携	る。 の教 ど 面的	吉田圭吾(神 戸大学大学 院教授)	高石浩一(京 都文教大学 教授)
11	学校を越えて一家庭 訪問、メール	教育現場は学校だけではない。教育委員会や適応指導室、さらには地域の不登校児を受け入れるNPOなどさまな団体、病院や保健所との連携もまた、学校臨床の移に入りつつある。インターネットの利用や家庭訪問など、校という枠を越えるスクールカウンセラーの活動について察する。 【キーワード】 家庭訪問、メール、適応指導教室	まざ見野学考	高石浩一(京 都文教大学 教授)	高石浩一(京 都文教大学 教授)
12	学校臨床のアセスメ ント	学校臨床心理学におけるアセスメントとは、児童生徒のスメント、保護者や教師のアセスメントに加えて、学校シム全体に関するアセスメントも含まれる。その具体的な大や姿勢、さらには学校臨床への活用の仕方について、発養との関連も視野に入れながら考察する。 【キーワード】	ステラ法	高石浩一(京 都文教大学 教授)	高石浩一(京 都文教大学 教授)
13	スクールカウンセラー の研修	学校臨床心理士(スクールカウンセラー)は、面接室でり童・生徒・保護者・教職員に面接すると共に、面接室外諸活動がある。多様な要請に応えられるスクールカウンラーとして不可欠な研修、心理臨床の力量をあげるため不可欠なスーパーヴィジョンについても、詳述する。 【キーワード】 大学院教育、事例検討会、研修会、スーパーヴィジョン	での セ)に	滝口俊子(放 送大学名誉 教授)	滝口俊子(放 送大学名誉 教授)
14	スクールカウンセラー への期待(1)	学校臨床心理学は研究も大切であるが、子どもたちの原長・発達に役に立たなくては意味がない。子どもの関係の声に耳を傾ける。 【キーワード】 信頼関係、連携、広い深い視野	者	滝口俊子(放 送大学名誉 教授)	滝口俊子(放 送大学名誉 教授)
15	スクールカウンセラー への期待(2)	教育に深くかかわる方に、スクールカウンセラーへの期で要請を語っていただく。 【キーワード】 教育の未来、教育委員会、学校文化、宗教性		滝口俊子(放 送大学名誉 教授)	滝口俊子(放 送大学名誉 教授)

事務局 記載欄	開講 年度	2009年度	科目 区分	大学院科目	科目コード	8920516	履修 制限	無	単位 数	2
------------	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---

科目名 (メディア) = 心理・教育統計法特論 ('09) = (R)

[主任講師(現職名):福田周 (東洋英和女学院大学教授)]

[主任講師(現職名):卯月 研次 (大正大学教授)

【担当専任教員:大場登 (放送大学教授)

講義概要

臨床心理学研究や発達・教育研究において、その研究法には、「数量的」研究と「質的」研究の2つの枠組みで捉えられることが多い。特に臨床心理学では、事例研究を中心とした質的研究がその主たる研究法として取り上げられることが多いが、「数量的」研究法もまた臨床心理学研究になじまない方法では決してない。あくまでも臨床実践に生かされるような「数量的」研究を行うにはどのような統計法が有効であるのか、実際的な研究事例を用いながら解説していく。具体的には調査研究で多く用いられる多変量解析法、実験を用いた仮説検証型の臨床研究などを取り上げて考察していく。

授業の目標

全15回の講義を通じ、心理学における統計法の手法を身につけるとともに、臨床実践の中での数量的研究視点のもち方、仮説検証型の研究方法の利点と欠点などを理解し、実際の研究アイデアに生かせるようになることを目標とする。さらに、理論的理解だけではなく、実際に演習を行いながら、数量的分析を行えるようにしていく。

履修上の留意点

研究法の全体的な基礎を習得するために、「臨床心理学研究法特論」を学んでおくことが望ましい。また、発達研究や質的研究に関しては、「発達心理学特論」を合わせて学んでおくことが望ましい。統計法そのものの基礎的な知識に関しては、学部「心理学研究法」、「心理統計法」などを参考にするとよい。

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	数量的研究とは	統計学の歴史を概観しながら、臨床心理学研究に統計学がどのように取り入れられてきたかを解説する。さらに仮説検証型の研究方法を用いた研究スタイルの特徴を説明し、数量的分析の基本的手順について理解を深める。 【キーワード】 統計学、確率論、仮説検定、推測統計、帰無仮説、対立仮説、検定力、標本集団、母集団	(東洋英和女 学院大学·教 授)	福田 周 (東洋英和女 学院大学·教 授)
2	基礎統計	ここでは、心理・教育統計法で扱う「データ」について理解を深める。尺度の種類による数値の性質の違いを理解した上で、統計の基礎概念である平均値や標準偏差、正規分布などの考え方を確認しておきたい。 【キーワード】 尺度の種類、記述統計、代表値、標準偏差、不偏分散	卯月 研次 (大正大学・ 教授)	卯月 研次(大 正大学·教授)
3	推測統計	推測統計における帰無仮説の意味を説明し、さらに推測検定の仕組みを解説する。その上で統計学における確率、推測といった基本概念についてt検定を例に取り、理解を深める。 【キーワード】 推測統計、標準化、有意差、帰無仮説、対立仮説、第1種の過誤、第2種の過誤、t検定、t分布		卯月 研次(大 正大学·教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	t検定	推測統計の中でも基礎的な検定であるt検定を取り上げ、 その種類や留意点などを説明する。また、対応のあるデー タと対応のないデータの違いやF検定についても説明す る。 【キーワード】 対応のあるデータ、対応のないデータ、対応のあるt検定、 ウェルチの法、F検定	卯月 研次 (大正大学・ 教授)	卯月 研次(大 正大学·教授)
5	分散分析	分散分析の基本的な考え方と使い方を説明する。まず実験・研究計画の種類や要因・水準について説明し、一要因の分散分析で計算の仕組みと結果の見方を学ぶ。さらに、二要因の分散分析と交互作用についても理解を深める。 【キーワード】 分散分析、要因、水準、被験者間計画、被験者内計画、多 重比較、交互作用	卯月 研次 (大正大学・ 教授)	卯月 研次(大 正大学·教授)
6	名義尺度の検定— χ ² 検定	臨床心理学の研究においては、得られるデータが名義尺度であって、それぞれのカテゴリーにあてはまる人数の比率の差を統計的に検定したい場合が多くある。この回では、このような場合の検定法として、最も一般的なχ2検定について解説する。 【キーワード】 名義尺度、期待度数、観測度数、Fisherの直接法	藤田悟郎(科 学警察研究 所·室長)	藤田悟郎(科 学警察研究 所·室長)
7	順序尺度の検定	臨床心理学の研究においては、厳密な間隔尺度や比率尺度を用いた測定にはそぐわない性質の変数を扱うこともよくあり、その場合は用いられる質的データの分析に有効となる統計的検定はノンパラメトリック法である。名義尺度については、第6回の χ 2検定がその方法であるが、この回ではおもに順序尺度を用いた場合のノンパラメトリック法を解説する。 【キーワード】 マン・ホイットニーのU検定、ウィルコクソンの順位和検定、ウィルコクソンの符号付き順位検定、クラスカル・ウォリスの検定、フリードマンの検定	福田 周 (東洋英和女 学院大学·教 授)	福田 周 (東洋英和女 学院大学·教 授)
8	相関研究	相関は、2つの変数どうしの関連を探る指標である。人間の営みにおけるさまざまな行動や反応は普通、ひとつの変数の要因だけで決定されることはない。その背後にあるさまざまな要因がお互い関連しあった結果としてひとつの反応が生じる。ここでは、相関に関する基本的な概念とその計算方法、そして相関の結果の解釈の仕方について解説する。 【キーワード】 相関図、ピアソンの積率相関係数、順位相関、無相関検定、擬似相関	福田 周 (東洋英和女 学院大学·教 授)	福田 周 (東洋英和女 学院大学・教 授)
9	多変量解析の概説	臨床心理学における研究では、ある事象に関係する多様な要因を同時に分析し、その複雑な関係からある一定の傾向や因果関係を推測していく研究スタイルがとられることが多い。その際によく用いられる解析手法として多変量解析法について説明し、その有効性と留意点を理解していく。 【キーワード】 外的基準、目的変数、説明変数、外生変数、内生変数	福田 周 (東洋英和女 学院大学·教 授)	福田 周 (東洋英和女 学院大学·教 授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
10	重回帰分析	臨床心理学の研究においては、例えば、子供や成人の不安や精神健康などの適応の水準を調査し、適応に影響を与える複数の要因を同時、あるいは別に調査して、適応の水準と要因との関係を分析することがよくある。この回では、このような場合の分析方法として、最も一般的に用いられる重回帰分析について解説する。 【キーワード】 ダミー変数、標準偏回帰係数、重相関係数、決定係数	藤田悟郎(科 学警察研究 所·室長)	藤田悟郎(科 学警察研究 所·室長)
11	因子分析	因子分析は、複数の観測された変数の背後にある共通の 要因を探る統計技法であり、心理学では頻繁に使用されて いる多変量解析の一つである。この回では、因子分析の研 究例を紹介した上で、因子分析の基本的な考え方や分析 の手順について解説する。 【キーワード】 因子分析、潜在変数、共通因子、独自因子、因子負荷量、 単純構造、因子得点	堀井俊章(横 浜国立大学・ 准教授)	堀井俊章(横 浜国立大学・ 准教授)
12	主成分分析	主成分分析は、多くの変数を縮約し、新しい合成変数を作り出すための手法である。この回では、主成分分析の研究例を紹介した上で、その基本的な考え方や分析の手順について解説する。また、因子分析との違いについても説明する。 【キーワード】 主成分分析、合成変数、主成分、主成分負荷量、固有ベクトル、主成分得点	堀井俊章(横 浜国立大学・ 准教授)	堀井俊章(横 浜国立大学· 准教授)
13	共分散構造分析	臨床心理学の研究においては、質問票などで調べた複数の構成概念について、やや複雑なモデルを仮定して構成概念間の因果関係を明らかにしたい場合がある。このような場合に使われる、共分散構造分析について解説する。 【キーワード】 観測変数、潜在変数、パス係数、適合度、パス解析	藤田悟郎(科学警察研究 所•室長)	藤田悟郎(科学警察研究 所·室長)
14	質的変数の多変量解 析	臨床心理学の研究においては、質問票などにより、質的データを数多く集め、変数間の関係を同時に分析したい場合が、比較的多くある。このような場合に利用可能な分析方法である、ロジスティック回帰分析、判別分析、コレスポンデンス分析について解説する。 【キーワード】 ロジスティック回帰分析、判別分析、多重コレスポンデンス分析、数量化Ⅲ類	藤田悟郎(科 学警察研究 所·室長)	藤田悟郎(科 学警察研究 所·室長)
	総括-数量的研究 法の活用の際の留意 点	これまでの研究手法を総括しながら、臨床実践における数量的研究方法の活用の際、実際に気をつけるべき点を考えていく。特に、実証的研究のデータ収集方法に関する配慮を中心に解説する。 【キーワード】 因果関係、実験的研究、相関的研究、実験計画、剰余変数、被験者配置、無作為配置、ワーディング	福田 周 (東洋英和女 学院大学·教 授)	

事務局 記載欄	講 2011年度		科目 区分	大学院科目	科目コード	8920567	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	----------	--	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名(メディア) =

発達心理学特論

('11) = (TV)

〔主任講師(現職名):子安増生(京都大学大学院教授)

【本学担当専任教員:小野けい子(放送大学教授) 】

講義概要

生物的存在でありかつ社会的存在である人間の発達について、生涯発達の視点から包括的に考える。最初に、発達心理学の基礎的課題について、心の進化、愛着、自己理解、学校環境、多重知能、メディア等をキーワードとして解きほぐし、その後、周産期、乳児期、幼児期、児童期、青年期、成人期、老年期のそれぞれの心の発達の課題と発達支援の在り方について検討する。

授業の目標

人間は、生物としてのさまざまな制約を受けつつも、家族、地域、社会の中で人間的な触れ合いを通じて、日々成長し、自己 実現をはかっている。人間は、生涯発達し続け、自己をつくりかえていく存在である。人間の発達の可塑性の大きさを実感する と共に、自己の生き方を省察し、生きることの意味を再考する契機となることが本講義の目標である。

履修上の留意点

本講義は、人間発達プログラムと臨床心理学プログラムの共通開設科目であり、日本臨床心理士資格認定協会の認定する選択必修科目群B群のうちの1科目である。

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
1	発達心理学の基礎	この章では、本書全体の導入としと発達段階、発達曲線、遺伝と環境の機能とパーソナリティなど発達ならびに発達研究の基本的方法が 【キーワード】発達、発達段階、発性、パーソナリティ、発達研究法、面接	境、個人差と個性、知情 を心理学の基礎的概念、 などを学ぶ。 達曲線、遺伝と環境、個	子安増生(京 都大学大学 院教授)	子安増生(京 都大学大学 院教授)
2	心の進化と発達	ヒトらしい心を特徴づけるものは何に、なぜそうなったのか。ヒトの形態にはみえない心のはたらきも、ヒトしてきた進化的淘汰の産物であるの時間軸の物差しを使って、ヒト料過程を考察する。 【キーワード】心の進化、適応的意達科学、見つめあい、表情	態的な特徴と同様に、目 が長い時間をかけて獲得 。「進化」と「発達」、2つ 行有の心のはたらきの成立	明和政子(京 都大学大学 院准教授)	明和政子(京 都大学大学 院准教授)
3	愛着の発達	発達の基礎としての愛着に関しての個人差について述べるとともに、親子関係・仲間関係を概観し、愛へ、また生涯発達における愛情ネても学ぶ 【キーワード】愛着、基本的信頼感エーション法、しつけ、剥奪事例、タビュー	愛着の個人差から見た 着から愛情ネットワーク ットワークの役割につい 、情動、ストレンジシチュ	小野けい子 (放送大学大 学院教授)	小野けい子 (放送大学大 学院教授)

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
4	自己理解の発達	自分が自分という1つの存在であ 意識の成立について、また、特に 化過程に焦点をあてながら、自分 的自己を理解する自己理解の発 【キーワード】自己意識、鏡像的日 ラティヴ、認知発達、自己概念、日	生後から青年期までの変か自分を知るという客体達の様相について学ぶ。 自己認知、自伝的記憶、ナ	中間玲子(兵 庫教育大学 大学院准教 授)	中間玲子(兵 庫教育大学 大学院准教 授)
5	学校環境と発達	学校環境での他者(友人や教師) 知や社会性の発達に影響を及ほいう点では、集団生活を通じて子ルや価値観を身につけていく。本わる中での発達の様相を学ぶ。 【キーワード】学校の誕生、社会的領域、スキャフォルディング、学校	です。また環境への適応と どもは学校や教室のルー では、他者や集団と関 り相互作用、最近接発達	京大学大学	藤村宣之(東 京大学大学 院教授)
6	多重知能理論と教育	人の能力が相対的に独立したい 単位)から成り立つとする多重知 を学校知能、社会的知能、芸術的 知能理論を学ぶことは、教育のあ 示唆を与えてくれる。 【キーワード】多重知能理論、モジ 的知能、芸術的知能、全人教育	能理論では、人間の能力 的知能に大別する。多重 か方を考える上で大きな	子安増生(京 都大学大学 院教授)	子安増生(京 都大学大学 院教授)
7	メディアと発達	子どもたちは、生まれたときからうム、携帯電話などさまざまなメディている。子どもたちは、このような、を学んでいるのだろうか。さまざまついて考えてみる。 【キーワード】メディア、テレビ、ビ説、代行説、映像文法の発達	アに取り囲まれて生活し メディアからどのようなこと なメディアと発達の関係に	子安増生(京 都大学大学 院教授)	子安増生(京 都大学大学 院教授)
8	周産期の心の発達	ヒトの新生児は、精緻な知覚、応る。最近の医療技術の進歩は、そを「生まれつき」ではなく、胎児期見出そうとしている。最新の知見のはたらきの発達的起源について 【キーワード】胎児、新生児、生得性	そうした能力の発達的起源 からの学習という連続性に を学ぶことにより、ヒトの心 て考える。	都大学大学	明和政子(京 都大学大学 院准教授)
9	乳児期の心の発達	生後1年半にわたるヒトの心のは、微を学ぶ。この過程では、2度のカ月(2か月革命)と9カ月(9カ月9ヶ月目には、他者の視点を通しヒト特有の心のはたらきが顕著に 【キーワード】新生児微笑、社会的社会的参照、共同注視、視線追	飛躍期が存在する。生後2 革命)である。とくに生後 て物事にかかわるという、 発達する。 り微笑、模倣、三項関係、	都大学大学	明和政子(京 都大学大学 院准教授)
10	幼児期の心の発達	幼児期は身辺の自立とことばの好と軌を一にして他者の心の理解が年、「心の理論」というテーマで研もたちは幼児期の4歳から6歳の獲得の最初のステップに立ち、そ行動を豊かにしていく。 【キーワード】幼児期、身辺の自立点の理解、心の理論、うそ	が少しずつ進んでいく。近 究が進展してきたが、子ど 間に、心を読み取る能力 のことが子どもの思考や		子安増生(京 都大学大学 院教授)

				劫筝切少	放送担当
回	テーマ	内	容	講 師 名	成 と 担 ヨ 講 師 名 (所属・職名)
11	児童前期の心の発達	児童前期(小学校低・中学年)にる論理的な思考が発達するとともためのことばが用いられるようにには自律意識が芽生え、仲間集会性の関わりについて考えてみばキーワード】リテラシー、ニュメラ体的操作、二次的ことば、脱中心団、ギャングエイジ、学童保育	いた、他者に向けた説明のなる。また小学校中学年頃 団が成立する。認知と社る。 シー、読字/読書障害、具	藤村宣之(東 京大学大学 院教授)	藤村宣之(東 京大学大学 院教授)
12	9歳の壁を乗り越える	児童後期(小学校高学年)には、る抽象的思考が始まるが、その多役割は大きく、それをめぐるつまして指摘されてきた。児童後期の越えるための教育を考える。 【キーワード】形式的操作、9歳の学力、メタ認知、友人関係、自己	巻達に学校教育が果たすずきの問題が「9歳の壁」と がきの問題が「9歳の壁」と 今発達過程と、9歳の壁を乗り壁、発達の質的転換期、	藤村宣之(東 京大学大学 院教授)	藤村宣之(東 京大学大学 院教授)
13	青年期の心の発達	青年期に人は、自身の身体や社様々な変化の過程を生きることに生き方に向き合い、大人になってに訪れる様々な変化の中で展開過程に焦点をあてながら、青年まていく。 【キーワード】自己意識、身体発達 障害、認知発達、自己への否定ンティティ、社会変動	会的地位など、内外の こなる。その中で、自己や ていく。本章では、青年期 される自己の問い直しの 明の心の発達について考え 達、ボディ・イメージ、摂食		中間玲子(兵庫教育大学大学院准教授)
14	成人期の心の発達	成人期になると、次世代を育てる人格へと向かうとされる。だが同じる上での困難や、予期せぬライスあり、心理的危機状況に陥ること期に訪れる自己の変化に焦点を発達について考えていく。 【キーワード】自己受容、親子関係の危機、時間的展望、アイデンを熟	時に、新たな役割を獲得す 7イベントに遭遇することも もある。ここでは、特に成人 あてながら、成人期の心の 係、キャリア発達、中年期	中間玲子(兵庫教育大学大学院准教授)	中間玲子(兵 庫教育大学 大学院准教 授)
15	老年期の心の発達	老年期となっても維持される能力 熟達化の認められることも少なく の変化と個人差について、自己の変化と役割について、喪失体 発達について論じる。 【キーワード】流動性知能、結晶化 ピーク、喪失体験・コスモロジー	ない。高齢者の認知機能 概念や対人的ネットワーク 験の受容と老年期の人格	小野けい子 (放送大学大 学院教授)	小野けい子 (放送大学大 学院教授)

事務局 記載欄	開講 年度 201	11年度 科区	目 大学院科目	科目コート	8950520	履修 制限	無	単位 数	4
------------	--------------	---------	---------	-------	---------	----------	---	---------	---

科目名 (メディア) = 臨床心理学特論 ('11) = (R)

[主任講師(現職名):齋藤 高雅(放送大学教授)]

講義概要

臨床心理学特論では心理臨床活動の基礎となるさまざまな考え方や心理臨床において必要な基本的な知識や技法を述べる。心理臨床には多様な領域があるが(たとえば教育臨床や病院臨床、職域臨床、司法臨床など)、それぞれの対象領域による相違はあるものの、こころの専門家として基本的な共通する視点が存在する。このような観点から、臨床心理学的知識や技法が心理臨床活動にどのように生かされるのか、心理臨床行為の特異性は何か、また倫理の重要性について論ずる。

授業の目標

本講義では、心理臨床活動の基礎となるさまざまな考え方や心理臨床において必要な基本的な知識を習得することを目標とする。

履修上の留意点

日本臨床心理士資格認定協会の第2種指定校となっている関係上、この科目は修士全科生には必修科目である。

回	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
1	臨床心理学とは	臨床心理学の定義、心理臨床家の実践の場、教育と訓練、臨床活動における倫理の問題、研究などについて論する。 【キーワード】 臨床心理学の定義、心理臨床家の実践の場、教育と訓練、倫理、研究	齋藤 高雅	齋藤 高雅 (放送大学教 授)
2	臨床心理学の歴史と 展開: 臨床心理学と 精神医学	臨床心理学の歩みと精神医学との関係について触れ、臨床心理学が確立した過程について述べる。 【キーワード】 臨床心理学の歴史、精神医学の歴史、異常心理学、精神 病理学、臨床心理学の近接領域	齋藤 高雅	齋藤 高雅
3	精神疾患1: 統合失調症と気分障 害	精神障害の分類について学び、主要な精神障害である統合失調症、気分障害について述べる。 【キーワード】 操作的診断、ICD、DSM、統合失調症、気分障害	石丸 昌彦 (放送大学教 授)	石丸 昌彦 (放送大学教 授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	精神疾患2: 神経症と関連事項	いわゆる神経症と関連事項について、概念やその特徴、発症機制、治療について述べる。 【キーワード】 神経症、パニック障害、強迫性障害、転換性障害、解離性 障害	石丸 昌彦	石丸 昌彦
5	精神疾患3: ストレス反応と心身症	心理的なストレスによって生ずる適応障害やストレス反応について述べる。また、心身症の概念とメカニズム、摂食障害などについて学ぶ。 【キーワード】 ストレス、適応障害、PTSD、心身症、摂食障害	石丸 昌彦	石丸 昌彦
6	臨床心理学パラダイム	臨床心理学に関わる主要な4つのパラダイム、生物学的、精神分析学的、認知・行動学的、人間学的パラダイムについて述べる。さらに、包括的な人間理解のとらえ方として、生物一心理一社会モデルがあるが、それと臨床実践におけるこれらパラダイムと折衷主義、ないしは統合的心理療法の動向について述べる。 【キーワード】 生物学的、精神分析学的、認知・行動学的、人間学的パラダイム	齋藤 高雅	齋藤 高雅 ゲスト: 橘 玲子(新 潟青陵大学 教授)
7	心のはたらき1 無意識の発見	フロイト、S.による無意識の発見、精神分析療法の起源と成立、自由連想、抵抗、解釈、心的外傷体験、夢、象徴などについて述べる。ユング、C.G.の無意識論については、放送授業で大場が担当する。印刷教材と放送授業を別の講師にすることで、多角的・多面的な理解を試みる。 【キーワード】 深層心理学、無意識論、自由連想法、抵抗、転移、解釈、洞察、夢、象徴、抑圧、コンプレックス、失錯行為	齋藤 高雅	大場 登(放 送大学教授)
8	心のはたらき2 自我と無意識の関係	心のはたらきでは、特に自我と無意識との関係が重要になってくる。不安と防衛、自我の防衛機制、症状形成などについて述べる。放送授業は大場が担当する。大場の放送授業では、「自我と無意識の関係」に関して、ユング心理学の視点からの理解を試みる。 【キーワード】 無意識、自我、自我の防衛機制、自我と無意識の関係	齋藤 高雅	大場 登
9	心のはたらき3 イメージと身体	無意識には意識に至るさまざまなチャンネルがある。その中からイメージと身体感覚を取り上げ、心理臨床との関連を述べる。 【キーワード】 ボディイメージ、身、身体言語	佐藤 仁美 (放送大学准 教授)	佐藤 仁美 (放送大学准 教授) ゲスト: 橘 玲子
10	ライフサイクル論1 ラ イフサイクルと心理臨 床		小野 けい子 (放送大学教 授)	

□	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	ライフサイクル論2 乳幼児期	乳幼児期の発達的特徴と発達課題、この時期の臨床心理学的問題について論じる。 【キーワード】 基本的信頼感、アタッチメント、エディプス・コンプレックス	小野 けい子	小野 けい子
12	ライフサイクル論3 児童期	児童期はほぼ小学生の時期にあたる。この時期の、特徴的な知的発達、親子関係、友人関係、社会性の変化をとりあげ、それが児童期の子どものこころに、どのような影響を与えるのかをみていく。 【キーワード】 児童期 小学生		山口 義枝 (日本大学准 教授)
13	ライフサイクル論4 思春期・青年期	思春期・青年期の臨床心理学的特徴について述べる。 【キーワード】 思春期 青年期 移行期 第二次性徴 アイデンティテイ	佐藤 仁美 (放送大学准 教授)	佐藤 仁美 (放送大学准 教授)
14	ライフサイクル論5 成人期	成人期の心身の特徴と、臨床心理学的課題について述べる。 【キーワード】 働き盛り、中年期の危機、個性化、更年期、うつ病、自殺防止	齋藤 高雅, 滝口 俊子 (放送大学名 誉教授)	滝口 俊子 (放送大学名 誉教授)
15	ライフサイクル論6 高齢期	高齢期の心身の特徴と臨床心理学的課題、旅立つ準備について述べる。 【キーワード】 自我の統合性 対 絶望, ターミナル・ケア, 回想法, 認知症, サクセスフル・エイジング	齋藤 高雅, 滝口 俊子	滝口 俊子 ゲスト: 橘 玲子
16	心理アセスメント1 心理アセスメントとは	心理臨床とアセスメント活動について、アセスメント面接、観察、心理検査について述べる。特にアセスメント面接を中心にその目的、進め方など具体的に概説する。 【キーワード】 アセスメント、アセスメント面接、観察、心理検査		齋藤 高雅 ゲスト: 橘 玲子
17	心理アセスメント2 心理検査	心理検査によるアセスメントについて述べる。心理検査の基礎と、心理アセスメントの目的、進め方、報告書、フィードバックについて概説する。 【キーワード】 アセスメント、心理検査、信頼性、妥当性、心理検査の目的、テストバッテリー、アセスメントの報告、フィードバック	齋藤 高雅	齋藤 高雅

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
18	心理アセスメント2 心理検査: 知能検査・発達検査	知能検査、発達検査作成の歴史、知能の概念、代表的検査の特徴を概観し、実施の目的や利点、使用上の注意について述べる。 【キーワード】 知能検査、発達検査	山口 義枝	山口 義枝
19	心理アセスメント3 心理検査: 投映法	臨床場面でよく使用されるパーソナリティ検査の中、投映法について概説する。投映水準、投映法の種類とその特徴などについて述べる。 【キーワード】 パーソナリティ、投映法、投映水準、投映法の種類、ロールシャッハ・テスト、TAT、SCT、描画法、心理検査状況		齋藤 高雅 ゲスト: 橘 玲子
20	心理アセスメント4 心理検査: 質問紙法・評価尺度	臨床場面でよく使用されている質問紙法の種類や評価尺度と使用、それらの効用と注意点について述べる。 【キーワード】 質問紙法、評価尺度、YG性格検査、MMPI、TEG、Big Five Test	齋藤 高雅	齋藤 高雅
21	心理療法1 精神分析と精神分析 的療法	フロイト (Freud, S.) に始まる精神分析療法について概説する。治療者関係、抵抗、転移、逆転移、行動化、その他の重要な概念について述べる。 【キーワード】 精神分析、精神分析的療法、治療者関係、抵抗、転移、逆転移、解釈、行動化、ワークキング・スルー、洞察	齋藤 高雅	齋藤 高雅 ゲスト:池田 政俊(帝京大 学大学院教 授)
22	心理療法2 分析心理学的心理 療法	コング、C.G.に始まるコング派の心理療法は、日本では河 合隼雄の努力によって、非常に幅広い理解を得るまでに なった。本章では、コング派心理療法のもっとも基本的な理 解を試みてみたい。 【キーワード】 コング派心理療法	大場登	大場 登
23	心理療法3 認知行動療法	学習理論を基盤とする行動療法と認知理論を基盤とする認知療法がそれぞれ発展したが、次第に学習理論に認知理論を統合する形で認知行動理論が提唱されるようになった。行動療法の諸技法、認知行動療法の理論と実際について述べる。 【キーワード】認知行動療法、認知療法、行動療法、系統的脱感作、スキーマ、自動思考、認知の歪み、認知的再体制化	齋藤 高雅	齋藤 高雅 ゲスト: 堀越勝 ((独) 国立精 神神経医療 センター・認 知行動療部 センター部 長)
24	心理療法4 パーソン・センタード・ アプローチ	ロジャーズに始まるクライエント中心療法とパーソン・センタード・アプローチについて解説するとともに、ジェンドリンのフォーカシング技法・エンカウンター・グループについてもその理論と技法について概説を行う。 【キーワード】 来談者中心療法、パーソン・センタード・アプローチ	小野 けい子	小野 けい子

口	テーマ	内容	講 師 名	(所属・職名)
25	心理療法5 森田療法· 内観療法· 臨床動作法	日本で生まれ発展した3つの心理療法、森田正馬が確立した森田療法、吉本伊信が創始した内観療法、さらに成瀬吾策らが開発した臨床動作法について紹介する。 【キーワード】 森田療法、内観療法、臨床動作法	齋藤 高雅	齋藤 高雅 ゲスト:中山 和彦(東京京 東京 東京 大 学教授) 橘 豫大 湯青陵大学 教授)
26	心理療法6 ブリーフ・セラピー	ブリーフ・サイコセラピーおよびブリーフ・セラピーについて概説する。ブリーフ・セラピーとは、わが国では「短期療法」と訳され、さまざまなモデルがあるが、ここでは主に「解決志向ブリーフセラピー」モデルを中心に紹介する。 【キーワード】 ブリーフ・サイコセラピー, ブリーフ・セラピー,解決志向ブリーフセラピー	齋藤 高雅	齋藤 高雅 ゲスト 森 俊夫 (東京大学大 学院助教)
27	心理療法7 児童の心理療法	児童を対象として行われることの多い遊戯療法について、 基本概念、実際の設定の仕方について述べる。そして、遊 戯療法の特徴の一つである非言語的交流についての理解 を深める。 【キーワード】 遊戯療法、遊び	山口 義枝	山口 義枝
28	心理療法8 芸術·表現療法	言語的な心理療法に対極する形が非言語的な心理療法と思われがちだが、クライエントの表現が非言語的であるからこそ、セラピストは受け止めたことを伝えるために言葉を磨かなくてはならず、ある意味、非常に言語的なものである。言語 - 非言語のかかわりをはじめ、芸術・表現療法について概説する。 【キーワード】 表現 芸術療法 コミュニケーション	佐藤 仁美	佐藤 仁美
29	心理療法9 集団心理療法	集団で行われる心理療法について、その考え方と実施の方法、個人療法との違い、適応範囲、今後の展開などについて述べる。 集団心理療法の歴史,構造、機能、さまざまな集団心理療法について概説する。 【キーワード】 集団心理療法、集団の力(治療的因子), グループ現象	齋藤 高雅	齋藤 高雅 ゲスト: 武井 麻子 (日本赤十字 看護大学教 授)
30	コミュニティと 心理療法	地域臨床活動場面、さらに学校臨床、犯罪被害者支援など、コミュニティの中で展開する心理療法は、これまでの心理療法とは異なる視点が必要になってくる。連携、ネットワーク、コンサルテーションなどについて考える 【キーワード】 コミュニティ・アプローチ、連携、危機介入、コンサルテーション	齋藤 高雅	齋藤 高雅 ゲスト: 箕口 雅博 (立教大学教 授)

事務局 開設 科目 科目 履修 単位 2013年度 大学院科目 無 8950555 4 コート゛ 記載欄 年度 区分 制限 数

 科目名 (メディア) = 臨床心理面接特論
 ('13) = (R)

 - 心理療法の世界

[主任講師(現職名):大場登 (放送大学教授)] [主任講師(現職名):小野けい子(放送大学教授)]

講義概要

心理療法を行う臨床心理士には、外科手術のためのメスも、化学的に身体(脳)に働きかける薬も与えられていない。基本は、クライアントの心身が訴える声に耳を傾けること・セラピストの心身で受けとめること。しかし、この「心身が訴える声に耳を傾けつづけること」が如何に困難な営みであるか、そして、逆に、「一人の生きた人間(セラピスト)が、長期間にわたって耳を傾けつづける・受けとめつづけること」によって、クライアントの心身がゆっくりとではあるが、確実に「変容」の歩みを始めるものであることを、30章(4 単位)にわたって詳細に論じる予定である。

授業の目標

実際の心理臨床の現場で臨床心理学的面接、ないし、心理療法を行ってゆくにあたって、臨床心理士に とって、もっとも基本となる姿勢・留意点、そして、心理療法技法論の基礎について体系的に学習するこ とを目的とする。

旦	テ、	- v		内容		執筆担当 講師名 (所属・職名)	放送担当 講師名 (所属·職名)
1	はじめい療法とい		理	「心理療法とは一体どのようなものであるのうか?」 本科目30章を通して学ぶことにな第1章では、その基本について検討してみるこしたい。	るが、	大 場 登 (放送大学 教授)	大場 登 (放送大学 教授) 小野けい子 (放授) 教授)
2	耳を傾ん	ナる		悩みや問題をもって来談した方に、忠告や説しても、それが効を奏するのは、よほど問題の場合である。心理療法において、サイコセラピ(以下セラピストと略)は、クライアントの話ず耳を傾け、そこに示される感情を受け入れて	軽いストにま	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
3	心理療剂 (1)	去の器		「器」に保護される中で、心理療法のプロセ初めて進行する。セラピストの守秘義務から始て、面接時間・面接室・面接頻度・料金といっいわゆる「面接構造」について述べ、立場の相よる「器」の個性についても論じる。	まった、	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)

旦	テーマ	内容	執筆担当 講師名 (所属・職名)	放送担当 講師名 (所属・職名)
4	心理療法の器 (2)	「器」に保護される中で、心理療法のプロセスは 初めて進行する。セラピスト自身もまた、心理的変 容過程を守り保護する「心理療法の器」であるとい うことができる。前章で述べた面接室、面接時間等 に続き、本性では、「心理療法の器としてのセラピス ト」について述べる。	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
5	トピックス:心理臨床の現場から―①児童相談所+児童養護施設	本講義では、トピックスとして、様々の心理臨床 現場での実際の心理療法、個々の現場固有の特徴・ 経験・感動・困難さについても紹介してゆくことに している。第1回の今回は、印刷教材では児童相談 所における臨床心理士の仕事を、そして、放送授業 ではゲストをお招きして、児童養護施設における臨 床心理士の業務を紹介してみることにしたい。	大 場 登 (放送大学 教授)	大 (教 ス 裏 護 華 床) と (教 ス 裏 護 華 床)
6	初回面接	「初回面接」はその後の長い心理療法の第一歩である。クライアントにとっても、このセラピストとやってゆくことができるかどうかを見極める機会であると同時に、もちろん、セラピストにとってもクライアントを「見立て」、そして、心理療法を引き受けることにするか否かを決定する大切な面接である。	大 場 登 (放送大学 教授)	大(教授ス) の 登学ゲ戸府営ン析 の で で で で で で で で で で で で で で で で で で
7	心理療法とアセ スメント(1) -成人の場合	心理アセスメントは心理療法を開始するにあたって必要不可欠である。アセスメントが確実になされることが、その後の心理療法にとっての基盤となる。	小川俊樹 (放送大学 教授)	小川俊樹 (放送大学 教授)
8	心理療法とアセ スメント (2) -子どもの場合	何らかの困難を抱えた子どもに必要な援助を提供していくためには、アセスメントが欠かせない。子ども本人への面接や心理検査、行動観察を行うとともに、保護者からも情報を得て、多方面から総合的にアセスメントをする。また幼少の子どもの場合は、遊びを通してアセスメントを行うこともある。	小林真理子 (放送大学 准教授)	小林真理子 (放送大学 准教授)
9	連携と協働	医療機関で心理療法を行う場合に限らず、医師を始めとする他職種との「連携と協働」は一つの大きなテーマである。心理臨床の場には、様々な領域があり、それぞれの領域の場を基点に連携と協働がなされている。本章では、医療機関及び学校領域、特に学生相談における連携と協働について、その重要性と留意点について述べる。	齋藤 高雅 (放送大学 教授)	齋藤 高雅 (放送大学 教授)

□	テーマ	内容		執筆担当 講師名 (所属·職名)	放送担当 講師名 (所属·職名)
10	トピックス:心 理臨床の現場か ら―②医療機関	医療機関における臨床心理士の業務につ 学病院神経精神科・心療内科と、大学病院 る「こどものこころクリニック」における 士の業務を学ぶとともに、放送授業では実 の臨床心理士をゲストにお迎えしてインタ 行う。	に附属す 臨床心理 際の現場	小野けい子 (放送大学 教授)	小(教ス伸医手康大授け送):(大・(名い大+庄埼学山京誉)の名学が野玉助中都教
11	セラピストによ る「読み」	クライアントの姿・語ること・症状に「こることがセラピストのひとつの決定的に大だとすると、もう一方で、クライアントの話症状・問題・内的イメージから、そして、ントと出会っている際にセラピストが抱く持ちから、クライアントのことを「読む」ラピストの重要な仕事であると言えるだろ	大場 登 (放送大学 教授)	大場 (放送大学 教授) + が スト: 慶応 表型 大学 を を 発受 を を を を を を を を を を を を を	
12	セラピストの 「問いかけ」と 「語りかけ」	第11章・第11回に学んだ「読み」に 今度は、クライアントの反応を慎重に見守 クライアントに「問いかけ」「語りかけ」 くこともセラピストにとってとても大切な えるであろう。	りつつも、 をしてゆ	大 場 登 (放送大学 教授)	大場 (放送 教授) + 森 を 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表
13	セラピストとク ライアントの関 係性(1)	心理療法という営みは、基本的にはセラクライアントの間で生起する。セラピストアントの関係性について、今回は、特にクトが、セラピストに向ける気持ち・感情にり上げる。	とクライ ライアン	大 場 登 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
14	セラピストとク ライアントの関 係性(2)	今回も心理療法におけるセラピストとクラの関係性について論じるが、今回は、クラとの関係において、セラピストの側が経験ち・感情について取り上げる。	イアント	大 場 登 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
15	トピックス:心 理臨床の現場か ら―③緩和ケア	「緩和ケア」における臨床心理士の仕事と うなものであるのだろうか?がん医療の現 ケアについて説明し、臨床心理士の役割に える。放送授業では、現場の臨床心理士を てインタヴューを行う中で、「緩和ケア」 臨床心理士の業務、関わりの視点や特徴に 討してみたい。	状や緩和 ついて考 お迎えし における	小林真理子 (放送大学 准教授)	小林真理子 (推教ス実病 (大変) (大変) (大変) (大変) (大変) (大変) (大変) (大変)

回	テーマ	内容	執筆担当 講師名 (所属・職名)	放送担当 講師名 (所属·職名)
16	意識と無意識	心理療法に携わる中で、人間の心には、意識している部分の他に、無意識の領域が存在すると仮定したほうが理解しやすいという経験に遭遇する。治療論的にも、意識の統制力をやや弱めることによって、内面的なものに向かい、自己治癒力を活性化する方法がとられることについて論じる。	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
17	箱庭療法	内面的なものを言語に頼らず自由に表現する方法として、描画法、遊戯法などがあるが、ここでは箱庭療法を取り上げて、この方法を紹介するとともに、箱庭の中で自己表現をすることによる自己治癒力の働きについても論じる。	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
18	家族面接	心理療法においては、様々な問題を顕在化しておられる本人ではなく、そのご家族が面接にみえることも多い。また、本人とご家族両方への面接が求められることも多い。それらをどう考え、どうすれば良いのかについて取り上げる。	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
19	若者たちと心理 療法	思春期~青年期にあたる若者たち特有の心性と、いくつかの臨床現場でのセラピストとのやり取りを中心に論じていきたいと思う。思春期~青年期と出会う臨床現場での実際を織り込む予定である。	佐藤仁美 (放送大学 准教授)	佐藤仁美 (放送大学 准教授)
20	トピックス:心 理臨床の現場から一④犯罪被害 者支援	「犯罪被害者支援」の立場で警察という職場で活動をしておられる臨床心理士の業務、犯罪被害者の心理について学ぶとともに、放送授業では、実際の現場の臨床心理士をゲストにお迎えして、インタヴューを行いたい。	小野けい子 (放送大学 教授)	小(教ス) が大 + 上察害 室床 が 大 + 上察害 室床 ・ 土
21	夢と癒し	古代ギリシャで、人々が心身の病に見舞われると、人々はアスクレピオス医神の神殿を訪ねた。斎戒沐浴の後、彼らは神殿最奥の小部屋で眠り、「癒しの夢」の訪れを待った。日本の古代・中世においても、人生の困難や病に出会った人々は、「貴船」や「石山」に詣でたり、「観音」さんに籠って、「癒しの夢」の到来を待った。	大場 登 (放送大学 教授)	大 場 登 (放送大学 教授)

旦	テーマ	内容	執筆担当 講師名 (所属・職名)	放送担当 講師名 (所属·職名)
22	心理療法と夢 (1)	古代ギリシャ・アスクレピオス神殿で当時の人々が夢による癒しを求めた営みはインキュベーションと呼ばれるが、Meier,C.A.によれば「このインキュベーションが 2000 年の眠りを経て Freud,S.の診察室・自由連想のカウチで復活した」と言われる。	大 場 登 (放送大学 教授)	大 場 登 (放送大学 教授)
23	心理療法と夢 (2)	たしかに心理療法で、我々がクライアントの話に 耳を傾けていると、「そう言えば今朝こんな夢を見 ました」と報告されることが多い。「耳を傾ける」 とは、この意味で、「心の最奥からの声」あるいは、 「人間の意識を超えた領域からの声」に対してのこ とでもあるのかもしれない。	大 場 登 (放送大学 教授)	大 場 登 (放送大学 教授)
24	心理療法とコン ステレーション (布置)	心理療法の面接でクライアントの語ることを注意深く聴いていると、クライアントの内界で問題となっているテーマと見事に対応する外界の出来事が、クライアントの周囲で生じていることをよく経験する。だからこそ、一見「外的・日常的」だけと思われるクライアントの経験にも我々は、大きな関心を寄せて傾聴することができるとも言えよう。	小野けい子 (放送大学 教授)	小野けい子 (放送大学 教授)
25	トピックス:心 理臨床の現場か ら一⑤HIVカ ウンセリング	今回のトピックスでは、いわゆる HIV カウンセリングにあたっている心理臨床の現場を紹介したい。 HIV 心理臨床の実際・チーム医療・仕事の困難さ・セクシュアリティ・日頃感じていること・いわゆる HIV感染者の方々やエイズ患者の方々との出会い を通して考えさせられたことなどが紹介される予定である。	大 場 登 (放送大学 教授)	大(教ス利病大ン床場) 送りの 大人の 大人の 大人の 一人の 一人の 一人の 一人の 一人の 一人の 一人の 一人の 一人の 一
26	困難な事例との出会い	心理療法の営みを続けていると、セラピストは、 必ずといってよいほど圧倒的な難しさ・無力感・不 安を感ぜざるを得ないようなクライアントに出会う ものである。人間の心の闇は恐ろしい程に圧倒的で、 且つ深いものである。印刷教材・放送授業を通して、 この「難しい」テーマと正面から向き合ってみるこ ととしたい。	大 場 登 (放送大学 教授)	大 (教ス 圓立教グ 家) 登学ゲ戸府誉ン析

回	テーマ	内容	執筆担当 講師名 (所属·職名)	放送担当 講師名 (所属·職名)
27	心理療法の面接 と記録	心理療法の面接は、なぜ記録に残さなければならないのだろうか。 「面接記録」は何時書くのだろうか? 「面接記録」はどのように「保管」するのだろうか? そして、そもそも面接記録には、一体どのようなことを、どの程度書いたらよいのだろうか。	大 場 登 (放送大学 教授)	大場 登 (放送大学 教授)
28	スーパーヴィジョン	心理臨床の研修にとって不可欠な体験として、スーパーヴィジョンがある。個人スーパーヴィジョン とグループスーパーヴィジョンの比較、スーパーヴァイザーの選び方や、スーパーヴィジョンの料金、期間について。さらに個人分析との異同についても述べる。	小野けい子 (放送大学 教授)	
29	トピックス:心 理臨床の現場から一⑥心理療法 機関	臨床心理士が企画運営する心理療法機関を紹介 し、臨床心理士をゲストに迎えてインタヴューを行 う。開業心理臨床とも言われるこの分野では、臨床 心理士に自由度が高くある一方、責任という面での 重さも並々ならぬものがあると言えよう。	大 場 登 (放送大学 教授)	大場 登学 が ストナ 教 が 大 が が が が が が が が が が が 教 床 が が な が が な が が が が が が が が が が が が が
30	おわりに:講師 からのメッセー ジ	30回にわたる授業の最後は、今後さらに心理臨床の勉強を続け、将来的に心理臨床領域において臨床心理士として仕事をしてゆこうとする受講生に向けた主任講師からのメッセージとなる予定である。	大 場 登 (放送大学 教授)	大場 登 (放送大学 教授) 小野けい子 (放送大学 教授)

事務局 記載欄	開講 年度	2012年度	科目 区分	大学院科目	科目コード	8950547	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = 臨床心理学研究法特論 ('12) = (R)

〔主任講師(現職名): 齋藤 高雅 (放送大学教授)

〔主任講師(現職名):元永 拓郎 (帝京大学大学院教授) 〕

【本学担当専任教員:

講義概要

臨床心理学領域における研究を行う上でのさまざまな方法論,量的研究と質的研究について解説する。具体的な研究法として,質的研究法,調査法,面接法・観察法,投映法,実験法,事例研究法,効果研究について説明し、さらに臨床心理学領域として,心理療法,アセスメント,家族研究,高齢者研究,コミュニティ・アプローチについて解説する。臨床心理学研究の特徴として、クライエントの利益を優先すること、プライバシーを含む倫理的な問題を常に念頭におくことが重要である。

授業の目標

臨床心理学領域におけるさまざまな研究を行う上での方法論と、研究の重要性、および困難さを理解することを目標にする。臨床心理学においては、臨床実践や調査研究とプライバシーを含む倫理面の問題および研究から得られる公共性との両立と相克が重要なテーマとなるが、究極的には、クライエントの利益に還元されることが優先される。これらの点について留意しながら、臨床心理学研究法について解説する。

履修上の留意点

臨床心理学特論('11)は、本科目の全体的な基礎となるものである。各自の関心領域により、臨床心理学プログラムが開講している他の科目は研究を遂行する際の基礎知識となる。たとえば、量的研究を行う際には、「心理・教育統計法特論」は履修の必要がある。

旦	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
1	臨床心理学の領域と 研究法	本特論では、臨床心理学の5領域、ト・家族・高齢者およびコミュニティを重要なことは、研究目的を明確にすり何をどのように達成するかという研てくる。臨床心理学研究の特徴とし優先すること、プライバシーや倫理はおくことを十分理解しておくことがあ【キーワード】 臨床心理学の研究領域、臨床研究	を取り上げる。研究として ることである。それによ 究方法が自ずと絞られ て、クライエントの利益を 内な問題を常に念頭に げられる。	齋藤 高雅 (放送大学教 授)	齋藤 高雅 (放送大学教 授)
2	研究の基礎 — 研究 のプロセス	臨床現場で問題を感じ、その問題意でいく研究のプロセスについて概説レビュー、対象・方法の選定、特になどについて述べる。 【キーワード】 研究のプロセス、研究計画書、先行レビュー	する。文献検索、文献 开究計画の立案、作成	齋藤 高雅	齋藤 高雅
3	研究法① 質的研究法	近年、研究対象の現象の背後にあしたり、現象の構造的特徴を記述で築することに主眼をおいた「質的研いる。「質的研究」の方法論上の特別対する。 【キーワード】 質的研究	きるモデルや仮説を構 究」への関心が高まって	名取 琢自 (京都文教大 学教授)	名取 琢自 (京都文教大 学教授)

□	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	研究法② 量的研究法— 調査 法	量的研究とは、単に数字を用いて記述し統計的に検定するものではない。現象の背後にある'真実'に迫るための種々の取り組みに、普遍性や実証性を与えようとする手続きである。そのため量的研究においても、数字では示されない事象にも関心を持ち、時にその考察も行う。ここでは、量的研究の一例として、質問紙を用いた調査法による研究を取り上げ概説する。 【キーワード】		元永 拓郎 (帝京大学大 学院教授)
5	研究法③ 面接法•観察法	面接法、観察法による研究法を概説する。面接、あるいは 観察することによってどのように臨床的な資料を収集することが可能であり、どのような研究があるのかについて概説する。 【キーワード】 臨床的面接,調査面接,構造化面接,半構造化面接,仮 説生成,仮説検証,参与観察	齋藤 高雅	齋藤 高雅
6	研究法④ 投映法(投影法)	投映法の特徴を、質問紙法や面接法など他の方法と比較しながら説明し、その意義について考察する。代表的な投映法を用いた研究(ロールシャッハ法と描画法など)、また投映法自体に関する研究について紹介する。 【キーワード】 投映法(投影法),ロールシャッハ法	小川俊樹(放 送大学教授)	小川俊樹(放 送大学教授)
7	研究法⑤ 実験法	臨床心理学においても、実験による研究は重要である。実験研究を実施する際の基本概念(実験群・統制群など)についても説明する。 【キーワード】 実験法、実験計画法、仮説、検定	小川俊樹	小川俊樹
8	研究法⑥ 事例研究法	事例研究法は臨床心理学において最も重要な研究法の1つである。本講では、知識伝達と技術習得のちがい、概念的知識と手続き的知識のちがいに注目しながら、臨床の場において人間を統合的にとらえる実践的方法として洗練されてきたこの事例研究法の意義と限界について検討したい。 【キーワード】 事例研究,臨床の知,事例検討	名取 琢自	名取 琢自
9	研究法⑦ 評価(効果)研究	心理療法の効果を明らかにすることは、臨床心理学にとって重要な課題の一つである。心理療法の効果研究、メタ分析について概説するとともに、心理療法も含めたより包括的な心理学的支援について、プログラム評価の観点から評価研究を論じる。 【キーワード】 メタ分析、無作為化比較臨床試験(RCT)、ケースコントロール研究、EBM、プログラム評価、プロセス研究	元永 拓郎	元永 拓郎
10	領域と研究法① 心理療法	心理療法における研究のトピックスとして、治療の場における治療構造の問題、見立てにおける異常心理学の役割、セラピストークライエント関係、プロセス研究、スーパービジョン・教育、などについて概説する。 【キーワード】 心理療法,治療構造,異常心理学、プロセス研究、セラピストークライエント関係、スーパービジョン・教育	齋藤 高雅	齋藤 高雅

□	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	領域と研究法② アセスメント	臨床心理学におけるアセスメント 要性を述べる。アセスメントの諸っれらの信頼性・妥当性についてす 【キーワード】 アセスメント,評価尺度	方法を紹介したうえで、そ	小川俊樹	小川俊樹
12	領域と研究法③ 家族研究	本格的高齢社会の到来とともに、様々な問題が起こっている。特にど、高齢者を介護する家族の心は大きな社会問題となっている。のねらいは、要介護高齢者と家がする臨床心理学研究の現状と課【キーワード】 高齢社会 家族システム 要介語介護ストレス	こ,介護ストレスや虐待な 理的ストレスをめぐる問題 こうした現状を鑑み,本章 族介護をめぐる諸問題に関 題について考える。	松田 修(東京学芸大学 准教授)	松田 修(東 京学芸大学 准教授)
13	領域と研究法④ 高齢者研究	本格的高齢社会の到来に伴いの支援に関する臨床心理学的の る。しかしながら、臨床心理学にだ十分とはいえず、取組みねばだして多い。こうした現状を踏まえ、 く臨床心理学研究の現状と課題 【キーワード】 認知症、非薬物療法 横断的研	f究の重要性が高まってい おける高齢者研究は,いま ならない研究課題は依然と 本章では高齢者を取り巻 について考える。	松田 修	松田 修
14	領域と研究法⑤ コミュニティ・アプロー チ	近年、学校や地域社会におけるを集めている。臨床心理学はこのている。実際にそのコミュニティに並行して研究を行う場合もある。にされる諸側面を概説する 【キーワード】 コミュニティ・アプローチ,介入研	の領域に様々な接近を試み と介入し、その実践活動と それらの接近法から明らか		元永 拓郎
15	臨床心理学研究の倫 理-まとめにかえて	臨床心理学研究法のまとめとしてる。 臨床心理学研究の難しさは、 イバシーや利益など研究においことがあげられる。 これらの点にて	しばしばクライエントのプラ て二律背反性に直面する ついて考える。	齋藤 高雅	齋藤 高雅

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2014年度 大学院科目 無 2 8950571 記載欄 年度 区分 コート 制限 数

科目名 (メディア) = 家族心理学特論 ('14) = (TV)

英文名 = [Special Lectures on Family Psychology ('14)]

〔主任講師(現職名): 亀口 憲治(国際医療福祉大学大学院教授)〕 〔主任講師(現職名):

【本学担当専任教員:大場 登(放送大学教授)

講義概要

世界最速で進行中の少子高齢化に加え、東日本大震災による甚大な被害を受けたわが国の家族が抱える課題の解決には、欧米直輸入の手法のみならず、独自の解決策も加える必要がある。一方で、いかなる時代や文化においても普遍的な家族の課題も残されている。本講義では、家族が抱える心理的課題を家族システム論の視点から整理する。次に、この課題が果たせなかった場合に生じうる諸問題について取り上げる。そして、これらの問題に対する家族療法や予防的心理教育プログラムなどの援助法の理論と技法を解説する。また、震災後の被災家族への心理的援助については、多職種の協働によるネットワーク化を通じた地域支援の具体例を通して紹介する。

授業の目標

家族間軽の心理的な仕組みについて、その発達の初期から生涯に及ぶ長い変化の過程として理解できるようになることを目標とする。また、家族がかかえるさまざまな心理的問題の社会的背景との相互関係についても、見識をふかめることが期待される。 さらに、家族療法や心理教育の理論と技法を学ぶことにより、家族へのさらに具体的な心理的援助の専門的基礎を形成することが目標となる。

履修上の留意点

発達心理学、臨床心理学、あるいは社会心理学については、本講義の受講前に学習しておくことが望ましい。

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	家族心理学の役割	家族心理学は、主に個人の心理 現代心理学に、「家族関係」という 解明する分野として確立されつる 学、発達心理学、社会心理学、表 等の関連領域を統合する「要」の なってきている。 【キーワード】関係の心理 家族	う独自の心理メカニズムを つある。さらに、臨床心理 效育心理学、老年心理学 役割も期待されるように	国際医療福 祉大学·大学	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授
2	家族人生周期	個人の発達過程が、新生児期かたる視点で、探求されるようになっの心理的発達の過程を、人生といく、家族関係というシステムの歴り認知的枠組みを紹介する。 【キーワード】生涯発達 人生居	ってきている。さらに、個人 いう個人の時間軸だけでな との構成要素として捉える	国際医療福 祉大学·大学	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授
3	家族システム論	家族システムは、家族を単なる個はなく、固有の関係性や心理的物含む)とみる概念である。この回て族システム論を詳しく紹介する。 【キーワード】家族システム論 理学	特徴を有した集団(ペットも では、理論的基盤となる家	国際医療福 祉大学·大学	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
4	家族内コミュニケーション	家族心理学の特徴は、日常生活情動的コミュニケーションの仕組題点を解決する実践的な手法をとを目標にしている点にある。これがら、家族内コミュニケーションの説を加える。 【キーワード】情動的コミュニケケーションの	みを解明し、さらにその問開発し、一般に普及するこでは、具体例を踏まえなり病理や解決策について解	亀口 憲治 国際医療福 祉大学·大学 院教授	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授
5	家族心理の深層構造	個人心理の深層に家族関係にま フロイトによる精神分析以来、一家族心理学の隣接領域である家 みならず、家族関係全体の深層 し、さらに具体的な心理援助のま 【キーワード】家族臨床心理学 意識	般にも良く知られている。 を族臨床心理学は、個人に 心理のメカニズムを解明 手法を提案しつつある。	亀口 憲治 国際医療福 祉大学·大学 院教授	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授
6	社会の中の家族	個人と家族にとって、心理的環境影響は無視できない。そこで、激からみた家族の問題点と、逆に他齢化や災害などの社会的問題をる。 【キーワード】心理的環境 少子	放変する社会的環境の視点 個人や家族から見た少子高 対比させる試みを提示す	亀口 憲治 国際医療福 祉大学·大学 院教授	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授
7	個人の中の家族イ メージ	個人の内界における「内なる家族すでに臨床心理学で多くの検討学の立場から、この問題を再考す環境を体験した文豪夏目漱石のるエピソードを紹介し、個人にと験の影響を深く掘り下げて解説」【キーワード】家族体験 家族イ	がなされてきた。家族心理 する。幼児期に複雑な家庭 家族人生周期の知られざ っての幼児期からの家族体 する。	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授
8	家族関係の心理査定	個人の心理査定については多く 家族関係を直接対象とする心理 で、代表的な家族心理査定法を 題点を明らかにする。日本で開 (FIT)についても紹介する。 【キーワード】 心理査定法 家族 法(FIT)	査定は嘉数が少ない。そこ 紹介し、その実践上の問 路された家族イメージ法	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授
9	家族療法の理論	1950年代に欧米で誕生した家成立にも大きな影響を与えた。こわった主要なパイオニアの人物代背景についても言及する。また法や家族カウンセリングの発展がても解説する。 【キーワード】家族療法 家族療	こでは、家族療成立に関 像や理論を概観し、その時 と、わが国における家族療 過程や現状の課題につい	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授
10	家族療法の技法 I	家族療法は1980年代以降、世 その原動力になったのが、構造にでもよく知られている。そこで、構 する主要な技法を紹介する。悪 係が、どのような援助的介入によ か。 【キーワード】 構造的家族療法 ング	的家族療法であり、わが国 造的な面接技法を中心と 循環に陥っている家族の関 って改善されるのだろう	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授

回	テーマ	内	容		放送担当講師名
	`	r i	4		所属・職名)
11	家族療法の技法Ⅱ	1990年代以降の最新の家族療論に忠実な理論的枠組みにこれアプローチへと大きく軌道修正しにおける歴史的側面・時間的側の変化によって、ともすれば対立学派との対話が促進されるように【キーワード】物語的家族療法	ごわることなく、物語論的な た。ある点では、家族支援 面の再評価ともいえる。こ Z的であった個人療法の各 こなった。	国際医療福 祉大学·大学	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授
12	家族療法の技法Ⅲ	家族療法が世界的に広がるにて多世代的な側面への関心が高い法との統合を図る動きが活発とな専門職間で協働することが必統合的視点に立った技法の重要 【キーワード】統合的家族療法法	まっている。同時に、個人療なりつつある。さらに、多様要であるとの認識が広まり、 要性が増している。	国際医療福祉大学・大学	亀口 憲治 国際医療福 祉大学·大学 院教授
13	夫婦療法の理論と技 法	夫婦療法は、家族療法とともに多が国では、その文化的背景によかし、少子高齢化によって、そのる。夫婦という親密で独特な閉さ直視し、解決するための実証的る。	り、未開拓の分野である。し の必要性が認められつつあ された人間関係の問題を で具体的な知見を紹介す	国際医療福 祉大学·大学	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授
14	家族療法の実際	わが国での家族療法の有効性が庭内暴力、ひきこもりなどの実践	事例を紹介する。	祉大学•大学	亀口 憲治 国際医療福 祉大学·大学 院教授
15	家族心理学の実践展 開	これからの家族心理学は、激変おいて人々が直面する諸課題を来の心理学が避けてきた学際的は発信することが期待されているの現状と課題について解説する	と、真正面から受け止め、旧 対な知見を取り込み、あるい る。専門家養成と実践展開 の。	国際医療福 祉大学·大学	亀口 憲治 国際医療福 祉大学・大学 院教授

科目名 (メディア) = 障害児・障害者心理学特論 ('13) = (R)

[主任講師(現職名):田中 新正(大分大学教授) [主任講師(現職名):古賀 精治(大分大学教授) 【本学担当専任教員:齋藤 高雅(放送大学教授)

講義概要

様々な障害のある人に臨床心理学的援助を提供するに当たって必要な基本的知識を全15回にわたって講義する。各障害について理解するために、先ず、障害の概念(状態像)やアセスメントの方法について説明し、さらに、発達的視点からみた障害のもつ意味、社会的視点からみた障害のもつ意味について説明し、障害のある人の心理学的援助のあり方について講義する。

授業の目標

全15回の講義を通じて、各障害について定義(概念)を明確にし、それぞれの障害に特有の発達上の課題、社会生活上で生じてくる様々な問題を理解すること、そして問題解決のための心理学的援助のあり方を理解することを目標とする。また、このことを通して人にとっての障害の意味について考えることを目標としたい。

履修上の留意点

口	テーマ	内	容		放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
1	特殊教育から特別支援教育へ	2007年4月より「特殊教育」から「特が行われ施行された。この改正に見直しされた学校制度や教育職員来の理念・制度と比較しながら解記	より転換された理念や、 員免許制度について、従 説する。	田中 新正 (大分大学・ 教授)	田中 新正 (大分大学・ 教授)
2	乳幼児における障害 とその支援	乳幼児期における障害への気づる 早期発見と療育の重要さを解説す 園における支援体制と就学に向けて述べる。 【キーワード】 母子保健、乳幼児健康診査、早期 稚園での支援、就学相談	ける。また、保育所や幼稚 けての相談や支援につい	徳永 豊 (福岡大学・ 教授)	徳永 豊 (福岡大学・ 教授)
3	視覚障害児・者の理 解と心理的援助	視覚障害の概念、分類について相して、触覚の発達、言語発達、行意様々な困難に対する心理的援助は 【キーワード】 視覚障害、盲、弱視、点字、歩行、ディズム	動等について説明し、 のあり方について述べる。	大内 進 (国立特別支 援教育総合 研究所·客員 研究員)	大内 進 (国立特別支 援教育総合 研究所·客員 研究員)

口	テーマ	内 容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	聴覚障害児・者の理 解と心理的援助	聴覚障害の概念、分類について概説した後、心理特性として、コミュニケーション、認知、学習、社会性等について説明し、様々な困難に対する支援のあり方について述べる。 【キーワード】 聴覚障害、ろう(聾)、難聴、聴力レベル、伝音難聴、感音 難聴、コミュニケーション、早期発見、言語発達、書記言 語、聴能訓練、補聴器、人工内耳、手話、情報保障	藤本 裕人 (国立特別支 援教育総合 研究所·教育 支援部総括 研究員)	藤本 裕人 (国立特別支 援教育総合 研究所·教育 支援部総括 研究員)
5	知的障害児・者の理 解	まず知的障害にかかわる用語について整理する。次に米国精神遅滞協会における知的障害の定義と分類について述べた後、わが国の医学、教育、福祉における知的障害の定義と分類について解説する。 【キーワード】 AAMR(2002)、AAMR(1992)、DSM-IV-TR、就学基準、療育手帳、知的機能、適応行動	古賀 精治 (大分大学・ 教授)	古賀 精治 (大分大学・ 教授)
6	知的障害児・者への 心理的援助	米国精神遅滞協会のマニュアルに基づいて知的障害のある人に必要な援助の全体像について概説した後、臨床心理の専門家に求められる援助としての心理アセスメント、心理療法、発達援助法について解説する。 【キーワード】 支援、知能検査、適応行動の検査、行動障害	古賀 精治 (大分大学・ 教授)	古賀 精治 (大分大学・ 教授)
7	肢体不自由児・者の 理解	肢体不自由の定義、分類、主な起因疾患について概説した後、脳性まひの運動発達の特徴、そして認知と学習、発語と言語の問題、身辺自立、情緒・社会性等の発達上の特徴について解説する。重複障害についても解説する。 【キーワード】 脳性まひ、随伴障害、重複障害、重症心身障害	田中 新正 (大分大学・ 教授)	田中 新正 (大分大学・ 教授)
8	肢体不自由児・者へ の心理的援助	肢体不自由のある人の発達過程における心理的援助について解説する。早期発見について紹介した後、早期療育について医学的立場と心理学的立場について解説する。重複障害児の理解と心理的援助についても解説する。 【キーワード】 早期療育、動作法、自立活動、医療的ケア、訪問教育	田中 新正 (大分大学・ 教授)	田中 新正 (大分大学・ 教授)
9	病弱児・者の理解と 心理的援助	病弱者の定義と、病弱・虚弱児教育の歴史及び病気の概要について解説し、2002年に改正された就学基準と、病弱教育対象児童生徒の病気の種類の推移について解説する。ホスピタリズムやターミナル期について解説する。 【キーワード】 病弱教育の歴史、病気の推移、ホスピタリズム	田中 新正 (大分大学・ 教授)	田中 新正 (大分大学・ 教授)
10	情緒障害児の理解と 心理的援助	情緒障害の定義について整理し、情緒障害児教育の対象について述べる。情緒障害児への心理的援助の代表的な考え方について解説する 【キーワード】 情緒障害、不登校、選択性かん黙、心理療法	田中 新正 (大分大学・ 教授)	田中 新正 (大分大学・ 教授)

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	発達障害児・者の理解と心理的援助 — ADHD (注意欠陥/ 多動性障害) —	発達障害の概念について整理した ADHDの定義と分類について解説 原因や併存障害などについて概説 スメントとADHDのある人への基本的 への支援等について論じる。 【キーワード】 不注意、多動性、衝動性、自尊心の	する。それからADHDの し、最後にADHDのアセ りな援助のあり方、家族	古賀 精治 (大分大学・ 教授)	古賀 精治 (大分大学・ 教授)
12	発達障害児・者の理 解と心理的援助-自 閉症-	医学と教育における自閉症、高機能症候群の定義、自閉症と他の障害、べた後、自閉症のある人に特有のなじた専門的な援助方法のいくつからした専門的な援助方法のいくつからした専門的な援助方法のいくつからなりです。 はキーワード】 対人的相互反応の質的な障害、コースででいるができ、反復的で常同的な行動やルスキルトレーニング	との鑑別等について述 物の見方や考え方に応 こついて解説する。 ミュニケーションの質的	古賀 精治 (大分大学・ 教授)	古賀 精治 (大分大学・ 教授)
13	発達障害児・者の理 解と心理的援助 - LD (学習障害) -	LDの概念に関する歴史的経緯、そ学におけるLDの定義と分類についる人の学習上の諸問題に対する心づく教育・心理的な援助の方法にて 【キーワード】 読む、書く、計算する、認知処理特	て解説した後、LDのあ 理学的アセスメントに基 ついて述べる。	古賀 精治 (大分大学・ 教授)	古賀 精治 (大分大学・ 教授)
14	家族支援と障害の理 解・受け止め	障害の理解・受け止めは、家族及て最も大きな課題である。家族や本人テージごとの課題を紹介するとともに族支援について考える。 【キーワード】 告知、障害の理解・受け止め、親・スおける課題、家族支援	、が直面するライフス こ、地域社会における家	徳永 豊 (福岡大学・ 教授)	徳永 豊 (福岡大学・ 教授)
15	地域社会と障害 - 社会参加 -	障害のある人々の社会参加は、今 障害とは何かを考える上で、環境因る。障害者への対応の歴史や人々 参加のひとつとして、「働くこと」を考 【キーワード】 障害、国際生活機能分類、環境因 者観、社会参加、働くこと	3子の大切さを取り上げの意識を踏まえて、社会:える。	徳永 豊 (福岡大学・ 教授)	徳永 豊 (福岡大学・ 教授)

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2011年度 大学院科目 無 2 8950539 記載欄 年度 区分 コート 制限 数

科目名 (メディア) = 臨床心理地域援助特論 ('11) = (R)

[主任講師(現職名): 箕口 雅博(立教大学教授)

【本学担当専任教員:齋藤 高雅(放送大学教授)

講義概要

社会(コミュニティ)とのかかわりのなかで生活している人間の心理社会的問題を解決するためには、人の環境への適応を援助するだけでなく、その個人をとりまく環境を人に適合するように改善していく働きかけが重要であると考える。本講義では、「臨床心理アセスメント」「臨床心理面接」に次いで、心理臨床実践の第三の柱と位置づけられる「臨床心理地域援助(コミュニティ援助)」の考え方と方法をコミュニティ心理学の視座から追求する。

授業の目標

講義の前半では、臨床心理地域援助の定義、歴史、理論的背景、基本的発想、介入・援助の方法などについての概論的な解説をおこない、後半では、予防的介入、危機介入、コンサルテーション、社会的支援とネットワークづくり、他職種との協働などに焦点を当て、臨床心理地域援助の実際について、さまざまな領域における実践例を通して体験的理解を得ることを課題とする。

履修上の留意点

放送大学大学院で開講している関連領域科目「学校臨床心理学特論」などを学ぶことは、理解の一助となる。

口	テーマ	内	容		放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	現代社会と心の問題 一臨床心理地域援 助の視座	「社会(コミュニティ)の変化に吗今日のさまざまな心理社会的問題 どのように応えられるか」について場から検討する。 ※現場インタビュー ①中堅心理臨床家	夏の解決に心理臨床家が	箕口雅博 (立教大学・ 教授)	箕口雅博 (立教大学· 教授)
2	臨床心理地域援助と は何か――定義・理念・ 発想・独自性―	「心理アセスメント」「心理面接」 第三の柱である「臨床心理地域打定義・理念・発想・独自性についる。 【キーワード】	爰助(コミュニティ援助)」の	箕口雅博 (立教大学・ 教授)	箕口雅博 (立教大学・ 教授) ゲスト: 若手心 理臨床家/ 大学院生
3	予防の概念と予防的 介入	コミュニティ・アプローチと伝統的な違いは、「治療より予防を重視精神保健領域における予防の概防的介入の実際について概説す	する」点にある。ここでは、 念について明らかにし、予	久田 満 (上智大学・ 教授)	久田 満 (上智大学・ 教授)

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
4	危機理論と危機介入	日常生活で危機に直面してい 効的な援助的介入をおこなうこと もった心理援助の方法のひとつ 進めていくうえで欠かすことのでは、「脅威査定・管理」という新た 介しつつ、危機介入の理論と実 【キーワード】	とは、独自の理論と目的を であり、コミュニティ援助を きないものである。ここで な危機介入の枠組みも紹	箕口雅博 (立教大学・ 教授)	箕口雅博 (立 教大学・教 授) ゲスト: 毛利元 貞(モリインターナ ショナル)
5	コンサルテーションに よる介入と援助	コミュニティ援助を進めていくうあり、実践上の重要な戦略のひ、テーションの理論と実践についする。 ※現場インタビュー: ①児童福祉施設職員(コンサ/2)スクールカウンセラー(コンナ/2) 【キーワード】	とつである、心理コンサル て、事例を交えながら概説 レティとして)	箕口雅博 (立教大学・ 教授)	箕口雅博 (立教大学・ 教授)
6	ソーシャル・サポート・ ネットワーキング一連 携と協働による援助 一	コミュニティのなかで、どのようなのような人びと対象に、どのようなば、心理臨床が役に立つのかにポート・ネットワーキング」、「連携ながら検討する。 【キーワード】	な方法でアプローチすれ こついて、「ソーシャル・サ	箕口雅博 (立教大学・ 教授)	箕口雅博 (立 教大学・教 授) ゲスト: 丹羽郁 夫(法政大 学・教授)
7	学校臨床における臨床心理地域援助	今日、学校現場では、不登校・子ども・LD・ADHDなどの問題が外での子どもの安全も脅かさればらな学校コミュニティへの多様が開していくかについて、スクール討を加える。 ※現場インタビュー ①スクール係者	を起こるだけでなく、学校内 る状況が発生している。このなアプローチをどのように展かりとである。 でからなどのように展かりである。	藤後悦子 (東京未来大 学•講師)	藤後悦子 (東京未来大 学•講師)
8	のコミュニティ援助一	LD(学習障害)、ADHD(注意、 閉障害など、いわゆる「軽度発達 障害」と呼ばれる子どもたちを、な に支援していくかは、今日、心理 要課題のひとつとなっている。こ 行動分析および行動コミュニティ る。 【キーワード】	を障害」あるいは単に「発達学校・地域ぐるみでどのよう 関臨床家が取り組むべき重れらの課題について、応用	大石幸二 (立教大学・ 教授)	大石幸二 (立教大学・ 教授)
9	子育て・保育支援に おけるコミュニティア プローチの実際	育児をめぐる不安と子どもを虐 内離婚と夫婦(異性)間暴力の問家庭の機能は孤立化し、親と子 かい合っている。多くの親たちは 知識をほとんどもてず、苦労や喜ないなかで悪戦苦闘している。こ 予防的介入として、子育て・保育 アプローチの実際をとりあげる。 ※現場インタビュー: ①保育園 ティア	問題などにみられるように、は閉ざされた環境の中で向は、子育てに関して体験的ないなかを合う仲間も少こうした問題への多様かつで支援におけるコミュニティ・	藤後悦子 (東京未来大 学・講師)	藤後悦子 (東京未来大 学・講師)

□	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
10	暴力・犯罪に関する コミュニティ問題への フェミニスト・アプロー チ	暴力・犯罪の関与する心理社会的問題のうち、児童虐待、異性間暴力(DV)など、ミクロレベルの家族コミュニティに起こる暴力・犯罪問題の解決と予防について、「フェミニスト・アプローチ」の枠組みにもとづき、コミュニティ援助のあり方を検討する。 ※現場インタビュー ①シェルター支援ボランティア	高畠克子 (東京女子大 学•教授)	高畠克子 (東京女子大 学·教授)
11	グローバル社会に生 きる人びとへのコミュ ニティ援助	近年、グローバル化の動きが活発になり、国境を越えた人の移動とモノや情報の交流が人びとの価値観や生き方の多様さを生んでいる。同時に、多様な文化を担った人びとの共生支援をどのように進めていくか、紛争・テロなど長期的かつ多面的な危機状況のもとで生活している人びとへの心理社会的支援にどのように取り組むかなどは、グローバル社会に生きる私たちにとってきわめて現実的で重要な課題となっている。こうした問題の解決と予防の実践例として「中国帰国者・留学生に対するコミュニティ援助活動」および、「コミュニティ・アプローチにもとづくパレスチナ難民への後方支援活動」をとりあげ検討する。 ※現場インタビュー:①パレスチナ難民支援NGOスタッフ 【キーワード】	箕口雅博 (立教大学・ 教授)	箕口雅博 (立教大学・ 教授)
12	精神障害者へのコミュニティ援助	精神障害者が地域コミュニティで生活するためには、「生活する場」「仲間づくりの場」「働く場」が保証されていなくてはならない。ここでは、地域精神保健の現場で展開されているコミュニティ援助活動の実際について述べるとともに、そこで働く心理臨床家の他職種との連携と協働のあり方について検討する。 ※現場インタビュー: ①精神科デイケア心理職 【キーワード】	高畠克子 (東京女子大 学•教授)	高畠克子 (東京女子大 学·教授)
13	保健・医療・福祉領域におけるコミュニティ援助	保健・医療領域におけるコミュニティ援助として、ターミナルケア・HIVカンセリングをとりあげ、心理臨床家の活動の実際を述べる。福祉領域におけるコミュニティ援助の実際として、児童相談所・児童福祉施設それぞれの場における児童虐待問題へのアプローチをとりあげる。※現場インタビュー: ①児童相談所心理職 ②児童福祉施設心理職 ③保健・医療領域心理職	箕口雅博 (立教大学・ 教授)	箕口雅博 (立教大学・ 教授)
14	産業領域におけるコミュニティ援助―EA P活動を中心として―	産業領域におけるコミュニティ援助として、主にEAP(従業員支援プログラム)活動の実際をとりあげ、その効用と意義について述べる。 ※現場インタビュー ①EAP心理職 【キーワード】	箕口雅博 (立教大学・ 教授)	箕口雅博 (立教大学・ 教授) ゲスト: 松本 桂樹 (ジャパ ンEAPシステ ムズ)
15	臨床心理地域援助の 課題と展望一研究と 実践の統合をめざし て一	臨床心理地域援助(コミュニティ援助)を今後どのように展開していくかについて座談会形式で検討する。主なテーマとしては、「対象と領域ごとの展望」「理論と実践方法の検討」「教育と訓練」「職業倫理」「研究と実践の統合」などを扱う予定である。 【キーワード】	箕口雅博 (立教大学・ 教授)	座談会: 箕口雅博 高畠克开 久田 大石幸二 大石幸二

科目名 (メディア) = 公共哲学 ('10) = (R)

〔主任講師(現職名):山岡 龍一(放送大学教授)

〔主任講師(現職名):齋藤 純一(早稲田大学教授)

講義概要

現代社会における「公共性」の諸問題を、新たに問い直し、新たな解決法を考えていく方法を検討する。「公共哲学」という、近年再定義・再考察が試みられている視角・考え方を、理論的なレベルで紹介・解説しつつ、さらには、いくつかの具体的な問題に関する公共哲学的なアプローチを紹介・解説する。狭義の「哲学」ではなく、社会科学的な知のあり方の刷新の方法を、批判的に紹介することで、講義全体が公共哲学の展開の事例となる予定である。

授業の目標

本講義の目標は、公共性に関する特定の教義を提供したり、公共的な問題を取り扱う特定の方法を教え込むことではない。むしろ、「公共性」を再考察する可能性を示し、学生が自らの具体的な問題を基に、独自でありかつ他に開かれた仕方で、「公共性」に関する考えを身につけられるようにすることが目標である。社会・人文科学的な知の基礎を提供することも目標であるが、それ以上に、すでに何らかの学問を習得した学生が、それを批判的に展開し、他の学問や実践的課題との連関を理解、もしくは創造できるような知の提供を目指している。

履修上の留意点

履修の上で、特に必要な知識はない。もちろん、既に何らかの社会科学になじみをもっているなら、より理解が容易になるであろう。社会経営科学プログラム以外のプログラムに属する学生にも、その学習の成果を公共的な仕方で生かすために、積極的に履修してもらいたい。

回	テーマ	内	容		放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
1	公共哲学とは何か	「公共哲学」という視角・考え方のする一つの考え方を紹介しながら公共哲学の可能性を考える。「公思想史的な説明を使って検討し、哲学のあるべき姿を、各人が批判る。 【キーワード】 「公共性」の概念、「哲学」の概念を史的文脈、公と私	、批判的な学問としての 共性」概念の多様性を、 現代社会における公共 的に考えていく準備をす	山岡龍一(放 送大学·教 授)	山岡龍一(放 送大学·教 授)
2	公共哲学の原像:リッ プマンとデューイ	公共哲学という問題提起の原初的ンとJ. デューイの論争を取り上げる公共性の概念を、20世紀アメリ追求する際に生じる問題性と可能家的公共性の現代的意義を検討 【キーワード】 民主主義、大社会、世論、ステレンザクション、大コミュニティ、自由	る。古典古代の理想であ カのような社会において 性を考えることで、非国 する視点を獲得する。 オタイプ、暫定協定、トラ		山岡龍一(放 送大学·教 授)
3	公共哲学の提唱: アーレントとハーバー マス	公共哲学にとっての古典的なテキ間の条件』とJ.ハーバーマスの『公上げ、意見の複数性を重視する公意思形成と国家の活動に対する対共性の理解を検討する。 【キーワード】	共性の構造転換』を取り 公共性の理解と市民による 比判的監査を重視する公	齋藤純一(早 稲田大学・教 授)	齋藤純一(早 稲田大学・教 授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	公共哲学の展開 (I) :ロールズとサン デル	社会を統合する原理として社会正義を論じたJ. ロールズの『正義の理論』を取り上げる。その上で、ロールズ批判の文脈から新たな公共哲学を共和主義の伝統に依拠しながら提示するM. サンデルの試みを検討し、後期ロールズの政治的リベラリズムにおける公共性の概念を評価する。 【キーワード】 公正としての正義、格差原理、負荷なき自己、共和主義、理に適った多元性	山岡龍一(放 送大学·教 授)	山岡龍一(放送大学·教授)
5	公共哲学の展開 (Ⅱ):テイラーとコノ リー	一方で人々の価値観が多様であることを認め、それを推し進めさえしながら、他方で一つの社会としての統合が果たされることを可能にするのは、はたしてどのような「公共性」なのだろうか。現代の二人の哲学者、Ch. テイラーとW. コノリーの論争を手がかりにして探究する。 【キーワード】 アイデンティティ、差異、承認、穏やかな専制、民主制下の当事者能力		田中智彦(東京医科歯科大学·准教授)
6	公共哲学の展開 (Ⅲ):経済学のアプ ローチ	経済学の視点から公共性について論じる。合理的に行動する個人が構成する社会において、公共的な価値の実現や集団的意思決定をめぐって生じる諸問題について考察する。従来の経済学の考え方を超える方向性にも言及する。 【キーワード】 合理的選択理論、公共経済学、公共財、社会的選択理論、ケイパビリティ・アプローチ	神事直人(京 都大学·准教 授)	神事直人(京都大学·准教授)
7	憲法と公共性	立憲主義と民主主義とを同時に標榜する近代国家は近代的憲法によって構成されている。その憲法は、世俗化と善の多様性を前提とした政治の運営の原則を示すものである。その前提として、市民の対等な関係によって成り立つ利的な領域と、市民が国家権力と対峙する関係にある公的な領域の区別がなされている。純粋に私的でもなく、また国家権力自体でもない公共的なものを憲法理論はそもそも想定しているのであろうか。 【キーワード】 主権、人権、近代立憲主義、表現の自由、公私区分論、市民社会、公共の福祉	川岸令和(早 稲田大学·教 授)	川岸令和(早 稲田大学・教 授)
8	マス・メディアと公共性	自由で民主的な社会においてマス・メディアが果たしている、あるいは果たすべき役割を通じてその公共性の問題を考える。現代の社会においては影響力のある表現主体としてマス・メディアの果たす役割は大きい。報道機関は、世界で起きている事実を人々に伝え、人々の意見の形成にかかわる。新聞を中心とした印刷メディアとテレビを中心とした電波メディア、さらに伝達技術の発達により、通信と放送が融合している最近の状況を法的観点から検討する。 【キーワード】 表現の自由、マス・メディア、新聞、放送、通信と放送の融合、インターネット		
9	生命・身体と公共性	何にもまして「私的」に思われる生命・身体――しかしそれらをめぐる「生命倫理」が目指すのは、「公共政策における基準策定」でもある。こうした「公」と「私」の交錯は、私たちの生命・身体にとって何を意味するのだろうか。過去と未来の間で検討してゆく。 【キーワード】 自己決定権、生命倫理、生権力、生政治、生命科学技術	田中智彦(東京医科歯科大学·准教授)	田中智彦(東 京医科歯科 大学・准教 授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
10	労働と公共性	急増する「ワーキング・プア」と後を絶たない「製品偽装」――労働をめぐりこうした問題が起きたのは、労働をたんなる 「商品」、消費のための「私的な手段」とみなしてきたことに 関係があるのではないだろうか。労働とは何かを「公共性」 の観点から再考する。 【キーワード】 労働の義務と権利、贈与と交換、市場、貧困、自己責任	田中智彦(東京医科歯科 大学·准教授)	田中智彦(東 京医科歯科 大学・准教 授)
11	社会保障と公共性	社会保障は人びとが相互の生活を支え合うための公共の制度である。社会保障制度の意義を明らかにするとともに、今後債権されるべき社会保障制度の条件と方向についても検討を加えたい。 【キーワード】 社会保障、社会的連帯、福祉国家	齋藤純一(早 稲田大学·教 授)	
12	デモクラシーと公共性	公共性とデモクラシーは不可分の関係にある。排除のない 公共の議論は、政治的な意思形成-意思決定が正統であ るための条件であり、また、政府に説明責任を求め、その活 動を批判的に監査するための条件でもあることを明らかに する。 【キーワード】 討議デモクラシー、民主的正統性、民主的統制、公共的理 由	齋滕純一(早 稲田大学·教 授)	
13	ローカルな公共性	地域や地方自治体が直面する公共的価値をめぐる問題について考察する。廃棄物処理場や原子力発電所の立地など、いわゆるNIMBY (Not In My Back Yard) 問題を取り上げる。また「共有地の悲劇」や協調ゲームの含意についても論じる。 【キーワード】 NIMBY問題、迷惑施設の立地、共有地の悲劇、協調ゲーム	神事直人(京 都大学·准教 授)	神事直人(京都大学·准教授)
14	グローバルな公共性	グローバルな公共性の問題として、温暖化をはじめとする 地球環境問題を取り上げる。社会的ジレンマを手がかりに、 その発生メカニズムと問題の構造を考察し、個人の立場と 政府の立場の両面から解決方法を模索する。 【キーワード】 地球温暖化、生物多様性、社会的ジレンマ、多国間環境協定	神事直人(京 都大学·准教 授)	
15	公共哲学の課題と展 望	14回の講義内容を踏まえ、国際社会が直面している諸問題に公共哲学がどのようにアプローチしうるかを明らかにするとともに、親密圏やインターネットなど現代の公共性にとって重要なピックスにも言及する。 【キーワード】 親密圏、インターネット、国際社会、政治的責任	齋藤純一(早 稲田大学·教 授)	齋藤純一(早 稲田大学·教 授)

事務局 記載欄	開講 年度	2013年度	科目区分	大学院科目	科目コート	8930635	履修制限	無	単位数	2	
------------	----------	--------	------	-------	-------	---------	------	---	-----	---	--

科目名 (メディア) = 日本の技術・政策・経営 ('13) = (R)

〔主任講師(現職名): 東 千秋(放送大学名誉教授) 〕

[主任講師(現職名):柴山 盛生(放送大学客員准教授)

【本学担当専任教員:岡田 光正(放送大学教授)

講義概要

日本は、科学・技術立国を国の経営方針として、科学・技術により産業を振興し、国民生活の向上を図ろうとしている。国の政策は、どのような分野を推進し、それに関して基礎科学や基盤技術が、大学や産業においてどのように整備されていくのか、その現状を知るとともにその課題を考える。この科目は、日本の産業技術の歴史と現状からこれからの技術のための政策とそれを実現するための経営について、大学院で研究する上での手がかりを提供するものである。そこでは、科学・技術政策と産業の重点分野の動向及び研究開発支援体制を主に、政策から推進体制さらにその成果までを総括的に扱う。

授業の目標

現在世界は、経済や産業におけるイノベーションの創出に大きな期待と努力を注いでいる。特に日本では、科学・技術立国にふさわしい人材の育成のみならず一般市民の理解力の向上が急務である。そのための知識の獲得と政策の考え方やその成果が社会にどのように波及するのか、科学論や技術論をふまえて理解するとともに、政策を実現するための企業におけるに技術経営の現状を知り、将来を考える力を養う。

履修上の留意点

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	はじめに	科学・技術政策によって経済やが、その成果をどのように国民生に浸透させていけばよいか。このから技術革新、科学・技術政策、様々な課題について考えるためある。開講に際し、授業の目標やともに、本プログラムにおける研究について指導する。 【キーワード】授業の目標、技術社会の現状、の進め方	活、組織、社会などの中 科目は、技術経営の観点 技術管理などにおける の題材を提供するもので 科目の構成を解説すると 完の進め方や論文の作成	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)	東 千秋(放 送大学名誉教 授)柴山 盛 生(放送大学 客員准教授)
2	科学・技術政策-1 米国の動向	アメリカにおける科学・技術政策 以来、経済的な繁栄を目指してい 業競争力を推進する政策をとり、 業などの技術が成長している現場 発に投入する資源が他の国に比 ベンチャー企業の比重が高く、 みられるなどの特徴を知る。 【キーワード】 1980年代までの政策、1990年代	いたが、近年において産 バイオ産業、情報技術産 犬を学ぶ。さらに、研究開 、ベ圧倒的に大きいこと、 産業と大学との連携が多く	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)
3	科学・技術政策-2 欧州の動向	EU加盟各国にはそれぞれの国情でれた応じた科学技術政策を立がローバル化に対応するため、Eレームワークプログラム」が策定な業技術開発や研究開発インフラ競争力の維持・強化、科学技術的衡の是正、欧州経済発展のた進を図っている。 【キーワード】 ドイツの政策、フランスの政策、の政策	案している。一方、経済の 江全体としての政策「フ されている。これにより、産 を改善するための協力、 領域での各加盟国間の不 めの結束の促進などの推	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)

□	テーマ	内	容	講 師 名	
4	科学・技術政策-3 アジアの動向	中国では、高い経済成長を支えるた策を実施しているが、特に技術移転はよってイノベーションを図っている。まに外国から直接投資を受けず自国のとによって成長してきた例と、インドネアのように欧米や日本から直接投資大した例などがあり、これらの動向を対した例などがあり、これらの動向を対し、サ国の動向、韓国の動向、東南アジ	と市場メカニズムに た、韓国、台湾のよう 対術力を育成するこ シア、タイ、マレーシ を受け入れ急速に拡 知る。	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)	(所属・職名) 柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)
5	科学・技術政策 - 4 日本の動向	政府の科学技術政策を総合的かつ め「科学技術基本法」が成立された。 カ年計画の「科学技術基本計画」では げ、新産業の創出などを念頭におい 術の創成に資する研究が強調された かけては、平成23年からの5ヵ年を対 術基本計画をもとに、日本の科学政 いて、その重点と課題を読み解く。 【キーワード】 成長の時代、科学技術基本計画、最	この基本法に基づく5 は研究水準の引き上 た独創的・革新的技 。本章から第10章に 象とする第4期科学技 策の現状や経緯につ	東 千秋(放 送大学名誉教 授)柴山 盛 生(放送大学 客員准教授)	東 千秋(放 送大学名誉教 授)柴山 盛 生(放送大学 客員准教授)
6	重点分野の動向-1 ライフサイエンス	ライフサイエンスは、生命現象を解明成果は、医療の発展、食糧問題・環境がるものである。そのテーマにはゲノ生命科学技術から医薬品、再生科学生物研究、食品の安全などの食料生あり、それらの技術を概観するとともに展望する。 【キーワード】 ゲノム研究、食糧技術、先進医療、ラ	意問題の解決につな ム研究、脳科学などの などの臨床研究、微 産・供給技術などが こ人間社会の未来を	東 千秋(放 送大学名誉教 授)	東 千秋(放 送大学名誉教 授)柴山 盛 生(放送大学 客員准教授)
7	重点分野の動向-2 情報通信	情報通信は、産業のインフラ技術とし取引、電子政府、在宅勤務、遠隔医要な基盤となっている。主な研究領域イス、セキュリティ、ヒューマンインタフある。情報通信政策は国民生活に直きくその影響を考える。 【キーワード】 研究開発領域の概要、海外の情報道政策	療など社会生活に重 或にネットワーク、デバ ェース、ロボットなどが 接影響する事柄が大		柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)
8	重点分野の動向-3 環境	環境分野は、次回のエネルギー利用いる。多様な生物種が生存する自然の生活基盤を維持していくたためにる。その中には、地球観測、気候変質境問題、水・物質循環や流域研究、2源・省エネルギー技術の現状、3R技どが含まれている。それらの現状と将【キーワード】 地球環境問題、自然共生型技術、ク	環境を保全し、人類 必要な研究分野であ 助予測などの地球環 生態系の管理、省資 術、バイオマス活用な 来を展望する。	東 千秋(放 送大学名誉教 授)	東 千秋(放 送大学名誉教 授)柴山 盛 生(放送大学 客員准教授)
9	重点分野の動向-4 エネルギー	我が国では「エネルギー政策基本法ギー基本計画」を定め、エネルギールを進めている。平成23年3月に発生しまえて原子力を含むエネルギー政策なってる。ここでは、今後想定される「球温暖化対策のための低炭素化、エ率化、スマート化ならびに社会基盤のて、研究開発から事業化、社会の普及的な推進方策などの現状を知ると課題を考察する。 【キーワード】 エネルギー基本計画、新エネルギーベーション	上関して総合的な計画 た東日本大震災を踏 の再検討が急務と 電力需給の逼迫と地 ニネルギー利用の高効 のグリーン化につい 及まで各ステップの具 ともに、今後の政策や	東 千秋(放 送大学名誉教 授)	東 千秋(放 送大学名誉教 授)柴山 盛 生(放送大学 客員准教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
10	重点分野の動向-5 ナノテクノロジーと材 料	ナノテクノロジー・材料分野は、ライフサイエンス、情報通信、環境などの社会の進展を支える重要な基盤分野である。産業の振興や安心・安全な生活の実現の基盤となる技術である。この物質・材料の研究開発の動向を知るとともに、今後の政策や課題を考察する。 【キーワード】 物質・材料、ナノテクノロジー技術、環境調和材料技術、ライフイノベーションとグリーンイノベーションの基盤	東 千秋(放 送大学名誉教 授)	東 千秋(放 送大学名誉教 授)柴山 盛 生(放送大学 客員准教授)
11	重点分野の動向-6 社会基盤	豊かで安全・安心な社会を実現するため、社会におけるリスクや利便性に関する研究や技術が必要である。社会基盤分野には、地震・噴火などの自然災害の防災、国際的なテロや犯罪などの治安、交通の安全、輸送機関の整備などが含まれている。この分野における最近の話題と産業や技術に関する課題を検討する。 【キーワード】 生活の安全、社会基盤とその整備、交通・輸送システム	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)
12	技術管理-1 研究開発支援体制	従来、政府の技術開発プロジェクトが、大企業を中心とした研究組合により行われることが多かったが、現在は、公募型の研究によって新規産業の創成につながる研究への助成が増えている。新規産業、ベンチャー育成の中で注目されているのが産学連携である。このような政策の転換とともに、技術経営としての研究開発管理について学習する。 【キーワード】 人材育成、研究基盤、産学連携	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)
13	技術管理-2 国の政策と地域振興 策	地域のイノベーションを促進する施策として注目されているものに地域クラスター政策がある。これは、特定分野における関連企業、関連機関が地理的に集中し、競争しつつ同時に協力している状態を意味する。欧米アジアでは、これを国のイノベーションの推進政策と位置づけ、戦略的に展開されているが日本ではまだ十分発達していない。このような地域振興策の動向を知る。 【キーワード】 地域振興施策の経緯、最近の地域振興施策、海外のクラスター	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)
14	技術管理-3 研究開発の管理と評 価	新しい製品を企画するために、研究開発を担当する人材の管理や事業策定を行う計画管理に関連する事柄について考える。新事業の計画にあたっては、技術の発展状況を示す技術ロードマップの作成などが技術経営の手法として用いられている。高度な技術社会では、特許に代表される知的財産が競争優位性に大きな役割を演じる。このような研究の管理や評価方法について考える。 【キーワード】 技術戦略、研究開発の評価の考え方、知的財産・技術情報の整備	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)	柴山 盛生 (放送大学客 員准教授)
15	おわりに	政策、産業の動向、技術経営に関連して、組織における技術管理の進め方、技術管理者にとっての知識、意思決定の方法などを考える。そのための技術動向、技術予測、技術情報管理などの最近関心が高い話題と今後の科学や技術あり方を探る。 【キーワード】 知的財産に関する政策、政策と産業、特許出願の考察		東 千秋(放送大学名誉教授)柴山 盛生(放送大学 客員准教授)

科目名 (メディア) = 行政裁量論 ('11) = (R)

[主任講師(現職名):原島 良成(熊本大学准教授)

[主任講師(現職名): 筑紫 圭一(上智大学准教授)

【本学担当専任教員:來生新(放送大学副学長)

講義概要

行政裁量の法的コントロールは、行政法学の主要な理論的関心対象であると同時に、行政実務に携わる者、また過剰・過少な行政的規制に直面しその問題性を追及する者にとって、現実の関心事である。行政裁量論が関係する社会問題の裾野は広く、原子力発電や鉄道事業の認可といった大規模なものから、外国人に対する在留特別許可、産業廃棄物処分場の立地に関する住民運動等、およそ行政的規制の妥当性が問題とされるあらゆる場面に及ぶ。本科目は、そのような具体的関心と結びつけながら、行政法学が蓄積してきた基礎理論を提供し、主要な裁判例を解説し、国内外の最新の話題について分析を加える。

授業の目標

行政法理論を現実の社会問題に適用して、自ら思考する能力を養う。

履修上の留意点

法学一般に関して、大学教養課程で講じられる程度の基礎知識が求められる。また、行政法理論については、受講前に小型の入門書を読了していることが望ましい。藤田宙靖『行政法入門「第5版]』(有斐閣)が好適である。

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
1	行政法の基礎理論	行政活動を法的に統制する必要論」の意義を確認する。「法」に。る統制が行政法総論の基本原理 その限界を探る中で、行政裁量していく。 【キーワード】 法律による行政 法の支配 権力 で 過程	よる統制ではなく「法律」によ 理とされていることの意味と 論の目的と方法を明らかに	原島良成(熊	原島良成(熊 本大学・准教 授) 筑紫圭一(上 智大学・准教 授) ゲスト: 阪本 成(近畿大 学・教授)
2	行政裁量の概念	行政裁量とは何か。また、行政表行政裁量の意義と存在理由を、 「本の対量の意義と存在理由を、 「キーワード」 専門技術的裁量、政治的裁量、	具体例を挙げて説明する。	筑紫圭一(上智大学·准教授)	原島良成(熊 本大学・准教 授)筑紫圭一 (上智大学・ 准教授)
3	行政裁量に対する制 約一行政裁量の有無 を中心に	行政裁量は、何を手がかりとしてれるのか。行政裁量が「法律に。当たるとすれば、どういった場合要な問題である。①行政裁量の変遷を示した上で、②実際の紛量の有無が問題となる場面を具【キーワード】 公共の福祉、許可基準、要綱行	よる行政」の原理の例外に に「例外」を認めるかは、重 発見方法に関する学説の 争事例を取り上げ、行政裁 体的に分析する。		原島良成(熊本大学・准教授)筑紫圭一 (上智大学・ 准教授)

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	行政処分と裁量	行政処分は、原則として、法律が とでなされるべきである。しかし、一 の法律は、個別具体の案件に適見 じることがある。すなわち、法律の定 定できないことがある。結果として、 に判断しているように見えることが 由」なのか。具体例を挙げて検証 【キーワード】 行政行為、自由裁量と覊束裁量	一般的、抽象的な書き振り 目するに当たり、疑義が生 示すところを一義的に劃 、行政がある枠内で自由 ある。それは本当に「自		原島良成(熊 本大学・准教 授)筑紫圭一 (上智大学・ 准教授)
5	行政立法と裁量	法律の指示するところが曖昧であったの基準の下で公平に行われた変わりはない。政令、省令といった律の規範内容が充填されることは予定されているところでもある。行がら、また国会の立法裁量との相立法裁量の特殊性を把握する。 【キーワード】 行政立法、裁量基準、立法裁量	なければならないことに、 行政立法のかたちで、法 、時に、法律で明示的に 政処分の場面と対比しな	原島良成(熊 本大学・准教 授)	原島良成(熊本大学·准教授)筑紫圭一 (上智大学· 准教授)
6	行政計画と裁量	複雑かつ不確実な世界で公益を 法律から行政立法が生まれ行政な ルなモデルでは説明しきれない事 望の下、規制、誘導に関する諸手 しての法政策に対する需要が、行 る。そのような政策立案主体として 範な裁量を要求する。 【キーワード】 行政計画、パブリック・インヴォルヴ	型分に到る、という、シンプ 象が多い。長期的な展 法を組み合わせた計画と 政国家化を後押ししてい の役割は、必然的に広	原島良成(熊 本大学·准教 授)	原島良成(熊本大)筑紫圭一 (上教授)発表で、 (上教授) (上教授) (上教授) (世教授) (世教授) (世教授) (世教授) (世教授) (世教授)
7	行政指導と裁量	行政活動を法行為のみで語りつく 法的効果を伴わない「事実行為」は、比較的簡素なものであったが、 適法性を中心に裁判例の充実が、 政立法における裁量との関連で、 その限界を考察する。 【キーワード】 行政指導、法行為と事実行為	こ対する行政法学の対応 、今日では、行政指導の 見られる。行政処分、行	原島良成(熊 本大学·准教 授)	原島良成(熊本大学·准教授)筑紫圭一 (上智大学· 准教授)
8	行政裁量概念の再検 討(講義前半のまと め)	行政過程を法律家の問題意識を対 行政裁量の現象を学びその適正はかならない。行政には、機械的な 公共の福祉を擁護し増進させると る舞いが求められている。行政を終 をどのように受け止めているか。こ 理し、行政裁量概念を再確認する 【キーワード】 行政過程論 行政の行為形式	なあり方を構想することにな法律の執行を超えて、いう、実に「裁量的」な振 専るはずの法は、そのことれまでに見た具体例を整		原島良成(熊本大学・准教授)筑紫圭一 (上智大学・ 准教授)
9	行政裁量統制の仕組 み	行政裁量がどこまで認められていで法を執行する職員にとっての切政裁量の影響を受ける市民の視点どのように統制し、恣意的専断的なかけるか、ということに、関心が向について、法整備と裁判例蓄積の説する。 【キーワード】 行政手続法、行政不服審査法、行	実な関心事であるが、行気からすると、行政裁量を気からすると、行政裁量をな行政にいかに歯止めをけられる。そのための手続い経緯を踏まえながら、概		原島良成(熊 本大学・准教 授)筑紫圭一 (上智大学・ 准教授)

□	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
10	行政立法の司法審査	従来、行政立法の適法性を訴訟で争う機会は、限定されていた。しかし2004年の改正行政事件訴訟法は、公法上の当事者訴訟として確認訴訟を明記し、行政立法を争う途を拡大したものと期待されている。こうした動向と今後の展望について論じるとともに、行政立法の裁量論を深化させる必要性について述べる。 【キーワード】 白紙委任禁止原則 委任範囲の逸脱 適用前審査 確認訴訟と確認の利益	筑紫圭一(上 智大学·准教 授)	原島良成(熊本大)筑紫圭一 (上智大学・ 権教授) ゲスト:野央大 (学・教授)
11	行政立法の手続的統 制	行政手続は、行政機関が裁量を行使する過程に影響を及ぼし、慎重な考慮を確保して恣意的な権限行使を防止したり、国民の意見を反映した合理的な意思決定を促進したりする。2005年に行政手続法の改正で実定法化されたパブリック・コメント手続(行政手続法第6章38-45条)は、行政立法の制定過程に影響を与える、一つの重要な裁量統制手段である。 【キーワード】パブリック・コメント(意見公募手続) 命令等 恣意抑制機能 争訟便宜機能 市民の参加権 手続的瑕疵	筑紫圭一(上智大学·准教授)	
12	行政立法の議会統制 と行政内部統制	行政立法に対しては、司法的統制以外にも、様々な統制が及ぶ。たとえば国会は、法律の制定改廃や各種手続の整備を通じ、行政立法の制定に関与している。また行政内部においても、様々な調整活動が行われており、個々の行政立法もその影響を受けている。ここでは、①国会の統制と行政内部の統制について整理した上で、②今後の展望について若干の検討を加える。 【キーワード】 法律の規律密度 国会の事後承認手続 行政の内部統制	筑紫圭一(上智大学·准教授)	
13	アメリカにおける行政 立法の司法審査	行政立法の司法審査は、他国でも重要な問題である。米国では、行政立法の適用前審査を早くから認め、厳格な統制を加えてきた。日本と事情が異なる外国の例を学ぶことは、日本行政法の特徴を把握することに役立つであろう。 【キーワード】 APA(連邦行政手続法) 略式規則制定手続 審査基準(審査密度) 行政記録	筑紫圭一(上智大学·准教授)	原島良成(熊本大学・准教授)筑紫圭一 (上智大学・ 准教授) ゲスト: 古城誠 (上智大学・ 教授)
14	行政立法統制の課題 (講義後半のまとめ)	行政立法に対する司法審査は、どうあるべきか。第10回から第13回の授業内容を踏まえつつ、今後の課題について論じる。 【キーワード】 厳格な裁量審査の是非 行政過程の機能不全(硬直化)	筑紫圭一(上智大学·准教授)	
15	行政裁量論の展望	これまでの講義内容を総括し、行政裁量を論じる上で必要な視点を整理する。 【キーワード】 無瑕疵裁量行使義務 説明責任	筑紫圭一(上智大学·准教授)	

科目名 (メディア) = 20世紀中国政治史研究 ('11) = (R)

[主任講師(現職名): 西村成雄(放送大学教授)

講義概要

21世紀に入り、内外ともに政治経済的存在感を高めている中国について、20世紀史的な歴史的視点と現状認識的視点を基軸とし、政治的正統性の磨滅流出過程と新たな正統性構築過程の交錯する局面を分析する。さらに、その制度的基盤との関係性のなかで、政治的正統性の中国的特質を再定義し、今後の政治的変容の諸条件を解明する。

授業の目標

アジアの中の日本が、中国という政治的存在をどのように認識してきたのかを含め、100年中国の政治史を一望のもとに俯瞰し うる論理を提起したい。第一に、政治的支配の正統性問題からみた100年中国の変容過程と、第二に、正統性の対外的資源と しての国際的地位の変容過程をあきらかにしたい。

履修上の留意点

政治学、国際関係論および世界の地域研究に関連する講義の受講を期待する。

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
1	20世紀中国の政治 空間 一その国民国家形成 と正統性原理—	21世紀に入り、内外ともにその政治経済 ついて、20世紀史的な歴史的視点と現状なかに位置づけなおし、現代中国の再認 民国家体制の生成と展開過程、さらに変! 正統性原理と制度化がどのように社会のが という分析課題にほかならない。つまり、対 いは社会内部からどのように新たな正統性 としての諸局面をあきらかにしたい。ととも 響を与えた国際的条件と対外的正統性の 入れて、20世紀中国政治をとらえなおすご 【キーワード】 国家と社会の政治空間、正統性(legin成、立憲共和制、政党国家(党国)体 周期説、国際的条件	認識的視点という複眼的視野の 識を試みたい。それは、近代国 動過程を、国家の政治的支配の 則に受容され抵抗を受けたのか け内的正統性の磨滅流出、ある 性が構築されたのかという政治史 に、そうした政治体制変動に影 り内部化過程についても視野に とにある。	西村成雄(放 送大学教授)	西村成雄(放 送大学教授)
	長い20世紀のはじまり り 一国際的条約の内部 化と清朝正統性の再 調達一	中国世界が世界の中の中国への日清戦争の敗北は清朝中枢権した。1898年の戊戌変法は長い2朝は20世紀初頭の10年をかけて、性を再編し、1907年には立憲主主政院という国会も開設したが、その受容されないほどの政治的矛盾の制導入の歴史的意味をとらえなま【キーワード】日清戦争、戊戌変法、義和団運動、憲法大綱	力の構造的変容をもたら 0世紀の起点であった。清 、その政治的支配の正統 後の導入にふみきった。資 り正統性はもはや社会に りなかにあった。立憲君主 らしたい。	西村成雄(放 送大学教授)	西村成雄(放 送大学教授)

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
3	立憲共和制の国家正 統性 —中華民国北 京政府の政治変動—	清朝の支配の正統性は、1911年武した。あらたな政治的正統性を提起しする革命派であり、1912年1月南京に月には清朝皇帝を退位させた。ここは共和制国家の誕生があり、1913年にその後1925年頃までは総統制、議会対外的対内的正統性が承認されてい【キーワード】 辛亥革命、中華民国臨時政府、孫文、袁世凱帝制、議会制、「護法政府」、連省自年「中華民国憲法」、曹錕、北伐戦争	たのは孫文を中心と 二中華民国を樹立し、2 こアジアで最初の立憲 は議会が開設された。 注制、さらに北京政府の いた。	西村成雄(放 送大学教授)	西村成雄(放 送大学教授)
4	中華民国再生への道 一新たな国家・政府 正統性構築—	衰世凱死後の北京政府の正統性を1917年広州に中華民国臨時約法の樹立した。中国国民党による国民政の約10年間は、政府レベルの正統性となった。1924年国共合作のもとですその後広州、武漢、南京の国民政府は対外的にもその正統性を獲得した【キーワード】 国共合作、北伐戦争、広州・武漢・南京「介石、4・12中国共産党弾圧事件、張作	回復を主張する政府を 府樹立の1928年まで には事実上の分裂状態 と京政府打倒をめざし、 が組織され、1926年に 。 国民政府、農民運動、蒋	西村成雄(放 送大学教授)	西村成雄(放 送大学教授)
5	中華民国「党国体制」の正統性―政治統合ともう―つの「党国体制」―	1928年10月、国民党は「訓政綱領」を決中華民国国民政府の樹立を明確にした。するという「党国体制(政党国家ともいう) れた。その実施過程には中国共産党鎮にが、蒋介石への権力集中がすすみ、「国家建設と国民統合政策が展開した。こ変後の民族的抵抗は中国政治のあらたに他方、中国共産党は1931年中華ソビエト国と対抗した。 【キーワード】 訓政綱領、中華民国訓政時期約法、党「変、国際連盟、「南京の10年」、中華ソビ	国民党が政府と一体化」の政治的経路が創出さ 王作戦も含め曲折があっ 南京の10年」といわれる。の間、1931年満満洲事な正統性根拠となった。 共和国を樹立し、中華民 国体制、「囲剿」、満洲事	西村成雄(放 送大学教授)	西村成雄(放 送大学教授)
6	「党国体制」下の憲政 移行プログラム ― 「五五憲法草案」と西 安事件―	1928年10月の中国国民党「訓政綱領」と31年6月の約法」は、中華民国憲法に準じる根本法の制定であ表をア・プリオリに中国国民党を等置した「政党国家したものであった。訓政時期約法ば「人民」自身が主論として規定された。 中国国民党を「国民代表」としの正統性を確保しようとした。しかし、約法そのものかとを明文化していたこともあって、1932年12月には立「憲法起草委員会」が国民政府内に組織され、1936に、東北四省の回復を明記したことは「西安事件」の【キーワード】 憲法起草委員会、孫科、憲政運動、「五選挙、西安事件、張学良	った。それらは、国民の政治的代 体制=党国体制」を法的に確認 権を行使しえない「党治」(訓政 て擬制することによってその支配 、「憲政への準備段階」にあるこ 法院院長孫科を責任者とする 年5月5日に「憲法草案」が公布さ 「憲法草案」第4条の領土規程 契機でもあった。	西村成雄(放 送大学教授)	西村成雄(放 送大学教授)
7	正統性のゆらぎ ―	日中戦争が本絡化したもとで、国民党にとって、全民族的抵抗をどう組織的課題となった。1937年には第二次1938年設置された国民参政会は、中も参加しうる事実上の政治的なプラッた。と同時に、国民参政会は、国民党をゆるがし、連合政府樹立プランすらな中国政治の正統性の創出につなる【キーワード】	はするかが重要な政治 国共合作を実現した。 中国共産党などの党派 トフォームとして機能し 党訓政そのものの基盤 っ提起され、これが新た がった。	西村成雄(放 送大学教授)	西村成雄(放 送大学教授)

□	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
8	戦後中国における二 つの正統性の相克 一その政治的帰趨一	第二次世界大戦の終結とともに、関係」という構造が生まれた。アメリカと、中華民国内の中国国民党、中国三方関係がアメリカやソ連と関係する明確となった。この政治的構図は、1月の政治協商会議を経た多党派は国民党による訓政下の国民大会開イニーの正統性として示された。国共軍の48年11月の東北解放を契機に家建設のための新政治協商会議路異なる新たな国家・政府正統性を獲【キーワード】ヤルタ会談、ポツダム会談、重慶会(制憲)国民大会、中華民国憲法、	カ、中華民国、ソ連の三ヵ国 財共産党、第三政治勢力というる五方関係の政治的対立が 1945年10月の重慶会談、46年 1945年10月の重慶会談、46年 1月 個によって、明瞭に対立する 内戦の軍事的帰趨は、中共 、中国共産党指導下の、新国 線が推進され、中華民国とは 1947年 1947年 1958年 195	西村成雄(放 送大学教授)	西村成雄(放 送大学教授)
9	中華人民共和国の国家正統性構築 一 「冷戦」から」「中ソ対立」への17年一	ソ連社会主義圏の一員として参は、朝鮮戦争への動員を通じて、内的にその政治的正統性を確立リン死後のソ連とは異なる社会主立にまですすんだ。この間の社会国有経済の優位するシステムの産党への集中をはかった。建国へゲモニー政党制から事実上のに政治的に毛沢東個人の優越的行した。 【キーワード】 中華人民共和国、朝鮮戦争、54年、八全大会、大躍進、人民公社、中ソ	、社会主義圏内および国立した。1957年以降、スター主義への道を主張し中ソ対会主義的経済建設によって構築と、政治権力の中国共当初の民主党派を含んだり一党制へと転換した。さら内地位を認める段階へと移憲法、社会主義的改造、中共	西村成雄(放 送大学教授)	西村成雄(放 送大学教授)
10	「文化大革命」の正統性 資源とその崩壊 ―毛 沢東政治の臨界点―	1966年にはじまる「プロレタリアー」 毛沢東個人への忠誠を前提としたし、政治経済的、さらには社会的混り連に対抗する必要性のなかで、15換した。その前年、中華民国に替わとして国際社会に復帰した。しかし、極限にまでゆきつくなかで、毛沢東がる現実主義的政治勢力の対抗をの死を契機に、その個人に集中したし、現実主義的な党の担い手が復済再調達することになった。 【キーワード】 プロレタリアート文化大革命、紅衛兵連議席回復、中米・中日国交回復、沢東の死、三中全会	一元的政治支配体制に移行 乱を生みだした。国際的には 372年には対米国交回復へ転 つて国際連合の常任理事国 毛沢東の国内政治は、その 派と、中共党組織の回復をは 生みだした。76年9月毛沢東 立政治支配の正統性は崩壊 舌し、新たな支配の正統性を 年、革命委員会、林彪事件、国		西村成雄(放 送大学教授)
11	時代の幕開け 一華 国鋒からの実権奪取	毛沢東後の最高指導者に就い絶対化し、固守することで、政権たが、自ずと限界があった。逆に台頭したのが鄧小平だった。軍れて」を論破したことで、鄧小平は1権を奪取した。そして後に高度経革・開放路線がスタートした。鄧がを提唱し、「党と国家の指導制度 制度改革の方針を明らかにした。指導の基礎をなすものとなった。【キーワード】「2つのすべて」、「真理の基準」。全会、改革・開放、4つの基本原の改革について」「歴史決議」	掌握の正統性の根拠とし :毛沢東を否定することで、 権を掌握し、「2つのすべ 1978年の11期3中全会で実 圣済成長へとつながる改 小平は、「4つの基本原則」 この2つは、その後の党の 論争、名誉回復、11期3中	(日本貿易振 興機構・アジ ア経済研究 所・地域研究 センター副主	佐々木智弘 (日本貿易振 興機構・アジ ア経済研研 ・地域研研 セン研究 と研究員)

_	T			1	1
□	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
12	改革・開放の進展と 六四天安門事件 ― 鄧・胡・趙のトロイカ 体制と長老の抵抗―	改革・開放が進展し、市場か計でが生起すると、改革派は胡耀邦やらの慎重派に分かれた。そして社こると、改革派内の分裂に党の指反映され、政治闘争にエスカレー鄧小平をめぐる権力闘争へと転们のブルジョア自由化反対闘争と15であり、胡耀邦と趙紫陽が失脚の【キーワード】 ブルジョア自由化反対、精神汚染四天安門事件	や趙紫陽らの推進派と長老 会からの民主化要求がお 導の是非をめぐる対立が ・トした。それはさらにポスト としたのが、1986~1987年 989年の六四天安門事件 優き目を見たのである。	佐々木智弘 (日本貿易振 興機構・アジ ア経済研究 所・地域研引主 任研究員)	佐々木智弘 (日本貿易振 興機構・アジ ア経済研究 所・地域研副主 任研究員)
13	遺症と市場経済化の	六四天安門事件後、趙紫陽を好が続き、さらに国際的な対中制裁時的にストップした。鄧小平は199に流れを改革・開放の加速に転じリーダーシップにかけた江沢民だ社会主義市場経済を掲げ、改革、高指導者としての権威の確立に近月、鄧小平が死亡し、改革・開放は終焉を迎えた。 【キーワード】 平和的転化、南巡講話、社会主義威、軟着陸、国有企業改革、WTG	地加わり、改革・開放は一 92年初頭の南巡講話を機 た。総書記就任当初は ったが、第14回党大会で 路線の継承を宣言し、最 邁進した。そして1997年2 を突き進んだ鄧小平時代 義市場経済、中央の権	佐々木智弘 (日本貿易振 興機構・アジ ア経済研究 所・地域研究 センター副主 任研究員)	佐々木智弘 (日本貿易振 興機構・アジ ア経済研究 所・地域研究 センター副主 任研究員)
14	統性の模索 ― 江沢	新たな最高指導者、江沢民と胡錦泊 リゼーション、社会階層の変化に対応性の模索を迫られた。江沢民は「3つ階級政党から国民政党への転換を打権安定のために台頭する私営企業等り、エリート政党色を強めた。胡錦濤はげ、社会の不安定要素となっている相関としている。この弱者重視の「調和たな一党支配の正統性になりうる可能【キーワード】 三大改革、三つの代表、格差、課党内民主、エリート、非エリート	にた新たな一党支配の正統の代表」重要思想を提示し、 の代表」重要思想を提示し、 了ち出したかに見えたが、政 家の共産党への取り込みを図は「調和社会」の構築を掲 各差の縮小を政権の至上命 社会」の実現が共産党の新 能性を有している。	佐々木智弘 (日本貿易振 興機構・アジ ア経済研究 所・地域一副主 任研究員)	佐々木智弘 (日本貿易振 興機構・アジ ア経済研究 所・地域研引主 任研究員)
15	21世紀中国における 政治的正統性変容の 諸条件	2001年12月のWTO加盟承認が、登して国際的に振り込まれたとすれば、の政治的帰結点でもあった。第4四半は、経済的中間層の生成と蓄積を社的正統性を制度化する可能性を内存間の経済的格差の増大に象徴されるが、どのような新たな政治的課題を生たい。もちろん、政治共同体内の民族際問題化する条件もあり、それらを含理解が必要となっている。 【キーワード】 中華人民共和国の歴史的位置、政治係」、WTO加盟	それは20世紀、100年中国 世紀段階の中国政治空間 会的基盤として、新たな政治 Eさせている。と同時に、この 6社会的経済的矛盾の激化 Eみだしているのかに注目し 実問題や台湾との関係が国 かた総合的かつ内在的中国	西村成雄(放 送大学教授)	西村成雄(放 送大学教授)

科目名(メディア) =

地域の発展と産業

('11) = (R)

〔主任講師(現職名): 河合明宣(放送大学教授)

講義概要

私たちの生活や生産活動にとっての地域の役割が重要度を増している。これは、グローバル化の中で大きな影響を被った個々の生活及び生産活動の見直し、建て直しを図ることが主要な背景の一つとなっている。地域経営、地域産業、内発的発展、発展途上国における参加型農村開発等に関する先行研究の論点の整理を通して、地域の形成に関わるアクター(担い手)に注目し、持続可能な開発が求められる21世紀における地域像を考察する。

授業の目標

地域に関わる研究は、幾つかの流れがある。デシプリン(方法論)の違いに分けて先行研究をサーベイする。地域は、地球、 国際、世界さらに国家や経済、産業、社会等のように広大で抽象度が高く、見えない存在ではない。関心と方法を持てば、地域を把握しうる。地域は、私たちが一員として生活し、地域のあり方を決める決定に参加しうる身近な単位である。紹介する幾つかの事例から、地域にどのように関わるかについても学んで欲しい。

履修上の留意点

学部科目の「アグリビジネスと日本農業('14)」や「NPOマネジメント('11)」等を復習することが望ましい。

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	地域研究とは	わが国における地域研究は、戦後復興を経て1960年代にアジア経済研究所や国立大学に新設された研究所等で始まった。こうした地域研究の背景、その後の成果、提起された課題等をサーベイする。 【キーワード】 地域研究、日本の地域研究、地域研究対象		河合明宣(放 送大学·教 授)
2	地域の研究・地域の 再生	戦後日本の地域研究は、外交や通商政策上の必要性から推進された側面を持っている。一方、こうした戦後地域研究の広がりと深まりから地理学、歴史学、水利学、農学等を基礎に発展途上国への国際協力研究に一定の蓄積が見られた。こうした研究動向を踏まえて本科目構成を概説する。 【キーワード】 共同問題、地域研究、地域社会	河合明宣	河合明宣
3	日本における地域史 研究と「地元学」の展 開	1970年代以降、県史、次いで町村史刊行事業と資料収集及び文書館創設という行政主導の地域研究が展開した。他方で、水俣の反公害闘争や過疎の農村地域再生という切実な課題解決を指向する「地元学」や「地域学」等が各地から生まれている。1990年代には、市町村レベルで郷土資料館等、地域をよく知るための場が生み出されるようになる。この動向を見る。 【キーワード】 地方史編纂、郷土資料館、地元学、地域文化		河合明宣

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	内発的発展論と環境 論	海外を対象とした地域研究の進展と、並行する形で国内では東北学等を先駆して「地域学」や「地元学」が提唱されてきた。内発的発展論は、海外と国内の地域研究において注目される。鶴見和子による内発的発展論の主要な課題を整理する。 【キーワード】 地域、内発的発展論、漂泊定住、地方自治	河合明宣	河合明宣
5	地域発展の方法論とその応用	地域の経済発展をどう捉えるべきか。発展・変化の観点から地域の把握、何を基準にした発展の目標であるのか。発展を担う主体をどう把握するか。地域経済論の方法論を述べる。 【キーワード】 地域経済創生の自治、新しい自治、地域本体形成の自治、農業の六次産業化、新しい農の価値		小倉行雄(放 送大学·教 授)
6	自治体の実践からの検証	地域発展計画策定に関わった国内の事例を基に、具体的に、論述する。経済構造の相違、国、地方行政の施策、担い手等における相違に注目する。また、その成果の評価法にも言及する。 【キーワード】 地域経済の基盤づくり、行政における事業部的組織、新しいまちの創生	小倉行雄	小倉行雄
7	地域研究の方法論: 地理学	地域の把握において空間的広がりを地形図上に描くことが基本になる。地理学は、気候、植生、土壌、産業、都市・農村、民族、政治等の分布を空間として捉えるのみならず、空間的相違の構造、時間的変化の把握においても研究を積みあげている。地理学による地域研究について述べる。 【キーワード】 地域の把握、重層的な空間の把握、歴史的変化の把握	井大学教育	月原敏博(福 井大学教育 地域科学部・ 教授)
8	マングローブ林の地 域生態史	森林は人間に様々な物資を提供している。また多くの野生生物の生息地でもある。地域レベルでの森林利用と地球規模での森林の重要性について森林生態学の研究を概説する。今日における森林の減少と保全の問題にも触れる。 【キーワード】 熱帯雨林、里地・里山、生態史、マングローブ林、エビ養殖、生物資源利用、地域の履歴	竹田晋也(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研	竹田晋也(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・准教授)
9	地域研究の方法	日本を含めアジアモンスーン気候下では、稲作を中心にした家族農業によって多くの人口が支えれれている。稲作及び畑作、さらに家畜や森林の利用、漁業との結びつき方等から多様な生業と土地利用、集落景観が広がる。農学の観点からの地域の把握方法を学ぶ。地域のまとまり(固有性)と外部世界との関係に注目した「在地性」が重視される。 【キーワード】 公益型環境問題、実践型地域研究、社会的ソフトウェア、当事者性	安藤和雄(京都大学東南アジア研究所・准教授)	安藤和雄(京都大学東南アジア研究所・准教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
10	農村研究の視点-在 地の絶対肯定-	内発的発展論と関連させて、「在地」論を述べる。農村地域における「在地性」が地域の発展にいかなる意義を有するかに注目する。 【キーワード】 絶対肯定の哲学、在地の自覚、過疎と離農、宮本常一	安藤和雄	安藤和雄
11	地域研究の方法論: 歴史学	地域研究における歴史的把握の意義を述べる。土地や災害、環境等について歴史的記述は可能である。ここでは、地域が継承している制度として集落、最も住民に近い地方行政(基礎的単位)について、バングラデシュを事例として説明する。 【キーワード】 ユニオン、集落形成史、集落組織、バングラデシュ		河合明宣
12	地方行政·地方自治 体	基礎的単位としてのユニオンの歴史的変遷を軸に、郡―県―国に編成される中央―地方関係を論ずる。 【キーワード】 バングラデシュのユニオン、住民参加型農村開発、リンクモデル	河合明宣	河合明宣
13	開発の理念	ブータンが国際社会に登場した1960年代から2008年成文憲法発布、総選挙実施による地方議会(県/郡二議会)制導入にいたる半世紀を概観する。国家統治体制整備と住民参加による地方自治が段階的、並行的に進行した経緯を述べる。環境保全重視の発展理念と政策決定におけるリーダーシップに注目する。 【キーワード】 国民総幸福(GNH: Gross National Happiness)、地方議会、ブータン	河合明宣	河合明宣
14	地域発展の基礎単位	国家レベルでの資源配分は様々な配慮を経て、地方に渡る。地方で得た資源と中央から配分された資源の利用は地域の発展計画に基づいてなされる。環境や貧困等のグローバルな課題を含め、住民参加型政策決定のあり方を考える。 【キーワード】 経済発展計画、キャパシティ・ディベロップメント、基礎的自治体	河合明宣	河合明宣
15	地域産業論	現代において生活するために必要な活動は産業である。 地域における産業のあり方は、生活の質、生活し消費する 住民の満足感に影響を与える。この点に関連させて地域 の持続性を論ずる。 【キーワード】 日本の発展、アジアの発展、持続的発展、学習する社会	河合明宣	河合明宣

事務局 記載欄	開講 年度	2012年度	科目 区分	大学院科目	科目コード	8930627	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = 産業立地と地域経済 ('12) = (TV)

〔主任講師(現職名): 松原 宏(東京大学大学院教授)

〔主任講師(現職名):

【本学担当専任教員:原田順子(放送大学教授)

講義概要

産業立地と地域経済に関する基礎理論を解説するとともに、現代の産業立地と地域経済の特徴を整理し、新たな検討課題を考える。講義の前半では、農業、工業、商業・サービス業の順で産業立地論の基礎理論と現代的な立地への応用、地域経済や地域経済循環の捉え方について、事例をあげながら検討する。後半では、グローバリゼーションとローカリゼーションの局面に分けて、それぞれ産業立地や産業集積の特徴、地域経済への影響を論じ、最後に立地政策と地域政策の理論・歴史・課題を検討する。

授業の目標

産業立地の基礎理論である古典的立地論と、経済地理学による地域経済や地域経済循環の捉え方を修得する。その上で、最近の産業立地や地域経済の実態を取りあげ、それらの理解を深めるとともに、政策的課題を構想し、政策を立案する力を養成する。

履修上の留意点

特になし

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
1	産業立地と地域経済 の課題	科目全体の導入回として、産業立ついて、論点を提示するとともに、行う。同時に、科目の構成と授業 【キーワード】 地域問題、地域間格差、地域の	, 科目の到達点の提示を の進め方を示しておく。	松原 宏 (東京大学大 学院教授)	松原 宏 (東京大学大 学院教授)
2	農業立地の基礎理論	農業立地の基礎理論として、チュ容を紹介する。あわせて、現代農観点を整理し、農業立地論の今名 【キーワード】 チューネン圏、距離、輸送費、地由化、産直、食の安全性、フード	業の立地に関する新たな 後の課題を提示する。 代、複数市場、農産物自	松原 宏 (東京大学大 学院教授)	松原 宏 (東京大学大 学院教授)
3	工業立地の基礎理論	工業立地の基礎理論として、ウェ容を紹介する。あわせて、現代工観点を整理し、工業立地論の今行 【キーワード】 立地因子、立地条件、輸送費指向、集積、立地原則、次最適立地学	業の立地に関する新たな 後の課題を提示する。 向、原料指数、労働費指	松原 宏 (東京大学大 学院教授)	松原 宏 (東京大学大 学院教授)

回	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
4	商業・サービス業立 地の基礎理論	商業・サービス業立地の基礎理論として、クリスタラーの中心地論およびレッシュの経済立地論の内容を紹介する。あわせて、現代商業・サービス業の立地に関する新たな観点を整理し、商業・サービス業立地論の今後の課題を提示する。 【キーワード】 中心地、財・サービスの到達範囲、上限、下限、階層規定財、市場原理、交通原理、行政原理、消費者行動論、ドミナント戦略	松原 宏 (東京大学大 学院教授)	松原 宏 (東京大学大 学院教授)
5	地域経済の理論と地 域経済循環	地域経済に関するこれまでの諸説を検討し、それらに代わる経済地域の考え方を紹介する。あわせて、ヒト・モノ・カネ・情報の地理的流動に関する議論を紹介し、それらを総合化した地域経済循環モデルについて解説する。 【キーワード】 自治体経済論、地域経済論、地域経済循環、局地的市場圏、地域社会論、マネーフロー、情報拡散理論	松原 宏 (東京大学大 学院教授)	松原 宏 (東京大学大 学院教授)
6	雇用・労働の経済地 理学	欧米の経済地理学では、これまで副次的な扱いであった雇用・労働に焦点を当てた新たな研究潮流が生まれている。こうした「労働の地理学」の骨子を解説したのち、それを踏まえて戦後日本の労働市場を高度成長期、安定成長期、低成長期に分けて分析する。 【キーワード】 労働の地理学、労働市場の社会的調整、労働力移動、企業内地域間分業、地域労働市場、間接雇用	中澤高志 (明治大学教 授)	中澤高志 (明治大学教 授)
7	グローバリゼーション と立地	グローバル競争の下での産業立地、とりわけ多国籍企業の 立地について、理論と実態の解説を行う。多国籍企業と場 所の関わりについて検討する。 【キーワード】 多国籍企業、プロダクトサイクル論、折衷理論、相互浸透論	宮町良広 (大分大学教授)	宮町良広 (大分大学教 授)
8	グローバリゼーション と地域経済	地域経済統合の進展、グローバル化による地域経済の変化について、理論と実態の解説を行う。多国籍企業が受け入れ地域の経済に及ぼす影響についても説明する。 【キーワード】 地域経済統合、レギュラシオン理論、グローバル・ローカル関係論、「グローカル化」	宮町良広 (大分大学教 授)	宮町良広 (大分大学教 授)
9	ローカリゼーションと 産業集積論	古典的産業集積論から新産業集積論にいたる代表的な理論を紹介するとともに、現代産業集積に関する新たな観点を整理し、産業集積論の今後の課題を提示する。 【キーワード】 産業地区、柔軟な専門化、ミリュー、新産業空間、取引コスト論、産業クラスター、ダイヤモンドモデル、文化産業集積、都市集積	松原 宏 (東京大学大 学院教授)	松原 宏 (東京大学大 学院教授)
10	立地調整論	新設、閉鎖、移転、現在地での変化に着目する立地調整 論の内容を紹介するとともに、最近の日本の工場立地動向 や機能変化について、解説を行う。 【キーワード】 組織論的立地論、企業文化、スクラップ・アンド・ビルド、研 究開発機能、空洞化、国内回帰		松原 宏 (東京大学大 学院教授)

□	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	先端産業の立地と集 積	産業構造、生産システム、企業組産業の立地と集積について、実態論的課題を提示する。 【キーワード】 R&D、知的財産、オープン化とブラ賞競争、共立地	を紹介するとともに、理		近藤章夫 (法政大学教 授)
12	情報・知識の地理的 流動と地域イノベー ション	情報経済、知識経済の下でのサー 立地の変化について、理論と実態 知識の地理的流動に関する諸説 ションの問題点や課題について考 【キーワード】 生産者サービス、消費者サービス 暗黙知、形式知、知識ベース	きを紹介する。あわせて、 を紹介し、地域イノベー きえる。	松原 宏 (東京大学大 学院教授)	松原 宏 (東京大学大 学院教授)
13	産業立地政策・地域 政策の基礎理論	地域政策に関する諸理論を解説 政策論から地域重視の地域政策 きたことを示す。あわせて、今後の する。 【キーワード】 移出ベース理論、開発経済学、成 域論、産業クラスター政策	論に理論内容が変わって 理論的検討課題を提起	松原 宏 (東京大学大 学院教授)	松原 宏 (東京大学大 学院教授)
14	日本の産業立地政 策・地域政策	日本の産業立地政策と地域政策とともに、広域ブロック政策を中心提示する。 【キーワード】 新産業都市、テクノポリス、産業ク促進法、全国総合開発計画、国力政策	に、今後の政策的課題を ラスター計画、企業立地		松原 宏 (東京大学大 学院教授)
15	産業立地と地域経済 の展望	これまでの授業をふりかえり、産業る理論・実態・政策のまとめを行う。 域経済を総体として扱うことの重要 課題を提示する。 【キーワード】 経済地理学、地域構造	。あわせて産業立地と地		松原 宏 (東京大学大 学院教授)

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2013年度 大学院科目 8930651 無 2 年度 区分 制限 数 記載欄

科目名 (メディア) = 自治体ガバナンス ('13) = (TV)

〔主任講師(現職名): 稲継裕昭(早稲田大学教授)

【本学担当専任教員:山岡龍一(放送大学教授)

講義概要

分権改革後の自治体は、自治体運営(ガバナンス)の主体としての責任がますます大きくなりつつある。他方で、財政悪化という条件の下で自治体の取り得る政策選択肢も無制限ではない。こうした状況にあって、自治体がいかなる住民サービスをどの程度提供するか、その政策システムを構築するかは、自治体の政策当局のガバナンスの課題である。政治学・行政学の研究成果を活かしつつ、現場の実験的試みも紹介しながら、この主題に取り組む。

授業の目標

自治体のガバナンスを分析するための様々な知見を紹介し、そうした分析方法を理解し身につける。そのため、多くの研究者へのインタビューを想定している。また、先進的自治体で試みられている様々な自治体ガバナンスの取り組みを紹介し、新たな自治体間のネットワークの構築を試みる。

履修上の留意点

自治体の直面する諸課題について、性急な回答やノウハウを求めることよりも、理論的・歴史的な考察を踏まえつつ検討することが望まれる。その意味では、学部の政治学・行政学関係の諸科目を履修していることが望ましい。

口	テ ー マ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	自治体ガバナンス	講義全体のイントロダクション。住民とその公選代表である 首長やその他の執行機関、もう一つの住民代表である議 会。自治体の活動は誰がどのように行っているのか、誰が ガバナンスの責任者なのか、ひいては、自治体は誰のもの なのかを考える。また、自治体の活動はあるサイクルを持っ て展開される。4年毎に行われる選挙のサイクルと、1年毎 に編成される予算のサイクル、個別政策のサイクルがある。 これらがどのように交錯するのかについて検討する。 【キーワード】 ガバナンス、ネットワーク、自治体の役割、協働、政治サイクル、予算サイクル	稻継	稲継
2	国と地方の関係	国と地方の関係は、1990年代以降大きく変わりつつある。 包括的地方自治ガバナンス改革としての分権改革の実績 と課題について検討する。今後の国と地方の在り方を考え る。 【キーワード】 国と地方の行政事務の分担、天川モデル、地方分権推進 委員会、地方分権一括法、政策の窓、三位一体改革、未 完の分権改革	稲継	稲継
3	自治体の制度	憲法と地方自治法にある現行の自治体の制度とその歴史 的背景を説明する。とくに、都道府県と市町村の制度とそ の特例、中央政府と自治体の関係などを中心とし、自治体 制度と民主主義の発展の関連について考える。 【キーワード】 二層制、市町村合併、融合型と分離型、内務省一府県シ ステム、画一化と多様性、西尾私案	稲継	稲継

□	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	議会と議員	自治体議会の制度と議員の役割などについて考える。ことの関連で自治体の選挙制度やその実際、法律と条例の関係、住民投票や直接請求などの制度的な直接参加の組みについても考える。 【キーワード】 議会の役割、標準規則、議員報酬、議会と住民参加、地 方議会改革	(社) (祖継)	稻継
5	首長と執行機関	自治体の首長と執行機関の関係について考える。公選官長の意義と実際について説明し、内部部局の編成原理の自治体の政策過程、意思決定プロセスなどについても言及する。 【キーワード】 首長制、執行機関多元主義、自治体の統轄・代表、多選マニフェスト、行政委員会法定主義、教育委員会制度	稲継	稻継
6	自治体の組織	首長を支える行政機構について考える。組織編制はどのうな観点からなされるのか。県や市の実例を示すと共に、 県レベルにおける組織が多様化していることを見る。 【キーワード】 制限列挙主義、概括例示主義、自治組織権、標準局部 例、縦の職務階層、組織のフラット化、グループ制	よ稲継	稻継
7	二元代表制	二元代表制のもとで、首長と議会はどのような抑制・均衡関係にあるのかをみる。また、首長選挙では国政与野党相乗り候補が多いことを、上の抑制・均衡の観点から考える。さらに、議会代表を首長にするような議会内閣制の議論を紹介する。 【キーワード】 二元代表制、機関対立主義、再議制度、不信任議決、専決処分、議会内閣制	の - - - - 稲継	稻継
8	人事行政	自治体職員の採用・研究・昇進・退職など、人事全般に関する問題を、自治体職員と国家公務員との対比などを盛込みつつ考える。自治体職員に必要な専門能力との関連で、政策法務の問題なども扱う。 【キーワード】 地方公務員の種類、職員採用、配置と異動、昇進制度、人事交流、給与体系	り	稻継
9	税財政構造と予算 管理	マクロな税財政構造を説明した上で自治体の予算編成を めぐる問題を考える。歳入と歳出について基本的な理解 得ると共に、予算編成のスケジュールと決算過程、および 最近の自治体における予算改革について理解する。 【キーワード】 地方交付税、国庫支出金、地方税、地方債、予算編成、 自治体財政健全化法	を	稻継
10	自治体改革	分権改革と並行して進められた自治体自体の改革の諸相を考える。NPM理論に基づく考え方、エージェンシー化、指定管理者制度などの具体的事例についても検討する。 【キーワード】 行政評価、PFI、指定管理者制度、市場化テスト、NPM(ニュー・パブリック・マネジメント)		稻継

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	自治体と市民参加、 コミュニティ	自治体とコミュニティの関係を、住民組織やNPOの役割、住民参加と情報公開のあり方、などについても検討する。 【キーワード】 直接民主主義、市民参加、住民運動、参加のレベル、協働、NPO、新しい公共、コミュニティ、町内会、中間団体、ソーシャル・キャピタル	稻継	稲継
12	福祉政策と自治体	自治体の福祉行政をめぐる問題を考える。これからの高齢社会と少子社会における福祉政策の中心となる、地域福祉計画と介護保険事業との関係を考える。さらに、福祉におけるガバナンス改革とボランタリズムについて理解を深める。 【キーワード】 福祉の磁石、福祉政策の展開、生活保護、第一線公務員	稲継	稲継
13	自治体のネットワーク	自治体の近隣自治体との関係、市長会や議長会など自治体間の水平的全国組織や国際組織など、自治体の「ネットワーク」と政策との関連をめぐる諸問題を検討する。 【キーワード】 広域行政、地方六団体、姉妹都市、国際協力、政策ネットワーク、政策波及、政策革新	稻継	稻継
14	地方自治の歴史	「地方自治は民主主義の学校」という理念が語られるが、 実際の地方自治の歴史はどうであったのか。地方自治の 歴史をたどりながら、理念と現実について検討する。 【キーワード】 大区小区制、三新法、市制町村制、府県制一郡制、占領 改革、内務省解体、シャウプ勧告、逆コース、新中央集 権、革新自治体、行政の守備範囲論	稲継	稲継
15	国際比較	日本の地方自治のあり方の特質を明らかにするには、諸外国の地方自治との比較検討が必要である。ヨーロッパにおける地方自治をめぐる動きやアジアでの動きと比較しながら、日本の自治体の特質を考える。そのうえで、最終回として自治体ガバナンスは誰の責任か、誰のものかについて改めて考える。 【キーワード】 英米型と大陸型、自治体機構の国際比較、連邦制国家と単一主権国家、分離型・融合型、内政の総括官庁、活動量、ウルトラ・バイレースの法理	稻継	稻継

科目名 (メディア) = パーソナル・ネットワーク論 ('12) = (R)

[主任講師(現職名): 森岡淸志 (放送大学教授)

〔主任講師(現職名):

【本学担当専任教員:

講義概要

諸個人の意識や行動を理解するために、長い間、社会学は集団の中の個人の地位と役割に焦点をあててきた。しかし1960年代以降、人びとは次第に集団への帰属を薄め、集団から離れて、他者とのつながりの中で生活を営む場面を増大させてきた。パーソナル・ネットワーク論は、このような事態に対応して、人と人とのつながり、すなわちパーソナル・ネットワークに注目し、その構成や規模、接触頻度や密度などの構造が、諸個人の態度や行動を規定する側面と、社会構造的特性がネットワークを規定する側面との両面を対象として実証的研究を展開させている。この科目では、パーソナル・ネットワーク論に特有の視点とアプローチ、研究成果を紹介し、今後の発展の可能性について論じる。

授業の目標

パーソナル・ネットワーク論の視点と方法を学習することによって、受講生一人一人が自身をとりまくパーソナル・ネットワークを全体的に捉え、ネットワークからの影響や自身のネットワークへの働きかけを相対化し、自身の態度や行動への内省的理解を深めるための一つのきっかけとなることを目標とする。

履修上の留意点

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
1	パーソナル・ネット ワーク論の視角	1960年代に、社会的ネットワーク論がる。この中から、やがて人と人とのつなるパーソナル・ネットワーク論が台頭すでは、この間の経緯を含め、特有の視色について説明する。 【キーワード】 社会的ネットワーク、パーソナル・ネッ学派、第一次的関係	がりに対象を限定するのであるが、第1回 角やアプローチの特	森岡淸志 (放送大学教 授)	森岡淸志 (放送大学教 授)
2	日本の「家」と親族関 係	戦前・戦後にかけて、特に日本の農村 親族関係を中心に生活が営まれてい は、「家」を単位とする同族的関係と、 類(親戚)関係の二つの関係から成立 同族的関係は大幅に衰退しているが、 日本の親族関係を理解しておくことは ナル・ネットワークを理解するために、 【キーワード】 「家」、同族、親類、親族圏、機能分担	た。日本の親族関係 個人を単位とする親 していた。現在では、 このようなかつての 、現代日本のパーソ きわめて重要である。	森岡淸志 (放送大学教 授)	森岡淸志 (放送大学教 授)
3	産業化と家族変動	産業化・都市化による職業的・地理的に大きな影響を与えてきた。ここではは孤立しているのか、それとも新たなっのかをみてゆく。また都市度という居住市か)によって、人々のもつ親族ネットがあることにも注目する。 【キーワード】 産業化、都市化、職住一致、職住近接、雇用家族、「孤立した核家族」、伝拡大家族、キンドレッド、親族ネットワー係	ま家族をめぐり、家族ネットワークの中にあるこせの特性(村落か都ワークのあり方に違い を、職住分離、自営家・統的拡大家族、修正	立山徳子 (関東学院大 学教授)	立山徳子 (関東学院大 学教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	現代日本における家 族の変容	国勢調査のデータから近年の日本家族の変容を家族形態、家族構成の両面から確認する。またこうした家族の変を「家族の個人化」や家族意識の変化などの質的な面からも考察する。また家族をネットワークの視点から見る、「ネッワークとしての家族」と「ネットワークの中の家族」という分析視点の意義にふれる。 【キーワード】 世帯類型、世帯分離、家族意識、家族機能、「家族の個人化」、「ネットワークとしての家族」、「ネットワークの中の家族」、家族・コミュニティ問題、資源としてのネットワーク、拘束としてのネットワーク	立山徳子 (関東学院大 学教授)	立山徳子 (関東学院大 学教授)
5	夫婦役割とネットワーク	夫婦はなぜ家事や育児、余暇などを別々に(または一緒に)行おうとするのか。ここではE. ボットの示した家族外ネトワークが夫婦役割関係を決定してゆくという研究を紹介る。ボットの研究は家族研究とコミュニティ研究の双方をつなぐ意味で多くの示唆を与えたが、その意義についても対べる。また日本の夫婦関係とコミュニティとの間にどのような関連があるのかを考察したい。 【キーワード】 夫婦役割関係、分離的夫婦役割関係、合同的夫婦役割関係、社会的ネットワーク結合度、競合説と両立説、夫婦選説、ネットワーク規定説、コミュニティの解放化、コミュニティの私化、世帯ニーズ、磁場としてのネットワーク	立山徳子 (関東学院大学教授)	立山徳子 (関東学院大 学教授)
6	都市空間の中の家族	都市度という居住地の特性が家族のあり方とどのように関えているか。国勢調査などの客観的データから、世帯類型や就労スタイルは都市空間の中で一定のパターンを描い分布していることを理解したい。またこうした一連の確認作業から、都心・郊外・村落のそれぞれにおいて特徴的な家族形態が分布していること、ならびに都市度という概念を紹介する。 【キーワード】 都市度、社会地図、同心円型分布、都心家族、郊外家族村落家族	立山徳子 (関東学院大 学教授)	立山徳子 (関東学院大 学教授)
7	都市とパーソナル・ ネットワーク	都市という環境の中で、人はどのようなパーソナル・ネットワークを形成するのか。ここでは都市度とネットワーク保有量の関係、空間分布に注目した研究成果を紹介する。 【キーワード】 コミュニティ問題、喪失論、存続論、解放論、パーソナル・ミュニティ、選択一制約モデル、同類結合、都市度、下位化理論、非通念性、選択的ネットワーク、近隣の友人化、位正下位文化理論	文	立山徳子 (関東学院大 学教授)
8	ネットワークから見た 子育て	近年、注目される子育ての困難さはどこにあるのか。母親持つ家族内・家族外の子育て環境をネットワークの視点でとらえた研究成果とそのネットワーク戦略を紹介する。また子育てネットワークの国際比較から、パーソナル・ネットワークの多様性や可能性、またセーフティ・ネットとしての意義考える。 【キーワード】 ネットワークの中の子育て、世帯内ネットワークと世帯外ネトワーク、中庸なネットワーク、ネットワーク戦略	立山徳子 (関東学院大 学教授)	立山徳子 (関東学院大 学教授)

□	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
9	就職(転職)手段とし てのネットワーク	「縁故」という言葉に象徴されるように、就職(転職)のさいに 当事者を取り巻く人間関係は少なからぬ影響を発揮してき た。この回では、人々が就職(転職)するさいにネットワーク がどのような影響を及ぼすのか、日米の研究を踏まえなが ら解説する。 【キーワード】 弱い紐帯、ブリッジ、セーフティネット、就職、転職	石田光規(大 妻女子大学・ 准教授)	石田光規(大 妻女子大学・ 准教授)
10	仕事の手段としての ネットワーク	産業社会の流動化とともに、働く人々は自らの仕事ネットワークを主体的に構築することを求められるようになった。そのさい有効なネットワークとはどのようなものなのか、さまざまなパーソナル・ネットワーク調査の知見を踏まえて解説する。 【キーワード】 構造的隙間、ネットワーキング、昇進	石田光規(大 妻女子大学・ 准教授)	石田光規(大 妻女子大学・ 准教授)
11	企業社会における人 間関係	現在の企業社会の特徴を示す言葉の一つが「ネットワーク化」である。この回では、ネットワーク化が進行する企業組織において、人々が取り結ぶ人間関係はどのような変化を遂げているのか解説する。 【キーワード】 ネットワーク型組織、ネットワーキング、個人化、集団主義	石田光規(大 妻女子大学・ 准教授)	石田光規(大 妻女子大学・ 准教授)
12	女性の仕事とパーソ ナル・ネットワーク	女性が働くさいには、就業継続や家庭と仕事の両立といった問題が強く意識される。そうした問題に対して、彼女たちの保有するパーソナル・ネットワークがいかなる影響を与えているのか解説する。 【キーワード】 M字型就労、ワーク・ファミリー・コンフリクト	石田光規(大 妻女子大学・ 准教授)	石田光規(大 妻女子大学・ 准教授)
13	年賀状からみたパー ソナル・ネットワーク	パーソナル・ネットワークに関する実証研究は、その多くが統計的標本調査の結果に基づくものである。この調査では、対象者にとって親しい人びととの現在のネットワークに関する情報しか得ることができない。年賀状を手がかりとした事例調査によって、より拡い範囲のネットワークを捉え、またライフコースに伴う再編・変容の過程を捉えうることを明らかにする。 【キーワード】 拡大パーソナル・ネットワーク、ネットワークの再編、生活戦略、事例分析	森岡清志 (放送大学教 授)	森岡淸志 (放送大学教 授)
14	社会関係にひそむ資 本	近年、社会関係を「資本」とみなす研究が幅広い範囲で行われている。この回では、社会関係資本論の研究視角を概説し、そうした研究の知見および問題点について解説していく。 【キーワード】 資本、社会関係資本	石田光規(大 妻女子大学· 准教授)	石田光規(大 妻女子大学· 准教授)
15	「住民力」の効果	第14回の社会関係資本、ソーシャル・キャピタルに関する 説明を踏まえ、住民が保有するパーソナル・ネットワークと、 地域社会への参加度との相関が高いことをまず指摘する。 次いで、これらを合わせて「住民力」とする時、この「住民 力」がコミュニティ・モラール、投票行動、環境配慮行動と有 意に高い関連を示すことについて説明を加える。 【キーワード】 ソーシャル・キャピタル、住民力、コミュニティ・モラール、町 内信頼度	森岡清志 (放送大学教 授)	森岡淸志 (放送大学教 授)

事務局 記載欄	開講 年度 2013年度	科目 大学院科目	科目 3930643	履修 無制限	単位 数 2
------------	-----------------	----------	------------	--------	-----------

科目名 (メディア) = 環境工学 ('13) = (TV)

〔主任講師(現職名):岡田光正 (放送大学教授)

〔主任講師(現職名):

【本学担当専任教員:

講義概要

環境工学は、環境問題の解決手法開発の学問である。環境問題そのものは、過去半世紀の間に大きく変化し、従ってその問題解決のための考え方も変化し、従来の工学という枠にとどまらず、理学、農学、医学のような理系学問のみならず、社会学、経済学、法学のような人文系の学問も含めた総合的な解決策が求められるようになってきた。この意味では、環境工学には単なる個別の技術開発のみではなく、望ましい環境像を実現するための総合的なシステムの確立までもが求められている。本講義では、環境問題の認識方法から始まり、現在重要と思われているいくつかの分野における最先端の研究がどのように行われているか紹介し、総合的な見方を身につける助けとしたい。

授業の目標

地球上の限られて資源の量、また、限られた自然環境の恩恵という制限の中で、ますます人間活動が増大していく現在、人類が活動を持続していくためには何が必要とされるのか、何が可能なのかが問われている。本講義を通じて、この答えを見出すための「考え方」を学んでほしい。

履修上の留意点

学部の講義である環境と社会、エネルギーと社会などを学んでおくことが望ましい。

口	テーマ	内	容		放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	環境問題と環境工学	環境問題とは何か?問題の本質は その背景、すなわち文明の発達、 響を探るとともに、現代社会が直面いて考えてみる。また、環境問題は 境科学と環境工学の意義につい 講義全体の意図と各回の講義のな 【キーワード】 人類の歴史、環境問題、環境の収 トプリント、持続可能な社会、環境	資源の消費と枯渇の影面している環境問題につい解決をめざしている環で考えてみるとともに、本流れについて解説する。 【容力、エコロジカル・フッ	岡田光正 (放送大学教 授)	岡田光正 (放送大学教 授)
2	水環境保全の目標 設定〜水質環境基 準〜	我々が望ましいとしている環境像は環境保全の目標設定の一例としてを例として考察する。水質環境基準及び生活環境の保全を目的としての達成状況は必ずしも満足できる基準自身に関する問題点と科学打よう。 【キーワード】 水質環境基準、人の健康保護、人 モニタリング	て、日本の水質環境基準 準は人の健康の保護と 一設定された。しかし、そ 状態にない。水質環境 技術的な背景を探ってみ	岡田光正 (放送大学教 授)	岡田光正 (放送大学教 授)
3	水環境保全技術(1) 〜排水処理と発生源 対策〜	水質環境基準という環境保全目標達成手法、すなわち、日本におけ排水処理技術との関係を探るとどものの基本的考え方を探ってみるである我々の生活や生産プロセス水そのものを削減しようとする発生ても考えてみる 【キーワード】 排水基準、暫定排水基準、排水及発生源対策	る排水規制の仕組みと もに、排水処理技術その 。また、排水の発生原因 を見直すことにより、排 源対策のあり方につい	岡田光正 (放送大学教 授)	岡田光正 (放送大学教 授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	水環境保全技術(2) 〜水質総量削減と水 域内対策〜	排水規制に加え、水域の側から見た望ましい水環境の 目標達成につながるような手法について考える。一つは、 日本の総量削減制度を例として、全汚濁負荷量の削減方 法とその基本的考え方を考察する。もう一つは水域内で行 われる様々な目標達成手法である水域内対策について 探ってみる。 【キーワード】 物質収支、汚濁負荷解析、水質総量削減制度、非特定汚 染源、水域内対策	(放送大学教 授)	岡田光正 (放送大学教 授)
5	水生生物・生態系の 保全と再生	水生生物の保全を目的とする目標の必要性を考える。その一例として底層の溶存酸素濃度と透明度に関する目標設定の考え方や手法を学ぶ。さらに、生態系の保全や再生など人間活動と生態系との係り方の違いを考えてみる。そして、生態系の保全や再生のための目標のあり方現と工学的手段、生体工学について学ぶ。 【キーワード】 水生生物、溶存酸素、透明度、生態系の保全と再生、生態工学	岡田光正 ・(放送大学教 授)	岡田光正 (放送大学教 授)
6	薬場・干潟の保全と 再生の技術	環境再生技術の一例として、沿岸域生態系で失われつつある干潟や藻場生態系の構造や機能を理解するとともに、このような生態系を保全し、再生するための手法として、生物系の制御、及び環境系の制御の在り方について考えてみよう。 【キーワード】 藻場、干潟、生物系の制御、環境系の制御、再生技術	岡田光正 (放送大学教 授)	岡田光正 (放送大学教 授)
7	脱温暖化社会(1)〜 地球温暖化の動向と 世界的取り組み〜	地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出源と影響および長期的な見通し、ならびにエネルギー由来の二酸化炭素排出の要因の分析について学ぶ。後者については、炭素強度とエネルギー強度を低下させる方策について考える。また、世界的な協調についても学ぶ 【キーワード】 気候変動、温室効果ガス、低炭素社会	花木啓祐(東京 大学教授)	花木啓祐(東京 大学教授)
8	脱温暖化社会(2)〜 脱温暖化社会形成 のための戦略〜	日本における二酸化炭素排出の状況を学ぶと共に、脱温 暖化社会に向けた対策と持続可能な社会のあり方につい て考える。再生可能エネルギーを中心としたエネルギー供 給対策、業務、家庭、運輸部門のエネルギー需要対策お よび都市構造の対策を考える。 【キーワード】 エネルギー効率、再生可能エネルギー、バイオマス、コン パクトシティ		花木啓祐(東京 大学教授)
9	循環型社会(1)〜資源消費と環境負荷を 量る指標と分析〜	資源・エネルギー消費と環境負荷を指標とし、人間活動に 必要な機能を過不足なく提供できる持続可能社会の実現 に向けて、新たな物質・資源の循環利用システムのあるべ き姿とその具体化の方策を工学的視点から検討してみよ う。 【キーワード】 資源生産性、持続可能社会、機能提供、評価指標、ロート マップ	国立大学大学 院教授)	藤江幸一(横浜 国立大学大学 院教授)
10	循環型社会(2)〜循環型社会の実現に 同けた取り組みと評価〜	物質・エネルギーフロー解析の結果や地域の状況に応じて、資源・エネルギーの効率的利用と環境負荷低減を目指した各地での取り組みとその評価を紹介し、合わせてプランテーションにおけるバイオマス生産における課題と地域に貢献できる対策について考えてみよう。 【キーワード】 資源循環ネットワーク、地域適合性、システム設計と評価、 プランテーション、バイオマス		藤江幸一(横浜 国立大学大学 院教授)

□	テーマ	内容		執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
11	生態系サービスの考	生態系の賢い利用は、自然環境を保全するとけでなく、農林水産業や人間生活にさまざまな系サービス)をもたらす。生態系サービスの基定を学び、生態系や生物多様性の持続的利用の要な社会システムを考えてみよう。 【キーワード】 生態系、生物多様性、持続的利用、生態系サ	さ利益(生態 本的考え方 りために,必	大学大学院教	中静 透(東北 大学大学院教 授)
12	自然共生社会(2)~ 生態系・生物多様性 の持続的利用と保全 ~	森林のさまざまな利用方法と、その一環として制度の考え方、「途上国における森林減少・生出削減(REDD)」、生物多様性オフセットなどのる。 【キーワード】 持続的森林利用、森林認証制度、REDD、生物フセット	化からの排)例を紹介す	中静 透(東北大学大学院教授)	中静 透(東北 大学大学院教 授)
13	安全が確保される社 会(1)~化学物質の 環境リスク評価~	科学の進歩はあらゆる面で私たちの生活を支効率性・利便性・快適性などを追及するモノづみから次々と新たな化学物質が産出されてきた学物質およびその製品の製造・使用・廃棄等に汚染を引き起こし、人の健康や生態系に及ぼ念されている。そこで、化学物質による環境汚康に及ぼすリスクの特徴やその評価方法につ【キーワード】	くりの視点の た。こうした化 こ伴い、環境 すリスクが懸 染が人の健 いて学ぶ。	細見正明(東京 農工大学大学 院教授)	細見正明(東京 農工大学大学 院教授)
	安全が確保される社 会(2)~化学物質の リスク管理~	化学物質の環境リスクを適切に管理するには、 リスクを見つけ出し、その大きさを評価する必要 にそうしたリスクのメカニズムを解明し、適切ない し、行政、事業者、市民、研究者などの利害関 向のリスクコミュニケーションにより、効果的なないく必要がある。その際、リスクの大きさの評価 く、その他のリスクや便益などと比較することで の適切なリスク管理の方向性を探ることが大事 例を学ぶ。 【キーワード】 ストックホルム条約、PCB、ダイオキシン、リスクション	要がある。さら 対策を提案 対係者を講じて 対策を講じな 、化学物質 、である。その	細見正明(東京	細見正明(東京 農工大学大学 院教授)
15	問題解決型から着地 点誘導型へ	今までの講義の総括を行うとともに、持続可能 義とその基礎となる環境倫理について考える。 点誘導型の環境管理における目標設定とその 性、ならびにその達成手法を検討する手段とし ルの考え方と限界、さらには順応的管理手法は える 【キーワード】 持続可能性、環境倫理、数理モデル、再生目 管理	また、着地)実現可能 」て数理モデ こついて考	岡田光正 (放送大学教 授)	岡田光正 (放送大学教 授)

科目名 (メディア) = 人的資源管理 ('14) = (TV)

英文名 = [Human Resource Management ('14)]

〔主任講師 (現職名):原田順子 (放送大学・教授)

〔主任講師 (現職名): 奥林康司 (大阪国際大学・教授)

【本学担当専任教員:

講義概要

人的資源管理とは、継続的事業体(going concern, Betrieb(ドイツ語))において、人を対象とした管理の仕組みを総称した概念である。市場において営利を目的として事業を営む企業の経営においては、この人的資源管理がいち早く発達し、経営学の中でも多くの知識が蓄積されてきた。人的資源管理の変遷、役割等について、企業経営の基本的概念とともに説明していく。また、関連する現代的トピックも採りあげて多面的に学習する。

授業の目標

この授業は、I.人的資源管理の基礎知識(第1-3回)、II.人的資源管理の制度と機能(第4-10回)、III.多様な労働者たち(第11-15回)、の3部構成となっている。「基礎」から「応用」まで段階をおって学習し、人的資源管理の全体像を理解することを目標とする。

履修上の留意点

人的資源管理に対する真摯な関心と基礎的知識を有する方に履修を薦めたい。放送教材からも多くを学んでいただきたい。また、印刷教材の各章末に参考文献を示したので、それらを手掛かりにさらに学習を深めることが望ましい。

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	企業経営と人的資源 管理	人的資源管理の諸制度や活動ので果たしている役割を示すことをで果たしている役割を示すことを源管理の諸制度や実態を明らかとなる企業経営のとらえ方や企業的資源管理を理解するうえでの前を明らかにする。 【キーワード】経営資源、継続的事業体のシスラ	目指す。同時に、人的資にするに当たり、その前提にするに当たり、その前提経営のモデルを示し、人前提やその基本的な視点	奥林康司 (大阪国際大 学・教授)	奥林康司 (大阪国際大 学·教授)
2	日本的人的資源管理 の変遷	高度経済成長期に原型がつくられ 展開を遂げた日本企業の正社員 的」なる特質を論ずる。次に、日本 づけるさまざまな人事施策の束が し、経営パフォーマンスに良好に ドの双対原理を用いて検討する。 に入り、これまでの人的資源管理 まったのか、あるいは新しい補完付 て検討し、日本的人的資源管理の 【キーワード】 知的熟練、組織モード、双対原理	の人的資源管理の「日本本的人的資源管理を特徴」、どのような補完性を発揮作動したのかを組織モー続いて、平成雇用不況期の補完性は失われてし性を見出したのかについて変遷を跡付ける。	平野光俊 (神戸大学・ 教授)	平野光俊 (神戸大学・ 教授)
3	組織構造と職務内容	企業経営では、事業の性質、市場組織構造が工夫される。そして組方、能力開発と関連する重要なも務内容、人的資源管理の諸制度 【キーワード】 官僚制組織、野球型組織、サッカ職務設計原理、自律的従業員、対	織構造は職務内容、働きのである。組織構造、職への影響等を学習する。	奥林康司 (大阪国際大 学・教授)	奥林康司 (大阪国際大 学・教授)

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	採用について	採用の対象者、雇用形態、採用時期、 件を決めることは、企業にとって極めて 伝統的採用管理、新卒採用の重視、 トピックを採りあげて、我が国の採用管 る。 【キーワード】 採用管理、新卒採用、中途採用、就順	て重要な活動である。 採用管理の潮流等の ・理の概要を学習す	原田順子 (放送大学・ 教授)	原田順子 (放送大学· 教授)
5	人事等級制度	人事管理の基本システムである人事等を能力主義、職務主義、役割主義のはに最近の日本企業の人事等級制度のア発達との適合性を条件としたときのあり方の検討を通じて人的資源管理はる。 【キーワード】 職能資格制度、職務等級制度、役割等制度のキャリア発達条件適合モデル	七較から解説する。次)実態を確認し、キャリ 人事等級制度設計の こ対する理解を深め	平野光俊 (神戸大学・ 教授)	平野光俊 (神戸大学・ 教授)
6	人事考課制度	人事考課は、従業員の仕事ぶりを評価 キャリアに直接反映させる重要なもので 本の人事考課制度が能力主義から成 過程をみたうえで、その意義や問題点 正さや従業員に与えるインセンティブに いく。 【キーワード】 能力考課、成績考課、情意考課、目標 ンシー	である。本章では、日 果主義へと変化した ほについて、評価の公 などの視点から論じて	三輪卓己 (京都産業大 学・准教授)	三輪卓己 (京都産業大 学・准教授)
7	報酬制度	日本の報酬(賃金)制度は、生活保障 義の制度から、職能給を中心とした能 して職務給や役割給を中心とした成身 してきた。それぞれの制度の特徴や意 これからの企業や組織に求められる負 望していく。 【キーワード】 職能給、年齢給、職務給、役割給、業	力主義の制度へ、そ 県主義の制度へと変化 意義を整理したうえで、 賃金、報酬について展	三輪卓己 (京都産業大 学・准教授)	三輪卓己 (京都産業大 学・准教授)
8	キャリア開発	誰もが長い職業人生のなかで役割,」ものの見方や考え方などさまざまな領舞われ,能力不足の自覚や新しい環サキャリアの危機に遭遇する可能性があ心理学やカウンセリング心理学をベーの知見の人的資源管理への応用と展く人びとの適応的なキャリア開発のあり【キーワード】組織内キャリア、キャリア・アンカー、トな異動、キャリア・ドメイン	域で大きな変化に見 境への不適応など かる。本章では、発達 ・スとするキャリア研究 開を学ぶとともに、働 り方を検討する。	平野光俊 (神戸大学・ 教授)	平野光俊 (神戸大学・ 教授)
9	労使コミュニケーショ ン	企業は多くの利害関係者に囲まれたる労働者との関係は重要である。円滑なは経営を安定させるための必須条件で前提となる労使コミュニケーションと現る。 【キーワード】 経営資源、離脱・発言・忠誠、労働組を協争	な労使関係を築くこと であると言えよう。その 代的な課題を解説す	原田順子 (放送大学· 教授)	原田順子 (放送大学· 教授)
10	雇用区分の多元化と 人材ポートフォリオ	多元化する雇用区分とその組み合わポートフォリオという考え方を学ぶ。人だのような基準で構築したらよいのか、ま換制度をどのように設計すべきかとい場論と取引費用の経済学の知見を援検討する。そのうえで、日本の企業内いる変化とそれに伴う人的資源管理のる。 【キーワード】 基幹化非正規、限定正社員、ホールトル・ハザード、三層労働市場モデル	材ポートフォリオはど た雇用区分間の転 う問題を,内部労働市 用しながら理論的に 労働市場で起こって つ新たな課題を整理す	平野光俊 (神戸大学・ 教授)	平野光俊 (神戸大学・ 教授)

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	女性労働者と雇用	現代社会における女性労働者は男性がある。例をあげると、雇用形態、就業理職比率等の点で、男性と差異がみる女性労働者の現状と課題を学習す 【キーワード】 年齢階級別労働力率、M字の谷、機ティブアクション、コース別人事管理、	き時間、労働力率、管 される。雇用面における。 会/結果の均等、ポジ	原田順子 (放送大学· 教授)	原田順子 (放送大学・ 教授)
12	知識労働者	これからの社会や組織では、創造的な解決に従事する知識労働者が重要に上げる技術者や新興専門職は、そのるだろう。彼(彼女)らは従来の組織人でいるため、そのマネジメントはそれになる。知識労働者の人的資源管理の多様性にも着目しながら議論してい【キーワード】コスモポリタン、ローカル、自律性、人ア	は仕事や複雑な問題 なってくる。ここで取り 代表的なものだといえ とは異なる特性を持っ で配慮したものが必要 について、彼(彼女)ら	三輪卓己 (京都産業大 学・准教授)	三輪卓己 (京都産業大 学・准教授)
13	グローバル人材	近年、グローバル人材という言葉が流ル人材とはいったい、どのような人材がではグローバル人材の特徴についてることを目的としている。グローバル人間わないものであるが、一般的に、日人材というと、日本人海外派遣者をイい。そこで、本章では、まず、日本人為働き方について説明し、次に、外国人かにする。 【キーワード】 多国籍企業、人材の現地化、海外派	なのであろうか、本章 , 具体的に明らかにす , 材とは本来, 国籍を 本企業でグローバル メージすることが多 毎外派遣者の特徴や の活用について明ら	中村志保 (立命館大学・ 准教授)	中村志保 (立命館大学・ 准教授)
14	グローバル人材の育成	1985年のプラザ合意以降, 円高の景企業が海外へ進出している。2000年上外展開はますます拡大する傾向にあ企業ではどのようなグローバル人材がまた現実にはどのような課題に直面ししてそのギャップを埋めるために, 企美成の取り組みを行っているのであろういて明らかにする。 【キーワード】 日本企業の海外進出、人材について人材、育成プログラム	ど響により、多くの日本 以降、日本企業の海 る。そのような中、日本 が求められているのか、 ているのだろうか、そ 業はどのような人材育 か、このような点につ	中村志保 (立命館大学・ 准教授)	中村志保 (立命館大学· 准教授)
15	共的セクターの人々	私的セクター(企業)、公的セクター(イクター(例:ボランティア団体)の存在原のミッション(使命)と戦略は、組織構造影響を与える重要な要素である。では組織では、その人的重管理の様相はような特徴がみられるのか。ボランティクターについて考える。 【キーワード】 組織ミッション(使命)、共的セクター、ソシエーション(組合、協会)	感が増している。組織 造と人的資源管理に に、ミッションの異なる どのように異なり、どの ア団体を例に共的セ	原田順子 (放送大学· 教授)	原田順子 (放送大学· 教授)

社会的協力論 ('14)(R) 科目名(メディア) = -協力はいかに生成され、どこに限界があるか-Cooperation in Society ('14) 英文名 (現職名): 坂井 素思] 〔主任講師 (放送大学・教授)] 〔主任講師(現職名): 1 【本学担当専任教員:

大学院科目

科目

コート

8930678

履修

制限

無

単位

数

2

科目

区分

2014年度

講義概要

開講

年度

事務局

記載欄

この科目は、社会経営における人びとの「社会的協力」の在り方についての原理と、現実における有効性について考察することを目指している。近代になって、社会的協力の在り方が大転換したといわれている。それは、市場モデルや政府モデルなどの近代的な協力の在り方について、これだけ広範囲にわたり、かつ深く浸透した理由が存在するからであり、また同時に、これらの社会的な協力の在り方が、近代になってしばしば限界を見せるようになりつつあるからである。なぜ今日の社会的協力が大規模に生成し、そして限界を見せるようになったのかについて、この講義のなかで、具体的な事例を見ながら理解を深めていく。

授業の目標

近代的協力にはいくつかの類型タイプが存在するという認識を確認したい。それぞれの特徴を把握して、タイプ別の限界を知ることが重要である。そのためには、近代において社会的協力がどのようにして生成してきたのか、ということを理解することが必要である。 交換タイプ、支配タイプ、互酬タイプなどの協力類型が、どのような特徴を持っていて、どのようなところに適しているのか、ということを最終的には理解することが大切である。

履修上の留意点

(1) この科目は、「社会経済組織論」の後継科目であるが、現代の課題に適合するために、その後の理論を加えて、大幅な修正を行なっている。この中核とするところを重点的に観てほしい。(2) 現代の協力組織の持っている問題点を解明し、問題となっている事例や理論的論点になどにも新たな説明を行なう必要があった。これらの現代的な問題点の理解を進めていただきたい。(3) 近代社会が陥った組織形成上の隘路について、社会的協力という新たな視点から考察を加えた。わたしたちの生きている現代社会の問題点について、協力という点から、考察を深めていただきたい。

口	テーマ	内容	執筆担当 講師名 (所属·職名)	放送担当 講師名 (所属·職名)
1	社会的協力とはどの ような活動だろうか	協力という活動は、いかにして形成され、どのようなところで限界を示すのだろうか。本章では、協力活動の典型例を示して、協力活動の特性を明らかにする。人間の活動には一人で行う活動もあるが、家庭の仕事、職場の労働、公共の職務、地域の活動など、ほとんどの活動で他者と力を合わせて行っている。複数の人びとが集団に参加して、そこで内外の人間関係を結んでいくという、協力的な人間関係の在り方を考えたい。 【キーワード】協力活動、複数性、参加性、介在性、中間構成、メンバーシップ	坂井 素思 (放送大学·教 授)	坂井 素思 (放送大学·教 授)
2	協力にはどのような 類型があるのだろうか	社会で見られる協力活動には、集団の特性に合わせて複数の類型が存在することが知られている。この多様な人びとが協力活動へ参加していく場合に、どのようなパターンを見せるのだろうか。交換タイプ、支配タイプ、互酬タイプなどの特性を比較していく。 【キーワード】 協力活動タイプ、交換型、支配型、互酬型	坂井 素思 (放送大学・教 授)	坂井 素思 (放送大学·教 授)
3	協力関係の公式化と 非公式化	古典的な協力関係のなかでも、市場型の組織タイプと政府型の組織タイプが、典型として、協力タイプの中で君臨して来た。この章では、なぜフォーマル化(公式化)という近代社会特有の動きが生じたのかについて、考察することにする。 【キーワード】 公式化、非公式化、ルール、近代化、標準化、動機付け、科学技術	坂井 素思 (放送大学·教 授)	坂井 素思 (放送大学·教 授)

回	テーマ	内	容	執筆担当 講師名 (所属·職名)	放送担当 講師名 (所属·職名)
4	協力の交換モデルと 「囚人のジレンマ」問 題	協力活動の一つの典型例として、交 二人のAとBとの間で交換行為が行っ て双方に有利な状況が現れる場合。 己利益が生ずることで、相互の交換 双方の協力活動が成立すると考えら 益、集団利益、社会利益として現れ の可能性について、この章で考察し 【キーワード】 交換、贈与、互酬、自給自足、自己 のジレンマ、コミットメント、社会的交	われることで、結果とし がある。それぞれに自 行為が行われ、そこに かれる。ここでの個人利 る、協力の交換モデル たい。 利益、集団利益、囚人	坂井 素思 (放送大学·教 授)	坂井 素思 (放送大学·教 授)
5	近代的な協力と支配モデル	近代的な協力関係には、「交換モデが存在するが、この章では組織の中とにする。近代組織では、ルールを、織化が進められるという「公式化」がエラルヒー組織による縦関係の協力た。この章では、このような近代的なていくことにする。 【キーワード】 ヒエラルヒー、支配、服従、統制、集制、専門性、分業、弱い権力	核をなす後者をみるこ 定め、それに則って組 進んだが、この過程でヒ モデルが必要とされ 協力の支配モデルをみ	坂井 素思 (放送大学·教 授)	坂井 素思 (放送大学·教 授)
6	影響力と協力の互酬モデル	「市場と政府」の両輪関係は、協力限型であり、これらの近代的な公式組織にあった。 係が大量に引き寄せられてしまった際には、このような公式組織によってい、それとは異なる潜在的な力が、れだまだたくさん存在していることが知注目したいのは、人を動かし他者をは、単に交換や支配などの公式的なはなく、影響力などの潜在的な力をがあるからである。社会的協力を潜は、どのような特性があるのかについい。 【キーワード】 影響力、権威、信頼、ハロー効果、具	職に、人びとの協力関のである。ところが、実工生み出すことができな社会の協力関係にはまられている。影響力に「協力」に導くためによ方式だけでは十分で必要としているということ生的に支持する力にいて、この章で検討した	坂井 素思 (放送大学・教 授)	坂井 素思 (放送大学・教 授)
7		近代の協力モデルの特徴の一つは点にある。自動車産業や鉄鋼産業がによる工場体制は、物的な生産にまであるが、人びとの協力関係を結合化の仕組みを編み出していて、一つあった。なぜこれほど大量の協力関能になったのであろうかという点をこ的協力関係の「規模の問題」を考え【キーワード】 規模の経済、範囲の経済、互換性、組義、大量生産、企業結合	などの「大量生産」方式 いてはもちろんのこと させる点でも、大規模 の頂点を示すもので 係を結集させることが可 の章で考察する。社会 ていくことにする。	坂井 素思 (放送大学·教 授)	坂井 素思 (放送大学・教 授)
8	近代的協力組織の限界とジレンマ	大規模化を目指した近代組織には、つかの限界のあることが,その最もらかになった。大量生産方式による。で成立させられてきた、近代協力モは,協力組織はうまく働かない現象、力には限界の生ずることがわかっての協力に至るまでに多様な要素がんる隠れた潜在力の働きを見逃すことれたのである。 【キーワード】 ホーソン実験,官僚主義化,動機付ソンのパラドックス,組織の硬直性,	P核にあるところから明 経済原理と支配原理と デルの原理原則だけで が現われてきており、効 きた。協力組織ではそ 作用し、これらの間にあ ができないことが認識さ け、ルーティン化、オル	坂井 素思 (放送大学·教 授)	坂井 素思 (放送大学·教 授)

□	テーマ	内	容	執筆担当 講師名 (所属·職名)	放送担当 講師名 (所属·職名)
9	エージェンシー化と 協力活動	エージェンシー(活動主体あるいるおいて問題になるのは、個人の内動的)な部分が発生し、これが個人ときである。個人と協力組織とが点が重要であるが、エージェンシーからさらに深く追究する必要があるジェンシーという考え方が現れるが、 【キーワード】 エージェンシー、組織人格、個人依頼人、代理人、契約	おおで能動的(あるいは受人の外部の他者と結び付いかに結び付くかという視いかに結び付くかという視一という問題を考える視点る。なぜ組織の中にエーのかをこの章でみていきた	坂井 素思 (放送大学·教 授)	坂井 素思 (放送大学·教 授)
10	協力の多様性問題と「組織立った複雑性」	現代において、なぜ協力活動が ばならないのかということが、本章 協力関係を結ぶ中で、双方にとっ 求するのが協働組織の本質である 組織のあり方に対して、次第に組 において、組織における協力の多 の「多様化」、手段の「多義化」、そ いうまとまりの無さという問題が生では、なぜ協力の「多様性」問題が えたい。 【キーワード】 多様性、曖昧さ、ゴミ箱理論、弱い 作用、複雑なプール、組織立った	のテーマである。他者との て単一の共通目的を追 る,と考えられてきた近代 織の目的や協力関係など 様化,すなわち組織目的 设割の「多機能化」などと ずるようになった。この章 が生じたのかについて考 ・連結,分解可能性,混合	坂井 素思 (放送大学·教 授)	坂井 素思 (放送大学·教 授)
11	ダウンサイジングと協 力	現代の協力組織を考えるときに一がフラット化という現象である。近代ピラミッド型の縦構造を示してきて特徴であった。それが1970年代後ピラミッド型が平準化し、均等化すており、組織の協力関係にも影をは、このようなフラット化が組織には対して、どのような影響を与えてる。 【キーワード】 フラット化、アウトソーシング、オーチェーン、共同作業、標準化、ダ	代組織では、基本的には おり、これが企業組織の 後半以降、大規模組織の るという現象が起こってき 落としてきている。問題 関わる人びとの協力関係 こいるのか、ということであ	坂井 素思 (放送大学·教 授)	坂井 素思 (放送大学·教 授)
12	リーダーシップの協 力関係と「信頼」	リーダーシップの存在が協力関係この章で考えていきたい。とくに、け、リーダーシップの正当なあり方頼関係を導かなければならないの点的に考えてみたい。リーダーが集団をうまく率いていくためには、要があるのだろうか。 【キーワード】 個人信頼、専門的信頼、構造的信ダーシップ、不確実性、リスク、革	集団内での不信関係を避済を導くには、どのような信かか、という点について重メンバーの信頼を獲得し、どのようなことを考える必言頼、企業家機能、リー	坂井 素思 (放送大学·教 授)	坂井 素思 (放送大学·教 授)
13	社会関係資本とイン フォーマルな協力関 係	家族・コミュニティなどの社会経済どのような協力関係を取り結ぶのだったる。なぜ人びとは社会のなかれな集団を形成するのだろうか。グラや、地域で組織化される「社会るなかで、人びとの間に生成され割を考察したい。 【キーワード】 埋め込み、家族、コミュニティ、プログラル、ネットワーク、互酬性	かについて、この章ではでこのようなインフォーマ家族の形成する「プーリン 実験の形成する「プーリン 会関係資本」の考え方を見る社会的な協力関係の役	坂井 素思 (放送大学·教 授)	坂井 素思 (放送大学·教 授)

口	テーマ	内	容	執筆担当 講師名 (所属·職名)	放送担当 講師名 (所属・職名)
14	支援と協力活動	現代の協力活動の典型のひとつ。 支援とは、協力や協調、それ以外動の基盤となるプロセスであると言の中で、支援は、活動主体の活動 て現れる。つまり、支援活動では、 在的な活動の可能性を知るプロセな支援活動の性質は、人間の協力 要素であると考えることができる。 援活動と社会的協力との関係を発 【キーワード】 支援、ケア・サービス、世話、配慮	にもあらゆる利他的な行言われており、このプロセスかをサポートする活動とし活動主体の持っている潜されが重要になる。このよう力活動のひとつの重要なこの章では、このような支えていく。	坂井 素思 (放送大学·教 授)	坂井 素思 (放送大学·教 授)
15	ミンツバーグ問題と全体的構成	人びとの社会的協力を結集するとる絶頂とその行き詰りを示し、一つ20世紀前半の米国大量生産期後わたって協力組織の中で反省が協力の転換が続いてきている。どしまったのかが、近代以降の協力となっている。ここできわめて重要みの問題でなく、官僚制や非営系ニティを含む、マネジメントを現場とも含まれているという点であり、イカ結集にはマネジャーなどの中間としているということである。 【キーワード】 マネジャー、ミドル・マネジメント、能、コンフィギュレーション、社会の	の転換期を迎えたのは、であった。いくたびかにであった。いくたびかに行われてきており、社会的こが、なぜおかしくなって組織における枢要な問題なのは、単に企業組織の可団体、さらに家族・コミュで実際に行っている人び社会における人びとの協問的な力というものを必須	坂井 素思 (放送大学·教 授)	坂井 素思 (放送大学·教 授)

事務局 記載欄		科目 大学院科目	科目 8940576	履修 無	単位数 2	,
------------	--	----------	------------	------	-------	---

科目名 (メディア) = 国語国文学研究の成立 ('11) = (R)

※この科目は「言語文化研究 I ('07)」を一部改訂した科目です。 改訂回は、第1,2,3,4,6,7,8,9,10,12,13,14,15回です。

[主任講師(現職名):長島 弘明 (東京大学大学院教授)

【本学担当専任教員:島内 裕子 (放送大学教授)

講義概要

江戸時代の国学は、日本古来の精神のあり方を考究する学問であったが、その一方で、古語や古典文学を文献を通じて明らかにする学問であった。その意味で、国学は、今日の国語学研究・国文学研究の先蹤と見なすことができるが、幕末・明治という変動の時代の中で、その国学的な語学研究・文学研究が、西欧文化をはじめとする様々なものの影響のもとに変容を重ねつつ、近代的な国語学研究・国文学研究として成立していった過程を明らかにする。

授業の目標

この授業では、国学から国語学研究・国文学研究への学問的方法の変化を考察するだけではなく、国学・国語学研究・国文学研究が研究対象にしている、ことば(国語)や文学(国文学)自体が幕末・明治期にどのような変化を遂げているかを併せて考察し、研究対象の変容が、それを研究する方法の変容や革新と、密接に関わっていることを理解してもらうことを目標としたい。

履修上の留意点

各回の放送教材を聞く前に、その回に当たる印刷教材を読んでおくこと。印刷教材はくり返し読むことがのぞましい。また、印刷教材の中にに出てくる本がどのようなものか、いくつかでよいが、実際に手にとって見てみることがのぞましい。この授業では主として明治期を扱うので、明治時代の文学史についても高校生程度の知識を持っていることが、前提として必要である。

П	テーマ	内	容		放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
_	歌学·国学·国文学 研究 ※改訂回	伝統的な歌学を基盤として、江戸 宣長らによって確立した国学が、「 代的国文学研究へと変化するまで 歴史的な状況について考察する。 【キーワード】 和学、国学、契沖、本居宣長、平	明治時代に至り新たな近での経緯と、それを促した	長島 弘明 (東京大学大 学院教授)	長島 弘明 (東京大学大 学院教授)
_	大学の設置と国文学 研究 ※改訂回	江戸時代の幕府の学問所から、明にいたる高等教育の学制改革と、 科へ、さらに国文学科へという改新発期の国文学研究が抱えていた 【キーワード】 皇学、漢学、洋学、皇学所、「大学	和漢文学科から和文学 組について触れながら、初 問題について考察する。	同上	同上
3	文献学の成立 ※改訂回	留学してドイツ文献学を学び、国 を取り入れたとされる芳賀矢一の時代の国学者や漢学者による、本 学的方法との共通性・異質性を検 【キーワード】 考証学、芳賀矢一、ドイツ文献学	業績に焦点を当て、江戸 文批判や注釈等の文献 証する。	同上	同上

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	文学史の成立 ※改訂回	国文学の時代性に鋭い感性で切り込み、「国文学全史」を構想した藤岡作太郎の業績を中心に、文学史の概念の成立について考察する。 【キーワード】 『国文学読本』(芳賀矢ー他著)、『日本文学史』(三上参次他編)、『世列伝体小説史』、藤岡作太郎、『国文学全史 平安朝篇』		長島 弘明 (東京大学大 学院教授)
5	国文学と民俗学・歴 史社会学・文芸学	文献学と文学史の方法を基本として進んできた国文学研も、時代の変化に伴って、隣接する学問領域の方法からきな影響を受けることとなるが、その中でも、特に大きな影響を与えている民俗学的方法・歴史社会学的方法・文芸的方法について解説する。 【キーワード】 岡崎義恵、唯物論的歴史観、反映論、民間伝承、柳田国男	林 廣親	林 廣親 (成蹊大学教 授)
6	詩歌論の近代 I ※改訂回	古典的な和歌・俳諧が近代詩歌としての短歌・俳句に生まれ変っていく様相を、佐佐木信綱・与謝野鉄幹と晶子・正岡子規らを中心に考察する。 【キーワード】 ポエトリー、文学改良運動、新派和歌、『明星』、写生説	猪狩 友一 (白百合女子 大学教授)	猪狩 友一 (白百合女子 大学教授)
7	詩歌論の近代 II ※改訂回	『新体詩抄』に始まる新体詩(近代詩)の展開を、落合直文・大和田建樹ら国文学者とともに、上田敏・徳富蘇峰ら学者、ジャーナリストの詩歌論も含めて考察する。 【キーワード】 新体詩、翻訳詩、象徴主義、自然主義、口語自由詩	同上	同上
8	漢詩文の近代 ※改訂回	江戸時代後期の漢詩文と明治時代の漢詩文の継承と断紹に注目しつつ、新しい時代への対応を様々に模索しながも、最終的には近代文学から脱落し、古典化への歩みを設めていった漢詩文について考察する。 【キーワード】 「外国詠史」、成島柳北、洋詩の漢詩訳、「詩月旦」、中野逍遙	の 長島 引明	長島 弘明 (東京大学大 学院教授)
9	小説論の近代 I ※改訂回	江戸時代の戯作から近代小説への転換の様相を、『小説神髄』や没理想主義論争など、明治初期から中期の小説論や文学論争を中心に考察する。 【キーワード】 戯作、美術、写実主義、浪漫主義、言文一致体	猪狩 友一 (白百合女子 大学教授)	猪狩 友一 (白百合女子 大学教授)
10	小説論の近代Ⅱ ※改訂回	高田半峰『当世書生気質の批評』をはじめとする近代的な文学評論(批評)の成立とその展開、および島村抱月ら自然主義の小説論を中心に考察する。 【キーワード】 文学批評、合評形式、社会小説、自然主義、平面描写		同上

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	演劇の近代	演劇の近世が演劇の近代に至る過程を、歌舞伎における 活歴の試み、演劇改良運動の時代、新派劇の発生等の動 きを押え、時々の演劇論の展開に留意しつつ、具体的に検 討してゆく。 【キーワード】 演劇改良、新派劇、自由劇場、新劇、築地小劇場	林 廣親 (成蹊大学教 授)	林 廣親 (成蹊大学教 授)
	国語学の成立 ※改訂回	明治時代において、国学が近代的学問に脱皮する過程に おいて、語学研究がどのような位置を占めたかを構築論的 に解説する。その中において、近代の言語文化の様相を検 討する。 【キーワード】 国語学、日本語学、言語学、国学、上田万年	近藤 泰弘 (青山学院大 学教授)	近藤 泰弘 (青山学院大 学教授)
13	文法研究の近代化 ※改訂回	明治期の文法研究がどのような過程をたどって、西洋文典と和文典との折衷を果たし、また、それ以上のものになっていったかを実例を検討しつつ考え、「文法」というものの日本における構築のあり方を提示する。 【キーワード】 てにをは、活用、『語学新書』、『広日本文典』、大槻文彦	同上	同上
14	表記論と近代の表記 ※改訂回	外国語との出会いから生じた日本語表記への自覚と表記改良への意欲がどのような研究を呼びおこしたか、またそれが近代的な日本語表記の成立にどのように関わったかを検証する。 【キーワード】 歴史的仮名遣い、「近世かな表記」、一意的表記、唯一表記、送り仮名法	屋名池 誠 (慶應義塾大 学教授)	屋名池 誠 (慶應義塾大 学教授)
15	外国人の日本語研究 ※改訂回	明治時代の帝国大学の外国人教師などの実例を調査し、 外国人による日本語研究が果たした役割の重要性を述 べ、その研究がその後どのような形で日本の学術に影響を 与えたかについても考察する。 【キーワード】 来日欧米人、比較言語学、方言研究、話しことばの史的研究、連 濁	同上	同上

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2010年度 大学院科目 無 8940533 2 記載欄 年度 区分 コート゛ 制限 数

科目名(メディア) =

人類学研究

('10) = (TV)

-環境問題の文化人類学-

〔主任講師(現職名): 内堀基光(放送大学教授)

〔主任講師 (現職名): 本多俊和 (スチュアート ヘンリ) (放送大学客員教授) 〕

講義概要

環境問題を文化の文脈のなかで考えていこうというのがこの講義の眼目である。世界の多様な環境のなかで暮らす人々の伝統的生活様態とその価値観が当該環境の保全に寄与してきたことはよく指摘されているが、外的要因によって環境変化が起きた場合、こうした文化はどのような変容をこうむるか。あるいは文化そのものに環境変化に対処する可能性がひめられているか。これらのことを考えることは、環境問題を単に物質的状況として見るのではなく、人々の生活に意味づけを与える文化の問題として見ることに通じる。これを生態環境の多様性、問題の性質に応じて具体例を示しつつ講義する。

授業の目標

本講義は文化人類学の講義なので、講義の眼目としている環境問題のみならず、この具体的トピックをとおして人類文化というものがいかなる特性をもっているか、その機能はいかなるものかを考えられるようにしたい。大学院の科目としては本講義が文化人類学としては唯一のものなので、自学を促進しうる方向で、受講者に問いかけをおこなうような授業を考えている。この問いかけは、とりあげる多様な生態系と環境の個別性のなかで問題意識を拡散させることを避けるためでもある。

履修上の留意点

授業の目標で述べたとおり、自学を進める意欲をもってほしい。放送教材、印刷教材だけでなく、授業の中で示される文献資料、および文化人類学の基礎的な文献について、一定程度の自習が必要とされる。

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
	環境問題への文化人 類学的アプローチ	環境問題に文化人類学はどのように 導入の講義。文化の中核である生に 様式と自然(生態)環境との関係、相 ついて考え、文化にとっての環境変化 【キーワード】 文化、生活様式、環境変化、生態	ついての価値、生活 互のフィードバックに	内堀基光	内堀基光 本多俊和
2	列島の両端:沖縄の 自然環境、北海道ア イヌ民族の文化環境	比較的身近な日本の環境問題を具体題の全体像を描く。地域(北海道、沖す。二風谷地域のアイヌ民族伝統的題に戦前環境の「復元」と、イオルをはする。沖縄で気候変動の変動が珊瑚的な影響と、珊瑚礁の変化による地がう社会的な側面を取りあげる。 【キーワード】 アイヌ、沖縄、地域文化、イオル、珊	組)からの視点を生か生活空間イオルを主生活空間イオルを主めぐる社会的環境考察 強におよぼす生物学元の生業活動や観光と	本多俊和	本多俊和
3	都市環境と都市文化	都市は現代の人類にとって重要な生明史における都市の意義から論をはカの都市生活の環境問題を取りあげのものがもたらす環境汚染と、それを実践を見る。 【キーワード】 都市、文明、アフリカ、アジア、衛生	じめ、南アジア、アフリる。都市の生活形態そ	内堀基光	内堀基光

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
4	生活用水および大気 と居住環境	飲用水と生活用水の確保は、生存にとってる。水は環境中の自然循環に由来するためつ微生物や化学物質を含む可能性がある。れの社会ごとに、飲用あるいは生活に利用た水」と「適さない水」を区別し、生物学的・水を利用できるような仕組みを作り上げてき暖化・オゾン層の破壊などによって人類全体なりつつある。この問題に人類学はどのようだろうか。 【キーワード】 飲料水、生活用水、温暖化、大気、共有地	いに、病原性をも 人類はそれぞ するのに「適し 文化的に安全な た。大気は、温 本の環境問題と な貢献ができる	梅崎昌裕 (東京大学医 学系研究科· 准教授)	梅崎昌裕
5	自然災害と環境激変 にたえる生活と文化	地震、火山噴火などの大自然災害による環民はどう対処したか。そのなかで文化はどうしえたのか、あるいはこうしたカタストロフィッで、文化はどのような変容を強いられたか。 然災害への対応や、自然災害と文明の盛夏察する。 【キーワード】 地震、火山噴火、自然災害、アエタ、文化の	いう役割を果た クな事態のなか 古代における自 衰についても考	稲村哲也 放送大学・教 授)	稲村哲也
6	極北地帯の環境:イヌイト社会と気候変動	極北の事例として、北部グリーンランドの採 南部グリーンランドの農業・ヒツジ放牧に気(化」)がおよぼす影響を比較する。この章で 文化・社会的な環境を歴史的な視点から現 を考える。 【キーワード】 極北、気候変動、文化・社会環境、経済	侯変動(「温暖 は、自然環境と	本多俊和	本多俊和
7	病気と環境	近代では、地球上における人の流れが加速り、地域生態系ごとの問題であった感染症に患となった。食生活および身体活動パタンの血管疾患など生活習慣と強い関連をもつ疾本章では、極北イヌイトと南太平洋住民に無ら、人類が経験してきた近代化あるいは近代疾病構造の変化のプロセスを紹介する。 【キーワード】 健康、病気、近代化、近代医療、南太平洋	は地球規模の疾 の変容により、心 を患が増加した。 点点をあてなが 大医療の受容と	本多俊和梅崎昌裕	本多俊和梅崎昌裕
8	河川と湖沼をめぐる 環境問題と生活文化	河川と湖沼という陸水をめぐる環境問題と住の変容を、利水、治水という人間の経済活動心に論ずる。歴史的に長い視野を含みつてでは途上国における開発問題との関連で、アジア、アフリカなどの地域における事象をりあげる。 【キーワード】 陸水、アラル海、灌漑、水力社会、開発環境	助との関連を中 の、現代の文脈 東アジア、東南 具体例として取	内堀基光	内堀基光 梅崎昌裕
9	山岳地域の文化と環 境問題	アンデスとヒマラヤを取りあげ、多様な環境を 山岳地域の伝統的な環境利用システムの特 様な背景を有するグローバルな環境問題、 問題、その相互関係などを検討する。 【キーワード】 山岳、熱帯高地、アンデス、ヒマラヤ、ラクタ	特徴、複雑で多ローカルな環境	稲村哲也	稲村哲也

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
10	草原と砂漠における社会文化と環境問題	国境をはさんで隣接し、異なる社会体制とゴル国と中国内モンゴル自治区をとりあげ地域に適合した持続的な生業としての遊りの政策によって変化し、それが環境問題にを与えたか。また環境問題に対処する政策を与えたかを考察する。 【キーワード】	比較する。乾燥 枚が、近代化や国 こどのような影響	稲村哲也	稲村哲也
		草原、砂漠、モンゴル、内モンゴル自治区 民	、遊牧、生態移		
11	森林の環境と文化	森林の保全と地球環境全体の関連を概括 林の関係史を概略する。そこから、熱帯林 する狩猟採集民、農耕民の生態環境利用 林の減退がその生活文化に与えている影 資源の利用に関わる政治的諸主体と現地 着目する。	と北方林に居住 に論を進め、森 響を考える。森林	内堀基光	内堀基光
		【キーワード】 商業伐採、焼畑、狩猟採集民、熱帯林、 態学	臣寒带林、政治生		
12	リズム/ てきた エコツーリズムと地域 社会 【キー!	自然資源を維持しながら地域の経済にもリズムは、現地の社会の伝統的知識を生なてきたが、外部者からの当該社会と文化へがみとめられる。世界のエコツーリズムを事裏面にある現地社会の具体相を考察する	いしつつ展開され への直接的な影響 事例にして、その	池谷和信(国 立民族学博 物館·教授)	池谷和信
		【キーワード】 エコツーリズム、伝統的知識、環境保全、 経済	生態資源、地域		
13	野生生物と人びとの暮らし	人類はこれまで食肉用を中心として毛皮を形で野生動物を利用してきた。その結果、動物となった種も少なくない。その一方、†題となっている。ここでは野生動物と地域付類との共存の可能性を、住民の視点から環としての生物界と、生き物にとっての環境をという対称性の観点に導く。	絶滅したり、稀少 世界中で獣害も問 住民、ひいては人 考える。ここから環	池谷和信	池谷和信
		【キーワード】 野生動物、獣害、毛皮交易、食文化、狩狮	Ř		
14	環境保全をめぐる政 治と社会	環境破壊、環境劣化を引き起こす諸活動保全をめざす諸主体のあり方を探る。 地域して、イデオロギーの面を含め、国際組織関など組織体の文化というべきものがそこ	社会の文化に対 、NGO、政府機	池谷和信	池谷和信
		【キーワード】 政府、国際組織、NGO、住民コミュニティ ギー	、環境イデオロ		
15	人類の生存圏と人類 文化	まとめ:主任講師2名と担当講師1名による全体を総括する。環境を、人間にとってのなく、他の生物種にとっての環境としても見視野をも取り入れることにより、地球上にお圏のあり方に注目し、現在の環境問題がような意味をもつかを考える。	環境としてだけで 見るという拡大した 3ける人類の生存	内堀基光 本多俊和	本多俊和 池谷和信 内堀基光
		【キーワード】 地球環境、生存圏、人類文化、生物種とし	ての人類		

⇒→ +/7 TBB	開講 年度 2010年度	科目 大学	完科目 科目コート	8940568	履修 制限	無	単位 数	2
------------	-----------------	-------	-----------	---------	----------	---	---------	---

科目名 (メディア) = 哲学史における生命概念 ('10) = (R)

[主任講師(現職名):佐藤康邦(放送大学教授)

講義概要

今日、学問の世界に限っても、様々な領域で生命、生、命という言葉が問題とされている。分子生物学を初めとした生命科学の新たな展開、臓器移植技術の開発、また、生命を脅かす環境問題の深刻化等の現象がそのきっかけとなっているとも考えられる。しかし、それとは別に、古代以来、生命の問題は哲学の重要な領域であった。とりわけ、近代においては、哲学的生の概念が、学問の世界における近代科学の支配に対する何らかの反発の文脈で主張されてきたということもある。そのことをふまえて、生の概念を軸として、哲学というものを捉え直してみる。

授業の目標

生概念を中心に据えた上で、西洋哲学史に関する基本的理解を得られることを目指す。たとえば、近代哲学を代表するカントの哲学の体系を構成する批判哲学の場合、第三番目の『判断力批判』になってようやく生命の問題が出てくるが、それはどのような理由からなのかの理解を目指す。また、ニーチェやベルクソンにおける生の概念の近代科学にとっての挑戦的意義を明らかにするとともに、それら哲学的生概念の科学論的意義の理解を目指す。

履修上の留意点

この科目で、哲学的生の概念が検討される際、今日の生命にまつわる諸問題は意識されているとは言え、授業の基本は、あくまでも正統的な哲学の研究を目指すものである。したがって、近代哲学を中心にした哲学一般に関する興味と基礎的な知識が必要となる。

回	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	序章と古代ギリシア 哲学における生命概 念(1)ー神話から哲 学へ	序章では、生命という主題を哲学の立場。の意義について考察する。それに続いてがいかなる形で生命を捉えたのかを見る。ら始め、ソクラテス以前の古代ギリシアのわれる。 【キーワード】 神話、有機体論、プネウマ、アナクシメネプシュケー、アトム論	、古代ギリシア人 。ホメロスの神話か 生命観の検討が行	佐藤康邦	佐藤康邦
2	古代ギリシア哲学に おける生命概念(2) ープラトンとアリストテ レス	まず、プラトンにおけるイデア論に着目す レスの形相因、目的因、エンテレケイア等 その有機体論的性格を検討する。最後に る。 【キーワード】 イデア論、霊魂、ピロソフィア、ピュシス、チ 作用因、目的因、エンテレケイア	が概念に即して、 エガレノスに言及す	佐藤康邦	佐藤康邦
3	近世哲学における機 械論と有機体論(1) ーレオナルドとデカル ト	ガリレオ、デカルト、ベーコンの時代は科り、機械論に先導された近代科学の登場そこでは、生命も、また、機械論の原理にその成果がいわゆる「動物機械論」としてそれに先行するレオナルド・ダ・ヴィンチのる。 【キーワード】 解剖学、絵画、レオナルド・ダ・ヴィンチ、物機械論、デカルト、延長実体、還元主	の時代であった。 よって探究され、 現れた。ここでは り解剖学も検討す ミクロコスモス、動	佐藤康邦	佐藤康邦

口	テーマ	内 容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	近世哲学における機 械論と有機体論(2) 一機械論への反駁	機械論的自然観への反駁の例をパスカルとライプニッツに見る。あわせて、現代における、有機体論、目的論との関係についても考える。 【キーワード】 機械論、繊細な精神、幾何学的な精神、目的論、モナド、ニーダム、有機体論	佐藤康邦	佐藤康邦
5	ヒュームからカントへ	ヒューム晩年の宗教論における目的論の扱いを見る。それとカントとのつながりを検討する。 【キーワード】 スコットランド倫理学、単純印象、想像力、自然宗教、自然神学、『純粋理性批判』、アプリオリな総合判断、悟性	佐藤康邦	佐藤康邦
6	目的論の観点から見 た『純粋理性批判』と 『実践理性批判』	カントの批判哲学を、有機体の理論である目的論との関連の観点から検討する。ここでは、『純粋理性批判』と『実践理性批判』が検討の対象となる。 【キーワード】 理論理性、統覚、超越論的論理学、超越論的弁証論、アンチノミー、実践理性、徳と幸福、神の創造目的	佐藤康邦	佐藤康邦
7	『判断力批判』の研究 (1)-美と構想力	まず『判断力批判』の全貌が検討される。その上で、第一部、美的判断力の批判の検討に入る。とりわけ、構想力が検討の対象となる。 【キーワード】 判断力、美的(直感的)判断力、趣味判断、美、構想力、美的(直感的)規準理念、崇高	佐藤康邦	佐藤康邦
8	『判断力批判』の研究 (2)ー自然の合目的 性	『判断力批判』における有機体論が検討される。とりわけ目的論との関わりで検討される。 【キーワード】 目的論的判断力、客観的合目的性、内的合目的性、自然目的、一個のシステムとしての全自然、根源的有機体、オートポイエーシス	佐藤康邦	佐藤康邦
9	『判断力批判』の研究 (3)ー反省的判断力	『判断力批判』における反省的判断力の問題が主題的に検討される。それを通して、ハイデッガーの解釈学的循環とのつながり等、後代の哲学との関わりについて考察する。 【キーワード】 反省的判断力、規定的判断力、アンチノミー、偶然、直観的悟性、全体、部分、解釈学的循環	佐藤康邦	佐藤康邦
10	(4)-世界の究極目	『判断力批判』の終結部分で論じられている世界の究極目的について検討する。それと並んで『判断力批判』の後代における継承の過程が検討される。美と生命が哲学の主題となることの意味を確かめる。ついで、ヘーゲルの成立過程と『自然哲学』が検討の対象となる。 【キーワード】 究極目的、最終目的、道徳神学、ドイツ観念論、シェリング、『エンチュクロペディー』、「自然哲学」	佐藤康邦	佐藤康邦

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
11	へーゲルにおける生 命概念(下)	ヘーゲル哲学における生命概念の会哲学に即して検討される。さらに生命の観点から検討される。 【キーワード】 「精神哲学」、家族、市民社会、国分肢、「論理学」、推理、必然、偶然	ご、『論理学』についても 家、労働、教養、部分、	佐藤康邦	佐藤康邦
12	ニーチェの生哲学 (1) – 力への意志	へーゲルの体系を最後として、哲に閉じこもることになる。それ以降は、物理学に指導された近代科学伴って展開されることになる。そのが扱われる。 【キーワード】 生哲学、ルサンチマン、パースペタ志、永遠回帰、超人	、哲学における生命概念 たへの反発という動機を 代表的例としてニーチェ	佐藤康邦	佐藤康邦
13	ニーチェの生哲学 (2) - 哲学と音楽	ニーチェの哲学を、音楽との関係 ルト・ヴァグナーの芸術との関係が 【キーワード】 リヒアルト・ヴァグナー、ディオニュン タンとイゾルデ』、無限旋律、フルト	「取りあげられる。 ソス的、バイロイト、『トリス	佐藤康邦	佐藤康邦
14	ベルクソンの生哲学	ベルクソンの生哲学を概観する。なの関係のもとで扱う。また、ともすれれがちの生哲学と科学との対話を 【キーワード】 直観、時間、空間、純粋持続、創まエントロピー	1ば、反科学的と受け取ら 模索する。	佐藤康邦	佐藤康邦
15	構造主義と生命科学	構造主義は、文化系の学問として 構造概念は、20世紀後半には、5 となった。ここでは、その構造概念 自然科学の対話の例を追ってみる 【キーワード】 構造主義、構造、形態、レヴィ=ス 図式、言語、ネオ・ダーウィニズム	E物学者の注目するところ を介しての、文化科学と る。	佐藤康邦	佐藤康邦

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 大学院科目 2013年度 8940584 無 2 記載欄 年度 区分 コート 制限 数

科目名 (メディア) = 美学・芸術学研究 ('13) = (TV)

〔主任講師(現職名):青山昌文(放送大学教授)

〔主任講師(現職名):

【本学担当専任教員:

講義概要

美学は、美とは何か、を考える学であり、芸術学は、芸術とは何か、を考える学である。美は、芸術に限らず、自然にも存在している。本講義は、自然美にも言及するが、考察の主体を芸術美におき、芸術が、文化の総体と深く豊かに関わっていることを、具体的芸術作品に即しながら、詳しく考察する。前半においては、全体に亘る体系的な考察を行い、後半においては、世界史上初の本格的美術批評家であったディドロの美学・芸術学の深く豊かな意義を明らかにしてゆきたい。

授業の目標

美学が、芸術鑑賞のために役立つだけではなく、芸術創造にも寄与する、実践の学であることが、分かるようになることが、講義の目標である。また、芸術学が、芸術一般の本質についての原理的考察の学であるだけではなく、絵画・彫刻・音楽・演劇・文学・映画等の諸芸術の具体的芸術作品の解明に役立つ学であることが、分かるようになることも、講義の目標である。以上の点を踏まえて、美と芸術が、世界の素晴らしい本質の精華であることを、大学院レベルで厳密に理解することが、本講義の最終目標である。

履修上の留意点

放送大学では、学部の講義として、「芸術史と芸術理論('10)」と「社会の中の芸術('10)」、更には、「舞台芸術への招待('11)」が開講されている。これらは、学部の講義ではあるが、本講義と密接に関連しているので、是非、これらの講義も、学んで戴きたい。なお、本講義は、1997年より開講された学部講義「芸術の古典と現代」と、前半において、重複している部分があるが、この講義は、大学院が設置されていなかった時代に開講された講義であり、内容的には、大学院に相当するレベルのものを多く含んでいた講義であった。もちろん、本講義は、この学部講義と異なるものを多く含んでおり、また、重複部分においても、多くの改訂・増補がなされている。かつての「芸術の古典と現代」を受講された方は、この点に留意されて本講義を受講して戴きたい。

回	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	美と芸術について	始めに、「美」や「芸術」という言葉の語源を ン語・ギリシア語において考察し、次に、「芸生について述べ、その後、美学と芸術学の 後に、芸術と学問の深い関わりを明らかにし ついても、その深い意味を明らかにする。 【キーワード】 美、芸術、美学、芸術学、学問、現代芸術、	芸術」概念の誕 基本を語った 、現代芸術に	青山昌文(放送大学教授)	青山昌文(放 送大学教授)
2	美の本質	始めに、プラトンの美の階梯説について述トテレスの美学を考察し、その後、バウムガ、転向について語り、デカルトに始まる近代の題点を明らかにして、そのデカルトと対立すのモナド論美学を考察した後に、私自身の学)の一端を披瀝する。 【キーワード】 プラトン、アリストテレス、バウムガルテン、テニッツ、青山昌文	ルテンの美学の)主観主義の問 るライプニッツ 美学(青山美	青山昌文(放 送大学教授)	青山昌文(放 送大学教授)
3	芸術の本質	始めに、近代以前の時代における芸術の在特質について述べ、近代のイデオロギーで理解できないことを明らかにする。次に、古の深い意味を明らかにして、芸術と学問が、界の本質に迫ろうとするものであることを明しキーワード】	は古典芸術は典的芸術理論、実は、同じ世らかにする。	青山昌文(放送大学教授)	青山昌文(放 送大学教授)

□	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	自然美と芸術美	始めに、ヘーゲルの自然美を低く見る立場の限界を指摘し、次に、プラトンとアリストテレスにおける自然の哲学的位置を明らかにして、その後、ヨーロッパにおいて、山岳美が、いかにして認知されていったかについて語る。更に、廃墟の美と、<無限性の美学>について語る。 【キーワード】 ヘーゲル、プラトン、アリストテレス、山岳美、無限性の美学	青山昌文(放送大学教授)	青山昌文(放送大学教授)
5	美術	始めに、レオナルドの芸術論について語り、次に、古典主義における絵画の序列と、芸術作品の重層性について語る。その後、《ラオコーン》と《メディチのヴィーナス》を例に、古典彫刻における世界本質表現を明らかにする。 【キーワード】 レオナルド、古典主義、絵画の序列、古典彫刻、世界本質表現、《ラオコーン》、《メディチのヴィーナス》	青山昌文(放送大学教授)	青山昌文(放 送大学教授)
6	場共生芸術一一音 楽・演劇――	始めに、ヨーロッパ中世の<宇宙の音楽>美学について語り、次に、ヴァーグナーの音楽の超近代主観主義を明らかにして、音楽のコスモロジーの現代性を明らかにする。モーツァルトと現代複製音楽についても語り、最後に、演劇について、《木六駄》を例に、その本質を明らかにして、舞踊についても語る。 【キーワード】 <宇宙の音楽>、ヴァーグナー、コスモロジー、モーツァルト、現代複製音楽、《木六駄》、舞踊	青山昌文(放送大学教授)	青山昌文(放 送大学教授)
7	場超越芸術一一文 学一一	始めに、スカリジェルのく古代人の模倣>理論について語り、次に、ダンテのミーメーシスについて明らかにして、その後、ゾラの自然主義について、その19世紀的側面と、正統的な古典的ミーメーシス理論の面を明らかにする。最後に、クンデラの反近代主観主義について語る。 【キーワード】 スカリジェル、く古代人の模倣>、ダンテ、ゾラ、クンデラ		青山昌文(放送大学教授)
8	場超越芸術一一映画一一	始めに、映画芸術の歴史の短さについて語り、次に、映画がかつて芸術とは認められなかったことの不当性を明らかにして、映画が芸術であることを述べ、パノフスキーの<空間の動態化>理論の紹介の後、《2001年宇宙の旅》と《アヴァター》を例に、映画芸術のもっている意味を明らかにする。 【キーワード】 映画、ランゲ、バザン、パノフスキー、<空間の動態化>、《2001年宇宙の旅》、《アヴァター》	±.1. P ±./±/	青山昌文(放 送大学教授)
9	建築	始めに、ウィトルーウィウスの建築美学について語り、次に、アルベルティの建築美学、ゴシック建築のスコラ哲学性、ロココ建築の現世性について語って、その後、モダニズム建築とポストモダニズム建築の本質を明らかにする。 【キーワード】 ウィトルーウィウス、ゴシック、モダニズム、ポストモダニズム、ヴェンチューリ、象設計集団、《名護市庁舎》	青山昌文(放 送大学教授)	青山昌文(放 送大学教授)
10	芸術の体系的分類	始めに、アリストテレスの芸術分類について詳しく語り、次に、ヘーゲル、カインツ、スーリオ、竹内敏雄、今道友信の芸術分類について語ったあと、私自身の芸術分類美学の一端を披瀝する。 【キーワード】 芸術分類、アリストテレス、ヘーゲル、カインツ、スーリオ、 竹内敏雄、今道友信、青山昌文	青山昌文(放 送大学教授)	青山昌文(放 送大学教授)

□	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	美術館の政治性と ルーヴル美術館の歴 史	始めに、都市の本質と美術館の公語り、次に、ルーヴル美術館の歴代から述べ、ルーヴルにおける展美術批評について語ったあと、現術館の文化的表象装置としての意 【キーワード】 都市、公共性、帝冠様式、ルーヴドロ、美術批評、文化的表象装置	史を、ルーヴル宮殿の時 覧会の歴史とディドロの 代におけるルーヴル美 気味を明らかにする。 ル美術館、展覧会、ディ	青山昌文(放 送大学教授)	青山昌文(放 送大学教授)
12	ディドロ美学の始源	始めに、現代の或るフランス人研究の誤りを指摘し、次に、最初期のデッベリの著書のディドロによる自由に考察する。ディドロ美学が、始め実在論的美学であり、<全存在連学の上に立つ、深い、存在論的美する。 【キーワード】 ディドロ、シャーフツベリ、実在論、自然>、存在論	ディドロ美学を、シャーフ 訳において、詳しく厳密 から、極めて一貫した、 運鎖としての自然>の哲 ミ学であることを明らかに	青山昌文(放 送大学教授)	青山昌文(放 送大学教授)
13	ディドロの関係の美学	ディドロの<関係の美学>を、『百において、詳しく厳密に考察する。主義を明らかにして、美の超認識にする。更に、ディドロ美学におけ味を論じて、ディドロ美学が、実在であることを明らかにする。 【キーワード】 ディドロ、<関係の美学>、超認該実	。ディドロ美学の反主観 主観的実在性を明らか る、<関係>の深い意 論的な存在充実の美学	青山昌文(放 送大学教授)	青山昌文(放 送大学教授)
14	ディドロの美術批 評ーーシャルダンに ついてーー	世界史上、最初の本格的美術批美術批評が、ディドロ美学の上に 批評であることを明らかにする。シ の、ディドロの鋭い分析が、シャル かにするものであり、自らの<一に 学に基づく、存在論的な美術批評 る。 【キーワード】 ディドロ、美術批評、シャルダン、 、内なる声、ミーメーシス	立つ、首尾一貫した美術 マルダンの作品について ダン作品の本質を明ら こおける多の再現>の美 であることを明らかにす	青山昌文(放	青山昌文(放送大学教授)
15	ディドロの演劇美学	演劇美学史上に名高い、ディドロにおける演劇美学を、詳しく考察における演劇美学を、詳しく考察演技論の真の意味を明らかにして想的モデル>のディドロ美学に基スタニスラフスキー・システムの真のディドロ演劇美学の、現代性と実践【キーワード】ディドロ、無感受性演技論、<理想フスキー・システム、演劇実践美学	する。ディドロの無感受性、その演劇論が、く理 でくことを明らかにする。 の意味をも明らかにして、 践性を明らかにする。 想的モデル>、スタニスラ	青山昌文(放 送大学教授)	青山昌文(放 送大学教授)

	開講 年度	2009年度	科目 区分	大学院科目	科目コード	8940509	履修 制限	無	単位 数	2	
--	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = 日本の歴史と社会 ('09) = (R)

[主任講師(現職名): 五味文彦(放送大学教授)

〔主任講師(現職名): 杉森哲也(放送大学教授)

講義概要

この講義は日本の歴史と社会を、都市という切り口から探ってみるものである。都市は政治・文化・社会の結節点にあることから、その都市の成立と展開の歴史を古代から現代にいたるまで探って、まず日本における都市社会の展開の道筋を追い、さらに建築空間の様相から都市の新たな展開の方向性をも捉える。

授業の目標

日本において都市がどのように形成されてきたのか、都市が歴史的社会のありかたをいかに映し出しているのか、都市に凝縮された様々な社会関係はどうあったのか、日本の都市はどのような特色を帯びているのか、また今後、都市はいかなる方向をめざしているのか。これらの課題を考える材料となることをめざす。

履修上の留意点

特にないが、学部の日本史関連の科目もあわせて学習することを希望する。

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
1	総論-日本の都市と 社会-	日本において都市がいかに形のかという問題を考える。これに、社会・文化とのかかわりを多角的たい。 【キーワード】 都市論	より都市の視点から歴史と	五味文彦(放 送大学教授)	五味文彦(放 送大学教授)
2	日本古代の飛鳥	5~6世紀の日本はヤマト王権 朝鮮三国に対抗しうる存在となっ 時期はいわゆる歴代遷宮の時代 本格的都市は建設されていない が飛鳥に集中すると、飛鳥にはる 公的施設が造営され、次第に政 いった。その姿は、天皇家と蘇利 でもあった。 【キーワード】 蘇我氏と飛鳥寺、飛鳥の諸宮、 動施設	った。都城成立以前のこの たであり、政権の拠点となる た。しかし7世紀になって宮 欠々に宮殿や寺院などの 権拠点としての形を整えて 対氏との間の権力抗争の姿	北村優季(青 山学院大学 教授)	北村優季(青 山学院大学 教授)
3	平城京の成立	平城京の広さは、今日からみてなぜそうした巨大な都市を日本市か、その理由を考えるのが今回のの「律令」は、自国を唐と並立すいゆえにこそ日本に長安を再現すに、都城は畿内豪族を天皇の元いた。平城京は思想の産物である権力再編の場でもあった。 【キーワード】 律令国家の世界観、長安の再明の場の場	古代の人々が造営したの カテーマである。この時期 る国と位置づけたが、その る必要があった。また同時 に再編する空間ともなって るとともに、天皇を中心とす	北村優季(青山学院大学教授)	北村優季(青 山学院大学 教授)

П	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	平安時代の京都	8世紀末に造営された平安京はその後も朝廷によって維持・管理がなされたが、10世紀後半になると、右京の荒廃が顕著になり左右対称の構造が崩壊した。摂関時代には左京を中心として寝殿造による貴族邸宅や諸司厨町が展開したが、院政期になると、里内裏の造営が盛んになるのと平行して大内裏(宮城)が空洞化しさらに白河・鳥羽に上皇の政治拠点が作られるなどしたため、京都には左京域を中心とする新たな都市空間が展開した。 【キーワード】 右京の荒廃、大内裏と里内裏、庶民の祭礼、白河と鳥羽	北村優季(青 山学院大学 教授)	北村優季(青山学院大学教授)
5	中世都市の形成	11世紀から13世紀にかけて、博多や京都・奈良・鎌倉などの中世都市がいかに形成されてきたのかを探って、都市が中世社会にとってどのような位置を占めていたのかを考察する。 【キーワード】 政治都市、宗教都市、港湾都市		五味文彦(放 送大学教授)
6	中世における都市社会の展開	12世紀から14世紀にかけての中世社会において、都市社会がどう展開していったのかを、東アジア世界との関わりや日本列島の新たな流れのなかから考える。 【キーワード】 市、宿、湊	五味文彦(放 送大学教授)	五味文彦(放 送大学教授)
7	中世の都市文化	15世紀から16世紀にかけて、中世の都市には新たな文化が成長したが、その動きをさぐって、現在につながる都市の諸要素がこの時期に用意されてきたことの意味を探る。 【キーワード】 町、祇園祭り、館		五味文彦(放 送大学教授)
8	城下町の構造	城下町は、日本の歴史が中世から近世へと大きく転換する過程で生まれた、新しい都市類型である。近世幕藩制国家における標準的な都市として、十六世紀末から十七世紀初頭頃までの比較的短期間に全国で一斉に展開した。城下町の成立は、日本の都市の歴史なかでも、画期的なことであった。そこで本章では、まず城下町を捉える方法を紹介するとともに、加賀藩の城下町である金沢を事例として取り上げ、その構造について具体的に検討する。次に近世日本が生み出した最大の巨大都市であり城下町でもある江戸を取り上げ、空間的にも社会的にも大きな比重を占めていた武家地の中の大名藩邸の構造について、加賀藩の江戸藩邸を事例として検討する。 【キーワード】 城下町、都市的要素、金沢、江戸、大名藩邸	杉森哲也(放	杉森哲也(放 送大学教授)

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
9	近世の京都	京都は、古代律令国家の都城・ 以来、1200年余の歴史を有する者 から近世に至る前近代において、 機能を担い続けてきたことは、日本 えで非常に重要な事実であると考 本の歴史が中世から近世へと大き という新しい都市類型が生まれ、こ ことを述べた。それでは都城として 有する京都にとって、近世という時 られるのだろうか。本章では、近世 その特徴の一端について検討する 【キーワード】 京都改造、近世京都、町、町掟、	部市である。とりわけ古代 一貫して国家の中枢的 本の都市の歴史を考えるう えられる。第8章では、日 さく転換する過程で城下町 それが全国的に展開した て成立して以来の歴史を 特代はどのように位置づけ せの京都に焦点を合わせ、 る。	杉森哲也(放 送大学教授)	杉森哲也(放 送大学教授)
10	札幌の建設	札幌は、北海道開拓の拠点とし一般にその歴史は近代都市としてれている。しかし、札幌の建設の近世から引き継いだ要素も含まれては、札幌の建設を日本の都市の原直し、再検討することを試みる。 【キーワード】 近世都市、近代都市、札幌、北海	に始まるものとして理解さ 過程を検討してみると、近いることがわかる。本章で 歴史という文脈の中で捉え	杉森哲也(放 送大学教授)	杉森哲也(放 送大学教授)
11	開港場の形成	19世紀中葉における安政の5カ港が開港され、自由貿易が開始さに、これらの開港場は、単に貿易界との接点として、日本の国際化して、経済・社会を中心に日本のしての機能を果たした。横浜を中の歴史的役割について考える。 【キーワード】 開港、開港場、交通革命、国際化	された。 貿易の進展ととも 港としてだけではなく、世 (グローバル化)の尖兵と 近代化を推進する都市と 心に開港場の都市として	小風秀雅(お 茶の水女子 大学大学院 教授)	小風秀雅(お 茶の水女子 大学大学院 教授)
12	帝都の成立	明治維新後、江戸は東京と改称体制における政治都市「江戸」から への変化は、その都市機能を大き本の中心としての首都の位置を明 民の受容による国民国家の成立に 密接に関連していたのである。それ は、近代日本史を都市の視点から る。 【キーワード】 江戸から東京へ、憲法発布と東京	ら近代国家の首都「東京」 全く変化させた。なにより日 日確にする儀礼の展開と国 は、近代日本史の展開と の構造を明らかにすること ら再考することにつなが		小風秀雅(お 茶の水女子 大学大学院 教授)
13	町屋論(特論1)	特論1~3では、空間的立場からしてみる。特論1の町屋論では、同であった町屋の形成と展開のプロの歴史的変化を建築の側から考え 【キーワード】 町屋、接道性、沿道性、地割	日本の伝統的な都市建築 セスを追跡し、日本都市	伊藤毅(東京 大学大学院 教授)	伊藤毅(東京 大学大学院 教授)

回	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
14	境内論(特論2)	日本の都市の空間的組成を分解してみると、「境内」と「町」という素朴な空間類型に還元できる。中世都市はこの二つの空間類型の複雑な組み合わせとみることができる。前者の代表例が宗教都市であり、後者は交易都市である。 【キーワード】 境内、町、宗教都市、交易都市	伊藤毅(東京 大学大学院 教授)	伊藤毅(東京 大学大学院 教授)
15	グリッド論(特論3)	格子状の道路パターン(グリッド)をもつ都市は古今東西を問わず、普遍的に存在しつづけてきた。本講では一見単純なグリッドがもつ多様な意味を探るとともに、そこに込められた時代の都市イデアを考える。 【キーワード】 グリッド、街区、都市計画、都市イデア	伊藤毅(東京 大学大学院 教授)	伊藤毅(東京 大学大学院 教授)

事務局 記載欄	開講 年度	2010年度	科目 区分	大学院科目	科目コート	8940541	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = 東アジアの歴史と社会 ('10) = (TV)

〔主任講師(現職名): 吉田光男(放送大学副学長)

講義概要

中国と朝鮮を舞台にして、4人の講師が、各自の研究テーマに基づいてオムニバス形式で講義を行う。学説史・研究動向・史料的状況を基礎として、史料を用いた研究の方法を、具体的な事例の読み解き方を基礎として展開する。定説や通説を無批判に自明の理とすることなく、史料に基づき、社会学・経済学・人類学・文学など隣接諸分野を含めた新たな理論や方法論を取り入れてより豊かな歴史像を描き出す道を探求する。

授業の目標

講師ごとに提示される、歴史研究の多様な方法や視点を学び、東アジア史研究の最前線がどのような研究をしているのかを理解するとともに、史料批判と史料読解に基づく歴史研究の方法を身につける。また、現代の国家的枠組みにとらわれない、時代的実態に合わせたフレキシブルな地域理解を目標とする。

履修上の留意点

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
	総説―東アジア史 研究する視点	本講座で検討対象とする東アシ 方法について、中国史・朝鮮史 それぞれの立場から論じる。従 第2章から始まる各論を見すえ 東アジア史研究をどのように行 【キーワード】方法、史料、理論	を専門とする4人の講師が 来の研究を基礎としながら、 て全体像を提示し、実際の うかについて示していく。	上田信(立教) 鶴間大学·和幸(学和学·和学· 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 10	上田(立 (立授) (立授) (立授) (之授) (之授) (之报) (之报) (之报) (之报) (之报) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本
	中国文明から東ア ア文明へ―文明の 様性と多元性		の多様性に注目しながら、 広がっていくことを見てい 跡の青銅器を素材として取	鶴間和幸(学 習院大学·教 授)	鶴間和幸(学習院大学·教授)
3	古代中華帝国の成 一始皇帝の時代	中国史上最初の帝国と皇帝の記て見ていく。始皇帝の秦時代の一後の巡行と刻石(顕彰碑)の村本文献である『史記』への見直し 【キーワード】『史記』、画像石、渡陵	暗殺未遂事件の解明、統 倹計を中心に進めていく。基 」でもある。	鶴間和幸(学 習院大学·教 授)	鶴間和幸(学習院大学·教授)

口	テーマ	内容		講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	隋唐帝国―東アジア 世界における古代	秦漢帝国に続く隋唐帝国を東アジア世界から見ていたの帝都長安も実は東方の平原や東アジアの海域とがっていた。 遣隋使や遣唐使の海域の海路と中国のの水運ネットワークの結びつきなども解明していく。 【キーワード】関隴集団、長安、運河、遣唐使、張宝高羅、東アジアの海	:つな 運河	鶴間和幸(学習院大学·教授)	鶴間和幸(学習院大学·教授)
5	モンゴル帝国以後の 海域アジア史	13世紀以降、中国の歴史を、東シナ海・南シナ海・イシ連なる海域アジアとの交流のなかで、大局的に把握る。そこに活躍する人々の姿を、歴史として見るためにどのような方法があるのだろうか。科学を標榜する歴5「英雄史観」から脱却するために、人物を描くことに消であった。一個の人物の多様な側面を、史料を通じて的に把握するめための方法を提示する。 【キーワード】生態環境史、文明の生態史観、文明の決更観、人格の標識	きすこは、 と学は、 極的 で客観	上田信(立教 大学·教授)	上田信(立教 大学·教授)
6	碑文を通してみる明 初の世界―鄭和	七回にわたる大航海をしたことで知られる鄭和は、雲ムスリムの家に生まれた。明軍の雲南攻略のなかでまれ、明朝第3代の皇帝・朱棣(永楽帝)の宦官となったが、なぜ大航海の率いることになったのか。この航海が後の中国に残したものは何だったのか。鄭和に関するを読み解くことで、明らかにしてゆく 【キーワード】明朝、海禁政策、朝貢、宦官	:勢さ :鄭和 がその	上田信(立教 大学·教授)	上田信(立教 大学·教授)
7	武装海洋商人の世界 一王直	新安商人として知られる商人グループの故郷・徽州てれた王直は、なぜ倭寇の統領として名を歴史に留めるになったのか。王直本人が記したとされる上訴を読みとで、考察していく。明朝・ポルトガル人・日本人など、を異にする人々が記した史料から、日本に拠点をおい直の実像に迫る。また、今日における日中間の人物言違いにも目を向ける。 【キーワード】後期倭寇、、王直上訴、種子島への鉄石	ること 解くこ かた場 で 平価の		上田信(立教 大学·教授)
8	清朝の勃興と海域ア ジアの変容―鄭成功	日本人を母に持ち、中国海洋商人を父とする鄭成功:ようなヴィジョンを持っていたのか、オランダ語史料にた鄭成功が出した布告を手掛かりにして迫る。また、「と呼ばれる史料の読み方を示す。 【キーワード】平戸、海洋商人、オランダ東インド会社、オワン、実録の読み方	残され		上田信(立教 大学·教授)
9	清代行政文書から見 える社会―陳弘謀	清代を通じて最も有能な地方官僚の1人として知られ 弘謀は、詳細な行政文書を後世に残した。この文書を 解くことで、18世紀の人口爆発に清朝がどのように対 うとしたのか、地方の情報を官僚がどのように把握して のか、地方官は皇帝とどのような関係を持っていたのな 体的に知ることができる。海域アジアに在住する華人 政策をめぐる公文書を読む。 【キーワード】科挙、地方官、人口爆発、食料輸入清付 文書	を読み 応しよ こいた か、具 への	上田信(立教 大学·教授)	上田信(立教 大学·教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
10	近代世界システムと 中国―ウィリアム= ジャーディン	アヘン戦争の仕掛け人として、中国史に悪名を残すジャーディンは、スコットランドで生まれ、イギリス東インド会社の船医からカントリー・トレーダーに転身、茶葉とアヘンの交易で活躍する。彼が創立したジャーディン・マセソン商会は、アジア有数の商社として、発展を遂げる。転機となったアヘン戦争を、書簡から読み解いていく。 【キーワード】イギリス東インド会社、アヘン戦争、ジェントル	上田信(立教 大学·教授)	上田信(立教 大学·教授)
		マン資本主義 モンゴルと高麗の間は、支配服属関係で語られる。しかし、		
11	高麗と元帝国・東ア ジア	高麗国王は元の王女を妻にむかえ、元王室の婿として駙馬高麗国王という特殊な地位を得た元王室の一員の地位にもあった。元の強大な軍事力による東アジアの変動の中で高麗のとった外交政策が可能だった背景を探り、朝鮮史料を中心として考察することによりし、日本・中国から見たのとは異なった東アジア史像を構想する。	吉田光男(放 送大学·副学 長)	吉田光男(放 送大学·副学 長)
		【キーワード】モンゴル、元、高麗、元寇、支配、服属		
12	東アジアの国際関係と近世の朝鮮	近世の日朝関係において、朝鮮王朝から江戸幕府に派遣されてきた通信使が注目されている。東アジアの外交現場で、お互いの利益をかけた戦いが繰り広げられていた。さらに朝鮮は清に燕行使を派遣し、北方の安定化もはかっていた。それぞれがどのような思惑で国際関係を結んでいったのか、日本・朝朝・中国の史料を対比しながら、同時代の歴史的リアリティーに迫る方法を探求する。 【キーワード】通信使、燕行使、外交、倭館、交隣、清	吉田光男(放 送大学·副学 長)	吉田光男(放 送大学·副学 長)
13	戸籍で見る朝鮮の近世社会	朝鮮王朝は14世紀末の創建以来、3年ごとに全国一律の住民調査を行い、戸籍大帳というかたちでまとめていた。この戸籍大帳を資料として用いて、朝鮮近世社会の実態を人口を通して探求する。また、歴史学における通説的理解のできかたと問題点、その批判と克服の方法について提示してみる 【キーワード】人口、身分、両班、通説、戸籍、歴史人口学		吉田光男(放 送大学·副学 長)
14	植民地期の朝鮮	朝鮮における植民地支配の歴史を取り上げ、欧米の植民地支配との比較、産米増殖計画、植民地工業化の意味、植民地都市の形成、皇民化政策などの問題について、史料や統計を示しながら具体的に検討する。また、解放後の歴史との関連や、現代からの視点も意識して取り入れる。 【キーワード】植民地産米増殖計画植民地工業化植民地都市皇民化政策	橋谷弘(東京 経済大学·教 授)	
15	アジアNIESとしての 韓国	20世紀後半の世界史特徴づけるアジア工業化の一環としての韓国の工業化の歴史を取り上げ、欧米や日本の工業化との比較、アジアNIES(新興工業経済地域)の工業化プロセスの特徴などについて、史料や統計を示しながら具体的に検討する。また、「ポストアジアNIES」ともいえる80年代以降の展開についても考察する。 【キーワード】工業化 アジアNIES 輸出志向 外資導入開発独裁	橋谷弘(東京 経済大学·教 授)	

事務局 記載欄	開講 20	0 1 3年度	科目 区分	大学院科目	科目コート	8940592	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	-------	---------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

〔主任講師(現職名): 草光俊雄(放送大学教授)

〔主任講師(現職名):北川勝彦(関西大学教授)

【本学担当専任教員:

講義概要

この科目は地域文化研究IIIを引き継ぐもので、前回ヨーロッパの歴史と文化という枠組みのなかで「旅」をキーワードとして考える科目であったが、今回は「ヨーロッパとアフリカ」という視点から、古代ギリシア・ローマの時代から現代まで、ヨーロッパとアフリカとの関係をさまざまなテーマで考えていきたい。地中海を挟んでヨーロッパとアフリカは古来、密接な関係を築いてきた。近代にはその関係が一方的な支配・被支配、奴隷制の展開、植民地化といった不幸な関係に変質していった。それぞれの時代にヨーロッパがアフリカをどう見ていたか、またアフリカがヨーロッパに対してどう関わってきたかを歴史学、文学、人類学などさまざまな分野の学問を動員して考察する。

授業の目標

大学院科目にふさわしく、広い視野から問題を考える、ときには当該のテーマについて深く探究する、という姿勢を学生たちが身につけてほしいと考えている。

履修上の留意点

学部の授業では、「地中海世界の歴史('09)」:「ヨーロッパの歴史と文化('09)」を履修することが望ましい。

回	テーマ	内 容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
1	イントロダクション	アフリカ地域認識、アフリカ史研究のパラダイムの変遷、19世紀までのアフリカ史理解の枠組み、20世紀の研究動向、21世紀の新動向などを概観する。アフリカ史への導入。	草光、北川	草光・北川
		ヨーロッパ史中心史観、ナショナリスト史、アフリカ人ディア スポラ、ジェンダ史		
2	ギリシャ・ローマ時代 のアフリカ	北アフリカ(エジプトとカルタゴ)、北東アフリカ(ヌビアとエチオピア)が初期アフリカ史において果たしていた重要な役割を検討しながら、初期アフリカ文明が地中海、紅海、インド洋を舞台にして、南ヨーロッパ地域と相互に交流していたことを明らかにする。		草光・北川
		【キーワード】 古典・古代、ローマ帝国、交易、		
3	キリスト教とアフリカ〜 植民地化以前〜	アフリカでは初期キリスト教が根付いており、新たな宗教の最初の改宗者として、また神学者として中心的な役割を果たしてきた。しかし19世紀にミッショナリーの出現によってアフリカでのキリスト教の歴史も異なってくる。	石川博樹(東京外国語大学·准教授)	石川・草光・ 北川
		【キーワード】 キリスト教、アウグスティヌス、修道院、エジプト、ヌビア、エ チオピア		

口	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
4	イスラーム教の拡散と アフリカ	アフリカの多くの地域はムスリムがDar al-Ismal (平和の住むところ)と呼び、イスラームが人びとの暮らしを教え導く世界の一部となってきた。イスラームのアフリカへの拡大が宗教と文化と人びとをどれほどブレンドしてきたかを考える。 【キーワード】 ムハンマド、クルアーン、ベルベル人、サハラ越え交易、ラマダーン、シャリーア	北川	北川•草光
5	「東方三博士の礼拝」 図像におけるアフリ カ・黒人の表象	《東方三博士の礼拝》という図像表現におけるアフリカ,あるいは黒人の出現について,歴史的に俯瞰し,ヨーロッパキリスト教文化にとっての必然性・必要性について考えてみる. 【キーワード】 マギ、キリスト教図像学(イコノグラフィー)、プレスター・ジョン伝説とオスマン帝国,ボス,ブリューゲル,「オリエンタリズム」	宮下志朗	宮下・草光・ 北川
6	インド洋とアフリカ― スワヒリ都市の社会と 文化―	インド洋交易は東アフリカをイスラーム世界の中心部に結びつけた。スワヒリ世界の都市国家は海洋交易で互いに競い合い、西インド洋の長距離交易を行っていた。そこには宗教と文化の統一性があった。 【キーワード】 インド洋世界、モンスーン、アザニア、ダウ船、スワヒリ、西インド洋、マダガスカル	北川	北川・草光
7	大航海時代とアフリカ	アフリカはヨーロッパの世界進出の足がかりであった。ポルトガルは東アフリカで最初の沿岸帝国を建設しようとした。強大な軍事力を背景としたヨーロッパのアフリカの破壊により海岸部の生活は大きく変化した。次にアラブ人たちの帝国が出現する。アフリカはグローバルの覇権争いのなかで大きく変化していった。 【キーワード】 サハラ交易、金、塩金交易、エンリケ航海王子、アフリカ沿岸帝国、スワヒリ都市、インド洋交易、ヴァスコ・ダ・ガマ	草光	草光•北川
8	奴隷制度とアフリカ (1)―大西洋奴隷貿 易以前の奴隷制と奴 隷貿易―	アフリカ人移動の歴史について大西洋奴隷貿易が注目されるが、それよりも長い歴史を持つサハラ砂漠越えとインド洋の奴隷貿易が存在していたことはあまり知られていない。二つの奴隷貿易の違いを検証し、アフリカ人にとっての奴隷貿易について考える。 【キーワード】 奴隷制、奴隷貿易、資産奴隷、	北川	北川•草光
9	奴隷制度とアフリカ (2)―大西洋奴隷貿 易―	奴隷化されたアフリカ人は1500年以降、新興の大西洋世界を建設する上で重要な役割を演じた。しかしアフリカにおける奴隷貿易の特質についてまだ検討の余地が残っている。それらの問題を考えていく。 【キーワード】 大西洋奴隷貿易、三角貿易、中間航海	北川	北川·草光
10	啓蒙ヨーロッパとアフ リカ	ヨーロッパ啓蒙主義は宗教と古い因習を否定し相対的な文明観を近代的思考にもたらしたが、一方で歴史的段階論を唱え、未開社会から近代社会への歴史の進歩史観を定着させた。その際アフリカは未開社会の典型として描かれるようになる。啓蒙主義がアフリカ向けた眼差しを検証し、アフリカがそれから何を学んだかをあわせて考える。 【キーワード】 啓蒙主義、モンテスキュー、百科全書、ヒューム、スミス、博物学、リンネ、スパルマン、ビュフォン	草光	草光·北川

□	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	ヨーロッパによる植民 地化(1)―ヨーロッパ 人の征服とアフリカ人 の対応―	19世紀ヨーロッパの主要国によるで 侵略の矢面に立ったのがアフリカで には「アフリカの略奪」が完成し、列 バナンス)へとシフトしていく。植民は とそれによるアフリカの経済的利用 リカの「平和的利用」を樹立するプロ 【キーワード】 アフリカ分割、ミッショナリ、ベルリン	であった。20世紀の初頭 強は制服から統治(ガ 地行政ののシステム確立 である。そのためのアフ コセスを検討する。	北川	北川·草光
12	ョーロッパによる植民 地化(2)一植民地統 治・植民地経済・社 会変化—	列強による植民地化は合法化のプ 植民地支配を「愛他主義」の観点か の文明化を実行するヨーロッパとい れた。この章では植民地統治のさま る。 【キーワード】 間接統治、直接統治、移住植民地 小農生産、労働移動	ら正当化した。アフリカ うイメージが作り上げら きざまなモデルを検証す	北川	北川·草光
13	アフリカの独立とヨーロッパの対応(1)― 第二次世界大戦〜 70年代―	第二次大戦の終了はグローバルないた。ヨーロッパは疲弊し、それに変連という強国が台頭した。この2大張アフリカにも壊滅的な影響をもたらは解放運動の時代の出現の契機とも当事者でもあった。脱植民地化の重はどのようにして独立の道を進んだする。 【キーワード】	変わるアメリカ合衆国とソ 強国を中心とした冷戦は した。一方第二次大戦は なった。アフリカはその 助きである。アフリカ諸国 のか。その過程を検証	北川	北川·草光
14		独立達成後、申請アフリカ諸国の指新しい挑戦すべき課題に直面した。 リカ諸国をイデオロギー闘争に巻き家はその内部で政治システムを開きいた。20世紀後半のアフリカの歴史史の勝利と悲劇に象徴されている。 【キーワード】 ポスト冷戦、低開発、崩壊国家、アン化、ジェンダー	,冷戦の国際政治はアフ 込んでいった。新興国 発するために苦闘してい とは20世紀後半の政治	北川	北川・草光
15	アフリカ世界の歴史と 文化を学び終えて― 新世紀の新展望―	1970年代80年代はアフリカにとっ0年」政治的には「困難の20年」では壊と共にアフリカには希望の兆しが押し寄せ独裁政権や軍事政権は相した経済復興も見られるようになる。んすべてが楽観的ではないが、将っことで講義を終える。 【キーワード】	あった。しかし冷戦の崩 現れる。民主化の波が 目対的に弱体化し、自立 アフリカの今後はもちろ	草光·北川	草光·北川

事務局 記載欄	開講 年度	2014年度	科目 区分	大学院科目	科目コート	8940614	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

 科目名 (メディア) =
 中世・ルネサンス文学
 ('14) = (R)

 英文名
 = [Medieval and Renaissance Literature ('14)]

 [主任講師 (現職名): 宮下 志朗 (放送大学教授)
]

 [主任講師 (現職名): 井口 篤 (放送大学准教授)
]

 【本学担当専任教員:
]

講義概要

ヨーロッパ中世・ルネサンスの多種多様な文学作品を読み、これらの作品が提起する問題について批判的に考察する。時代順に作品を紹介するのではなく、いくつか重要なテーマ(「恋愛」、「言語」、「信仰」)を設け、それらのテーマとの関連の中で様々な作品を紹介していく。個々の作品は、基本的に日本語訳で紹介していくが、本文中もしくは巻末に原典を付すこともある。

授業の目標

ヨーロッパ中世およびルネサンスの文学作品が様々な歴史的・文化的・社会的条件の網の目の中で書かれていることを学ぶこと。また、文学作品を丁寧に読解・分析する姿勢を学ぶこと。

履修上の留意点

とくに履修上の制限を設けないが、例えば「世界の名作を読む ('11)」、「文学のエコロジー ('13)」、「ヨーロッパ文学の読み方-古典篇 ('14)」などは大いに参考になるであろう。

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講師名
1	プロローグ―「中 世」と「ルネサン ス」をさがして	「中世」そして「ルネサンス」 について確認する。 【キーワード】 「中世」、「ルネサンス」、時		井口篤(放送 大学准教授)	宮下志朗(放 送大学教 授)、井口篤 (放送大学准 教授)
		中世を代表する哲学者・神学者 ル・アベラールの『災厄の書(Calamitatum)』およびエロイー して、中世キリスト教社会にお 愛の諸相について論じる。 【キーワード】 ピエール・アベラール、エロイ 『愛の往復書簡』	Historia -ズとの往復書簡を例と けるジェンダー観と恋	(フェリス女 学院大学教	横山安由美 (フェリス女 学院大学教 授)
3	恋愛・ジェンダー (2) アーサー王物 語とかなわぬ恋	12世紀以降、ヨーロッパの各地とする騎士たちの伝説が人気をいては、中世フランス文学におトリスタン物語を取り上げ、騎関係がどのようなものであったる。 【キーワード】 アーサー王ロマンス、トリスタ	博した。この講義におけるアーサー王伝説や 士道恋愛における男女 のかについて概観す	(フェリス女 学院大学教	横山安由美 (フェリス女 学院大学教 授)

口	テーマ	内容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
4	恋愛・ジェンダー (3)一天使のような 貴婦人から恋する 女性読者まで	ダンテ・ボッカッチョ・ペトラルカなどのイタリア中世詩人の作品における恋愛とジェンダーについて考察する。精神的な恋人たる貴婦人のイメージが、ダンテやペトラルカの作品においてどのように発展するのかをたどり、恋愛抒情詩の感性の重要な原型をそこにさぐる。さらに、ボッカッチョの物語文学における女性の身体性や官能の表現と比較する。	村松真理子 (東京大学准 教授)	村松真理子 (東京大学准 教授)
5	恋愛・ジェンダー (4)―シェイクスピ ア作品における恋 愛の諸相	ダンテ、ボッカッチョ、ペトラルカ ウィリアム・シェイクスピアの作品における恋愛の諸 相について論じる。 【キーワード】	河合祥一郎 (東京大学教 授)	河合祥一郎 (東京大学教 授)
6	言語・翻訳(1)― 12世紀の文学とこ とば	シェイクスピア、恋愛 第3回で見た通り、アーサー王伝説はヨーロッパ各地 で書かれ、読まれていた。この回では、アーサー王伝 説のラテン語から母語への翻訳や、各国語による物語 の成立・伝播の諸相について講義する。 【キーワード】 アーサー王伝説、翻訳、ラテン語と母語	横山安由美 (フェリス女 学院大学教 授)	横山安由美 (フェリス女 学院大学教 授)
7	言語・翻訳 (2)― ダンテの新しいこ とばと新しい読者	ダンテ・アリギエーリは、母語(つまりイタリア語の原型となったフィレンツエ方言)で著作をすることに非常に意識的な詩人であった。この回においては、ダンテの著作を通じて、中世後期ヨーロッパにおけるラテン語と母語の関係の一例と、その歴史的な影響について考察したい。 【キーワード】 ダンテ、『俗語詩論』、ラテン語と母語	村松真理子 (東京大学准 教授)	村松真理子 (東京大学准 教授)
8	言語・翻訳 (3)— 英語を話す神:中 世イングランドに おける聖書翻訳	中世のヨーロッパにおいて信仰の基盤となっていたのはヒエロニムスのラテン語訳聖書であったが、このラテン語聖書の翻訳をめぐり、14世紀終わりのイングランドでは一大論争が巻き起こる。オックスフォード大学の神学者ジョン・ウィクリフと彼の追随者たちの運動を軸に、中世後期における聖書翻訳の諸問題について考える。 【キーワード】 ラテン語、俗語、ウィクリフ、翻訳、検閲	井口篤(放送 大学准教授)	井口篤(放送 大学准教授)
9	言語・翻訳(4)― シェイクスピア作 品における言語の 問題	シェイクスピアの作品には言語という概念がどのよう にたち現れてくるかについて概観する。 【キーワード】 シェイクスピア、言語、翻訳、レトリック	河合祥一郎 (東京大学教 授)	河合祥一郎 (東京大学教 授)
10	信仰 (1)―知と愛 と幸福	ダンテの『神曲』は、魂の救済が切実なテーマであった中世末期の知の大全かつ、「愛」と「救済」をテーマとした壮大な作品である。14世紀前半の社会的文化的な変動をうつす、近代への分水嶺とも言える表現であり、カソリック的中世の世界観とともに、当時の知性のかかえる危うさを語っているとの解釈もある。信仰と知性との関わりから、『神曲』の語るものをひろってみたい。 【キーワード】 ダンテ、『神曲』、救済	村松真理子 (東京大学准 教授)	村松真理子 (東京大学准 教授)

口	テーマ	内 容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	信仰(2)―中世後 期イングランドの 神秘主義文学	中世後期イングランドにおける神秘主義について概観する。特にリチャード・ロゥルやノリッチのジュリアンなどに着目しながら、カトリック教会において「神と出会う」ことがどのような意味をもっていたのかについて考える。 【キーワード】 神秘主義、俗語、「魂の判断」、「中道的生き方」	井口篤 (放送 大学准教授)	井口篤(放送 大学准教授)
	信仰 (3)—「精神 の湯浴み」として の笑い	中世・ルネサンス文学における信仰と笑いについて考える。ウンベルト・エコの小説『薔薇の名前』から話題を引き出すことから始めて、ペトラルカ、ラブレー、モンテーニュまで、広く論じてみたい。 【キーワード】 機知あふれる笑い、信仰と笑い、メランコリー、精神の解放	宮下志朗(放 送大学教授)	宮下志朗(放 送大学教授)
13	信仰(4)―16世紀 の出版と「検閲」 について	印刷術という大量複製技術は、新たな思想を運ぶメディアとして大きな役割をはたし、宗教改革を支えた。そうした「危険な書物」を規制する「検閲」や「発禁」というシステムについて考え、「禁書目録」を具体的に検討する。 【キーワード】 特認、納本、禁書目録、検閲	宮下志朗(放 送大学教授)	宮下志朗(放 送大学教授)
14	信仰 (5) ―シェイ クスピア作品にお ける信仰の問題	エリザベス朝演劇における信仰の問題について考察する。 【キーワード】 宗教改革、カトリシズム	河合祥一郎 (東京大学教 授)	河合祥一郎 (東京大学教 授)
15	エピローグ―ユマ ニスムの原点と は、ユマニスムの 本質とは	ルネサンスの文化や思想は、しばしば「ユマニスム」 (英語では「ヒューマニズム」)と組み合わされて論 じられるが、このユマニスム (人文主義)」の原点と 本質について考えてみたい。 【キーワード】 フマニタス、リベラル・アーツ、コスモポリタニズ ム、ユマニスムと手職の人々、「16世紀科学革命」	宮下志朗(放 送大学教授)	宮下志朗(放 送大学教 授)、井口篤 (放送大学准 教授)

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2013年度 大学院科目 8940606 無 2 記載欄 年度 区分 コート 制限 数

科目名 (メディア) = ことばとメディア ('13) = (R) -情報伝達の系譜-

〔主任講師(現職名):宮本徹(放送大学准教授)

〔主任講師(現職名): 大橋理枝(放送大学准教授)

【本学担当専任教員:

講義概要

ヒトは、ことばによるやり取りに、様々なメディアを用いることで、その範囲を拡大・多様化してきただけでなく、本質的な変革を多岐にわたって成し遂げてきた。

ヒトが用いてきた、そして今用いている様々なメディアの実際例を取り上げ、それを、ことばによるやり取りという観点から分析・解説し、メディアとことばの関係を示すことによって、ヒトとヒトとの間の伝達の様々な容体の本質を考え、ことばによって支えられてきた、社会や文化の一端を考える手がかりを提供する。

授業の目標

様々な時代のメディアの実際例とその特質を理解し、そこで行われることばによるやり取りの本質を考え、ことばによって支えられてきた、社会や文化の一端を考える手がかりを提供することが、本科目の主なねらいである。

履修上の留意点

「メディア」という言葉が科目名に入っているが、マス・コミュニケーションを中心的に扱う科目ではなく、様々な媒体(=メディア)とことばの関係を扱う科目である。

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
1	様々な情報伝達メ ディア	この科目における「情報伝達メラ 各回を担当する講師それぞれか うに捉えているかを示す。 【キーワード】 情報、伝達、メディア、文字、こと	「情報伝達メディアをどのよ	己(京都大学 大学院准教 授)・井口篤 (放送大学准 教授)・大橋	宮大授己大授の教理学をない。 本学生なが、 をでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
2	書物の「胚胎」	東洋の代表として、中国におけたのいて述べる。 メディアとしての書物が成立すによりどのような情報伝達がなさ 【キーワード】 甲骨文、金文、口頭言語、書物	るより前、いかなるメディア れたかを考察する	宮本徹(放送 大学准教授)	宮本徹(放送 大学准教授)
3	書物の「誕生」	竹簡や帛書から始まった中国にへとそのメディアを変えていく。名書物と、それが持つ規範性の変 【キーワード】 紙、反切、五家韻書、切韻、規	その中で誕生した韻書という 容について考察する。	宮本徹(放送 大学准教授)	宮本徹(放送 大学准教授)

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
4	書物の「成長」	書物が写本から版本へとそのメデルにおいて、書物自身も成長を遂げる切韻系韻書を例に考察する。 【キーワード】 写本、版本、韻書、切韻、広韻		宮本徹(放送 大学准教授)	宮本徹(放送 大学准教授)
5	中世ヨーロッパの写 本文化	手書きの書物、とくに西洋中世にま西洋の前近代におけるメディア・情考える。 【キーワード】 写本、句読点の導入、音読と黙読、語、識字率	報伝達の特質について	井口篤(放送 大学准教授)	井口篤(放送 大学准教授)
6	メディアとしての大学	大学を知・情報を媒介するメディアロッパの大学に焦点を当てて、黎明る情報伝達のあり方について考える 【キーワード】 大学の誕生、スコラ哲学、自由学芸ジョン・ウィクリフ	月期にあった大学における。	井口篤(放送 大学准教授)	井口篤(放送 大学准教授)
7	カトリック教会―神と 人のメディア―	中世ヨーロッパにおいて神と人間を機能していたカトリック教会の特質に説教と演劇について詳しく説明し段がどのようにして中世ヨーロッパでいたのかについて概観する。 【キーワード】カトリック教会、説教、演劇、プロパの統制	について解説する。とく 、、これらの情報伝達手 のカトリック信仰を形成し	井口篤(放送 大学准教授)	井口篤(放送 大学准教授)
8	印刷文化とヨーロッパ	15世紀後半にヨーロッパにおいて 初期近代ヨーロッパの社会にどの。 響を及ぼしたかについても概観する 【キーワード】 印刷術、グーテンベルク、母語、識心、ヒューマニズム、ルネサンス	ような社会的・文化的影 る。	井口篤(放送 大学准教授)	井口篤(放送 大学准教授)
9	書籍•雑誌	文字情報を大量発信する形態であ振り返りつつ、それらの在り方や影 【キーワード】 書籍、雑誌、出版	響について考える。	大橋理枝(放 送大学准教 授)	佐藤卓己(京都大学大教授) 及び大橋理枝(放 大橋学准教 大大学 大大学 大大学
10	新聞	幾つかの国における新聞発達の歴化された情報を紙面上の文字を使聞の在り方を考える。 【キーワード】 新聞、文字情報、大量発信、政論、	って大量に発信する新	大橋理枝(放 送大学准教 授)	佐藤卓己(京都大学) をでは、一次では、 をできた。 をできたた。 をできた。 をできた。 をできたた。 をでき

			_	_
回	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
11	電信·電話	19世紀末期頃以降、電気的な手段による情報伝達の技術が確立され、遠隔・同時・多数への同報、等々、情報伝達は質的に大きな変化を遂げた。有線電信・有線電話・無線電信・無線電話〜放送、各々の基本的な構成と技術の特色をを概観し、送り手からの情報を核になる局に集約して受け手に再配信する情報伝達システムの本質を考える。 【キーワード】 電信、電話、有線、無線、放送、局	大橋理枝(放送大学准教授)	大橋理枝(放 送大学准教 授)
12	ラジオ	「声」から「文字」へと発展してきたメディア文化は、電気通信技術を媒介により二次的な「声の文化」を生み出した。この「ラジオ文明」の意義を1920年代の議論から考える。その上で、ラジオが黄金時代を迎えた1930-40年代を中心に音声メディアにおけることばの政治的機能とその効果を考える。 【キーワード】 ラジオ放送、ラジオ文明、場所感覚の喪失、ラジオ人、ファシスト的公共性、総力戦体制	佐藤卓己(京都大学大学院准教授)	佐藤卓己(京 都大学大学 院准教授)
13	テレビ	ラジオ放送は国境を越えたが「言葉の壁」までは超えられたかった。音声に映像が加わったテレビにおいて、ようやく「言葉の壁」は絶対的なものではなくなった。しかし、その行わりにテレビ方式による「政治の壁」が立ちはだかっていた。音声と映像が一体化した最後の「国民化メディア」における言葉を教育(国民再生産)の視点で考える。 【キーワード】 テレビ放送、教育型テレビ、一億総白痴化、ビデオ革命		佐藤卓己(京 都大学大学 院准教授)
14	インターネット	電信電話からラジオ、テレビを経てテレ・コミュニケーションはインターネットに到達した。双方向性を重視して公共性を 放棄した電話と、公共性を重視して双方向性を放棄したが 送は、インターネット時代に再び融合する。情報が瞬時に 国境を越える「地球村」において、ソーシャル・メディアと電子書籍の普及とは、ことばと文字テクストにどのような影響を与えるのかを考える。 【キーワード】 WWW、地球村、SNS、ウェブ2.0、ソーシャル・メディア、電子ブックス	分担講師 佐藤卓己(京 者大学大学 院准教授)	佐藤卓己(京都大学大学院准教授)
15	情報の伝達	「情報を伝達する」ことの意味(歴史的観点、伝達の背後にある意図など)や、文字に記すことの意義と文字に記さないまま伝達することの意義を考えることを通じて、情報伝達媒体としてのことばを考える。 【キーワード】 情報、伝達、メディア、もの、西洋的(キリスト教的)観点、東洋的(儒教的)観点	授)·佐藤卓 己(京都大学 大学院准教 授)·井口 (放送)·大学橋 教授)·大学橋	宮本徹(放送 大学)・佐都准 大学・佐都准 大学・大学)・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大学・ 大大大 大 大学・ 大学・

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2014年度 大学院科目 8970068 無 2 記載欄 年度 区分 制限 数

英文名 = [Media Studies for the 21st Century ('14)]

〔主任講師(現職名): 水越 伸(東京大学大学院情報学環教授) 〕

【本学担当専任教員: 秋光 淳生(放送大学准教授)

講義概要

19世紀後半以降に登場した電話、ラジオ、テレビといった電気・電子メディアの数々は、20世紀を通じて著しく発達し、アメリカを中心とする先進資本主義諸国のマス・コミュニケーション型、大量生産大量消費型の社会様式を生み出した。私たちは現在、20世紀的な様式を部分的に引き継ぎつつ、インターネットやモバイルに象徴される新たな様式をはらんだデジタル・メディアが環境化した21世紀のメディア社会を生きている。国家や共同体、文化やリテラシーのあり方が大きく変貌する混沌としたこの社会のなかで、メディアに焦点をあて、過去を振り返りつつ、未来を目指すための批判的で実践的な知を育むこと、すなわちメディア論的想像力を養うことが、この授業の大きな目的である。授業ではまず19世紀以降のメディアの歴史を跡づけ、次に理論や思想を押さえる。後半では現代的なメディア社会の諸問題を浮き彫りにし、それらを克服するための実践的活動のあり方を具体的に検討していく。

授業の目標

(1)メディアに視点をおいて人間や社会をとらえていくというメディア論の基礎的素養を培うこと。(2)現代のメディア社会が抱えるさまざまな問題を構造的にとらえられるようになること。(3)メディア社会に積極的に参画し、そのあり方をデザインしていくための学際的で、実践的な知を身につけること。

履修上の留意点

日常生活で当たり前のように思われていることがら、微細なことがらを批判的にとらえなおすことができるセンスを持つ学生、および学問をたんなる知識の習得による「勉強」としてとらえるのではなく、現実社会に対して働きかけるための実践知、デザイン知としてとらえる覚悟を持つ学生、およびそれらの資質の基本として学際的な素養を持つ学生の履修を期待している。

口	テーマ	内容			放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	メディア論の視座	講師の自己紹介などの後、コミュニケーションの媒(なっち)や媒介性に着目するメディア論の意義や、メディアぐる問題の所在をしめす。放送大学というメディアを通メディア論を学ぶという特殊な状況を活かした授業の構成、スタイルや道具立てを説明する。 【キーワード】 日常生活、コミュニケーション、メディア、情報技術、社	をめて	水越伸(東京 大学・教授)	水越伸(東京 大学·教授)
2	19世紀の電気情報 化爆発	19世紀半ば以降の電信、電話、無線、ラジオの発達を 説し、いわゆるマスメディア論、マスコミ論には収まらな 情報技術とメディアと人間、社会を相関させたメディア パースペクティブを学ぶ。 【キーワード】 電気情報化、近代、電信電話、無線、ラジオ、放送	:٧١,		水越伸(東京 大学・教授) ゲスト:長谷 川一(明治学 院大学・教 授)
3	20世紀型メディアの 生成	19世紀後半に現れた情報技術が20世紀型マスメディアして生成展開していく過程を、ラジオ・テレビの社会的が過程を中心に概説する。 【キーワード】 ラジオ、テレビ、大衆消費社会、マス・コミュニケーション	生成	水越伸(東京 大学•教授)	水越伸(東京 大学・教授) ゲスト:長谷 川一(明治学 院大学・教 授)

口	テーマ	内容		講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	20世紀型メディアの 確立	新聞、放送など20世紀型マスメディアの形成と確立、と平行するマスコミュニケーション研究の発達を、日本況を中心に概説する。 【キーワード】 新聞、放送、マスメディア、マス・コミュニケーション研究	水の状	水越伸(東京 大学・教授)	水越伸(東京 大学・教授) ゲスト: 小川 明子(名古屋 大学・准教 授)
5	21世紀デジタル情報 化の混沌	ネットやモバイルに代表される21世紀のデジタル・メラが普及しつつある混沌とした社会状況から、トピックを上げて解説し、問題の構図を明らかにする。 【キーワード】 デジタル情報化、インターネット、モバイル、デジタルディア	を取り	水越伸(東京 大学・教授)	水越伸(東京 大学·教授)
6	メディア論の系譜[まず、19世紀末から20世紀初頭に現れたメディアと人社会をめぐる思想や理論の系譜をたどる。次に、戦争研究、ラジオ研究などから発展したマス・コミュニケー研究の発展過程を概観し、それへの異議申し立てといれたトロント学派のメディア論、カルチュラル・スタディを跡づける。 【キーワード】 マス・コミュニケーション研究、トロント学派、カルチュラスタディーズ	き宣伝 ション してズ	水越伸(東京 大学·教授)	水越伸(東京 大学•教授)
7	メディア論の系譜II	第6回を踏まえつつ、21世紀前半の社会・技術状況のメディア論がかかえる諸問題をあきらかにする。それら服するために、能動的に実践に参画しつつ批判的なを手に入れられるような、新しいメディア論の必要性をる。 【キーワード】マス・コミュニケーション研究、トロント学派、カルチュラスタディーズ、批判的人類学、情報デザイン、批判的ア実践	ら を 知 見 じ か 論 じ ラ ル・	水越伸(東京 大学·教授)	水越伸(東京 大学·教授)
8	メディアの生態系を デザインする	第6回、7回を踏まえつつ、メディアの生態系を一般の自らがデザインすることの必要性と、そのための思想、養のありかたを学ぶ。メディア・ビオトープ(生態学のよという考え方をしめす。 【キーワード】 ビオトープ、生態系、批判的メディア実践、リテラシー び、デザイン	や素 用語)	水越伸(東京 大学・教授)	水越伸(東京 大学•教授)
9	メディア・リテラシーの 覚醒	メディア・ビオトープの中核には、メディアを批判的にすると同時に、メディアで能動的に表現する素養としディア・リテラシーがある。新しいメディア社会を生みとめのリテラシーの試みを紹介し、その可能性と課題をる。 【キーワード】 メディア・リテラシー、学び、批判、表現、ワークショップ	てのメ 出すた [*] 論じ	水越伸(東京 大学・教授)	水越伸(東京 大学•教授)
10	メディア遊びの挑発	メディア・ビオトープの基層には、メディアの体制的でり前のあり方を異化し、それをとらえなおすきっかけをるような営みとしての、メディア遊びがある。新しいメデ社会を生み出すための遊びやアートの試みを紹介しの可能性と課題を論じる。 【キーワード】 メディア遊び、メディア・アート、異化、周縁、子ども	:与え ディア	水越伸(東京 大学·教授)	水越伸(東京 大学·教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	マスメディアと市民: 対決と対話	第4回を受けるかたちで、新聞や放送など20世紀型マスメディアの構造的瓦解現象がもたらす光と影を指摘する。そのうえで市民参加型マスメディアへのリ・デザインの試みを紹介していく。 【キーワード】 マスメディア、産業、制度、パブリック・アクセス、メディア表現	水越伸(東京 大学·教授)	水越伸(東京 大学·教授)
12	モバイル・メディアと 身体、共同体	第5回を受けるかたちで、とくにケータイをはじめとするモバイル・メディアの普及がもたらす光と影を指摘する。そのうえで「情報があふれかえる社会」から「表現が編みあがる社会」へのメディア・デザインの試みを紹介していく。 【キーワード】 モバイル、ネット、公共性、共同体、アイデンティティ、身体、物語		水越伸(東京 大学·教授)
13	グローバルな「生態 系」のデザイン	グローバル化する世界のなかでアジアの映画、ポピュラー音楽、アニメをはじめとするポピュラー文化がどのように生産・流通・消費されているかを探る。そうした現状がはらむ課題を克服するための実践的な試みも紹介していく。 【キーワード】 グローバル・メディア、ナショナリズム、ポピュラー文化、ステレオタイプ、異文化コミュニケーション	水越伸(東京 大学·教授)	水越伸(東京 大学·教授)
14	ローカルな「生態系」 のデザイン	日本のローカルメディア、市民メディアなどに焦点をあてつっ、それらの可能性と課題をあきらかにしていく。また日本に多様なメディアの生態系を育むための実践的な試みも紹介していく。 【キーワード】 ローカル・メディア、市民メディア、デジタル・ストーリーテリング	水越伸(東京 大学·教授)	水越伸(東京 大学・教授) ゲスト: 小川 明子(名古屋 大学・准教 授)
15	21世紀メディア社会 をどう生きるか	授業全体をふり返り、メディア論の構図を整理したうえで、 残された課題を示す。そして最後に、21世紀メディア社会 をいかに生きるか、そのための参考になる提言をおこなう。 【キーワード】 批判的メディア実践、メディア・ビオトープ、21世紀、協働	水越伸(東京 大学·教授)	水越伸(東京 大学・教 ゲスト: 明・教 川一(学・教 授) ゲスト: 小川 明子・教 ザスト: 小川 明子・教 大学・教 大学・教授)

事務局 記載欄	開講 年度 2013年度	科目 大学院科目	科目 3970033	履修 無制限	単位 数	2
------------	-----------------	----------	------------	--------	---------	---

科目名 (メディア) = 音楽・情報・脳 ('13) = (TV)

〔主任講師(現職名): 仁科エミ(放送大学教授) 〕

[主任講師(現職名):河合徳枝(国際科学振興財団主任研究員)]

【本学担当専任教員:

講義概要

情報学の進展は、音楽をはじめとする文化的事象を、科学的な研究の対象とすることを可能にした。とくに脳科学と連携したその成果は大きく、「音楽とは何か」といった本質的な問題を考察する新しい材料が多出している。そこで、この講義では、最先端の情報学と脳科学を応用して、音楽に対する情報学ならではのアプローチの成果を学ぶ。主任講師らがこれまで蓄積してきた音響映像資料を多用し、一部スタジオでの実演を取り入れ、体験性情報を重視した講義とする。

授業の目標

芸術とりわけ音楽に対する情報学的アプローチの有効性と射程距離について基礎的な知識を身につける。それに基づき、具体的な対象についてこの新しい研究の方法論とその効果を学ぶ。同時に、科学とりわけ脳科学に対する過度の信頼や期待、あるいは故なき不信感にまどわされることなく、氾濫する情報を適切に読み解く力を身につけることを目的とする。

履修上の留意点

この講義は、ラジオ番組「情報学の新展開('12)」の内容の一部を発展させるものであり、「情報学の新展開」に続いて受講することによって、円滑な学習が期待できる。

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
1	音楽と情報学、音楽と脳科学	情報学や脳科学の著しい進展によ を高い精度で分析して可視化したり ぼす影響を定量的に計測することで これらの客観性の高い研究手法は 法論として注目されている。情報領 チするこの講義の全体像を紹介す 【キーワード】 音楽、情報学、脳科学	り、音楽が人間の脳に及 が可能になりつつある。 、音楽研究の新しい方 域から音楽にアプロー	仁科エミ(放 送大学教授)	仁科エミ(放 送大学教授) 河合徳枝(国 際科学振興 財団主任研 究員)
2	聴く脳・見る脳の仕組 み	脳神経系の構造と機能の基本と、Eとなく観察するさまざまな手法につい 感性情報を受容するときに必要ないための脳機能に着目し、聴覚と視覚 つ、それぞれの神経系の仕組みに 【キーワード】 神経細胞、シナプス、神経伝達物質	いて学ぶ。音楽を含む 音を聴く」「ものを視る」 道の情報処理を対比しつ ついて学ぶ。		本田 学(国立 精神・神経医 療研究セン ター部長)
3	感動する脳の仕組み	音楽、映像、パフォーマンス、芸術情報によって導かれる「美と快と感!動神経系の構造と機能、およびそは情・感性の生命活動にとっての意ま 【キーワード】 脳幹、大脳辺縁系、情動、理性、愿	動」の基盤となる脳の情 れが生み出す情動・感 とについて学ぶ。	精神•神経医	本田 学(国立 精神・神経医 療研究セン ター部長)

旦	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
4	音楽を感じる脳は変 化を感じる脳	生物学的な視点から音楽情報を扱必須である音の変化を捉える脳内 必須である音の変化を捉える脳内 ぶ。音楽と人間の脳機能との関係。 き事例として、絶対音感を支える脳 ぶ。これらを通して、音楽を感じるが 理のメカニズムについて、基本的な 【キーワード】 楽音、非定常音、絶対音感	メカニズムについて学 という観点から注目すべ の仕組みについて学 とめに必要な脳の情報処		本田 学(国立 精神・神経医 療研究セン ター部長)
5	音の情報構造を可視 化する手法	音のマクロな情報構造を可視化す譜、定常的な周波数構造を描き出間的に生起消滅する現象の周波数トット解析、ミクロな時間領域でのプトロピースペクトルアレイ法等、音(化する手法について学ぶ。 【キーワード】 情報構造、楽譜、FFT、最大エント法	す高速フーリエ解析、瞬 対構造を捉えるウェーブ 変化を描き出す最大エン 音楽)の情報構造を可視	仁科エミ(放 送大学教授)	仁科エミ(放 送大学教授)
6	感性脳を活性化する 超知覚情報	人間に聴こえる周波数の上限は20 ところがこの知覚限界をこえる超知すると脳深部を活性化し、心身に対す。音楽・情報・脳を結ぶ本格的なた典型的な事例といえるこの現象・フェクトの発見の経緯を辿りながら、情報について学ぶ。 【キーワード】 高周波成分、ハイパーソニック・エア	覚情報が可聴音と共存 ポジティブな効果をもたら 研究アプローチが稔っ =ハイパーソニック・エ 、脳を活性化する超知覚	仁科エミ(放 送大学教授)	仁科エミ(放 送大学教授)
7	音楽に使われる音の 多様性	音楽に使われる音の多様性を、音 しい切り口から概観する。たたく、扱 る、吹く、歌うなど、さまざまな方法 のさまざまな音を、人間の知覚閾を にいれて俯瞰する視点を学ぶ。 【キーワード】 音分類、発音原理、周波数スペクト	表る・ゆする、はじく、こす でつくりだされる地球上 こえる物理構造をも視野	八木玲子(東 京成徳短期 大学准教授)	八木玲子(東 京成徳短期 大学准教授)
8	日本伝統音楽の超知 覚構造	日本伝統音楽では、音楽を構成す 進化と成熟を遂げてきた。いくつか 象に、その演奏音の情報構造を精 も人間の知覚閾をこえる物理構造 の比較を通じて、日本伝統楽器の 基盤となる固有の音文化の表現戦 【キーワード】 日本伝統音楽、琵琶、尺八、超知2	の日本の伝統楽器を対 密に可視化する。なかで に着目し、西欧の楽器と 変遷と楽器の進化、その 略について考察する。	八木玲子(東 京成徳短期 大学准教授)	八木玲子(東 京成徳短期 大学准教授)
9	共同体を支える音楽	「音楽の形式は、それを生み出したす」と言われる。緊密な絆で結ばれでは、音楽が共同体を成立させる。多い。共同体を支える音楽の多様音楽との間の一体性を築く仕組みという切り口からふれる。 【キーワード】 音楽、共同体、インターメディア性、	た優れた伝統的共同体 上台となっている場合が な姿を紹介し、共同体と の一端に、情報そして脳	河合徳枝(国際科学振興財団主任研究員)	河合徳枝(国 際科学振興 財団主任研 究員)
10	人類の遺伝子に約束 された快感の情報	共同体の絆となってきた優れた音楽る表現行動には、初めて触れる人変をする。感性情報を受容する脳の文化伝搬の形跡が認められない共いだされる、学習を必要としない快る表現情報について学ぶ。 【キーワード】 脳の階層性、報酬系、快感誘起性ナル	をも感動させるものが存 仕組みに注目しながら、 に同体の間に共通して見 感のシグナルと推定され	河合徳枝(国際科学振興財団主任研究員)	河合徳枝(国 際科学振興 財団主任研 究員)

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
11	音楽による共同体の自己組織化	高等動物の行動は、脳の報酬系、働きによって制御されている。とりけ快感を発生させる脳の報酬系が動を誘発誘導する。こうした神経に体構成員の自律的行動を促してせる叡智を、バリ島共同体の音楽【キーワード】	わけ、感性情報が働きか は、きわめて強く動物の行 回路の働きを活かし、共同 その自己組織化を実現さ を主題にして学ぶ。	河合徳枝(国 際科学振興 財団主任研 究員)	河合徳枝(国 際科学振興 財団主任研 究員)
12	トランスの脳科学〜 感性情報は人類をど こまで飛翔させるか	共同体の絆となる音楽の自己組終動制御回路の中の報酬系をどこな快感と陶酔を共同体構成員にリ島の共同体を事例に、祝祭の樹識変容)とそれを誘起する音楽そ己組織化に活かす叡智について【キーワード】	まで活性化し、いかに強力体感させるかにかかる。バ 極致で発生するトランス(意 して音の力を共同体の自 学ぶ。	河合徳枝(国 際科学振興 財団主任研 究員)	河合徳枝(国 際科学振興 財団主任研 究員)
13	コンピューターと音楽	コンピューターとネットワークの発収録・配信など、音楽をめぐる技んある。コンピューターによる音楽制記述するMIDI言語、それらにより関わるメディア規格について、これ観する。 【キーワード】 コンピューター音楽、MIDI、デスディア規格	析環境は大きく変貌しつつ 川作システム、音楽情報を って作られた音楽や音に れまでの講義を踏まえて概	仁科エミ(放 送大学教授)	仁科エミ(放 送大学教授)
14	人類本来のライフスタ イルと音楽	人類本来のライフスタイルを今日 狩猟採集民ムブティ人は合唱をはして知られる。一方、調性を破壊して知られる。一方、調性を破壊し代音楽は、その対極にあるものととを通じて、音楽における"本来" 【キーワード】 狩猟採集民、十二音音楽、本来、	はじめとする音楽の達人と した十二音技法による現 いえる。両者を対比するこ と"適応"を論じる。	仁科エミ(放 送大学教授)	仁科エミ(放 送大学教授)
15	情報学がひらく音楽 の新しい可能性	今後の情報学や脳科学の発展が 論じ、講義をまとめる。 【キーワード】 音楽、情報学、脳科学	ず音楽にもたらす可能性を である。	仁科エミ(放 送大学教授)	仁科工》(放 送大学教授) 河合徳枝(国 際科学振興 財団主任研 究員)

事務局 記載欄	開講 年度	2013年度	科目 区分	大学院科目	科目コート	8970041	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = ソフトウェア工学 ('13) = (R)

[主任講師(現職名): 玉井哲雄(法政大学教授)

[主任講師(現職名):中谷多哉子(筑波大学大学院准教授)]

【本学担当専任教員:川合慧(放送大学教授)

講義概要

今や情報システムは、電気・ガス・水道から交通システム、通信システム、あるいは経済関係の活動まで、ありとあらゆるものを支えるものとなっているが、その本質は、情報処理機械、すなわちコンピュータの中で稼動しているソフトウェアが担っている。ここでソフトウェアは一種の抽象概念であり、目に見えるものではないために、その存在は、その作成や運用に携わっている人々以外にはほとんど意識されることがない。ましてやその複雑さや構築の困難さに思いが及ぶこともないのが実情である。本科目では、このように特殊な存在であるソフトウェアをどのように作ればよいかという問題と対峙している「ソフトウェア工学」について学ぶ。

まず最初にソフトウェアの作成が「工学」を必要とする程に難しいタスクであることを学んだ後、ソフトウェア工学の概要をその発展の様子を含めて理解する.

情報学プログラムの学生を主なターゲットとするが、ソフトウェアやソフトウェア工学に関心を寄せる他コース・プログラムの学生も興味をもって理解できるように、先端的な内容も含めて平易に解説する.

授業の目標

情報システムの本質であるソフトウェアについて、その原理的な構成方法を通じてその性質を理解する。それから、ソフトウェアの構築についての様々な方法論を学び、ソフトウェア構築についての明確な視点を涵養する。

履修上の留意点

回	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
1	ソフトウェアとは	ソフトウェアの基本的な性質とは何か. 現代のさまざまなソフトウェアの特徴を, ビジネス系や組込み系などの種類とともに概観する. サービス指向, クラウド・コンピューティングなどの最近の話題にも触れる. 【キーワード】 ソフトウェアの語源, ビジネス・ソフトウェア, 組込みソフトウェア	授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)
2	ソフトウェアの不具合 がもたらす社会的影 響	ソフトウェアが社会にもたらすインパクトを, とくに不具合が 生じた場合にもたらされる影響の具体例を挙げて解説す る. そしてソフトウェアに求められる信頼性や安全性につい て議論する. 【キーワード】 ソフトウェアの不具合, 信頼性, 安全性	玉井哲雄 (法政大学教 授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)
3	ソフトウェア工学の意 義と方法	ソフトウェアを体系的な方法に基づいて開発するためのソフトウェア工学について、その意義を明らかにし、またこれまでの歴史を概観する. 【キーワード】 ソフトウェア工学の歴史、ソフトウェア工学の方法	玉井哲雄 (法政大学教 授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
4	ソフトウェアプロセス	ソフトウェア工学の研究と実践の対象 とぷプロセスである. そのプロセスに, アのライフサイクルという考え方や, こ と実行などについて学ぶ. 【キーワード】 ライフサイクル・モデル, プロセス記述	焦点を当て, ソフトウェ プロセスモデルの記述	玉井哲雄 (法政大学教 授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)
5	要求分析	ソフトウェアのライフサイクルの最初の 求分析の方法について学習する.要出から要求仕様の記述,要求の管理 う. 【キーワード】 要求工学,要求仕様	東求についてはその抽	中谷多哉子 (筑波大学准 教授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)
6	モデル化技法とUML	本講座ではソフトウェア工学の中では 法について,統一的な視点で扱うこと ここではモデルとは何かをまず議論し 方法,とくに図式記法としてのUMLに 【キーワード】 モデル化技法,UML,グラフ表現	とを一つの特徴とする. し, さらにモデルの記述	玉井哲雄 (法政大学教 授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)
7	制御とデータのモデ ル	モデルの具体例としてデータの流れ デルを取り上げ、さらにそれらのモデアの開発手法について学ぶ. 【キーワード】 データの流れ、制御の流れ、構造化	・ルを用いたソフトウェ	玉井哲雄 (法政大学教 授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)
8	動的振る舞いのモデ ル	モデルの具体例として、ここでは状態したシステムの振舞いを記述するものモデルを用いたソフトウェアの開発手 【キーワード】 状態遷移モデル、メッセージ交換、並	Dを取り上げ,またその ≦法について学ぶ.	玉井哲雄 (法政大学教 授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)
9	オブジェクト指向開発	オブジェクト指向モデルを取り上げ, 基づくソフトウェア開発手法を学ぶ. 分析から, オブジェクトの同定, オブ 作用の明確化, などを扱う. 【キーワード】 オブジェクト指向, ユースケース, クラ	ユースケースを用いた ジェクト間の関係と相互	中谷多哉子 (筑波大学准 教授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)
10	形式手法	数学や論理学で使われる形式記述しの仕様定義と、それを用いた厳密なぶ。 【キーワード】 形式仕様、正当性の証明、プログラ	開発・検証手法を学	玉井哲雄 (法政大学教 授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)

回	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
11	設計技法	ソフトウェア・システムの設計手法として、 計、設計バターン、フレームワークの利用 にWebシステムの開発を例として取り上げ 【キーワード】 アーキテクチャ設計、コンポーネント、フレ	などを学ぶ. とく る.	中谷多哉子 (筑波大学准 教授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)
12	検証技術	ソフトウェアのテスト, 形式検証, 見直し, 対解説する. それにより, 正しいソフトウェアが, およびソフトウェアが正しく作られてい方法を学ぶ. 【キーワード】 テストケースの生成, デバッグ, 静的/動的	が作られている るか,を検証する	玉井哲雄 (法政大学教 授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)
13	開発環境とツール	ソフトウェアの実装を含めた開発過程全般境を,代表的なツールとともに概観する. 【キーワード】 ソフトウェア開発環境,構成管理,ツール	どで用いられる環	中谷多哉子 (筑波大学准 教授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)
14	保守と発展	ソフトウェアの保守・発展プロセスと, そこでについて議論する. ハードウェアと比べた ア保守の特徴と, スライシング, 回帰テスト の手法について学ぶ. 【キーワード】 保守の分類, スライシング, 回帰テスト	場合のソフトウェ	玉井哲雄 (法政大学教 授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)
15	プロジェクト管理	ソフトウェア開発プロジェクトの管理手法と ツールについて学ぶ. 品質管理, コスト見 どを対象とする. 【キーワード】 ソフトウェアの品質管理, 要員管理, コスト	積り,開発組織な	中谷多哉子 (筑波大学准 教授)	玉井哲雄 (法政大学教 授), 中谷多哉子 (筑波大学准 教授)

事務局 記載欄	開講 年度 2013年度	科目 大学院科目	科目 397	70050 履修制限	無	単位 数	2	
------------	-----------------	----------	--------	------------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = 研究のためのICT活用 ('13) = (R)

〔主任講師(現職名): 高橋秀明(放送大学准教授)

〔主任講師(現職名): 柳沼良知(放送大学准教授)

【本学担当専任教員:

講義概要

大学(院)の研究において、インターネット等の情報通信技術(ICT: Information Communication Technology)を活用することは必須の時代になっている。本科目では、情報学分野を中心に、研究の方法論を講ずる中で、研究のプロセスのさまざまな場面で役立つ情報通信技術を紹介する。研究とは何か?研究方法論とは何か?ということを絶えず意識しながら、各種の技術やツールの意味について考察を加えたい。

授業の目標

修士論文や卒業論文作成に役立つ情報通信技術ならびに研究方法論を習得する。

履修上の留意点

学部科目「デジタル情報の処理と認識('12)」・「情報機器利用者の調査法('12)」を履修しておくことが望ましい。

口	テーマ	内容		講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
1	研究とは	情報系の研究は学際的な領域に属している。研究題意識を持つことから、論文を書いて公表するましいプロセス(過程)を経る。そのプロセスにおいてな情報通信技術を利用することができる。それらのは、研究の理論と方法論との両方にかかわっていを、本講義全体の狙いと内容とを紹介しながら説は「キーワード」 研究のプロセス、情報通信技術、理論と方法論	で長く険 てさまざま ひ技術 いる。以上	教授	高橋秀明·准 教授 柳沼良知·准 教授
2	論文とは	科学は常に変化している。研究の成果は論文とい 実する。研究は、大学(院)あるいは学会という組 て正統化されており、論文も同様に、大学(院)ある 会によって決められた内容とスタイルとを有してい の査読について説明し、科学と非科学の違い、科 論と方法論との関係について考察する。 【キーワード】 論文、学会、論文のスタイル、査読	職によっ るいは学 る。学会	高橋秀明·准 教授	高橋秀明•准 教授
3	問題意識を持つ	研究は問題意識を持つことから始まる。問題意識や家庭での日常生活を営む中で育まれる。広く深識を持ち続けつづけると研究も豊かになる。問題注料学で使われる用語や概念に読み替えることが必る。自分の研究の問題を導出し、研究計画を立て第4回の先行研究調査に進むことを説明する。 【キーワード】 問題意識、日常生活、科学の用語・概念、研究計	だく問題意 意識は、 公要にな てから、	高橋秀明•淮 教授	高橋秀明•淮 教授

回	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	先行研究を集める	先行研究とは、自分の研究が依過去の研究を指す。先行研究を指す。先行研究を の研究テーマに関して、すでに どんな課題が解明されずに残さ できる。第4回では、学術文献の 上で、ICTを活用して自分の研 効率的・効果的に集める方法を 【キーワード】 先行研究、文献調査、図書館、	を調べることによって、自分 何が明らかにされており、 がれているのかを知ることが う流通の仕組みを理解した 究テーマに関連した文献を 学ぶ。	三輪眞木子· 教授	三輪眞木子• 教授
5	先行研究をレビュー する	研究論文を執筆する際には、そ過去の知見を要約し、自分の研性を示すために、先行研究をレ行研究レビューの目的と意義を価方法と、先行研究レビューのレビューを効率的に進めるため使い方も紹介する。 【キーワード】 先行研究レビュー、学術論文、	F究の必要性、意義、新規 ビューする。第5回では、先 考えながら、先行研究の評 まとめ方を学ぶ。先行研究 の、文献管理ソフトウェアの		三輪眞木子• 教授
6	システムを開発し評価する	特に情報系の論文を書く場合、開発を行い、その評価によって 回では、このようなシステムの設 で動作するアプリケーションの 別プリケーションの開発などについ 【キーワード】 システム開発、スタンドアロンアフ ケーション	論文を書く場合もある。第6 計方法や、スタンドアロン 昇発、Web上で動作するア いて述べる。	柳沼良知•准 教授	柳沼良知•准 教授
7	多様なデータを扱う 〜多次元データとテ キストマイニング〜	第7回では、開発したシステムや得られたデータの分析方法にて多次元データをどのように分析もに、多量のテキストデータを分ニングの概要などについて述へ【キーワード】	ついて述べる。具体的には、 するかについて述べるとと か析するためのテキストマイ べる。	柳沼良知•准教授	柳沼良知•准 教授
8	多様なデータを扱う 〜テキスト・音声デー タ〜	研究を進めるにあたって、テキン像など、様々な形式のデータを回では、文書やWebページの作キストデータの編集や、音声デテム開発などの際に必要となるて述べる。 【キーワード】 テキストデータ、音声処理	利用する場合もある。第8 F成などの際に必要となるテ ータを利用した実験やシス	柳沼良知•准 教授	柳沼良知•准 教授
9	多様なデータを扱う 〜画像・映像データ 〜	研究を進めるにあたって、テキス像など、様々な形式のデータを回では、論文の図などを作成すやシステム開発などで必要とな利用について述べる。 【キーワード】 画像処理、映像編集、3Dデータ	利用する場合もある。第9 るための画像処理、実験る映像編集や3Dデータの	柳沼良知•准 教授	柳沼良知•准 教授
10	ユーザを調査する 〜データ収集〜	情報系の研究においては、第6 ルの開発とその評価だけでなく 利用する人間(ユーザ)を対象にも必要になる。人間を対象には、心理学の研究法が参考にな察、実験、質問紙、インタビュー利用できるツールなどを紹介す 【キーワード】 ユーザ、観察、実験、質問紙、「	、そのシステムやツールを こしたユーザ調査を行うこと たデータを収集する方法 なる。 そこで具体的に、観 などの方法とそれぞれに る。	高橋秀明•准 教授	高橋秀明·准 教授

□	テーマ	内容	講師名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
11	ユーザを調査する 〜データ分析〜	ユーザ調査において得られたデータを分析する方法について紹介する。量的なデータと質的なデータとを分析する方法の初歩を説明する。あわせて、データ分析のためのツールについても述べる。 【キーワード】 量的分析、質的分析、データ分析ツール	5	高橋秀明•准 教授
12	結果をまとめ考察する	データ分析の結果は、通常図や表の形で表現するのがおりやすい。そのための方法や注意点、ツールについてべる。研究の結果をまとめたら次には、研究目的に照らして研究の結果を考察する。そのための方法や注意点にいて説明する。 【キーワード】 図表、結果と考察	述	高橋秀明·准 教授
13	研究を発表する	研究活動の過程では、論文として成果を公表する他に、究会や学会の場で口頭発表やポスター発表を行う。このうな活動は、発表者と聞き手の相互作用により、研究成界を深めたり、広げたりすることに役立つ。聞き手にわかりやすい研究発表の方法、およびプレゼンテーションソフトウアの効果的な活用方法を説明する。 【キーワード】 研究発表、口頭発表、プレゼンテーション、プレゼンテーションソフトウェア、コミュニケーション		高橋秀明·准 教授
14	論文を書く	研究は論文という形になって初めて意味のあるものになる。論文を書くための方法や論文執筆支援ツールについて述べる。第2回で説明したとおり、論文のスタイルは大学(院)や学会が決めたスタイルがあるが、代表的な論文スイルについても紹介する。 【キーワード】 論文執筆、論文スタイル	至	高橋秀明·准 教授
15	研究を振り返る	研究の最後には、研究を振り返ることが肝要である。そこで、研究プロセスを管理する方法について説明するととに、科学コミュニケーション、研究倫理についても検討する。最後に、研究を円滑に進める方法について説明し、研究を振り返るための方法・観点を補足する。 【キーワード】 研究評価、研究倫理、科学コミュニケーション、研究を円に進める	高橋秀明·准 教授 柳沼良知·准 教授	高橋秀明·准 教授 柳沼良知·准 教授

事務局 記載欄	開講 年度	2012年度	科目区分	大学院科目	科目ュード	8970025	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	----------	--------	------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = 情報学の新展開 ('12) = (R)

 [主任講師(現職名):川合慧(放送大学教授)
]

 [分担講師(現職名):指宿信(成城大学教授)
]

 [分担講師(現職名): 仁科エミ(放送大学教授)
]

 [分担講師(現職名):近藤智嗣(放送大学教授)
]

講義概要

情報社会と呼ばれる現代社会は、情報科学、情報工学という基盤の上に、情報システム学、情報社会学、情報経済学といった 人間社会を扱う学問体系と、認知科学、生理学、人間科学などの人間の行動と特性を扱う学問、さらに国際社会や法体系、芸 術分野の学問までの、幅広い知識体系に支えられている。現実的には、これらを基礎とした多種多様な情報環境が構築されて きており、私達の生活や社会を変えつつある。本科目ではこのような状況についての偏りのない教養を身につけるために、種々 の事例を基本原理とともに解説し、広義かつ高度な情報リテラシーを学ぶ。

授業の目標

情報社会を支える種々の要素を可能な限りブラックボックスとしてではなく理解するとともに、相互の関連性を把握し、社会全体の動きを主体的に理解することを目的とする. 具体的な理解軸としては、情報処理技術の基礎、人工知能の考え方と応用、情報メディアと人間社会・法、人間の認知作用と情報システム、情報と現実との融合、生命・生体科学と情報のそれぞれについて基本的な理解と認識とを目指す.

履修上の留意点

基礎情報科学('09),情報のセキュリティと倫理('14),情報の世界('10)などが強く関連する科目である.

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	講 師 名
1	情報学とその動向	コンピュータはもともとは数値的な計実行することを目的として発明されたする柔軟かつ汎用的な方式の使用すべての領域にその処理を適用すた。この状況を情報処理技術の発展ぶ。 【キーワード】 情報、情報の表現、符号化、情報の	とが、実世界を符号化により、人間が扱うほぼることができるようになっ とを交えて概観的に学		川合慧 (放送大学教 授)
2	情報処理技術とシス テムの進展	現代のコンピュータが社会に応用さいて、情報処理の社会応用の観点がには、処理の速度と装置の小型化、ふう、通信と入出力などについて見ると考方法の違い、情報システムの有学ぶ. 【キーワード】 処理速度、装置の小型化、機械と人ムの有効性と限界	から考察する. 具体的符号化と計算方法のくる. また, 機械と人間の対対性と限界についても		川合慧 (放送大学教 授)
3	人工知能の展開 一歴史と概要ー	人工知能はコンピュータを人間のよはコンピュータを道具として知能になおした研究領域である。人工知能の提唱された理論,人工的に知能を実について学ぶ。 【キーワード】 チューリングテスト,論理,物理記号記号接地問題	ついて探求することを目 f究のこれまでの経緯, E現する際の難問など	松原仁 (公立はこだ て未来大学 教授)	松原仁 (公立はこだ て未来大学 教授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	人工知能の展開 -実際の応用-	人間のような知能を持ったコンピュータを作るという人工知能の究極の目標はまだ達成されていないが、いくつかの領域ではコンピュータが人間の専門家を越える能力を持つにいたり、人工知能の成果が世の中で広く使われるようになっている。その応用の様子について学ぶ。 【キーワード】 エキスパートシステム、ゲーム、ワープロ、情報検索、データマイニング	松原仁 (公立はこだ て未来大学 教授)	松原仁 (公立はこだ て未来大学 教授)
5	知能ロボットの展開	人間のような知能をコンピュータに持たせるためには身体が必要であることがわかり、一方でロボットの技術が進んで以前はソフトウェアの研究であった人工知能と連携が進んで知能ロボットの研究が盛んになってきた。知能ロボットは知能を持った(動く)コンピュータであるという立場から知能ロボットの基礎と応用を学ぶ。 【キーワード】 身体性、行動に基づく知能、ロボカップ、不気味の谷、ヒューマノイド	松原仁 (公立はこだ て未来大学 教授)	松原仁 (公立はこだ て未来大学 教授)
6	人間の認知作用と情 報システム	情報システムやデジタルコンテンツ等を開発する際には、人間の認知作用を理解し、それに基づいたインタフェースを設計する必要がある。このことは、誰もが情報発信できる今日では学生の基礎知識としても必須であるため、人間の認知作用をシステムデザイン、ヒューマンインタフェースと関連づけて学ぶ。 【キーワード】 認知作用、情報システム、ヒューマンインタフェース	近藤智嗣 (放送大学教授)	近藤智嗣 (放送大学教 授)
7	情報と現実との融合	バーチャルリアリティ技術は、既に幅広い分野に応用されつつあり、その技術が実空間と融合したミクストリアリティも身近な技術となりつつある。これらの技術の主要な応用例とそのシステムを構成する要素技術を取り上げ、これまでの研究成果が人間生活の向上に寄与していることを学び、今後の動向について考察する。 【キーワード】 バーチャルリアリティ、ミクストリアリティ、拡張現実感	近藤智嗣 (放送大学教授)	近藤智嗣 (放送大学教 授)
8	生命と情報	生命現象からみると、生命を生命たらしめるソフトウェアこそ「情報」だといえる。私たちの生存は体内における情報活動によって維持されており、情報を抜きにして生命の本質を知ることはできない、遺伝子発現、ホルモン伝達、神経伝達など、生体内での情報のはたらきと、それにもとづく新しい生命概念について考察する。 【キーワード】 遺伝子、化学伝達、神経伝達	仁科エミ (放送大学教 授)	仁科エミ (放送大学教 授)
9	脳と情報	情報処理の中枢である脳は、精神活動を司ると同時に、生体制御の中枢でもある. しかも脳では、精神活動と生体制御とが密接に連関していることがわかってきた. このような新しい観点から脳の理解を深めるとともに、脳における感覚感性情報処理についての新しい知見を紹介する. 【キーワード】 基幹脳、言語脳・非言語脳、視聴情報処理	仁科エミ (放送大学教 授)	仁科エミ (放送大学教 授)
10	文化芸術と情報	情報技術によって私たちは世界各地の多様な文化芸術に接することが可能になった. さらに、コンピュータの普及は芸術のあり方そのものを大きく変えつつある. それら多様化する文化芸術情報を受容する人間の側から捉え直し、美と快を発生させる感性情報とその文化ごとの特徴について考察する. 【キーワード】 感性脳、文化の多様性、メディアアート、ハイパーソニック・エフェクト	仁科エミ (放送大学教 授)	仁科エミ (放送大学教 授)

				劫筝扣 尘	放送担当
回	テーマ	内	容	講 師 名	成 5 년 5 講 師 名 (所属・職名)
11	情報メディアと人間	人類の文化や歴史と情報メディアかいているかについて、活版印刷技術り、電子テキストと図書館や学問のはビジネスへの影響、電子メールとコミなど様々な例を用いて学ぶ。 【キーワード】 グーテンベルグ、グーグル、電子テケーション	析と宗教革命のかかわ あり方,検索技術による ミュニケーションのあり方	指宿信 (成城大学教 授)	指宿信 (成城大学教 授)
12	情報と法・政策	ネットワーク社会の登場によって生きと財のデジタル化は、既存の法体系だし、国境を越えて広がるネットワーうことを困難にしている。情報の収集かわる法的問題を例に、情報化社会重要性を理解する。 【キーワード】 インターネット、サイバースペース、権	系を揺るがす問題を生み -クは法的解決をおこな 長・保有・発信・媒介にか 会の進展と法的対応の	指宿信 (成城大学教 授)	指宿信 (成城大学教 授)
13	情報と政治・社会	様々な社会問題をICTの力によって発展にICTを利活用するためには、る.他方で、グローバルなネットワーた仮想的な社会は国際政治にも大そうしたICTに関わる政策形成のあ情報コミュニケーションについて学、【キーワード】 ネットワーク、ガバナンス、通信政策会	情報政策が重要であ ・ク環境によって登場し きな影響を与えている。 り方やグローバル社会と ぶ。	指宿信 (成城大学教 授)	指宿信 (成城大学教 授)
14	教育と情報	従来の視聴覚機器に代わり、さまざ取り入れられている。その取り入れらをといる。その取り入れら歴史的な変遷および情報技術の革た。特にインターネットやモバイル技く進展させている。こうした教育の情などについて学ぶ。 【キーワード】 e-Learning、LMS、オーサリング、携	られ方は,学習理論の 新によっても変化してき 技術は,学習環境を大き 情報化と期待される効果	近藤智嗣 (放送大学教 授)	近藤智嗣(放送大学教授)
15	情報学の新展開	情報学の現状とその将来動向につれの立場から述べる. 具体的な項目任, 現実の拡張, 芸術と情報, クラガ法, などである. 【キーワード】 情報学	目は,機械の利用と責	川合慧 (放送大学教 授)	松原仁(公立はこだて未来大学教授)・指宿信(成城大学教授)・近藤智嗣(放送大学教授)・仁科エミ(放送大学教授)・川合慧(放送大学教授)・川合き(放送大学教授)・川合き(放送大学教授)

	開講 年度	2012年度	科目 区分	大学院科目	科目コード	8970017	履修 制限	無	単位 数	2	
--	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = データベースと情報管理 ('12) = (TV)

〔主任講師(現職名):三輪眞木子(放送大学教授)

〔主任講師(現職名):柳沼良知(放送大学准教授)

【本学担当専任教員:

講義概要

テキスト・画像・音声・映像を含む多様な形態の電子情報が、インターネット等のネットワークを通じて広く流通しており、こうしたマルチメディアの電子情報を効率よく蓄積・検索できるデータベースの構築と活用が重要になってきている。本科目では、多様な形態の電子情報を効果的・効率的に活用するために必要な知識と技術の習得と、テキスト・画像・音声・映像を含むマルチメディア・ドキュメントの電子化・蓄積・組織化・検索を含むデータベース構築技術の習得を目指す。

授業の目標

多様なメディアの電子情報をデータベースとして管理する方法と、それらの電子情報を効果的・効率的に活用する方法、およびデータベース・サービスの評価方法を学ぶ。

履修上の留意点

口	テーマ	内容		執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
1	データベースとは	データベースは情報の組織化、蓄積、検索の情報管理手法である。本章では、データベース歴史を振り返るとともに、多種多様なデータベース管理る枠組みを論じる。さらに、データベース管理アであるデータベース管理システム(DBMS)の載するデータの論理構造を表す主要なデータ介する。 【キーワード】 情報管理、データベース、データベース管理シDBMS、データモデル	スの発展の ースを分類 里ソフトウェ 機能と、搭 モデルを紹	三輪 眞木子 (放送大学· 教授)	三輪 眞木子 (放送大学· 教授)
2	リレーショナルデータ ベース技術	まとまりのある一連のデータを効率的に扱うたとベースが構築される。データベースの構築手段ピュータ上で動作するデータベース管理シスラれることが多い。このうち、最も重要なリレーショベースについて概観する。リレーショナルデー基礎知識を習得し、SQLによるデータ定義とデ方法を学ぶ。 【キーワード】 リレーショナルデータベース、SQL	受として、コン ←ムが用いら ョナルデータ タベースの	森本 容介 (放送大学· 准教授)	森本 容介 (放送大学· 准教授)
3	文献データベースの 構築	私たちの身近にある図書、新聞、雑誌論文など データベースがどのように発展してきたかを概た、文献データベースの構築の手順と、検索に データの役割を論じ、メタデータ標準の具体例 らに文献検索において重要な課題である主題 方と方法を紹介する。 【キーワード】 文献データベース、情報検索、メタデータ、主	観する。ま こおけるメタ 」を示す。さ 表現の考え	三輪 眞木子 (放送大学· 教授)	三輪 眞木子 (放送大学• 教授)

□	テーマ	内容		講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	文献データベースの 利用	文献データベースを使って情報を検索するプロセス献とクエリのマッチングとしてとらえる伝統的な情報がルを紹介し、その問題点を考える。また、ユーザの探索行動の一部として情報検索を捉えるユーザ志に報探索の考え方を学ぶ。さらに、情報検索におけるの心理を捉えるために、意思決定と問題解決においの動きを捉える。 【キーワード】	検索モ の情報 向の情 ユーザ	三輪 眞木子 (放送大学· 教授)	三輪 眞木子 (放送大学· 教授)
5	テキスト検索	検索インデックスを用いた高速なテキスト検索の一記れを学ぶ。テキスト検索の応用例として、インターネ検索エンジンを取り上げる。 【キーワード】 全文検索、検索インデックス、形態素解析、N-gramエンジン	シトの	森本 容介 (放送大学· 准教授)	森本 容介 (放送大学· 准教授)
6	文献データベースの 評価	文献検索システムの評価基準として使われている適の概念と、適合性に基づく評価指標である再現率と考える。これらの指標を用いて文献検索システムをる検索実験を紹介する。一方、ユーザが文献データをどのように評価しているかを考える。また、文献デベースを包括的に評価する視点である、費用対効りび費用対便益の考え方を学ぶ。 【キーワード】 適合性、検索実験、システム志向、ユーザ志向、費果、費用対便益	と精度を 評価す ウベース ータ 果およ	三輪 眞木子 (放送大学· 教授)	三輪 眞木子 (放送大学・ 教授)
7	多様なメディアとデー タベース	私たちは、文字情報以外に画像や映像などさまざまでイアによる情報を活用している。3つの観点から多ディアとデータベースについて考える。①コンピューネットワーク上でどのようなメディアを活用しているのさまざまなメディアの中でなぜ画像情報は重要なの多様なメディアによるデータベースが発展してきた身何か。 【キーワード】 メディア、画像情報、コンピュータ技術、メディア技術基盤	様なメ -タや Oか。② か。③ 要因は	川淵 明美 (放送大学・ 准教授)	川淵 明美 (放送大学・ 准教授)
8	画像処理の基礎	様々なメディアの中で静止画像を取り上げる。画像 ピュータ上で扱うには、画像データのデジタル化や 符号化などの処理が必要である。画像データの仕終 画像データの加工、画像データの保存の基本技術 ぶ。 【キーワード】 画像データ、デジタル化、色、画像ファイル	加工、 組み、	川淵 明美 (放送大学・ 准教授)	川淵 明美 (放送大学・ 准教授)
9	画像データベースの管理と活用	美術館・博物館の所蔵品データベースやオンラインピングでの商品データベースなどWeb上で画像デーベースを利用する機会が増えてきている。画像デースの構成、画像情報の管理、画像検索の方法からデータベースの仕組みを学ぶ。また、デジタルアーにおける画像データベースの管理と活用事例から、データベースの有効性を考える。 【キーワード】 画像データベース、画像ファイル、メタデータ、画像	ータ タベー 画像 カイブ 画像	川淵 明美 (放送大学· 准教授)	川淵 明美 (放送大学・ 准教授)
10	映像データの取得	映像データをデータベース化する際に必要となる, データの取得や編集方法について概説する. また, の処理技術の例として, 情報量が大きな映像を効率扱うために用いられる, 映像の変わり目(シーンチェの検出手法についてもあわせて述べる. 【キーワード】 A/D変換, 映像フォーマット, 映像編集, シーンチェ	映像 図的に シンジ)	柳沼 良知 (放送大学· 准教授)	柳沼 良知 (放送大学・ 准教授)

□	テ	<u> </u>	マ	内容	講師名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	映像デー	ータの)配信	映像データの配信手法として、Webサーバを使ったダウ、ロード配信やビデオポッドキャスト、専用の映像サーバをいたストリーミング配信等の配信手法について述べる。また、映像配信の際の要素技術の1つである、映像要約の概要についてもあわせて述べる。 【キーワード】 ビデオポッドキャスト、ストリーミング、映像要約	用	柳沼 良知 (放送大学• 准教授)
12	映像デー検索」	ータの)「こんな	画像検索や映像検索は、利用者の検索意図に基づき、索したい画像のイメージを明確に表現できる場合に対応る「こんな検索」と、検索したい画像のイメージを明確に表現できない場合に対応する「あんな検索」の2つに分類することができる。本章では、「こんな検索」における検索キの抽出手法や検索システムの実現について述べる。 【キーワード】 映像検索、画像検索、検索キー、「こんな検索」	す 長 柳沼 良知	柳沼 良知 (放送大学· 准教授)
13	映像デーな検索」	ータの)「あん	画像検索や映像検索は、利用者の検索意図に基づき、索したい画像のイメージを明確に表現できる場合に対応る「こんな検索」と、検索したい画像のイメージを明確に表現できない場合に対応する「あんな検索」の2つに分類することができる。本章では、「あんな検索」における検索キの抽出手法や検索システムの実現について述べる。 【キーワード】 映像検索、画像検索、検索キー、「あんな検索」	す 長 柳沼 良知	柳沼 良知 (放送大学・ 准教授)
14	3次元デ	·一夕(の処理	近年のハードウェアの発達により、3次元データが科学、療、教育、エンタテイメントなど、様々な分野で利用されるようになってきている。本章では、3次元ボリュームデータや3次元ポリゴン(多面体)のデータ形式や構造について学習する。また、3次元データベースを効果的に扱うために必要な類似形状検索技術とその応用について学習する。 【キーワード】 3次元データ、ボリュームデータ、ポリゴン、類似形状検索	が 鈴木 一史 (放送大学・ 准教授)	鈴木 一史 (放送大学· 准教授)
15	データ〜	ミース	の運用	長期的視野に立ってデータベースを運用していくために要な、セキュリティ管理や障害対策、著作権の管理につて述べる。利用者にとって使いやすいデータベースサースを提供するために必要な、インターフェイス設計や利用者支援のあり方を考える。最後に、時間や空間の枠を超てデータベースを発展させていくための方法について論る。 【キーワード】 セキュリティ管理、障害対策、著作権管理、データベースの更新、利用者支援	ハビ 柳沼 良知 (放送大学・ 准教授) 三輪 眞木子 (放送大学・ 教授)	柳沼 良知 (放送大学· 准教授) 三輪 眞木子 (放送大学· 教授)

事務局 記載欄	開講 年度	2012年度	科目 区分	大学院科目	科目コート	8970009	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = eラーニングの理論と実践 ('12) = (TV)

〔主任講師 (現職名) : 青木 久美子 (放送大学教授)

[主任講師(現職名):

【本学担当専任教員:

講義概要

インターネット等の情報通信技術を活用した教育方法として現在普及しつつあるeラーニングの概要、国内外の実践状況、背景となる学習理論、基礎となる技術、設計プロセス、運営方法、評価、質保証等について説明し、現在のeラーニングの状況と将来の方向性を展望する。

授業の目標

- •eラーニングの歴史的背景や現状を理解し、その背景となる理論や技術について説明できるようになる。
- •eラーニングの諸課題に関する理解を深め、eラーニングの設計において考えなければいけない要因について助言ができるようになる。

履修上の留意点

インターネット接続が可能であること。

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
1	eラーニングとは	eラーニングという用語の意味、形態の分類、eラーニングを実施る。また、海外(ここでは、米国、関においてのeラーニングの活り校・予備校・生涯学習、といったがどのように活用されているかに【キーワード】	でする利点について検討す 英国、韓国)の高等教育機 目状況、そして、企業・学 分野においてeラーニング こついても説明する。	青木久美子 (放送大学・ 教授)	同左
2	eラーニングの活用事 例	ラーニング、フルオンライン 国内外のeラーニングがどのよう て、組織的・技術的など様々な勧 「日本国内においてはどのように るのか」・「海外のeラーニングとに	に行われているかについ	辻靖彦(放送 大学·准教	同左
2		か」・「現在のeラーニングにおけ センターの調査結果や事例を路 【キーワード】 eラーニング活用状況、eラーニン	まえながら説明する。	人字·准教 授)	问左
3	eラーニングの学習理 論	ここでは、eラーニングの一般的にラーニングを設計・実施・受講すについて理解を深める。ここでは論・認知主義論・構成主義論のグにおける歴史的変遷を鑑みなにおけるeラーニングの特性につ【キーワード】 学習理論、行動主義、認知主義類	る際に前提となる学習理論 は、学習理論を、行動主義 3つに分類して、eラーニン がら、それぞれの学習理論 ひいて検討する。	青木久美子 (放送大学・ 教授)	同左

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	動機づけと自己制御学習	eラーニングにおける学習への動機づけを高法について、ケラーによって提唱されているその活用例とを紹介する。あわせて、自己記て学習方略との関係に注目しつつ言及する 【キーワード】 動機づけ、ARCSモデル、自己制御学習、	SARCSモデルと 関整学習につい う。	高橋秀明(放送大学·准教授)	同左
5	マルチメディア学習	メイヤーによって提唱されているマルチメデ と方法論とを紹介し、eラーニングの設計に理・原則を説明する。あわせて、その問題点 ても言及する。 【キーワード】 マルチメディア学習、ことば、絵、情報処理・	芯用可能な原 で限界につい	高橋秀明(放 送大学·准教 授)	同左
6	eラーニングの基盤技 術	eラーニングはどのような技術を用いて行わ; 基盤となる技術について解説する。具体的 HTTP、Webなどネットワークやインターネッ 学習管理システム(LMS/CMS)などの具体 ついて概念的な説明を行う。 【キーワード】 ネットワーク、TCP/IP、Web、インターネット、	にはTCP/IP、 トの技術及び、 いかなシステムに	辻靖彦(放送 大学・准教 授)	同左
7	eラーニング教材の技 術	eラーニングでは実際にどのような形式の教いるのか、また、用いられている教材にはど用いられているのかについて説明を行う。 ま、ビデオ形式、、スライド形式、テキスト形クイズ形式、書籍形式など一連の教材のターさらに、学習者の進捗履歴状況や点数など術であるSCORMについて説明を行う。 【キーワード】 eラーニング教材、SCORM	のような技術が 女材の形式として 式、Flash形式、 イプを取り上げ、	辻靖彦(放送 大学·准教 授)	同左
8	学習オブジェクト:学習コンテンツの共有・再利用	eラーニングの特長の1つは、学習者の特性やに応じて最適な学習コンテンツを提供できることの都度コンテンツを、教員や教育機関が一から付駄も多く質の保証もできない。そこで、高品質な言し再利用するための「学習オブジェクト(learniルが生まれた。今回は、いくつかの基本的概念、用事例、特に国際的なコミュニティにおける学習試みについて解説する。 【キーワード】 学習コンテンツ、学習オブジェクト、メタデータ、相切、国際標準化	である。しかし,そ 作成したのでは無 素材や部品を共 ng object)」モデ 技術的要件,活 コンテンツ共有の	山田恒夫(放 送大学·教 授)	同左
9	eラーニングを支える 専門家	従来の学校教育では教師が計画から評価でいる。これでいる。 行うことが多いが、eラーニングでは教育内では関門性が必要となってくるために、専門性を協働で行われるのが普通である。この回での企画・運営にはどのような役割を果たすりで、そのためにどのような知識/技能が必要説する。 【キーワード】 インストラクショナルデザイナー、チュータ、ム管理者、スキル、コンピテンシー	容以外の様々な と持った人たちと は、eラーニング 専門家が必要 とされるかを解	加藤浩(放送 大学·教授)	同左
10	インストラクショナル デザイン理論	ここでは、インストラクショナルデザインの歴 てインストラクショナルデザインの主流となっ ロセスモデル、ADDIEモデルとディックとケリ ついて説明する。また、本章最後には、この についても考察する。 【キーワード】 インストラクショナルデザイン、ADDIEモデル リーのモデル	ている2つのプ リーのモデルに ロモデルの限界	青木久美子 (放送大学・ 教授)	同左

回	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	インストラクションの設 計	ここでは、eラーニングコース開発いてまず考え、それから前回で説計・開発・実施・評価)モデルに沿を開発するにあたって、どのようにして実施するのかを順を追って考階において、何に気をつけたらよ考えればよいのか、を説明する。 【キーワード】 インストラクショナルデザイン、AD	相りたADDIE(分析・設合って、実際にeラーニング とインストラクションを設計 だえていく。それぞれの段いのか、どのようなことを	青木久美子 (放送大学・ 教授)	同左
12	協調学習と学習コミュニティ	近年、学習における社会的相互になってきているが、その背景には起こることとみなす学習観へのア化的な学習観が台頭してきたことの社会的側面を重視する立場ののを紹介する。また、学習活動の流が取り入れられるようになってきでよく用いられるツール類につい【キーワード】 正統的周辺参加、実践コミュニテ主義、学習コミュニティ、BBS、SN	、学習が個人の頭の中で ンチテーゼとして、社会文 がある。この回では、学習 学習観の中から主要なも 中に、他者との社会的交 さているが、そういった場面 ても紹介する。 イ、活動理論、社会構築	加藤浩(放送 大学·教授)	同左
13	ラーニングデザイン	インストラクションデザインが主にに対し、欧州や豪州で始まったラと実践について論じる。ラーニンの究アプローチや、研究開発されてする。 【キーワード】 ラーニングデザイン、アフォーダンベースの研究、教育パターン	ーニングデザインの理論 グデザインの分野での研 こいるツールを幾つか紹介	青木久美子 (放送大学・ 教授)	同左
14	eラーニングにおける 学習評価	eラーニングや遠隔教育におい本的な評価法が大きく異なるわけ個別に、自律的に行われるというすべきポイントがある。eラーニングして、形成的評価、eポートフォリンル、eラーニングにおける固有のンピュータ適応型テストについてはキーワード】 eテスティング、総括的評価、形成コンピュータ適応型テスト、項目のコンピュータ適応型テスト	けではない。しかし、遠隔で特徴から、いくつかの留意がの特長を引き出すものとか、コンピテンシーモデ問題として、個人認証、コ概説する。	山田恒夫(放 送大学·教 授)	同左
15	eラーニングの質保証	ここでは、eラーニングの制度的な育を重点において説明する。教育方、また、諸外国でみられる様々ングの質の評価方法について言ングの特性として、時空間を超えラーニングの質の保証についても【キーワード】 eラーニング質保証、ベンチマーを越えたeラーニング	写の質というものの考えな施策を紹介し、eラーニ及する。 最後に、eラーニることから、国境を越えたeっ考察する。	青木久美子 (放送大学・ 教授)	同左

事務局 開講 記載欄 年度	2009年度	科目 区分	大学院科目	科目コード	8960518	履修 制限	無	単位 数	2	
---------------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = 基礎情報科学 ('09) = (R)

[主任講師(現職名):川合慧(放送大学教授)

〔主任講師(現職名): 萩谷昌己(東京大学教授)

講義概要

情報に関する学問分野は、記号論、計算機科学、計算機工学といった比較的に基礎分野を扱うものから、情報学、さらには人間社会と密接に絡み合うメディア関連の諸学問まで極めて幅広いものとなっており、その学習にあたっても、全体と部分を見る努力の焦点を定めにくい、本科目ではこのように広い情報分野の中で、基礎学問としての計算機科学の核となる概念である「計算」に焦点をあて、その数理的な概念と性質、計算のモデル化と計算量、計算可能性、さまざまなタイプの計算システム、そしてその物理現象としての実装とを総合的に扱う。

授業の目標

全15回の講義を通じ、本来抽象的であり理解することが容易ではない「基本概念としての計算」の姿を会得する。また、計算量やそのオーダ、計算可能性などについての具体的な理解を、数式等の助けを可能な限り借りることなしに得ることを目的とする。現代のコンピュータの動作についての、パソコン利用的な表面的ではない本質的な部分のイメージを体系的に学ぶことが最終目標である。

履修上の留意点

グラフ理論や形式言語等の知識があれば理解はさらに深まるであろう. 実際のプログラム言語の利用経験も理解の助けにはなるが、本科目ではより抽象的かつ包括的な計算を取り扱う.

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
1	情報とその表現	我々が一般にイメージする「情報」は、である情報の、個々の局面での様々にこでは情報の本質と、その表現に使えついて、多面的な例をもとにして理解 【キーワード】 情報、情報処理、表現	な出現形態である.こっれる種々の約束事に	川合慧 (放送大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)
2	情報の処理と計算	我々が普段目にする「計算」, たとえんのは, もともとの意味の忠実な表現を行される, 記号の間の変換操作であるズムと呼ばれる様々な「計算手順」の処理の本質を理解する. 【キーワード】 意味と記号, 計算	維持するようにして実る. ここでは, アルゴリ	川合慧 (放送大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)
3	再帰の本質	一定数の記述部品を使って計算を表品を状況を変えて何回も利用するが、して使用することもある。ここでは、再によって組み立てられる計算のやりた【キーワード】	自分自身を下請けと帰と呼ばれるこの手法	萩谷昌己 (東京大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	パターン照合による 計算	データの間の対応関係を定めるぶ。データの構造や制限されたのターン照合による計算が実現でによる計算のやり方を学び、その【キーワード】パターン照合、バインディング	任意性の利用により、パきる.ここではパターン照合	萩谷昌己 (東京大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)
5	オートマトンと状態遷 移	一連の入力を与えると内部の状うな抽象的なシステムをオートマしく調べられている. ここではオーり方と, その構成方法について学 【キーワード】 オートマトン, 状態遷移	トンと呼び,その性質は詳ートマトンを用いた計算のや	萩谷昌己 (東京大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)
6	チューリングのテープ 機械	オートマトンの入出力を無限長のテープ上に計算結果を残す働きチューリング機械があり、計算論ここではその原理と計算の様子に 【キーワード】 チューリング機械、遷移表、テー	をもつシステムとしてでは中心的な意味をもつ. では中心的な意味をもつ. および主な性質を学ぶ.	萩谷昌己 (東京大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)
7	計算モデルの等価性	これまでに見た様々な「計算のペ種類に応じて「計算モデル」とし、様子を学び、これらの計算モデルとができるという意味で等価であ 【キーワード】 計算モデル、シミュレーション、等	て整理される. ここではその いが互に他の真似をするこ ることを理解する.	萩谷昌己 (東京大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)
8	計算量	計算モデルのすべてに渡って、(アルゴリズム)を実行した際に、系量(計算量)を考えることができる質と主要項である計算量のオー 【キーワード】 計算量、計算の手間、計算量の	告果を得るまでの手間という . ここではその基本的な性 ダについて学ぶ.	川合慧 (放送大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)
9	計算量の実際	各種の実用的な計算では計算量 ここではそのような計算の例としてる必要のあるゲームプレイと、 利用する暗号処理について学る 【キーワード】 ゲーム、探索空間、暗号、一方同	て,膨大な数の局面を検査 解手順の計算量の大きさを ぶ.	川合慧 (放送大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)
10	計算の複雑さ	計算量をそのオーダによって分変化した場合の計算量の変化のくつかのオーダの例でこれを調性を学び、関連する未解決問題 【キーワード】 計算量階層、多項式オーダ、指)振舞いが明らかになる. い 、,計算量のオーダの階層 「P=NP?」を理解する.	川合慧 (放送大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)

□	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
11	計算不能!	ここで取り上げた計算モデルはする組みで取らえられる. 数学基礎論があることが不完全性定理の名で算版」として計算不可能な問題がなる。 【キーワード】 計算可能性, 不完全性定理, 対角	では証明不可能な問題 知られているが,その「計 構成できることを学ぶ.	萩谷昌己 (東京大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)
12	いろいろな計算	計算論におけるいくつかの話題とはする分子計算、いつでもundoがでにもとづく量子計算などの実際と、 【キーワード】 可逆計算、量子計算、分子計算	きる可逆計算,量子力学	萩谷昌己 (東京大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)
13	記号と情報	何かを意味し、かつ知覚できるもの情報科学の文脈に摘要し、計算のた、メッセージがもつ情報の大きさしての情報量と、その計算とのかか 【キーワード】 記号、情報の表現、情報量	諸概念を分析する. ま についての数値化の例と	川合慧 (放送大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)
14	計算の実現	計算で扱う様々な情報の処理は, 法で表現することにより,現実に動 て実現できる.ここではその概略と おける2進表現の使用理由につい 【キーワード】 論理演算,2進表現	作する物理的な装置とし, 現実のコンピュータに	川合慧 (放送大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)
15	現代的コンピュータ	現代のコンピュータは「計算」を行っり立ちは現実の工学的な実現可能ここではその概略と、実際に用いたと呼ばれる計算記述の様子を学ぶ 【キーワード】 コンピュータ、プログラム内蔵方式。	性に強く縛られている. れているプログラム言語	萩谷昌己 (東京大学教 授)	川合慧 (放送大学教 授) 萩谷昌己 (東京大学教 授)

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2014年度 大学院科目 8970076 無 2 年度 制限 数 記載欄 区分 コート

科目名 (メディア) = 知的創造サイクルの法システム ('14) = (R)

英文名 = [Law Systems of Intellectual Creation Cycles ('14)]

〔主任講師(現職名): 児玉晴男(放送大学教授)

〔主任講師(現職名):

【本学担当専任教員:

講義概要

本講義は、知的財産の創造、保護、活用に関する法システムを取り上げます。知的創造活動が知的財産権法制で保護される前後を含め、知的財産権法の二つの法体系の著作権法と産業財産権法と適宜に不正競争防止法等を比較対照しながら、知的創造サイクルの中における権利(人格的権利と経済的権利)のライフサイクルの関係から解説します。本講は、知的財産権法の個別法を逐条解説する手法をとらずに、知的財産権法制を広義にとらえた知的創造サイクルの法システムを鳥瞰します。

授業の目標

本授業は、知的財産の創造・保護・活用の好循環のための広義の知的財産権法制を全体包括的な観点から理解することを目的とする。

履修上の留意点

この科目の内容は、当然に、情報学の領域に留まるものではなく、法学、経済経営学、自然科学、そして人文学などに直接、間接に関連するものであり、各プログラムの履修者も対象としています。

	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
1	知的創造保護の潮流	知的創造を保護する知的財産権から3世紀をまたぐ国際条約(ベノる。その国際条約は、いわゆる南なり、他方、経済摩擦やデジタル国際的な枠組みも形成されているを踏まえて、知的創造保護の潮流【キーワード】 複製技術、デジタル化・ネットワー多様性、ソフトロー	レヌ条約、パリ条約)に始ま 北問題により閉塞状態と 環境への対応等で新たな る。本講は、それらの経緯 たについて考える。	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)
2	知的創造保護に関す る法システム	知的創造サイクルは、知的財産格権法と産業財産権法に関わる。そまで二分されてきたが、相互に関講は、知的創造保護の潮流を踏知的財産権法制の著作権法、産の法律ならびに不正競争防止法創造サイクルに関わる法体系を表したフード】 知的財産基本法、著作権法、産业法、ベルヌ条約、ローマ条約、	されらは、1990年代の半ば 連をもつに至っている。本 まえて、知的財産基本法、 業財産権法およびその他 もしくは国際条約から知的 きえる。 業財産権法、不正競争防	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)
3	知的創造の始原	知的創造は、無から生まれるもの 財産権法制で直接に保護されな ことがある。それらは、世界遺産、 多様性などに求められる。本講は 表現、伝統的知識および原産地 て説明し、それら知的創造の始属 わりについて考える。 【キーワード】 世界遺産、無形文化遺産、遺伝的 伝統的知識、原産地表示・地理的	い対象を活用してなされる 無形文化遺産および生物 は、遺伝資源、伝統的文化 表示と地理的表示につい ほと知的財産権法制との関 質源、伝統的文化表現、	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)

回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
4	知的創造	知的創造は、オリジナリティが求め ナリティは、模倣を伴うことがある。 リジナリティと模倣の関係は芸術の 発明に対するインスピレーション等 人の肩に乗ってちょっと先を見通 る。その観点から、本講は、芸術的 関連から知的創造について考える いずれにしても、先取権と先使用 法制へ展開する。 【キーワード】 オリジナリティ、模倣、芸術的想像	それを言い換えれば、オ の基点となる。また、発見・ 等によるとらえ方または先 すことによるとの見方があ 的創造と科学的発見との る。それらの知的創造は、 権と連結し、知的財産権 は、科学的発見、セレンディ	児玉晴男(放送 大学教授)	
5	知的創造の客体 創 作物	ピティ、インスピレーション、暗黙を知的財産権法制は、知的創造を制における著作権創造の客体はンツになる。産業財産権法制によ発明、考案、意匠になる。本講は造、その他の知的創造の客体とし体集積回路の回路配置、そして管ついて考える。	田、世界人権宣言 保護する。その著作権法 、著作物とデジタルコンテ らける発明創造の客体は、 、著作物創造、発明創 して、植物の新品種、半導	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)
		【キーワード】 著作物、発明・考案・意匠、植物の 路の回路配置、営業秘密、創作物			
6		知的財産権法制には、創作物だる行為も保護の対象にしている。ある創作物の伝達機能になる。本行為、標識を付した商品・役務(!為、原産地表示・地理的表示による行為に着目して考える。 【キーワード】 著作物を伝達する行為、商品・サ原産地表示・地理的表示、準創作	その行為とは、無体物で 講は、著作物を伝達する ナービス)を伝達する行 って農林水産物を伝達す ・	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)
7	知的創造の主体 創 作者	知的創造の主体は、知的創造にる。それは、著作者、発明者・考え者、回路配置の創作者である。そは、著作者、発明者・考案者・意以路配置の創作者となりうる。本講は創作者を、先取権または先使用相作時からとらえることにする。【キーワード】 著作者、発明者・考案者・意匠の創作者、党業秘密の保有者	案者・意匠の創作者、育成 ・して、営業秘密の保有者 丘の創作者、育成者、回 は、知的創造の主体である 権を有する者、すなわち創 創作者、育成者、回路配	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)
8	知的創造に準ずる行 為の主体 準創作者	知的財産権法制の中では、創作的創造に準ずる行為の主体は、達創作者は、著作物を伝達する行者)と商品・サービスを伝達する行用者になろう。本講は、わが国でていない出版者と、まだ規定され業者も含め、準創作者についてましまり、とコード製作者、放送事出版者、自動公衆送信事業者、前	準創作者といえよう。その 行為をなす者(著作隣接権 行為による商標(標章)の使 は著作隣接権者とはされ ていない自動公衆送信事 考える。 業者・有線放送事業者、	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)
9	知的創造の権利と関 連権の構造	知的創造とそれに準ずる行為の相義と方式主義により分けられる。 主義と先発明主義がある。無方式の発生の違いは、それぞれ著作材等に見ることができる。本講は、外して、知的創造の権利と関連権の的権利との関係から考える。 【キーワード】 無方式主義、方式主義、著作権を権利、発明者等掲載権、産業財産利用権	また、方式主義には、先願 式主義と方式主義の権利 権法および産業財産権法 正取権と先使用権を起点に の構造を人格的権利と経済 と関連権、特許等を受ける	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
10	知的創造の権利と関 連権の帰属	知的財産権は、移転・譲渡できる。 部の準創作者の人格的権利は、一 することはできない。そして、著作権 苗法、半導体集積回路配置法等に 経済的権利の帰属関係は異なって 造の権利と関連権における人格的 対称的な帰属関係から考える。 【キーワード】 人格的権利、一身専属制、経済的 的権利、債権的権利	身専属性により、移転 注法、産業財産権法、種 法いて、人格的権利と いる。本講は、知的創 権利と経済的権利の非	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)
11	知的創造の権利と関 連権の制限	知的創造とそれに準じる行為の活見の権利と関連権の制限が規定され権利と関連権の使用の形態が異な産業財産権法における権利の制限る。本講は、著作権法と産業財産権について考察し、知的財産のオー定される知的財産権法制の権利の【キーワード】 著作権等の制限、産業財産権の制限、人格的権利の制限、経済的権	ている。その知的創造のることにより、著作権法との態様は異なってい 経法における権利の制限 が少化とそれによって想制限について考える。 「限、知的財産家の制	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)
12	知的創造の権利と関 連権の範囲	知的創造の権利と関連権の帰属と 時間的な関係からの知的創造の権 を明確にする必要がある。それは、 の始期と終期、そして有体物に化体 消尽になる。本講は、知的創造の格 保護の範囲の同一性と類似性、保 権利の消尽について考える。 【キーワード】 同一性、類似性、保護期間、均等語	利と関連権の及ぶ範囲権利の及ぶ範囲権利の及ぶ範囲、権利 にした知的財産の権利の を利と関連権に関して、 護期間、保護期間内の	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)
13	知的創造の権利と関 連権の管理	権利管理は、権利者の義務であるださは、困難な状況がある。その権利信託制度がある。権利発生要件お、登録制度になり、著作権等管理事業託制度になる。本講は、著作権等の理および知的財産権の管理につい【キーワード】登録、権利発生要件、第三者対抗管理事業者	利管理には、登録制度と よび第三者対抗要件の 業および信託業法の信)管理と産業財産権の管 いて考える。	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)
14	知知的創造の権利と 関連権の不服申立て と訴訟	知的創造の権利と関連権の発生の業財産権法等とが異なる。方式主義は、出願等の手続きに伴う行政処分続きがある。そして、訴訟による権利民事および刑事に分かれる。本講は服申立ておよび権利侵害に対する済について考える。 【キーワード】 行政処分、不服申立て、間接侵害、請求、原状回復措置、信用回復請	髪をとる産業財産権法に 分に対する不服申立手 引侵害に対する救済は、 ま、行政処分に対する不 民事的救済と刑事的救 、差止請求、損害賠償	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)
15	知的創造サイクルの 好循環システム	知的創造サイクルは、知的財産権法物の同一性が保持された創作者のライフサイクルの関係になる。そのラ(準創作物)と創作者(準創作者)の利が関与する。本講は、知的財産材オートポエティックな法システムの見統的文化表現および伝統的知識な権との接点から知的創造サイクルのて考える。 【キーワード】知的創造、人格的権利、経済的権法オートポイエーシス	人格的権利と財産権の デイフサイクルは、創作物 人格的権利と経済的権 を法制のソフトロー的な と方から、遺伝資源と伝 らびに先取権と先使用 の好循環システムについ	児玉晴男(放送 大学教授)	児玉晴男(放 送大学教授)

事務局 記載欄	開講 年度	2014年度	科目 区分	大学院科目	はは	8960585	履修 制限	無	単位 数	2
------------	----------	--------	-------	-------	----	---------	----------	---	---------	---

科目名 (メディア) = 現代生物科学 ('14) = (TV)

-生物多様性の理解-

英文名 = [Modern Concepts of Biology ('14)]

[主任講師(現職名):松本忠夫(放送大学教授)

〔主任講師(現職名):二河成男(放送大学教授)

【本学担当専任教員:

講義概要

現代の生物学の進展はめざましいものがあり、その全貌を掴むのは容易ではない。生物が持つ特性の中で、他の物質系に無いものとして、遺伝情報の伝達、エネルギー代謝、物質収支の動的平衡、そして自然選択による進化などがある。本科目では、「生物多様性」のキーワードの元に、分子、細胞、器官、個体、個体群、群集、生態系といった「生物界の諸階層」の様相を説明する。また、現代の生物学と人間生活との関連について説明する。

授業の目標

「生物多様性」および「生物界の階層性」そして「生物進化」を基本にすえて、現代生物学を大学院修士レベルで理解させる。また、生物的自然と人間との関係における「環境問題」を題材にして理解させる。

履修上の留意点

学部における科目の、初歩からの生物学、生物圏の科学、動物の科学、植物の科学、生命分子と細胞の科学、生物界の変遷などを履修しておくことが望ましい。

□	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	生物多様性とは	今日の生物の多様性が生じた理師が、特に大きな理由として無機環境の獲得力、そして生物間の相互作多様性の階層性を、生物の進化と生物を分類するとはどのようなこと様性の基盤となる生物が獲得するついて述べる。 【キーワード】 生物多様性、生物界の階層性、生体系	竟への適応性、生活資源 注用がある。ここでは、生物 の関係で説明する。また、 かを説明する。さらに、多 エネルギーおよび物質に		松本忠夫·放 送大学教授
2	生命分子が創出する 生物多様性	生物を構成する有機物は、糖、脂ドなど、ごく限られた種類の小さな構造物は巨大分子のサブユニットニットが多数結合して、多糖や脂肪巨大な分子となり、細胞内で様々を生物体を構成する巨大分子の基準での合成機構について学ぶ。 【キーワード】 分子、タンパク質、脂質、糖、核酸訳	構造物からなる。これらのであり、同じ種類のサブユ方、タンパク質、核酸等のな機能を示す。ここでは、本構造、機能、その細胞内	二河成男·放 送大学教授	二河成男·放 送大学教授
3	細胞レベルで見た生 物多様性	細胞は自身の持つ遺伝情報を利 る。 といの細胞では、全く同じ遺伝 200種類以上の異なる細胞へと分 機能の違いは、発現している遺伝 ている。 細胞の基本的な特徴と、 盤となる遺伝子発現調節のしくみ 【キーワード】 遺伝子、細胞、分化、遺伝子発現	青報を持つにも関わらず、 化している。これら細胞の 子の違いに大きく依存し 多様な細胞を生み出す基 について学ぶ。	二河成男·放 送大学教授	二河成男·放 送大学教授

口	テーマ	内	\$	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
4	多様な微生物の世界	遺伝子情報解読の技術革新により、これまでのや同定の困難であった微生物を、遺伝子の塩利用して、同定できるようになった。その結果、微生物が、様々な地球環境中に存在することなった。ここでは、細菌や古細菌のあらたな検種の多様性、生態的特性について学ぶ。 【キーワード】	基配列情報を 極めて多様な が明らかに 出方法、生物	二河成男•放 送大学教授	二河成男•放 送大学教授
5	植物の多様な繁殖様式	植物では、動物とは個体性が大きく異なり、動ない多様な性表現が存在する。ここでは、被子れる性表現と受粉様式の進化を解説するとと動物の影響が大きかったことを紹介する。またからの摂食に耐えるためのさまざまな適応戦略 【キーワード】 性表現、被子植物、受粉様式、適応戦略	・植物にみら っに、それには 、植物が動物	大原雅·北海 道大学教授	大原雅·北海 道大学教授
6	植物の個体発生と環 境適応	植物は固着生物なので、環境に対して柔軟にが進化の過程で発達した。中でも植物の生活光合成に関しては、環境適応が必須のため、表る葉の発生は、外界の環境に適応して実にを発揮する。葉の発生の可塑性と生態環境へ係について、発生を制御する遺伝子の働きもの理解を紹介する 【キーワード】環境適応、光合成、葉、生態環境、発生、可望	を支えている 光合成器官で 大きな可塑性 の適応との関 含めて、現在	大原雅·北海 道大学教授	大原雅·北海 道大学教授
7	動物の多様な繁殖様 式	通常の動物は雌雄の性があり、それらが出すでて有性生殖を行うが、中には性を必要としない胚生殖、幼形生殖などを行うものがいる。また、保護様式と関係して、卵生、卵胎生、胎生などそして哺乳類では雌親による妊娠、授乳が発育では、このように多様な動物の繁殖様式を記【キーワード】	、単為生殖、多、親による子の 、親による子の 、が見られる。 達している。本 说明する。	松本忠夫·放 送大学教授	松本忠夫·放 送大学教授
8	動物個体の発生と環 境適応	動物の中には、発生・発育過程において環境 て、その形態や性質が大きく変化するものたち のための環境適応と解釈される。また、繁殖に して性転換をする魚類、さらには昆虫類の環境 多型現象にもふれる。そして、そのような多様が をもたらす進化的要因および体内メカニズムに する。 【キーワード】 個体発生、性転換、多型現象、環境適応、可能	がいる。生存 はける戦略と 意適応としての な形態や性質 こついて説明		三浦徹·北海 道大学准教 授
9	動物の多様な社会	動物社会がいかにして成立しているのかにつり 境との関連で説明する。 真社会性生物は、集 の生殖者そして多数のワーカーや兵隊など非たカースト分化が見られることを特徴としているカースト分化がもたらされた進化的要因およひの分子生物学的メカニズムについておもにシロて説明する。 【キーワード】 動物社会、真社会性生物、カースト分化、シロ	団の中に少数 生殖者といっ 5。ここでは ベカースト分化 コアリを例にし	三浦徹·北海 道大学准教 授	三浦徹·北海 道大学准教 授
10	植物群落の動態	大地に固着した植物は同種および異種個体がするが、その特徴を説明する。植物群落が時間変化して行く様相を遷移というが、それがなぜいて解説する。さらに、植物遷移の知見の応用態系の再生について説明する。 【キーワード】 植物群落、遷移、生態系再生	間経過とともに 起こるかにつ	大原雅·北海 道大学教授	大原雅·北海 道大学教授

□	テーマ	内容		講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	動植物と微生物との共生関係	共生とは異種の生物が一緒に暮らしている現象を他の生物体内に別の生物が入り込んでいる場合は生といい、その生物間相互作用は興味深いものかでは植物や動物と微生物の間の共生を例にとり、にある生物間の利害関係と、異種生物からの新規能の獲得について学ぶ。 【キーワード】 内部共生、細胞内共生、根粒菌、腸内細菌、共生	ま、内部共 ジ多い。ここ 共生関係 とな生物機	二河成男·放 送大学教授	二河成男·放 送大学教授
12	動物群集の多様性と、人類による生物相の攪乱	動物は摂食、繁殖、防衛などのさまざま行動する、 態系の中で多様な位置を占めている。動物間の食 る関係は、食物連鎖とそして食物網を形成し、その する個々の動物は、厳しい生存競争の中で次第に 多様化した。島嶼や、環境のモザイク性で隔離され では生物相の固有化が進む。人類は生物相が固 地域へ動物を移動させたが、その結果、在来の生 きな影響が生じた。 【キーワード】 動物群集、摂食、食性、外来種、侵略的外来種	きう食われ D中に位置 C進化して れた地域 有化した	松本忠夫·放 送大学教授	松本忠夫·放 送大学教授
13	ランドスケープの構造 と生物多様性	生物の生息・生育の有無や程度は、個々の場所に 件だけでは決まらない。その場所を取り巻く空間のも影響を受ける。ここでは、ランドスケープ・エコロミ点に基づく空間のとらえ方について紹介し、どのよを備えた空間が生物の生息地として適しているか研究成果に基づいて解説する。 【キーワード】 パッチ、コリドー、マトリクス、連結性、景観(ランドス	のあり方に ジーの観 こうな性質 を、最近の	京大学准教	加藤和弘·東京大学准教 授
14	生物群集の種多様性 と種組成の分析の方 法	生物多様性の保全を行う際には、生物多様性と生の関係を明らかにすることが重要である。ここでは種多様性を評価する手法を紹介するとともに、生物成のデータから種組成の変化のパターンを抽出しの変化に関与する環境条件や人間活動を明らかの分析について解説する。 【キーワード】 種多様性、生物指数、多変量解析、分類、序列化	、生物の 物の種組 、種組成 にするため	加藤和弘·東 京大学准教 授	加藤和弘·東 京大学准教 授
15	生物多様性と人類の 存続	現在の地球における生態系の多様性、種の多様性の多様性に対しての人為の影響はたいへん大きいて、近代では非常に多数の生物が絶滅し、現在も機に瀕している生物が多い。特に熱帯多雨林域に林群集全体の喪失は、生物多様性を一気に著してしまうので重大問題である。ここでは、そのようなの様相を説明し、絶滅をくい止める方策について、物多様性の価値についても改めて考える。人類は生物多様性を著しく阻害していることを説明する。【キーワード】 生物多様性、生物絶滅、熱帯雨林、サバンナ、人続、ケニア、マダガスカル	へ。そし 絶滅の危 におけりる森 とは物絶 きたる。生 は地球上の	松本忠夫·放 送大学教授	松本忠夫•放 送大学教授

	開講 年度	2013年度	科目 区分	大学院科目	科目コート	8960577	履修 制限	無	単位 数	2	
--	----------	--------	----------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = 現代物理科学の論理と方法 ('13) = (R)

〔主任講師(現職名): 米谷民明(放送大学教授)

〔主任講師(現職名):

【本学担当専任教員:

講義概要

物理学は、物質と時空を研究対象として、普遍的な法則性の理解を深めてきた。その過程で、特定の研究対象だけに限らず、対象の空間・時間スケールを超えて異なるスケールで有効な様々な物の見方(論理)や方法論が発展した。本科目では、従来の科目の一般的分類にとらわれずに、広い範囲で有効性を持つ物理科学の基礎的な考え方・方法論とその具体的応用に焦点を当て、物理科学の基礎としての現代物理学の神髄について最先端の成果や将来の展望も含めて、大学院科目ではあるが、初学者が入門しやすいように工夫した講義を行う。

授業の目標

体系的な一般論や数学的な厳密さの追求は強調せず、具体例や単純化されたモデルに基づき、本質を直観的に理解できるような講義内容とする。 履修者が自分の頭で考え、発見を追体験しつつ学び、それぞれ自分なりの応用や創意工夫へと動機づけられるような科目を目指す。

履修上の留意点

物理学全般について、放送大学学部共通科目の「物理の世界」程度以上の理解があることを最低限の前提とする。また、放送 大学学部専門科目、「力と運動の物理」等を履修したのと同等レベル以上の知識や運用力があるのが望ましい。

口	テーマ	内	容		放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	物理科学の基礎概念 と方法1 物理学の発展	第1回から5回までは、6回以降の様の準備として、物理学の基礎的概念の 的な解説を行う。第1回は、物理学の ることを通じて、自然科学のなかでの けを把握し、物理学の最も基礎的な標系、力、運動、場、など)のいくつか 【キーワード】 力、運動、時間、空間、座標系、場	と方法について、導入 歴史的発展を概観す 現代物理学の位置づ 既念(時間と空間、座	米谷民明(放 送大学教授)	米谷民明(放 送大学教授)
2	物理科学の基礎概念 と方法2 保存則と対称性	物理学を具体的な問題に応用するとつ知見の1つは、取り扱う現象におい何かを見極めることだ。本章ではこの係を変分原理を通じて整理する。また称性と保存則についても概略を述べ 【キーワード】 保存則、対称性、対称性の自発的破	て保存する物理量が 保存量と対称性の関 :量子力学における対 る。		米谷民明(放 送大学教授)
3	物理科学の基礎概念 と方法3 確率とゆらぎ	多数の要素が関与する複雑な現象ををするには、物理科学に限らず、確率び、それらを扱うための統計的方法が割を果たす。典型的例を通じて、確率す役割を通じて統計力学の考え方を学における確率概念の特質を概観す【キーワード】	さとゆらぎの概念、およ 「欠かせない重要な役 がと統計の方法が果た 学ぶ。さらに、量子力 る。	米谷民明(放 送大学教授)	米谷民明(放 送大学教授)

□	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
4	物理科学の基礎概念 と方法4 現象とモデル	モデルの構築は、現象の本質をえく限の要素だけに対象を切り落として雑な現象を整理してモデルから理解自然界の普遍的な性質を取り出すのモデルの有効性と限界を具体例でみ【キーワード】 プランクの公式、ボーアの原子模型	単純化することや、複 はすることなど、を通じて のに有効な方法である。 なる。	米谷民明(放 送大学教授)	米谷民明(放 送大学教授)
5	物理科学の基礎概念 と方法5 数理的方法と近似	物理科学において、個別の対象によ 理的見方と方法として典型的で、対 群論の考え方を整理し、応用例を解 また、線形と非線形の違い、それぞえ る。 【キーワード】 対称群、点群、回転群、空間反転、形	称性の扱いに役立つ 説する。 れの特徴について述べ	米谷民明(放 送大学教授)	米谷民明(放 送大学教授)
6	形の物理	自然界に現れる「形」はさまざまであ 形があり、背後には普遍的な形成原 は水玉やシャボン膜にはたらく表面 成原理の1つである面積極小という マクロ世界で現れるこの面積極小の 自己組織化構造である共連続相に 対称性である空間群についても述っ 【キーワード】 形、表面張力、極小曲面、自己組織	理がある。この講義で 張力を例として、形の形 敗理的方法論を学ぶ。 考え方はミクロ世界の ら現れる。共連続相の ぶる。	堂寺知成(近 畿大学理工 学部教授)	堂寺知成(近 畿大学理工 学部教授)
7	ミクロとマクロ	原子や分子が主役となるミクロ世界の1センチメートル程度であり、われわれてクロ世界とは8桁以上離れている。の結果として、素朴には想像できないロ世界で成り立ち、その根拠がミクロれる。「ゴム」を例題にして、この論理【キーワード】 熱と力学の統合、スケールの分離、原理、エントロピー力	れが普段生活している 空間尺度の大きな差 い普遍的な法則がマク 側のある様相に求めら の本質的部分を学ぶ。	佐々真一(京都大学·大学院理学研究科教授)	
8	平衡と非平衡	平衡条件下にある系では、エントロとるように、「変化の向きに関する制約一方、生物をはじめとして、生き生きえる系は、非平衡条件下で作動して違いは何か、それぞれにおける変化また、それらの違いは何に由来してとの歯車」と呼ばれる思考実験を例的考え方を学ぶ。 【キーワード】 エントロピー増大則、非平衡環境、原逆と不可逆	」が法則化される。その と活動しているように見 いる。平衡と非平衡の この向きの制約は何か、 生じるのか。「ファインマ 題にして、これらの基本	佐々真一(京都大学·大学院理学研究科教授)	佐々真一(京都大学·大学院理学研究科教授)
9	超伝導とボース・アイ ンシュタイン凝縮	量子論の特徴的性質であるボース・ついて学ぶ。特に、典型的例の一つ性質がマクロに現れる超伝導現象を取り扱いや、ミクロな立場からのメカニ基礎的な考え方や方法を学ぶ。 【キーワード】 ボース統計、超流動、超伝導、レー	かとして、物質の量子的 ・取り上げ、マクロ的な ニズムの理解に関して	氷上忍(沖縄 科学技術大 学院大学教 授)	氷上忍(沖縄 科学技術大 学院大学教 授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
10	相転移とはどういうも のか	物質の通常の状態から超伝導状態への変化は、相転移と呼ばれる現象によって起る。相転移は、身近にもよく起こっているし、宇宙から素粒子までにわたって普遍的に起こる現象である。相転移を取り扱うのに有効な考え方のいくつかを、典型的な凝縮系での例をもとに、まずマクロな立場から学ぶ。 【キーワード】 磁性体、イジング模型、ギンツブルグ・ランダウハミルトニアン	氷上忍(沖縄 科学技術大 学院大学教 授)	氷上忍(沖縄 科学技術大 学院大学教 授)
11	臨界現象と繰り込み 群	物質の相転移をミクロな立場から理解するには、繰り込み 群の考えが有効性を発揮する。その初歩をいくつかの具体 的例により学ぶ。繰り込み群は量子論における場の理解に も欠かせないない重要な概念である。それらについても触 れる。 【キーワード】 スケーリング則、繰り込み群方程式、臨界指数、異常次元	氷上忍(沖縄 科学技術大 学院大学教 授)	氷上忍(沖縄 科学技術大 学院大学教 授)
12	力とゲージ場	マックスウェルの電磁場理論は量子論と組み合わさり、力についてのより根源的な理解を支えるゲージ場という概念を生んだ。ゲージ場は、素粒子相互作用だけではなく、マクロな凝縮系でもミクロのレベルから対称性とその破れに基づき物質を理解するのに役立つ普遍的概念の一つである。ゲージ場とは何か、その意味、特徴、役割を具体例で述べる。 【キーワード】 ゲージ変換、ゲージ不変性、AB効果、磁気単極子		米谷民明(放 送大学教授)
13	素粒子物理と相転移	素粒子レベルにおいては、真空そのものが、ただの空っぽではなく、素粒子が絶えず生成消滅を繰り返している複雑な系である。基本相互作用の統一には、真空の相構造の理解が重要である。第1章で強調した基本相互作用の場の理論であるゲージ理論の相構造について解説する。 【キーワード】 量子色力学、電弱統一理論、粒子と反粒子、真空の相転移	米谷民明(放 送大学教授)	米谷民明(放 送大学教授)
14	初期宇宙論と相転移	現代宇宙論は、インフレーションと呼ばれる急膨張時代があったことを突き止め、大域的に一様等方で、かつ豊かな階層構造を持つ私たちの宇宙に進化するための初期条件の起源を明らかにした。そこには、相互作用の分化と相転移という概念が重要な役割を果たしていること、また、宇宙の起源を理解するために不可欠な、「ゆらぎ」の概念について解説する。 【キーワード】 宇宙の相転移、インフレーション宇宙論、宇宙の創生、ゆらぎ	横山順一(東京大学·大学院理学研究科教授)	横山順一(東京大学·大学院理学研究科教授)
15	現代物理科学の課題	最終章として全体のまとめを行う。広い分野で普遍的に用いられるエントロピーの概念を改めて整理し、最先端の研究に関わる問題としてブラックホールの場合を解説する。最後にさらなる普遍性の探求と課題について述べる。 【キーワード】 エントロピー、H定理、ブラックホール、生命の起源、宇宙の起源		米谷民明(放 送大学教授)

事務局 記載欄	開講 年度	2014年度	科目 区分	大学院科目	科目コード	8960593	履修 制限	無	単位 数	2
------------	----------	--------	----------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---

科目名 (メディア) = 物質環境科学 ('14) = (TV)

英文名 = [Material Environment Science ('14)]

〔主任講師(現職名):濱田嘉昭(放送大学教授)

〔主任講師(現職名): 花岡文雄(学習院大学教授)

【本学担当専任教員:

講義概要

自然あるいは自然環境問題を考える場合、それを構成している物質の種類・量・性質およびそれらの間の相互作用の考察を抜きには成立しない。この講義では、地球上の環境を基本的に規定している地球科学的な基礎知識を確認した上で、環境パラメータを測定する方法とデータの考察の仕方を学ぶ。その上で、地球上の生物の環境の状況を生態学の立場から考察し、さらに人を含めた生物と物質との関わりを中心に考察する。環境問題の扱う範囲は広く複雑であるが、それらを全体として考える基礎を学ぶことを目的としている。

授業の目標

化学的な観点からの物質理解および環境問題や生命・健康にかかわる課題を明らかにし、現代科学の到達点と将来予測を示し、さまざまな状況に基づく課題解決への指針を与えることを目標とする。

履修上の留意点

複雑で未解決、そして現代的な環境問題そのものを解説するというより、それらの基礎にある知識を整理したいと考える。したがって、自然科学の広い基礎知識をもっていることが望ましい。特に、化学を中心とした物質に関する理解が重要である。放送大学の教材としては、「初歩からの化学」、「基礎化学」、「生活と化学」などを予め履修しておくと良い。

口	テーマ	内	容		放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	物質の循環と移動	講義を始めるにあたり、環境の定義周辺との相互作用で捉えることが重象を大きな空間・時間スケールで考摘する。地球上での自然現象に深ついて、水、炭素、窒素を例にして、 【キーワード】 環境の定義・意味、物質循環、水の素の循環	要である。また、自然現 えることの重要性を指 く関係する物質循環に 考える。	濱田嘉昭 (放送大学· 教授)	濱田嘉昭 (放送大学・ 教授) 花岡文雄 (学習院大 学・教授)
2	地球の成り立ちと運動	地球は太陽系の一員であり、太陽な受け取っている。また、太陽磁場に受け取っている。また、太陽磁場に空間からの放射線の暴露から守られ活動をしている。これらは、空間的・ルで地球の自然環境を規定してい、【キーワード】 太陽活動とエネルギー、磁場の役割	より、さらに外側の宇宙 れている。大地は活発な 時間的に大きなスケー ることを学ぶ。	濱田嘉昭	濱田嘉昭
3	大気と海洋	生物が生活する空間は大気と海洋こでの大きな自然現象と言えば、大う。これらについての概略を理解し後半のより詳細あるいは個別の理解 【キーワード】 大気の構成と運動、大気環境問題素、オゾン層)、海洋の構成と運動	気と海洋の運動であろ ておくことは、この講義の 解にも役立つであろう。	濱田嘉昭	濱田嘉昭

旦	テーマ	内 容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	生態系の基盤となる植生	生物は、地球上と水中の約20 kmの生物圏に生息・生育している。生物圏を支えているのは光合成を行う植物・植生であり、ひいては人間環境の基盤にもなっている。さらに自然環境と植生の相互作用を理解し、植生が地上の環境を総合的に指標していることを学ぶ。環境の一要因でもある人間と植生とのかかわりと、人間にとっての植生が持つ機能や生態系サービスを理解する。 【キーワード】 生物圏、生態系、植生、生態系サービス	藤原一繪 (横浜国立大	藤原一繪 (横浜国立大 学 名誉教授)
5	地上の生物を支える土壌動物	人類は宇宙空間にまで進出したが、足元数センチメートルの世界については、ほとんど理解していない。そこは植物・植生を育てる基盤であり、ほとんどは未知の微生物や土壌動物が住む空間である。そして、地上の生物は知らずして土壌中の生物との相互作用によって生きている。この未知の世界がどこまで理解できているかを学ぶことにする。 【キーワード】 土壌、生物多様性、環境指標生物、分解者、ダニ		藤原一繪 ゲスト: 青木淳 一(横浜国立 大学 名誉教 授)
6	分析で何がわかるの か	物質環境科学の基礎は、環境因子を物質レベルで理解することから始まる。地球環境保全には、環境因子の挙動を精査し、生態系への影響評価が不可欠であるが、これを可能とするのが物質の定性と定量である。試料を分析して得られる分析値は、試料に隠されている情報を反映する客観的な物差しとなる。ここでは、どのような分析法を用いれば、どのような情報が得られるのかについて学ぶ。 【キーワード】 環境因子、生態系、分析、定性、定量、同定、分析化学	中村 洋 (東京理科大	中村 洋 (東京理科大 学薬学部嘱 託教授)
7	分析によって見える 地球環境	46億年という長い地球の歴史の中で生物が生まれ、環境に順応しながら様々な生物種が進化してきた。長い時間をかけて作られた地球環境の乱れが環境汚染であり、火山噴火、落雷による山林火災などの自然災害を除けば、その大部分は産業革命以降の人類の活動に起因する。大気、土壌、水を汚染する代表的な化学物質を取り挙げ、それらの分析法と汚染の実態を学習する。 【キーワード】 環境汚染物質、有害金属、環境ホルモン、多環芳香族炭化水素		中村 洋
8	環境と遺伝子変化	生物が種を存続するためには、その遺伝子は安定に保たれなければならない。しかし一方では、様々な環境の変化に対応して遺伝子を変化させることが種を維持するために必須である。このバランスをうまくとることの出来た生物が現在、この地球上に繁栄している。環境によって遺伝子がど変化するか、そして進化はどのように起こるのかを学ぶ。 【キーワード】 環境の変化、遺伝子の安定性、遺伝子変化、進化		花岡文雄
9	遺伝子損傷の修復	遺伝子DNAは、様々な外的な要因および内的な要因によって常に損傷というべき変化を受けている。遺伝子の損傷は、複製や転写を阻害し、その結果、細胞死や突然変異をもたらし、老化やがん化の原因となる。生物はそうしたことを避けるため、DNAの損傷を修復する様々な機構を進化の過程で獲得した。 【キーワード】 遺伝子損傷、DNA複製、転写、修復、老化、がん化	<u>.</u>	花岡文雄

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	
10	環境と化学物質	我々の身の回りには膨大な種類のる。あるものは天然に存在するものるものは人類が何らかの方法で作てそれらは医薬品、農薬、食品添様々な形で人類に役立っている。りうる。 【キーワード】 医薬品、農薬、食品添加物、生物	のを人類が見つけ、またあり出したものである。そしり出したものである。そし加物、工業用材料など、 それらはまた「毒」にもな	花岡文雄	花岡文雄
11	紫外線と健康	昔から一定程度の太陽紫外線を浴とだと考えられてきた。それは骨のを皮膚で作るために紫外線が有用外線は皮膚細胞DNAに損傷を起る。したがってそのバランスに留意 【キーワード】 太陽紫外線、骨形成、ビタミンD3、	形成に重要なビタミンD3 目だからである。しかし紫 こし、皮膚がんを誘発す こしなければならない。	花岡文雄	花岡文雄
12	放射線の生物影響	人類は、自然放射線、人工放射線 てきた。しかし、原発事故などが起 懸念となり、大きな社会問題となる 子に化学変化(損傷)が生じると、 発を誘発し、最終的には、組織・臓 を起こす可能性がある。これらの過 ついても学び、生物影響の理解を 【キーワード】 自然放射線、人工放射線、被ばく やがん化	こると健康影響が最大の。放射線によって生体分細胞の死や突然変異誘 議器の障害やがん化など 過程を抑制する仕組みに 深める。	谷田貝文夫 (早稲田大学 理工学術院 非常勤講師)	谷田貝文夫 (早稲田大学 理工学術院 非常勤講師)
13	活性酸素と健康影響	地球上の生物は、ほとんどすべて ギーを得ており、その副産物として 酸素は極めて反応性の高い分子 損傷を与える。その結果、突然変 んをもたらす。生物はこのような生 いくつかの仕組みを獲得し、進化 生成やその影響を軽減する仕組み 【キーワード】 活性酸素、DNAの酸化的損傷、突	活性酸素が生じる。活性で、DNAに対して酸化的で、DNAに対して酸化的異を起こし、老化や発が体影響を軽減するためのしてきた。酸化的損傷のなについて学ぶ。	谷田貝文夫	谷田貝文夫
14	宇宙環境の健康影響	地球環境の問題やエネルギー問題の方策として、太陽発電衛星の建のように、人類が宇宙に進出する村まる期間も長くなることが予想されるには、微小重力環境による骨密さらには、宇宙放射線による被ばく多い。これらの問題について考察【キーワード】 微小重力環境、宇宙放射線、骨密	設が検討されている。こ 幾会が増え、宇宙に滞在 る。宇宙で安全に生活す 度の減少、筋力の低下、 くなど対処すべき問題が する。	谷田貝文夫	谷田貝文夫
15	持続可能な自然環境 の構築に向けて	今や狭くなった地球上で、これから生物が共存していくためには何がい。多くの場合、物質的な対応を術は既に存在している場合が多い政治・経済・社会との関連であるといわゆる理系・文系の相互理解・2野を理解できる教養がますます重摘したい。 【キーワード】 持続可能性、グリーンケミストリー、	未解決の問題かを考えたするための基礎知識と技い。むしろ問題は、人類の思われる。そのためにも、定流が必要であり、異分要になっていることを指	濱田嘉昭	濱田嘉昭 花岡文雄

事務局 記載欄	開講 年度	2014年度	科目 区分	大学院科目	科目コート	8960607	履修 制限	無	単位 数	2
------------	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---

科目名 (メディア)宇宙・自然システムと人類('14)(TV)英文名= [Humankind in the Universe-Nature System ('14)][主任講師(現職名):海部 宣男(国立天文台名誉教授)][主任講師(現職名):杉山 直(名古屋大学大学院教授)][主任講師(現職名):佐々木 晶(大阪大学大学院教授)]【本学担当専任教員:吉岡 一男(放送大学教授)]

※この科目は「物質環境科学Ⅱ('08)」の一部改訂科目です。 改訂回は1, 2, 3, 5, 6, 9, 13回です。

講義概要

地球、生命、および人類とその文明は、膨張する宇宙で進んできた自然の営みから生まれたものである。これら宇宙・自然システムの 創生をもたらしその存続を支えている、物質やエネルギーの源泉はなにか。また、その転化・変遷・循環のしくみは、どのようなものなのか。本講義では、地球生命と人類文明を支える環境の基盤とその現代的課題とを、科学的および自然史的視点からグローバルに 考察する。人類文明はいま、存続の可能性すら問われるに至っている。当面する問題やその背後にあるエネルギー・物質の本質を 複合的な科学の視点でとらえ、宇宙の中の人類とその文明大きな時間・空間にわたる宇宙・自然システムの中に位置づける試みである。

授業の目標

私たちが生き、活動しているこの世界(自然)環境について、その本質と歴史、変化のしくみを物理学、天文学、地球惑星科学、環境生物学にもとづいて全体的・重層的に理解することが、本講義の第一の目標である。そうした宇宙・自然システムの科学的理解を基盤として、人類が活動する基盤である地球や、人類自身の活動がいまや脅かしつつある地球環境、そして人類と文明の未来について、有効かつ長期的な視点をもって深く考えることのできる視座を獲得することが、本講義の第二の、そして最終の目標である。

履修上の留意点

本講義は2008年度開講の『物質環境科学II』の部分改訂版である。過去の事情を反映して不明確だったタイトルを改め、内容を明確にした。放送授業も伴う大幅な改訂を行ったのは、1章, 2章, 3章, 5章, 6章、9章, 13章であるが、その他の章も印刷教材では章タイトルも含めて新しい状況に即した内容に改めた。宇宙・地球という時間・空間の大きなシステムについて人間とのかかわりを中心に総合的な理解を深めようとする授業だから、地球、太陽系、宇宙に関する基本的な知識は学部等である程度身につけてから学ぶことが望ましい。放送大学の教養学部講義では、基礎科目『自然を理解するために-現代の自然科学概論-』、一般科目『宇宙を読み解く』、『惑星地球の進化』、専門科目『太陽系の科学』、『進化する宇宙』などが基礎となる。

	(記、日恋生地域や7座に記、寺口作百里へ物家や7件子記、1座にする丁田からで、7座ではる。					
回	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名	
1	人類環境と宇宙 【改定回】	本講義の総論である。20世紀中盤成からはじめてその現代的な意味、出した宇宙環境などを概観し、さら学的な考察も行って、講義全体の登	、そし地球と人類を生み に環境についての物理	海部 宣男 (国立天文台 名誉教授)	海部 宣男 (国立天文台 名誉教授)	
2	宇宙の環境とそこに存 在するエネルギー 【改定回】	宇宙に存在するエネルギーの形態 グバンのエネルギー、宇宙の巨大なのエネルギー、電磁波によって観測 ギー、さらには、星の生み出す核エ 多様な構造をエネルギーの面からは	な構造が持っている重力 刺されるガスの熱エネル ネルギーまで、宇宙の	杉山 直 (名古屋大学大 学院教授)	杉山 直 (名古屋大学大 学院教授)	
3	宇宙における物質生 成 【改定回】	ビッグバンにおける力の分離、そし対称性の観点を中心に解説する。 合成について解説し、我々を取り巻 構築されてきたのかについての物ま	さらには宇宙での元素 送く物質世界がどのように	杉山 直 (名古屋大学大 学院教授)	杉山 直 (名古屋大学大 学院教授)	

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属・職名)	講 師 名
4	恒星進化と物質・エネルギーの流れ	恒星進化論を概説し、恒星で起きる それらの放出過程を踏まえながら、 エネルギーの転換、その銀河シスラ 【キーワード】	恒星活動による物質と	有本 信雄 (国立天文台 教授)	有本 信雄 (国立天文台 教授)
5	超新星による銀河環境への影響 【改定回】	超新星爆発について現在の理解の 星爆発が銀河の物質・エネルギー 及ぼしてきたかを考察する。特に、 いて及ぼしたと考えられる影響(物質 触れる。 【キーワード】	環境にどのような影響を わが太陽系の形成にお	有本 信雄 (国立天文台 教授)	有本 信雄 (国立天文台 教授)
6	星間物質からの太陽 系・地球環境の形成 【改定回】	恒星が生成した元素からの星間分生、星間分子雲からの太陽系と地野する。いまや無数の恒星の大多数だかとなり、太陽系と地球の位置付けこれを踏まえ、生命環境を持つ太陽ついて延べる。 【キーワード】	球の形成の過程を概説 が惑星を持つことが明ら も大きく変わりつつある。		海部 宣男 (国立天文台 名誉教授)
7	太陽	太陽の表面活動、内部構造、さらに どについて最新の観測からの知見を のエネルギー供給システムとしての の地球環境への影響についてまとな 【キーワード】	を交えて解説し、地球へ太陽の理解を与え、そ	櫻井 隆 (国立天文台 教授)	櫻井 隆 (国立天文台 教授)
8	初期の地球のエネルギー	惑星のひとつとして形成された地球 らのエネルギー史を概説する。また との簡略な比較、さらに考え得る「太 おける仮想的エネルギー史と地球と 【キーワード】	、太陽系のほかの惑星太陽系外地球型惑星」に		佐々木晶 (大阪大学大学 院教授)
9	地球・惑星の物質循環 【改定回】	惑星のひとつとして形成された地球ローバルな物質循環とその変遷に過去どのように変わってきたか、現るか。とくに、水や二酸化炭素の循り星と比較して概説する。生命活動が炭素の固定など)にも、詳細は第12火星は過去には温暖で水が表面に現在の火星は寒冷であるが、地下な象が発見されている。	ついて概説する。それは 在はどのような状況にあ 環について、火星や金 、及ぼした影響(二酸化 、章に譲るが触れておく。 に存在したと考えられる。	佐々木晶 (大阪大学大学 院教授)	佐々木晶 (大阪大学大学 院教授)
10	地球型惑星の環境の エネルギーバランス	金星、地球、火星の気候がどのよう作られているのかを概説する。とくに気象現象の役割について比較惑星の気候の特殊性がどこにあるのかを 【キーワード】	こ温室効果、大気循環、 皇学視点で論じる。 地球		今村 剛 (宇宙航空研 究開発機構 宇宙科学研究 所准教授)

口	テーマ	内 容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	生物関連元素の循環 -微生物との共進化-	過去35億年にわたる生命活動が地球環境をどう変えてきたか、可能な限り定量的かつ歴史的に考察・解説する。微生物による海洋の酸化還元状態の変化、光合成生物による酸素濃度増加、植物被覆による浸食の減少など、具体的な問題も挙げる。生命活動によるインパクトに対して地球の環境システムのバランスがどう変化し、またどう保たれてきたかについても触れる。 【キーワード】	小池 勲夫 (琉球大学監	小池 勲夫 (琉球大学監 事)
12	天体の運動と気候変 動	惑星運動との相互作用により、地球の軌道や自転軸の傾きが変化することで地球の受ける太陽放射がわずかに変化する。それにより大きな気候変動が生まれるメカニズムについて最近の知識を踏まえて概説する。長期的には、地球の物質循環が、二酸化炭素量の変動や、大陸の配置の変化を通じて、気候に大きな影響をもたらす。過去の気候変動の証拠は、地球の南極氷床のコアサンプルや、火星の極冠に記録されている。火星では、過去に自転軸が大きく傾いたため気候が変動した。 【キーワード】	佐々木 晶 (大阪大学大学 院教授)	佐々木 晶 (大阪大学大学 院教授)
	地球の環境への生命 活動・人間活動のイン パクト 【改定回】	人類の活動が地球環境に及ぼした影響を、可能な限り定量的・歴史的に考察する。人類活動は加速度的であり、地球の環境システムがバランスをとることは困難とされている事情、過去の生命活動によるインパクトとの違いについても触れる。 【キーワード】	小池 勲夫 (琉球大学監 事)	小池 勲夫 (琉球大学監 事)
14	文明と環境	文明活動が関わる物質とエネルギーの転換が環境システムに及ぼしている影響を受け、人類文明の影響下での環境システムの維持改善の試みや提案を概観するとともに、環境と開発の両立が可能かどうかという視点から、環境システムを再度考察する。 【キーワード】	池内 了 (総合研究大 学院大学理 事)	池内 了 (総合研究大 学院大学理 事)
15	宇宙史の中の地球・生命・人類・文明	本講義のまとめをかねて、138億年の宇宙史の中で準備され進んできた地球・生命・人類・文明の形成史を概観し、一方で進みつつある宇宙の生命の探査、さらに宇宙文明の科学的探索の試みと対比しつつ、宇宙の中での私たち人類文明の位置づけを探る。 【キーワード】	海部 宣男 (国立天文台名 誉教授)	海部 宣男 (国立天文台 名誉教授) 池内 了 (総合研究大 学院大学理 事)

事務局 開講 科目 科目 履修 単位 2011年度 大学院科目 無 8960569 2 記載欄 年度 区分 コート 制限 数

科目名 (メディア) = 現代地球科学 ('11) = (TV)

〔主任講師(現職名): 川上 紳一(岐阜大学教授) 〕

〔主任講師(現職名): 藤井 直之(名古屋大学名誉教授)

【本学担当専任教員: 吉岡 一男(放送大学教授) 】

講義概要

惑星探査、地球史解読、高温高圧試験、リモートセンシング技術などの進歩によって、新しい地球観が生み出されている。本科目では、地球科学における最近のトピックスを取り上げ、新しい地球観の探究を進めている研究現場をレポートしつつ、最新の研究成果を解説する。高温高圧実験技術の進歩による地球内部構造の解明、天体衝突と地球環境や生物進化、気候変動のしくみ、宇宙からの地球観測による地球変動などに関する研究をもとに、地球の探究のダイナミズムや最新の地球観をわかりやすく講義する。

授業の目標

地球温暖化問題や地球環境問題の理解には、地球変動のしくみについて、深く理解することが大切である。本科目では、さまざまな研究手法による地球の変動とその歴史に関する研究者の発想や研究法を学び、地球環境の成り立ち、変遷に関する見方や考え方を育成することを目標としている。

履修上の留意点

本科目とともに学部の科目である「身近な気象学('10)」や「惑星地球の進化('13)」や「地球のダイナミックス('10)」を履修すると地球科学分野の理解が深まる。

口	テーマ	内	容	執 筆 担 当 講 師 名 (所属·職名)	
1	新しい地球観:変動 する地球システム	これまでの地球科学の発展を振りの開発、新研究領域の開拓、観光ベースになっていることがわかる。本質的理解を目指す最近の研究い地球観の構築へ向けた研究を目標を明らかにする。 【キーワード】 地球観、観測技術、地球内部構造動、生物進化	則データの総合化などが 変動する地球システムの よトピックスを取り上げ、新し 概説し、本科目の内容と	川上紳一(岐 阜大学・教 授)	川阜授之学授三学野大入媛 上大・藤古誉成屋)・ ・名名安古授・ ・経教文・ ・経教文・ ・経教文・ ・経教文・ ・経教文・ ・経教文・ ・経教文・ ・経教文・ ・経 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
2	地球内部を探る	地球のマントルや核の大部分は、 踏の地である。地球内部の構造。 地表の岩石や隕石の研究、地震 推定といった地球物理学的研究。 た手法を概説するとともに、近年 超高圧実験について、原理や応紹介する。 【キーワード】 隕石、超高圧実験、地震波速度、	や構成物質を探るために、 波の伝わり方や、密度の などが行われている。こうし 重要な役割を果たしている 用、最近の発展について	入舩徹男(愛 媛大学·教 授)	入舩徹男(愛 媛大学・教 授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
3	地球内部の物質と構造	地球内部には、地震波速度や密度が急激に変化する地震学的不連続面が存在する。それらは、化学組成の違いにる第1級の不連続面と、鉱物の結晶構造が変化することによる第2級の不連続面に分けられる。最近の超高圧実験の結果に基づいて、地球内部物質の相転移を明らかにするともに、そのマントルダイナミクスへの影響などについて解説する。また、「地球深部からの手紙」とも称される、ダイヤモンドに関する最近の研究についても紹介する。 【キーワード】 マントル、核ーマントル境界、核、相転移、プレート沈み込み、ダイヤモンド		入舩徹男(愛 媛大学·教 授)
4	月と地球の進化	月と地球の内部構造の違いや月の誕生の謎、初期地球の進化に関する最新の研究成果を講義する。月の起源についてはジャイアントインパクト説を詳しく解説する。地球やりの熱史の問題や地球マントルの対流についても述べる。耳在の地球では、プレートテクトニクスが支配的であるが、地球の歴史を通じて、マントル対流のパターンの変化、地球表層のグローバルテクトニクスとの関連にも着目する。 【キーワード】 月、地球、起源、熱史、マントル対流、プレートテクトニクス	 藤井直之(名	藤井直之(名 古屋大学·名 誉教授)
5	天体衝突と地球の歴史	最近の研究によって、小惑星帯での大規模天体衝突が地球や月面での天体衝突現象と関係していることが明らかになってきた。天体衝突と地球の歴史、地球の衝突構造の研究の発展を講義する。小惑星の族と軌道進化に関する最新の研究を紹介する。 【キーワード】 クレーター、小惑星、恐竜絶滅、軌道進化		川上紳一(岐 阜大学·教 授)
6	氷河時代とスノー ボール・アース仮説	気候変動と地球の歴史に関する講義を行う。氷河時代の見やスノーボール・アース仮説の成立の鍵となった地質学的証拠について詳しく解説する。計算機シミュレーションによる研究についても紹介する。スノーボール・アース仮説を巡る論争の展開や蒸発岩による画期的な検証など、最近のトピックスを紹介する。 【キーワード】 気候変動、スノーボール・アース、氷河堆積物、古地磁気学		川上紳一(岐 阜大学·教 授)
7	多細胞動物への進化の道のり	原生代末の最古の多細胞動物について、論争のあるエディアカラ化石生物群も含めて紹介する。さらに、多細胞動物進化の前史について、現在明らかにされつつある真核物の系統との関連で述べる。また、真核生物の出現やそれに重要な役割を果たした酸素濃度の変遷についても、最初地質学的、地球化学的証拠を含めて概説する。 【キーワード】 生命の起源、シアノバクテリアと酸素、真核生物、ドウシャンツオの動物化石、エディアカラ化石生物群	大野照文(京都大学·教授)	大野照文(京 都大学·教 授)

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
8	多細胞動物の爆発的 多様化事件	多細胞動物の起源と進化については、分子生物学的研が進んでいる。多様な姿や生態を示す現生の多細胞動物について、形態や遺伝子解析の研究成果をもとに、分類系統関係について、最新の知見を講義する。これらをふえて古生代カンブリア紀に起こった多細胞動物の多様な類群の出現を示す化石を紹介するとともに、それらの爆発的出現の原因を探る。 【キーワード】	物とま 分 大野照文(京 都大学・教 授)	大野照文(京都大学·教授)
		多細胞動物の分類と系統、チェンジャン・バージェス化そ物群、ホックス遺伝子、進化の大停滞、シュラム偏位 地球における気候変動の復元の方法を述べ、気候の変		
9	地球史と気候変動	地球における気候変動の優元の方法を近く、気候の変について概観する。過去6億年については、超大陸の形や分裂と気候が相関している。第三紀になると徐々に気は寒冷化へ向かうが、5500万年前に一時的に突発的に暖化した。その原因を考察する。過去500万年間には、対期-間氷期サイクルが顕著になるが、そのペースメーカーなっているのが、ミランコビッチサイクルである。ミランコビチサイクルのメカニズムを述べ、その周期性が地層の縞材様として記録していることを述べる。10万年周期の謎などまだ解明されていない事象が残されている。 【キーワード】 氷期-間氷期サイクル、ミランコビッチサイクル、地球史、大陸、気候変動	成奏 は、と 川上紳一(岐阜大学・教授)	川上紳一(岐 阜大学·教 授)
10	地球の気候とその変 動のしくみ	地球の気候状態はさまざまな要素が複雑に関わって変動でおり、気候を支配する要素全体を気候システムと呼んいる。気候システムを構成するサブシステムについて解記し、サブシステム間の相互作用における、主なフィードバクメカニズムについて説明する。地球の歴史とともに気候ステムが変化してきたことを、具体的な事例をもとに概説る。	で 安成哲三(名	
11	地球気候におけるア ジアモンスーン	気候システム、気候変動、フィードバック 日本列島周辺の気候は、アジアモンスーンの影響を強く けているが、その影響はアジアに限らず世界の気候にま 及んでいる。アジアモンスーンについて概説し、新生代に おけるその変動がヒマラヤ山脈の隆起と深く関わっている とを、研究現場からレポートする。 【キーワード】 アジアモンスーン、ヒマラヤ山脈、大気大循環	で - - - 安成折三(名	
12	近年の「地球温暖化」 と異常気象	20世紀後半以降、地球の気候は急速に温暖化しつつあり、人間活動によるCO2などの温室効果ガスの増加に起する「地球温暖化」の可能性が大きな社会問題ともなってる。これに関連して、豪雨や干ばつなどの異常気象の頻も世界中で増加している。この問題について、最近のIPC(気候変動に関する政府間パネル)の報告なども含め、全後の予測やその問題点について講義する。 【キーワード】 地球温暖化、温室効果ガス増加、異常気象	因 で 変 を 安成哲三(名	安成哲三(名 古屋大学·教 授)

口	テーマ	内	容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
13	地震と火山のしくみ	日本では防災・減災の立場から問題が大きな課題となっている。 レート境界に特徴的な固体地球システムの進歩によって、最近多活動に伴う現象について述べる発生や火山噴火の事例を紹介測技術の進歩によって明らかにロースリップや火山噴火に伴う原リング研究について概説する。	地震や火山の活動は,プ の変動である。近年の観測 き見された地震発生や火山。自然災害に関わる地震の するとともに,最近の地球観されてきた沈み込み帯のス	藤井直之(名 古屋大学·名 誉教授)	藤井直之(名 古屋大学·名 誉教授)
		【キーワード】 地震発生,リアルタイム地震学, ス,スロースリップ,非火山性深			
14	宇宙からの地球観測	地球科学の進展に大きな貢献を地球観測について講義する。との技術的進歩は目覚しく、気候について、全地球規模でリアル地球環境のモニタリングに貢献話題を取り上げる。地球環境のするとともに、全地球測位システを捉える合成開口レーダー干渉星(GRACE)などについて、やペ【キーワード】 リモートセンシング、地球観測衛レーダー干渉法、地球変動の格	くに、宇宙からの地球観測変動や地震・火山活動などタイムのデータを取得して、する課題から、いくつかのモニタリングの進展を概説・ム(GPS)、面的に地殻変動には(InSAR)、重力観測衛や詳しく解説する。	藤井直之(名 古屋大学・名 誉教授)	藤井直之(名 古屋大学·名 誉教授)
15	地球観測技術と新しい地球観	観測技術の革新的な進歩とそれ 観によって、地球科学は常に大 して、私たち人類の今後の展望 多様な生物との共存を目指して 化の理解が不可欠であることをで 内容を振り返り、今後の地球科学 について考える。 【キーワード】 地球観、観測技術、地球内部構動、生物進化	きな飛躍を遂げてきた。そ において、変動する地球や 、地球環境の変遷と生物進 確認する。これまでの講義 学の研究の方向性や課題	藤井直之(名 古屋大学·名 誉教授)	藤古誉上大安古授文学舩大神屋教神学成屋・京教神学成屋・京教明学・京教男・京教男・京教男・京教男・のでは、名名川阜・名教照・ので、名名川阜・名教照・のので、名名川阜・名教ので、名名川阜・名教ので、名名ので、

事務局 記載欄	開講 年度 2009年度	科目 大学院科目	科目 3-1 8960526	履修 無制限		2
------------	-----------------	----------	----------------	--------	--	---

科目名 (メディア) = 数理科学の方法 ('09) = (R)

〔主任講師(現職名): 熊原啓作(放送大学名誉教授) 〕

【担当専任教員: 石崎克也(放送大学教授)

講義概要

コンピュータの発達と共に計量的手法があらゆる分野に浸透し、数理科学的手法が必要とされ使われている。この講義では数理科学の個別科学への応用例を提示する。数理科学やその考え方がいかに活用されているかを解説する。数理物理学から生まれ、情報科学、通信工学など広い応用を持つフーリエ解析学、生命現象を数学的に解明しようとする数理生物学、一見数学と無縁に思われる文化的方面にもデータ解析を活用する文化情報学、そして日々の経済動向の裏にある数理経済学を取り上げる。

授業の目標

様々な場面で数学的考え方がいかに有効に活用されているか、またその限界とこれからの課題についても理解を深めることを 目標とする. 数理科学あるいは応用数学は、数学者が準備してくれた道具を便利に使うというようなものではなく、新たに問題に 応じて数学を作ることであることも強調したい.

履修上の留意点

15回の講義では厳密に理論を展開することはできないので、どうしても包括的な話が多くなるが、数学的論理の展開も不可欠である。数学に不慣れな受講者は細部より流れを読むようにし、この講義はいわば数理科学ガイダンスと理解していただきたい。学部における数学科目はできるだけ学んでおいていただきたい。

口	テーマ	内	容		放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
1	数理科学の方法	数理科学の概観と全担当講師に イダンスを与える.	よるそれぞれのパートにガ	送大学名誉 教授)·梶原 毅(岡山大学 教授)·村上	熊原啓作(放 送大学名誉 教授)・梶原 毅(岡山大学 教授)・村上 征勝(同志社 大学教授)・
		【キーワード】 数学と数理科学, 生物学と数理科学, 数理経済学と数理科学	斗学, 文化情報学と数理科		丸山徹(慶應 義塾大学教 授)
2	フーリエとフーリエ解 析	数理物理学における問題の解決 解析の誕生と生い立ちを見る.	のために誕生したフーリエ	熊原啓作(放 送大学名誉 教授)	熊原啓作(放 送大学名誉 教授)
		【キーワード】 振動,熱伝導,フーリエ級数,フー	ーリエ級数複素形		
3	フーリエ解析の発展 と数学における影響	フーリエ解析の発展が数学の基础り, j実数, 関数, 収束, 積分などの要とし, 集合論やルベーグ積分部数学にいかに大きな影響を与えた【キーワード】 関数と実数, フーリエ級数の収束リエ積分, 集合論, ルベーグ積分	の基礎概念の明確化を必 論誕生の一因にもなった。 たかを見る。 問題, リーマン積分, フー	熊原啓作(放 送大学名誉 教授)	熊原啓作(放 送大学名誉 教授)

□	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
4	フーリエ解析の諸結 果	フーリエ解析の興味あるいくつかの性質について概観する。ギブズ現象,直交関数展開としてのフーリエ級数,一般フーリエ級数を紹介し,フーリエ級数の概収束,フーリエ変換,サンプリング定理を取り上げる。 【キーワード】 ギブズ現象,直交関数,関数空間,プランシュレルの定理,不確定性原理,サンプリング定理	熊原啓作(放 送大学名誉 教授)	熊原啓作(放 送大学名誉 教授)
5	フーリエ解析の新し い流れ	フーリエ解析は加法群に拡張される。その例として整数上のフーリエ変換とさらなる一般化の方向を示し、有限フーリエ変換と高速フーリエ変換を概説する。フーリエ変換は周波数情報を与えるが、その成分が何時現れるかを教えてはくれない。その欠陥を補うものとして誕生したウェーブレット変換を取り上げる。 【キーワード】 指標、離散フーリエ変換、双対定理、高速フーリエ変換、ウェーブレット変換	熊原啓作(放 送大学名誉 教授)	熊原啓作(放 送大学名誉 教授)
6	単一集団モデル	生物集団の個体数の変動は、数理生態学の基本的なテーマである。最初に単一集団のモデルを説明する。微分方程式モデルの導きかた、マルサスモデル、ロジスティックモデルについて、データと比較しながら述べる。小集団をあつかう確率モデルについても説明し、微分方程式モデルとの関係についても触れる。 【キーワード】 生物現象、微分方程式モデル、確率モデル	梶原毅(岡山 大学教授)	梶原毅(岡山 大学教授)
7	複数集団モデル	前回にひきつづき、互いに相互作用する複数集団のモデルを扱う。始めに競争関係を扱うロトカ・ヴォルテラ競争モデルについて、アイソクライン法、および数学的解析、生物的意味について説明する。次に、ロトカ・ヴォルテラ捕食モデルについて、解が周期的になることを説明し、それを用いた漁獲の効果の解析を説明する。 【キーワード】 競争モデル、単調性、捕食モデル、保存量		梶原毅(岡山 大学教授)
8	体内の病気モデル	人間の体内は観察が容易ではないので、病気の様子を調べるために数理モデルを作って研究することが役に立つ。主として HIV 感染のさまざまな段階を対象としたモデルについて、数学解析と生物的な意味について説明する。さらに、免疫が自己を攻撃する自己免疫病のモデルについても説明する。 【キーワード】 エイズ、免疫系、安定性、抗原多様性閾値、自己免疫	梶原毅(岡山 大学教授)	梶原毅(岡山 大学教授)
9	感染症の流行モデル	人間にとって切実な問題である病気の流行については データも豊富で、昔から研究が盛んである。感染症の流行 をあつかういくつかの基本的なモデルについて説明する。 さらに、具体例として、狂犬病などの伝播のモデル、また空 間的に一様でない防御の効果のモデルについて説明す る。 【キーワード】 体内の病気、エイズ、肝炎、免疫細胞	梶原毅(岡山 大学教授)	梶原毅(岡山 大学教授)

□	テーマ	内 容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
10	文化領域の数量分析	文章や絵画を中心に、文化の研究領域における数量的アプローチの目的、意義および研究方法を紹介する.特に類似性という観点から、分析に用いる情報(変数)の選択や必要な統計量について説明する. 【キーワード】 数量分析、情報(変数)選択、平均値、分散、クラスター分析、主成分分析	村上征勝(同志社大学教授)	村上征勝(同志社大学教授)
11	文章の数量分析	文章の類似性の分析で著者に関する疑問の解明を試みた 幾つかの研究を紹介する. 具体的には「シェークスピア= ベーコン説」の検討、『静かなドン』盗作説の解明、アメリカ 合衆国憲法に関する論説12編の著者の推定、『源氏物 語』の文章の分析、犯罪事件の文章の分析等を紹介する. 【キーワード】 シェークスピア=ベーコン説、『静かなドン』、『連邦主義 者』、『源氏物語』、最頻値、出現頻度、クラスター分析、判 別分析	村上征勝(同志社大学教授)	村上征勝(同志社大学教授)
12	浮世絵の数量分析	浮世絵・美人画に描かれてた顔を対象に、目、鼻、口などの部品間の角度を分析することで、9人の浮世絵師たちの描画法の差異の解明を試みた研究を紹介する。また、歌舞伎劇で女役を演じる男性の顔の描き方について、数量分析でどのようなことが明らかになったかも紹介する。 【キーワード】 浮世絵、美人画、役者絵、女形、角度情報、主成分分析	村上征勝(同志社大学教授)	村上征勝(同志社大学教授)
13	効用関数の存在	集合上で定義された擬順序を実数値の関数(効用関数)で表現する可能性について述べる。制約条件下における最適化行動の分析は、経済理論におけるひとつの基本的類型である。効用関数はこの種の分析上不可欠の役割を果たす。併せて、必要とされる位相空間論の基本的な概念・事実についても解説したい。 【キーワード】 位相空間、擬順序、効用関数、Debreuの定理		丸山徹(慶應 義塾大学教 授)
14	期待効用の理論	生起しうる事象に対して定義された、いろいろな確率を序列づけする擬順序が与えられたとき、それを表現する効用関数の存在について研究する。とくに効用関数が、ある関数の期待値の形式で与えられるための条件に焦点をあわせて論ずる。基礎的準備として、測度・積分、そして確率測度が作る空間の*弱位相についても解説し、ひとつの現代解析学への案内としたい。放送授業では効用関数と中心に丁寧に説明する。基礎的準備については印刷教材と精読されたい。 【キーワード】	丸山徹(慶應 義塾大学教 授)	丸山徹(慶應 義塾大学教 授)
15	経済の均衡	効用関数に基づき、経済を構成する主体の最適化行動を分析する。つづいて多数の主体の間に成り立つバランス――つまり一般均衡の概念を論じて、現代経済学の基本的分析視角を紹介する。 【キーワード】 ラグランジュの未定乗数法、二次形式の符号、需要関数の導出、一般均衡	丸山徹(慶應 義塾大学教 授)	丸山徹(慶應 義塾大学教 授)

事務局 記載欄	開講 年度	2010年度	科目 区分	大学院科目	科目コート	8960534	履修 制限	無	単位 数	2	
------------	----------	--------	-------	-------	-------	---------	----------	---	---------	---	--

科目名 (メディア) = 計算論 ('10) = (R)

〔主任講師(現職名): 隈部 正博(放送大学教授)

講義概要

まず、言語、文法とは何かを定義する。次にチョムスキーの定義した様々な形の文法を学び、それによってどんな言語が生成されるかをみる。次に計算という概念について初歩から解説する。言語を構成(計算)するための機械であるオートマトンの定義から始め、様々な種類のオートマトンの形を学ぶ。その後チューリング機械の定義をする。そして多くの計算が、チューリング機械の形で書くことができることを理解する。最後にアルゴリズムとは何かを考える。

授業の目標

計算という概念を、様々な種類に分けて解説し、最終的には計算機の数学的モデルといわれる、チューリング機械がどのような構造を持っているかを理解する。また文法によって生成される(形式)言語がどのようなものか理解し、様々な文法と言語との関わりを理解する。このとき、文法によって生成される言語と、オートマトンによって計算される言語、これらの関連性を理解するのが目標である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しない。計算や言語という概念について、論理的立場から解説するが、数学のみならず、コンピューターや言語に興味のある学生向けの授業でもある。

口	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
1	準備	これから授業を進めるにあたって必要な予備知識に付いて解説する。 【キーワード】 数学的帰納法、集合、関数	隈部正博	隈部正博
2	言語	言語、文法とは何か、定義する。そして様々な例を通してこれらの概念を理解する。 【キーワード】 言語、文法	隈部正博	隈部正博
3	チョムスキーの階層	チョムスキーの階層といわれる、様々な文法や言語の種類について、例を挙げながら学ぶ。 【キーワード】 チョムスキーの階層、文脈依存文法、文脈自由文法、正規 文法	隈部正博	隈部正博

口	テーマ	内 容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属·職名)
4	オートマトン	言語を計算する一つの形である、オートマトンとは何か、その定義を述べ、簡単な例を学ぶ。 【キーワード】 オートマトン、遷移関数	隈部正博	隈部正博
5	オートマトンによって 受理される言語	様々なオートマトンの例を通して、どのような言語が作られるかをみる。 【キーワード】 受理される言語	隈部正博	隈部正博
6	非決定性オートマトン	機械が次のステップで行う動作が一つに限らない、非決定性オートマトンを定義し、いくつかの例を考える。 【キーワード】 決定性オートマトン、非決定性オートマトン	隈部正博	隈部正博
7	決定性オートマトンと 非決定性オートマトン	非決定性オートマトンによって受理される言語は、決定性 オートマトンによっても受理されることを示す。 【キーワード】 等価、状態の道	隈部正博	隈部正博
8	正規文法とオートマトン	正規文法で生成される言語と、オートマトンによって受理される言語が等しいことを示す。これを例を挙げながら解説する。 【キーワード】 正規文法	隈部正博	隈部正博
9	2方向オートマトン	今まで定義したオートマトンを改良し、機械のヘッドが左右に動く、2方向オートマトンについて、その定義を述べ、幾つかの例を学ぶ。 【キーワード】 2方向オートマトン	隈部正博	隈部正博
10	1方向オートマトンと2 方向オートマトン	2方向オートマトンによって受理される言語が、1方向オートマトンによって受理される言語が等しいことを、例を使って解説しながら示す。 【キーワード】 1方向オートマトン、2方向オートマトン、等価	隈部正博	隈部正博

П	テーマ	内容	講 師 名	放 送 担 当 講 師 名 (所属・職名)
11	ε 一動作を含むオー トマトン	非決定性オートマトンの定義をさらに改良して、ヘッドが重かず機械の状態のみを変化させるような動作を追加した、非決定性オートマトンの定義をする。この ε 一動作を含む非決定性オートマトンと、含まない非決定性オートマトンが等価であることをみる。 【キーワード】	2	隈部正博
		ε 一動作		
12	正規表現	言語を式で表すことを考え、正規表現とは何か解説する。 そして正規表現で定義される言語がオートマトンによって 理される言語に等しいことを見る。 【キーワード】 正規表現	受際部正博	隈部正博
13	チューリング機械	コンピューターの数学的モデルである、チューリング機械。 は何かについて考える。幾つかの例を通して理解を深め る。 【キーワード】 チューリング機械、時点表示	是	隈部正博
	様々なチューリング 機械	さまざまなチューリング機械の例を考える。また複数ののテープを備えた多テープチューリング機械を定義する。そして、多テープチューリング機械とチューリング機械が等価であることを示す。 【キーワード】 多テープチューリング機械、非決定性チューリング機械	怪部正博	隈部正博
15	アルゴリズムの概念	非決定性チューリング機械を定義し、これが決定性チューング機械と等価であることを示す。次にチューリング機械と文法の概念が等しいことをみる。最後にアルゴリズム、計算とは何か、考察する。 【キーワード】 アルゴリズム、計算、チャーチの提唱		隈部正博

この冊子に掲載した 2014 年度新規開設科目の講義内容は、教材の原稿等を作成する時点で主任講師等が執筆しており、実際に印刷教材及び放送教材を制作する時点で内容等を組み替えていることもあり、必ずしも最終的な印刷教材・放送教材と一致していない部分がありますので、ご容赦ください。

なお、放送大学ホームページに掲載されている講義内容については、 最新の内容にリアルタイムで更新しております。



